

# 班長のてびき



# 班長のてびき

～1～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウト・アメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料ともなるように、日本連盟がまとめてこれからしばらく連載します。ご期待ください。

## 班長諸君に寄せることば

かつて、少年らしさがあまり見られない、少年がいた。体も強いほうではなく、他の少年たちの遊びにも、あまり気をひかれなかった。事実、彼には、ほかの少年たちのことなどはどうでもよかったのである。彼は、ひたすら自分の心の中で、ある夢の世界を追い続けていたのだ。



そして、1月のある日、とは言っても昔のことではあるが、彼は、スカウトの一員となった。というのは、前の年のクリスマスに、彼へのプレゼントの中に「スカウトの手引」が1冊入っていたからである。

徐々にではあったが、彼は、スカウトの生き方やスカウトの行事、そしてスカウティングの理想実現に没頭するようになった。

幸いなことに、彼のスカウト隊長は非常に頭の切れる人で、自分の隊員の一人びとりが、何を考え、何を感じ、どんなことができるかを読みとって、一人びとりに伸びる機会を与えるように努めた。そしてある日、その少年も、いつの間にか班長になっていたのである。

その時をきっかけに、彼は、スカウトとして、新しい人生のかどでについたのだ。

彼は、自分の責任を果たすことによって、物に動じない性格の持主となった。また、班員とともに野外で過ごすことによって、体もたくましくなった。班員の、少年らしい純粋な姿にふれて、彼もまた少年らしい少年に変わっていった。

しばらくの間、彼は班長として率仕し続けた。そして徐々にではあったが、いろいろな分野の活



動を身につけていった彼は、やがて、すばらしい忠誠心と団結心、そして共同精神で固められた彼の班の、機敏で活動的な班員たちを統率するだけの貫録らしいものを、そなえるようになった。

そして、班長としての仕事を重ねるにしたがって、そのうち機会があれば、自分の貴重な体験を他の班長たちにも分け与えて、指導者としての彼らの努力が実を結ぶようにしてやりたい、と思うようになった。

今、君たちの手もとにあるこの本こそ、その少年たちの夢を実現させてくれるものである。君がこの話に出てきた少年と同じように、班の務めをうまくやり遂げる幸運に恵まれるように祈っている。

ウィリアム・ヒルコート

## はじめに

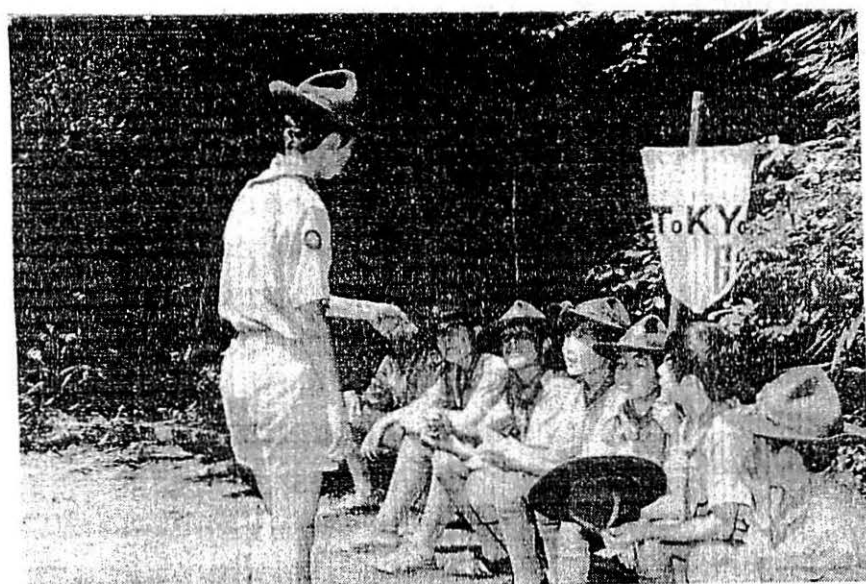
ボーイスカウト・アメリカ連盟は、全世界のひととを結ぶ友愛のきずなとして、この班長のてびきを出版し、各国のスカウト組織に贈った。

この本の著者ウィリアム・ヒルコートは、スカ



ウト、班長、そしてスカウト隊長として奉仕してきた人である。著者は、この本に、いわゆる実践的な学習法を取り入れ、班の組織、手順、そして指導者の任務がどういう仕組みになっているかを、だれでもわかるように簡単な表現で説明している。著者が、この本ですすめている実践課題は、すべてテストずみのものであり、だれにでも実行でき、しかも、やりがいのあることが立証されている。

この班長のてびきの初版が出たのは1929年で、各国の班長の間に熱狂的な反響を呼んだ。こんど出されたこの四海同胞版は、同じ著者によって全面的に書き改められて、1950年に改訂初版が出された。多くの国で翻訳出版され、世界各地における友愛スカウト活動をひろめるうえで一役を果た



している。

私たちは、この本の読者となる君たち班長に、この本が君の指導活動の助けとなり、君を鼓舞するものとなるよう折っている。そして、この本を読めば、君が班長として、君の務めにいっそう強い責任感を持つとともに、その任務にともなう喜びを、いっそう強く感ずるようになるものと、心から信じている。

めまぐるしく変転する社会の現状は、すぐれた指導者の輩出を強く待ちのぞんでいる。班長である君は、前途に待っている数々の仕事を、今のうちから自主的に訓練してやれるようになる、ひとつの機会にめぐまれていることになるのだ。

この本が、君の長い活動の旅で、君の楽しい友となり、君の進むところは、どこにも幸せが待っているように祈る。

## I 班長〈パトロール・リーダー〉とその務め

君は班長に選ばれたのだ。おめでとう。

冒険や、作業や、ゲーム、そして世の中でいばんすばらしいものの一つである友愛などを、満喫できるすばらしい未来が、君や君の仲間を待っている。よい班とは、何事が起ころうと、肩を並べていっしょに協力してやっていく、よい友だち同志のグループなのだ。

一人のためのみんな、みんなのための一人。これがスカウトの班の精神だ。

班長〈パトロール・リーダー〉としての務めはできるだけ楽しむとよい。しかし、班長であることには、単なる楽しみ以上のものがあることを忘



みなでよい班を作ろう

れてはならない。

班長としての最大のスリルは、普通並みの少年の集まりを、一つのれっきとした「班」に仕立てること、5～6人か7人の少年を手助けして、よいスカウトにすることだろう。

どのような班になるにしても、班作りでは君の班員一人ひとりが、何らかの役割を果たすわけであるが、何といても班作りの最大の責任は、君にある。そこで君の指導力、友情と親切心そして模範的なふるまいが、何よりもものを言うのだ。

正しい指導者のもとでは、どんなに小さな班でも、ほとんど例外なく、班として恥ずかしくない組織になりきるものである。だから、君が班長としての本分を正しくは握して、出発の方向をあやまらないようにできるかどうかは、君の努力いかににかかっているのだ。

### 君のパトロール列車

班〈パトロール〉がほんとに列車に似ていると思ったことがあるだろうか？

機関車が動いている間は、列車も皆動くが、機

関車が止まると列車は止まり、もし機関車がレールを外れると列車も脱線し、転覆してめっちゃめっちゃになることもある。

君は、君のパトロール列車の機関車だ。

君がまっ先に進めば班員たちも進む。君のスピードが落ちると、班員たちのスピードも落ちる。君が君自身を脱線させたりすると、班はめっちゃめっちゃになりかねない。

列車が班に似ているもう一つの点がある。目的地なしに走っている列車というものは、およそ意味がないし、そんなことはあり得ない。このことは班の場合にも当てはまる。成果をあげるには、はっきりした目標と、それに到達する方針を持って積極的にいろいろなことをやらなければならない。君自身と、班員たちのために目標を立て、エ



ネルギーを起こしてそれに向かって進む必要がある。

### 君自身の目標を立てよう

君の目標は、自分の班をできるだけすぐれたもの、隊で最優秀のものにすることでなければならない。なぜだろう？ よい班を作り上げることによって、班員がそれぞれ健全なスカウトになるのを手助けすることになるし、君自身もまた健全なスカウトになるからだ。



班をできるだけよいものにするという考えを、君の心にしっかり植えつけて、君の言うこと、なすことのすべてに、君の考えを反映するようにする。そうすれば君は、班員たちもまた全く同じ気持ちになるということに、まず気がつく。班に対する君の信念と熱意は、他人にひろがっていくものである。集会やハイキング、いろいろな計画、善行、それから班員たちの興味——何かをやることや、何か成果をあげることに、あるいはひとかどの人間になることなどに対する興味——を燃やし続ける手段などの、おぜん立てをするのだ。

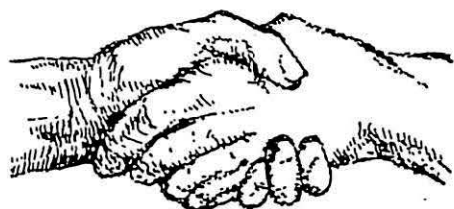
もちろんこのことは、君が「ボス」になって一から十まで自分で計画して、君の周囲の者に命令を下すべきだということではない。それどころか君の班は、小

さいながらも、一つの民主的グループであり、班員ならだれでも班の計画に参加し、指導を實踐し、また自発的行動を身につけるチャンスを与えられているのだ。

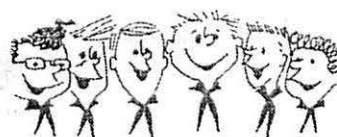
君は指導者、つまり進むべき道を指し示す者になるのだが、しかし皆と力を合わせてやるのが肝心だ。これが、班が行うあらゆることについて、一人ひとりに熱意を持たせてその役割を果たさせる方法である。

### 君の班員たちを理解しよう

自分の班の少年たちを理解するということは、君の務めを果たすうえで重要なことだ。彼らを理解すればするほど、それだけいっそうよく彼らを手助けすることができる。君をリーダーとして選んだ事実は、彼らが君を信頼している証拠である。この観点から出発すれば、友人として彼らの



信頼を勝ち得ることは、それほどむずかしいことではないはずである。この信頼は、一時にでき上がるものではない。君自身、経験ですでに知っていることだが、君がある人を信頼するところまできていないうちに、その人が強引に君を信頼させようとすれば、君は貝のように心のとびらを閉じてしまい、長い時間かからなければ、2度とその人を寄せつけはしないだろう。だから、あせることなく、君の班の各スカウトに対して、真の友人になるように努力することだ。そうすれば、皆も君のほんとうの友人になるだろう。「友人を持つ



にはまず君が友人になることだ」

班員たちを理解するには、班や隊の集会で彼らと顔を合わせるだけでは足りない。彼らについてそれ以上のことを知らなければならないのだ。彼らは何に関心を持っているのだろうか？趣味は？希望は？学校の成績はどうだろうか？班長として君が彼らの家を訪ねれば、喜んで迎えられるはずだ。両親を知り、また両親に君を知る機会を与えることだ。そうすれば、ハイキングやキャンプに連れて行きたい時に、よりたやすく両親の援助を得ることができるようになる。進んで協力を買って出る父親さえいるかも知れないのだ。

そのためには、どんな場合でもじっくり時間をかけ、ねばり強くやっていかなければならない。しかし、決してむだになることはない。しかもこのことは、班長としての君の務めの一部でもあるのだ。リーダーとなる者は周囲の者を理解して初めて真のリーダーとなれるのである。

(つづく)

### 訂正



9月号18～21ページ、「ぼくらの町日立」は日立第1団でなく、日立第5団カブ隊でまとめたものです。日立第5団は今年の4月、日立第1団の兄弟団として発団しました。

# 班長のてびき

～ 2 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## I 班長とその務め(つづき)

### 君の示す手本がものを言う

班を導いていくのに、指導力と理解力はもとより重要だが、君の示す手本は、おそらく何物にもまして重要だろう。君が見てきた、最もすぐれた班長は、別に見ばえのするような少年ではなかった。彼は乱髪をばらりとたらし、そこらにいる少年と何ら変わるところはなかったが、いつもできなほおみをたたえていた。



生ぬるい努力では落ちる実は  
ちょっぴりだが……

彼の気力は周囲の者に伝わっていき、彼の熱意は全くすばらしいものだった。とにかく、彼はその熱意を自分の班の全員に伝え、皆いっしょに働いた。彼が「さあ、やろう」というときは、みんな彼に続いた。歌をはじめると全員がうたった。班の集会やハイキングを計画すると、全員が参加した。彼が隊長に向かって「ぼくたちがそれをやります」と言い切ると、ほんとうに彼を失望させるような班員は1人も出なかった。

かつて、ある人が彼の班のスカウトの1人に、

むずかしい質問をしたことがあった。それは「君たちは、どうしてそんなによく彼に従っているのかね？」という質問だった。そのスカウトはしばらく考えていたが、ゆっくりと言った。

「さあ、よくはわかりませんが、たぶん彼はぼく自身  
がそうになりたいと思うよ



全力をあげれば、このとおり  
奇跡をうむ

うな男だからでしょう」と。ここに問題のかぎがある。いやしくも君がリーダーと名のつく者ならば（もちろん君がリーダーでなければ、班長にもなっていないはずである）、君の指導しだいで、班員たちの生活に大きな影響を与えることだろう。君が彼らのリーダーである間ばかりでなく、その後も長くその影響は残るはずである。彼らは君を尊敬し、君を重要な存在と考え、意識的にしろあるいは無意識的にしろ君のようになろうと努めるのだ。

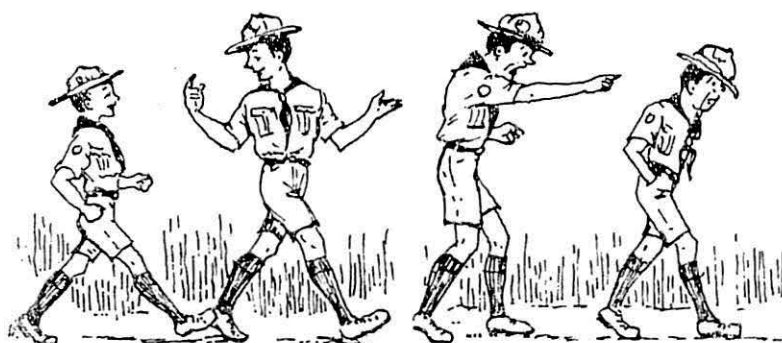
### 正しい種類のスカウトになる

班員たちが君のやることにならい、君のようになろうと努力するということを知ると、大きな責任が君にかかっていることに気づくことだろう。だからこそ君が正しい種類のリーダーになること

力的にやっていけば、彼らもまた協力して元気いっぱい君に従うものである。スカウト精神に当てはまることはまた、スカウト技能にも当てはまる。君が着実に菊、雫そして富士の級に進めば、君の班員たちも、いっしょに引きずって行くことになるのだ。

反対に君が1級スカウトになることすら気にかけないなら、君の班はおそらく現状に満足して、なんら進歩はないだろう。これが、君がいつでも班員たちより一歩先んじていなければならない理由である。

リーダーにとって「やれ」ということばより、「さあやろう」ということばのほうが言いやすい。しかし君が班員たちの進むべき道を示して、先頭に立たなければ「さあ、やろう」ということばもあまり意味を持たなくなってしまう。



「さあやろう」は「やれ」。よりもずっとよい結果をもたらす

が大切なのである。

そして、正しい種類のリーダーになる最も確実な方法は、正しい種類のスカウトになることだ。

君が、スカウトの「ちかい。や。おきて。」を守るのにいっしょうけんめい努力しているのを見れば、班員たちもそれにならうだろう。君が日日の善行を君の真のつとめに行っていることを彼らに示せば、彼らもまた同じ精神をくみ取るものだ。パトロールリーダーとしての仕事を、君が元気に精

### <班長として>

私はスカウト精神にのっとり、スカウト技能を発揮し、率先垂範して班を導きます。

私は私のスカウトたちとともに、班の活動一集会、ハイキング、善行、特別行事一を計画しその実践に私の全力を

注ぎます。

私は私の留守に班を指揮するように次長を訓練し、他の各スカウトにも、班を指導する機会を与えるようにします。

私は私の班員よりも、絶えず先に進級するようにし、私の班のスカウトたちに、スカウトとしての必要条件を教示し、かつそれについてのテストを行って、彼らの進級を手助けします。

私はスカウトのあらゆる活動にスカウトの制



服を着用して手本を示し、私の班のスカウトたちにも、そうするようにすすめます。

私は班の所定の事務一出欠調べ、班費徴収、その他について責任を負います。しかし、記録はだれか別の班員にとらせます。

私は皆をほんとうに助けることができるように、私の班のスカウトひとりひとりの友人となるように努め、またその家庭と両親、学校、その他を知るようにとくに努力します。

#### ＜隊におけるリーダーとして＞

私は班長のためのあらゆる集会には必ず出席して、私の務めを行うための訓練を受け、隊のプログラム立案における私の役割を果たします。

私は班長会議において、私の班を代表し、会議に対して私の班の希望を伝え、また決定事項を班に持ち帰ります。

私は私の班員を、隊のあらゆる活動に、喜んで時間どおりに規律よく参加させるように促します。

#### 援助の手をさしのべる

君の班の少年を、ほんとうのスカウトに育て上げる努力は、君ひとりですのではない。君の仕事は君がうまくやってもらいたいと思っている人が、たくさんいるのだ。君の隊長は、君に助言し、君を訓練し、そして実際的な援助の手をさしのべてくれるし、また他の指導者たちも、心からいつでも君を手助けしようと思っているのだ。

さらに君の班の少年たちの父親や母親たちも、君がその機会を設けてあげさえすれば、いつでも援助の手をさしのべてくれる。

班長として君は、まことに楽しい日々を送るは

ずである。それはスカウティングに入って以来、最も楽しい時期となるかも知れないのだ。

#### 結 論

要は① よいリーダーになること

② 真の友人になること

③ 先頭に立って進むこと

この3点を心にとめて最善をつくし、そして正堂々と胸を張って前進することだ。

君の仕事の大きさに驚いてはいけな。それは大きい仕事ではあるが、君がまともな勇気をもって取り組み、君の隊長やその他の指導者たちがさしのべてくれる援助の手を利用しながら、一步一步身につけていけば、りっぱにやっいていけるのである。時によっては失望することもあるかもしれないが、同時に大きな満足も味わうはずである。

「幸福な市民はよい市民である」とだれかが言った。同様に幸福なスカウトはよいスカウトであり、幸福な班はよい班である。

君のおもな仕事は、班の生活の中で、班員たちが幸福感—その幸福感は、いっしょに働き、いっしょに物事をやり、よい友人として助け合うことからくるものであるが—を味わうのを手助けすることだ、ということをいつもおぼえていれば、君の仕事はたやすくなる。班員たちの熱と興味を燃やし続け、彼らを幸福にすることができるなら



ば、彼らをスカウトの「ちかい。や」おきて。の  
理想に忠実な、真のスカウトに育て上げるのに、  
君の最善を尽くしていることになるのだ。

## II 班の精神

さてここにスカウトの一群がいる。彼らは君が  
先に立ってスカウト活動を楽しみ、スリルを味わ  
い、そしてスカウト活動を通して、皆がむつまじ  
うようなふんいきに自分たちを引きずり込んでく  
れるのを、君に期待しているのだ。

彼らの体の大きさや、知能や気質は  
それぞれ異なっている。どの2人をと  
っていても同じ少年ではないが、お互  
いに共通点が一つある。それは、彼ら  
はスカウトであるということだ。つま  
り、だれかほかの者にスカウトになら  
なければならない、と言われてスカウ  
トになったのではなく、自分が選んだ  
道としてスカウトになっているのだ。

ここで、将来、班が君たち皆にとっ  
て、何を意味するようになるかを、少  
しばかり考えてみよう。1年2年ある  
いはそれ以上の期間にわたって、君の  
生活は同じ軌道に沿って進むことにな  
る。スカウト活動に対して同じ興味を  
持ち、班のために同じ夢と希望を持つ  
のだ。

君たちは共に大きな事がらを実行  
し、共に多くの冒険を味わい、スカウ  
トの班に起こる失望、勝利、満足など  
すべてを共に分かち合うことになるの  
だ。この「共に。ということば」に注意  
してみよう。それは真の班の生活を送  
るのに、最も大切なものである。

「共に。ということばは、ある偉大なもの、す  
なわち班の精神に通ずる「合言葉」なのだ。

### 班の精神とは

班の精神は、ことばで定義できるようなものでは  
ない。それは人格、性格、または指導力とか言  
ったものと同じもので、じかにふれないかぎり、  
認識できないものである。それがどういう時に発  
揮されるかはわかっていても、そのほんとうの姿  
となると説明できない。それ  
で、別の見かたをとってみよ  
う。つまり、キャンプの備品  
作りであれ、トーテムポール  
を彫刻することであれ、また  
スカウト技能競技や廃品回収  
運動であれ、班がやることの  
すべてに熱と活力を吹き込む  
のが班精神である。

班集会に楽しみと友情をも  
たらし、班のキャンプファイ  
アに真の意義を感じさせるも  
のそれが班精神である。地区  
大会で、火起こしコンテスト  
が始まる直前に、班代表のス  
カウトが「どうしても勝たな  
ければならない。みんなを失  
望させることはとてもできな  
い」と、思わずひとりごとを  
いわせるのが、班精神であ  
る。

さらに、1人のスカウトか  
らもう1人のスカウトに対し  
て「残念だけど、君といっし  
ょに今夜映画を見に行くこと





はできないよ。今夜は班集会なんだ」と言わせるのが、班精神である。

貧しいある班員が、キャンプの費用を工面して皆と一しょにキャンプに行けるようにするのは、どうすればよいかについて、額を集めて知恵をしぼっている時、そこに働いているのが班精神である。

班長が、隊の善行好事の志望者を募った隊長に対して、「ぼくたちの班がやります！」というとき、それは、試練に耐える準備のできた班精神の表われである。

自分自身の楽しみを、班全体のために犠牲にす

班精神はどうして養われるか

君のスカウトたちのグループを、ほんとうの班に作り上げる手段として、真の班精神を築き上げるために、君はできることは何でもしたいと思うことだろう。

班精神がキノコのように1夜でできるものと思っ  
てはならない。1夜でできるものではないし、また命令でできるものでもない。しかしそれは1本の本を育て上げるのと同じ方法で培うことができる。その方法とは、豊かな土壌を与え、骨身を惜しまず世話をし、太陽と空気を十分に注ぎ、木を窒息させようとする雑草を抜き取ったりすることである。

とである。

たくさんの小さなことや大きなことが、いっしょになって班精神を作り上げている。

たとえば、君たちが共有しているもの一隊の中で他の班から君の班を区別するものがある。すなわち、班の名称、旗、記号、コール、歌、イエールなどがそれだ。

次に共につくるものがある。それは、展示会などでの班のコーナ

ー、班記録、キャンプ用具などである。

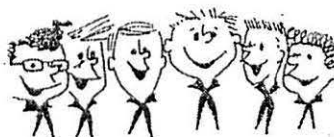
そして、何よりも重大なことだが、共にやることとがある。つまり、班集会、班ハイクやキャンプであり、さらに隊の活動に、班として参加することなどである。この章では、君たちが共有するものを取り扱うこととし、その他のものはかの章でふれることにしよう。(つづく)



班精神は君たちのキャンプファイアを囲むとき、最も高揚する

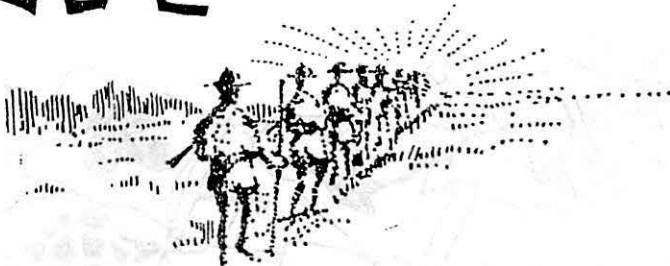
ることが価値あることであると思わせるもの、個人的な口論を押さえるもの、各人が正しいことをやろうとする気持ちを、たやすく引き出してくれるもの、雨が降ろうが日が照ろうが、結束して立つことの美しさを少年のひとりびとりに感じさせるもの、それが班精神である。

班精神が注入されると、班は強くなり、ちょっとやそっとではくずれなくなる。これなしには、班は単なる少年たちの寄り合いに過ぎず、いつなんどきバラバラにならないともかぎらない。



# 班長のてびき

～ 3 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## II 班の精神 (つづき)

### 班の名称

今かりに、新しい班長のもとに新しい班が、ちょうど作られたものと考えてみよう。普通、次に何をやるだろうか。最初の集会で、班員たちはボーイスカウトポケットブックを出して、自分たちの班の名前をつけるために、班名のリストをのぞくことだろう。どんなものを選ぶだろうか。普通

はおそらく簡単に「よさそうな。または「ひびきのよい。名前を選びたがる。

「フライングイーグル(空飛ぶわし)ノうん、それだ。それがいい」といったぐあいである。ここでちょっと考えてみよう。このように無造作に選んだ名前が、班にとって意義のあるものだろうか？

君の疑問は正しい。そう、あまり意義はないのだ。皆がもっと道理にかなった方法で、名前を選ぶようにすべきである。班名は重要なものだ。念には念を入れて決めなければならない。だから新しい班を発足させるなら、班のスカウト一人ひとりにとって、ほんとうに意義のある名前をまちがいに選ぶように、たっぷり時間をかけ、熟慮に熟慮を重ねるべきである。

もしまた、すでに名の売れた古い班を君が引き継ぐときにはその班名に恥じないように努力しなければならない。



君の班を、その名にふさわしいよい班にするように努力しよう



試みに、君の班員たちはみんな、水泳が大好きで、水中でも平気の平左というカップぞろいだとして。この場合君の班にふさわしい名前は何だろうか。もちろん「かわうそ」か「オットセイ」か、それに班たものだろう。同じように、「パンサー（ひょう）班」なら、班員はみんな忍び寄りの達人ばかりということになるだろうし、「ビーバー班」なら、開拓の名人ぞろいということになるだろうし、「バッファロー班」なら、村から村へと果てしなく流浪の旅を続ける者たちの集まりということになるだろう。

今また君が、前からある「かわうそ班」か「ビーバー班」の新しい班長になったとして。この場合は、すでに築き上げられているこれらの班の伝統にそむかないように、努力しなければならない。

#### 班名の選び方

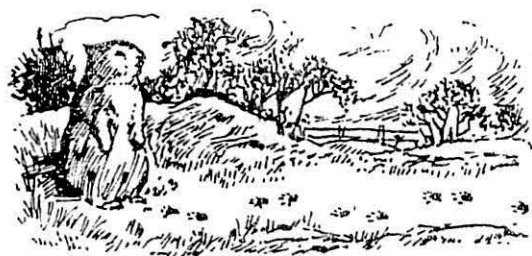
「あせるな」これがそのものズバリの班名を選ぶ場合のてきめんにくく助言である。決める前にじっくり時間をかけることだ。そうすれば名前は必ず浮かんでくる。こうして浮かんできた名前、

それこそさがしがし求めていた名前なのだ。

ある班の例を一つ。

班員たちは、約1か月もの間よい名前を選びあぐねていた。なかなかよい名前がみつからなかった。ある日、彼らは班の最初のハイキングに出かけた。森の中を進んで行くと、地面の上に動物の新しい足跡がたくさんついている所へ来た。草の葉はひっくり返されており、それについている血こんは、2ひきの動物がそこで格闘したことを物語っていた。そこで皆は、動物の追跡を始めた。足跡を調べ、地面に落ちている動物の毛から、格闘した動物はきつねといたちであると判断した。きつねが血だらけの獲物を引きずって行った跡を発見した。スカウトたちは、足音をしのばせて跡をつけ始めた。突然すぐ近くから、きつねの鋭いうなり声が聞こえた。さらに用心して進むと、ついにきつねのすみかを発見し、すぐそばまで近寄って、親きつねが見張っている中を、子きつねたちが、獲物を食べているところを見ることができた。このできごとから、その班は班名を「はえるきつね班」とつけたのである。

この名前を聞いた時に、班員一人ひとりが、初



自然を観察しなさい。野生の動物から名前を拾うことができる

めて忍び寄りを首尾よくやってのけたことを思い出すであろうことは、君にも十分想像できるはずだ。

もう一つの班の場合、その名前の由来は実におもしろい。班員たちは皆、開拓作業（パイオニアリング）に興味を持っていた。そこで初めてのころのハイキングで、狭い川に橋をかけた。その橋はなかなかりっぱに見えた。しかし班長は、通過のテストをすることを主張した。

班員全部が橋を渡りはじめた。ところが橋が持ちこたえたのは5秒そこそこ、見る間にボキリと折れて、7人のスカウトもろとも川に落下してしまった。幸いなことに川は浅く、スカウトたちはひざまで水につかただけだった。

しかし、このできごとから、思いがけない拾い物として「ずぶぬれのパイオニア」という班名をちょうだいしたのである。外部のものにとってはこの名前はつまらないかもしれないが、その班員にとっては大いに意味があるのだ。

#### 動物と鳥の名前

ボーイスカウトの班には、動物や鳥の名前をつけている班が多い。このような名前には、何かしら戸外のにおいがする。さらにそれは、独得ななき声

が、その名にちなんでつけられるという利点がある。

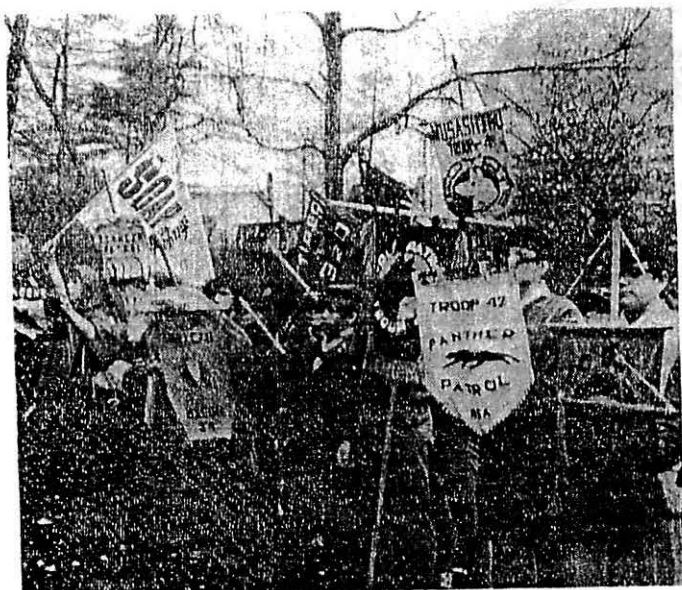
こうして名前をつける前に、次のような角度から考える必要がある。

君の住んでいる地方を代表するような動物や鳥は何か？

君の班の中でやりたいもの、またはその中でもほしいものをいちばんよく表わす動物や鳥は何か？

アメリカのスカウトのある班は「ムースパトロール」と名付けている。というのは、原野でムース（大じか）を追跡したとき、ムースが、彼らの班が目標としている、りっぱな体格と体力を持ったたくましい動物だったことが、強く彼らに印象づけられたからだ。山岳地帯に住んでいるスカウトの班にとっては「はねるかもしか班」という名前がぴったりするだろう。

名前を選んだら、それに何かしら独特な響きを持たせるようにすることだ。まだ単に「イーグル班」とか「おおかみ班」とかいうかわりに「空かける大わし」とか「さまようおおかみ」というふうにするのである。



日米友情キャンプのひとつま（50. 5 山中野営場）

### 自然からとったその他の名前

動物や鳥のほかに、自然からとった名前はまだまだたくさんある。その中から好きな名前を選び出すことができる。

は虫類の名をとった班もある。

樹木の名をつけたものも多い。

星座や星の名にも、きっと興味があると思う。

### 歴史や伝説からの名前

郷土や国の歴史や伝説からもまた、よい班名を拾うことができる。アメリカでは「パイオニア」とか「レンジャー」あるいは「バイキング」などの名前の班も多い。

また、歴史上の個人名をつけたり、部族の名を用いてもよいかもしれない。

### 班別章

班の名前が決まったら、次は班のマークを決めなければならない。そしてそれを班旗やユニフォームにつける班別章にしたり、班ルームをかざったり、班の備品にしるしとしてつけたり、あるいは



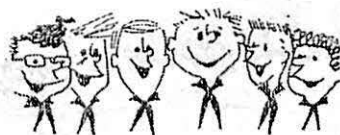
フライングイーグル



1本松



ふくろう



は班の特別なサインとして用いるのである。

班員たちは、制服の右そで、肩の縫目から5 cm下の位置に班別章の上の縁がくるようにきちんと縫いつけて、その所属班を表わす。

班別章は、通常は黒色の直径5 cmの布製で、その上に班の象徴である動物などのシルエットが赤色でしゅうしてある。全国各地にある需品部には、いろいろの種類のデザインの班別章が用意してある。また、特別なものも注文して作ることができる。

もし君が、非常に特別な班名と象徴を選んだときは、何もしゅうしてない班別章のベースだけを購入して、自分たちの手で班別章を作ることもしよいと思う。

これをするには、ステンシル(型板)を切る必要がある。まず班を表わす動物、植物などの絵を手に入れる。それは簡単な影絵の輪かく図で、班別章の黒い縁の内側におさまる大きさでなければならない。

そのデザインを、薄いボール紙(厚紙)に移して、よく切れるナイフでその輪かくを切りぬく。これでステンシルができ上がったわけだ。この型板を、先に用意した班別章のベースの上に置く。そして毛の短い固いブラシ(はけ)に、少量の赤ペンキをつけて、型板の切り抜き部分に、ブラシを上下に動かして一様にペンキを塗る。そして塗り上がった班別章をよく乾かしたのち、制服のそでに縫いつける。つける場所をまちがえないように。正しい位置は、右肩の縫目の5 cm下である。

### 班旗

班そのものを示す旗、それが班旗だ。班がどこへ行くにしてもそれに従うこの旗なしには、ほん



とうのスカウトの班を想像することはできない。

もし君が古い班を引き継いだのだったら、班旗はすでに用意されていることだろう。それを用心して扱うようにする。班の多くの伝統はその班旗に結びついている。もし新しい班ができたのなら急いで旗を入手することだ。

まず一つの方法として、需品部を通して入手できるものから選んで購入することもできる。しかしいずれは、君自身の班旗を作りたくなるものだ。その時こそ君たちがこぞって、これだと思ふ旗を思いきって作れるわけである。

デザインを選ぶためには、班で「美術コンテスト」をやるのもよい。班員を何名ずつかに区分し、各グループに概略のスケッチを描かせる。そのスケッチを皆に公開し、投票でいちばんよいものを決める。そして何でも自分の好きな生地で作ってもらうことである。丈夫で雨にも日にもあせない色の生地を使うとよい。グリーンはよい。明るいカーキ色もまたよい。

班旗を作ることは、班全体の仕事であって、ひとりでやることからはではない。ひとりの班員に最終のデザインをさせ、もうひとりに生地を入手させ、それにデザインを移させ、さらにもうひとりに色を塗らせる。ひとり旗ざおにする木を用意させ、だれかほかの者がそれに彫刻し、さらに他の者がさおの先につけるものを入手する。

旗が完成しても、班が行く所にはどこにでも班旗がついて行かない限り、真の班の旗にはならな



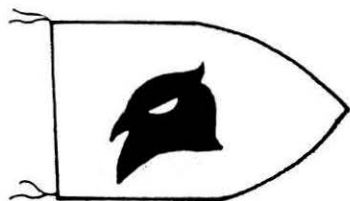
班は旗とともに  
旗は班とともに

いということを忘れてはならない。日付と地名を旗ざおに刻みつけるのは、班が訪れた場所を示すだけでなく、旗自身が「僕もいっしょだったよ！」といえるためである。そして、君自身が気付かないうちに、班員たちは、本能的に彼らの象徴である班旗がいっしょでないと、何かしら物たりなく感じるようになる。

旗が班の伝統の象徴らしくなってくるにつれてその旗に対してできることがいくつかある。

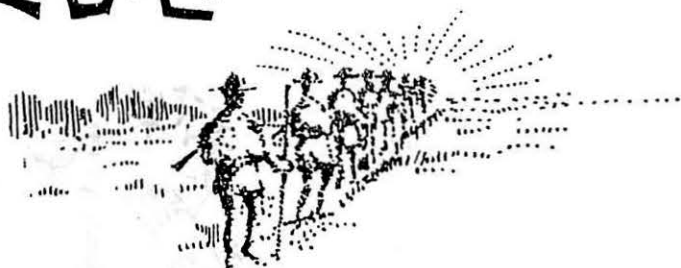
もしある班員が、きわ立った働きをしたら、その班員の頭文字を旗に記入してもよい。ちがう色のリボンをつけて、班が実行した重要なハイクやキャンプを表わすこともできる。1級スカウトになったメンバーは、旗ざおに名前を彫り込む特権を持つ……など、できることは限りなくある。ただ一つの法則があるだけだ。それは、旗や旗ざおに何を記入しようと、それが班全体にとって、何かはっきりした一つの意義を示すものであるということである。

(つづく)



# 班長のてびき

～ 4 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

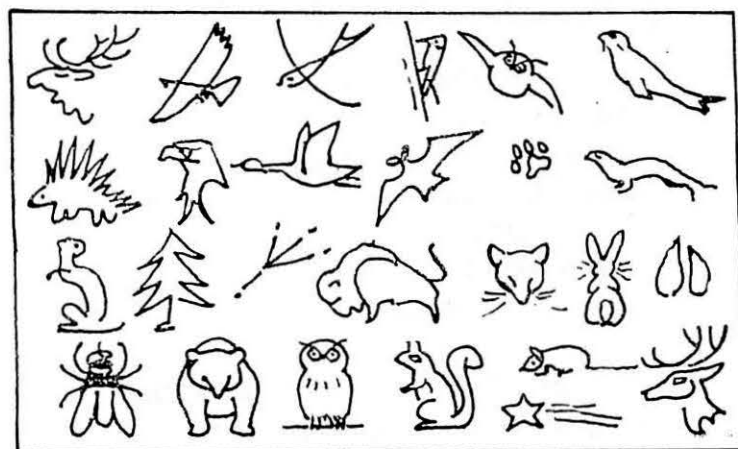
## Ⅱ 班の精神 (つづき)

### 班の記号

班のサインである。これをいろいろなところに使用することも、スカウトたちに班員としての名譽感を与え、班精神の高揚を助けることになる。このサインは、2, 3の簡単な線で描いた、班のマークである。

下の図に示した小さなスケッチは、たぶん参考となると思う。君の班のサインもこの中にあるかもしれない。なかったら、少なくともこれらを参考に、君自身の班記号を作ることができるだろう。

班記号は、班の備品全部に入れなさい。それから班員たちの私物にもその記号を入れさせ、かれらが班員などに出す手紙や、何かにサインするときに、



きにも、自分の名前の次にこの記号を描かせるようにするとよい。追跡記号にこのマークをつけておけば、他の班がつけたものと間違えるような心配もなくなる。

### 班の呼び声—班呼—

スカウトの班は、どの班も独特の呼び声を持っている。もし、君の班がけものか鳥の名前をつけたら、君の班の呼び声「班呼」は、

班員たちに、簡単な線で班の象徴を描く方法を教えなさい

当然のことながら、そのけものか鳥の鳴き声である。

もし、君が何かほかの種類の班名をつけたら、その動物や鳥の呼び声を選ぶ必要がある。インディアンは、普通このような種類の呼び声を持ち、多くの探検家もまたそれを用いる。

班呼は、班長が班員を、呼び集めるために用いる。その他に班員が自分がどこにいるかを、同じ班の班員だけに知らせるのに用いる。

たとえば、もし君がふくろう班の班員なら、君はふくろうの鳴き声を本物のようにする。普通の人は、本物のふくろうが鳴いていると思うだろうが、班員たちは、その鳴き声を班呼であると認めて、君のいどころを知ることができるのである。

だれかけものや鳥の鳴き声のまねのじょうずな班員に、その鳴き声を班員全部に教えさせる。くまや野牛のうなり声、わしやたかのするどい鳴き声、わにの尾が水をたたき音、きつつきの音、そのほか何でもよい。

少年が新しく班に参加したら、できるだけ早く、この班呼を習わせる。

スカウトは、自分自身の班呼だけを用い、どんな目的のためであっても、他の班の呼び声を用いないということは、スカウト活動における鉄則であることを忘れてはならない。

### 班の叫び声と歌

君は、大学のラグビーかフットボールの試合を見たことがあるだろうか。もし見たことがあるなら、万雷のような叫び声をあげて、大学生たちがそのチームの応援をしていたのを覚えていることと思う。

その声援（エールまたはチャア）が選手たちに



どんな影響を与えたかを君は見ただろうか。母校のために最善を尽くして戦おうという気分にかりたてたのである。

同じような叫び声が、スカウトの班の場合にもその役目を果たす。よいエールはみんなを活気づけ、チームの精神を高揚する。だから君の班のエールを決めて、班員たちが十分に熟練するまで練習する。この「エール、や」「チャア、」については、後のほうの章で参考になることを述べる。

班の歌もまた、班の精神を高揚させるのに大いに役立つ。いつかは、班全員が喜んで歌う曲に必ずぶつかるはずである。その曲を君の班の歌にして、班に合うように歌詞だけを書きかえるとよい。班員の中には、作詞のできる者もいるかもしれない。もしなければ、だれかに頼んで作ってもらうことである。君たちの先生や、お父さんやお兄さんたちあるいは地域の知名人などに頼むのもよい。頼むのを恐れてはならない。頼み方さえ間違わなければ、人々は喜んで協力してくれるに違いない。

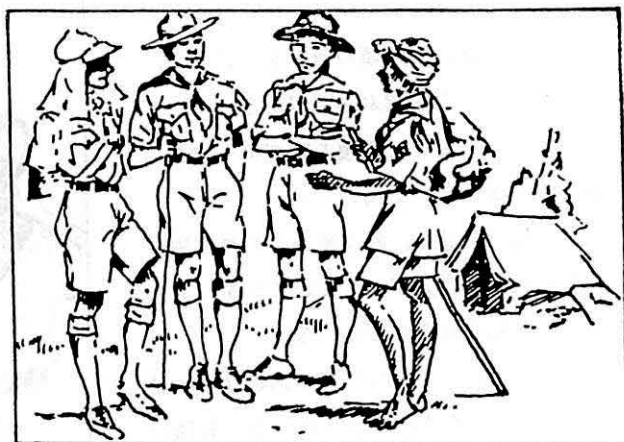
そして、歌ができたなら班員たちに教え、あらゆる機会をとらえて歌うことである。



# ユニフォーム

世界で1,000万以上の少年たちが見なれた制服を着ている。ことばや習慣は違っても、彼らはお互いに兄弟と考えている。

この制服は、他のすべてのスカウトたちにとって大切であると同じように、君の班の少年たちにとっても大切である。少年たちが班に参加したらできるだけ早く、ボーイスカウトの制服を買うように少年たちに勧めるのも、君の役目だ。

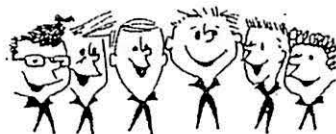


君の制服に誇りを持って、全世界の兄弟スカウトがそうであるように

良いスカウトになるには、スカウトの制服を着ることが絶対的な条件ではないことは、みんな知っている。制服を着けても着けなくても、スカウトとして活動し、スカウトの姿を失ってはならない。スカウトの上着を着たり脱いだりすると同時にスカウト活動の精神を着たり脱いだりすることはできない。

君たちが平服を着てハイキングに出た場合でも、ちょうどスカウトの制服を着ているのと同じように楽しめるし、いろいろと活動することもできる。しかし、スカウトの制服「ユニフォーム」を着ることは、よりよくみんなを団結させ、よりよいチーム作りができるということが、わかることと思う。

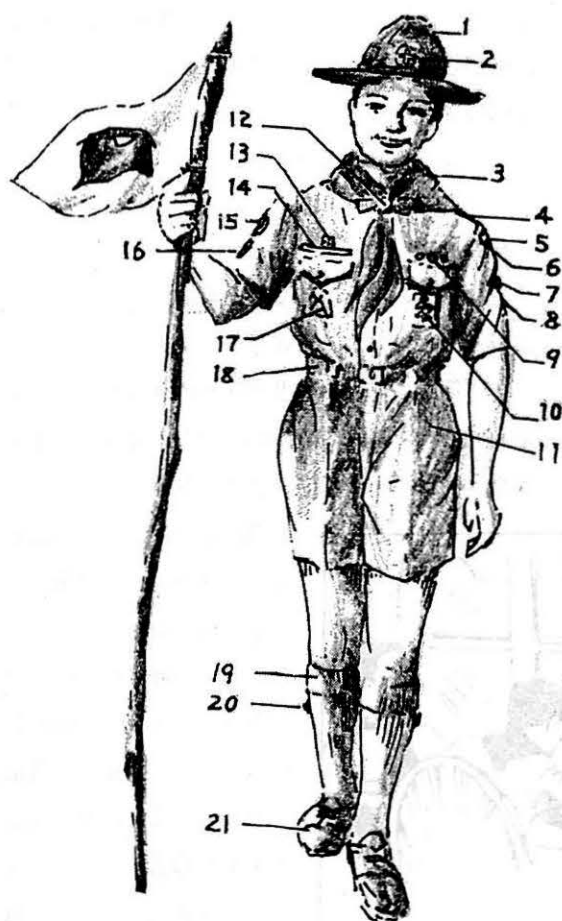
われわれが「ユニフォーム」というのは、ユニ（ひとつの）フォーム（形）という意味であり、



さらに詳しくいえば「同じ外観」ということである。班に参加する少年たちが、みんな同じものを入手できるように、どういうものが君の隊の正式のユニフォームなのか、たとえば上着は長そでか半そでか、帽子はハットなのかベレーなのか、その色は、などをはっきりと少年たちに知らせなければならない。

少年たちがユニフォームを入手したら、こんどはそれを着せることである。班や隊のあらゆる集会、ハイキング、キャンピングなどに、君自身がユニフォームを、着る決心をし、班員たちみんなが、正しいユニフォームを正しく着るように注意する。

君がこれを守るなら、隊の集会で君の班員がユニフォーム姿で整列しているのを見るときに君の誇りは、まことに大きなものだろう。スカウトたちもまた、隊の中で、いちばんきちんとしている班に所属することの誇りを感じ、ユニフォームを正しく着け、手入れするように努力することだろう。



1. 正帽（スカウトハット、前後左右にくぼみをつける）
2. 帽章（ボーイスカウトは金色、シニアは銀色）
3. ネッカチーフ（隊の色）
4. 上着（長そでか半そでかは隊で定める）
5. 所在地名章（左肩の中央部、縫い目に接して）
6. 県名章（所在地名章に接して）
7. 団号章（肩の縫際から5cm）
8. 班長章上級班長章、次長章、隊付章、肩の縫際から11cm）
9. 年功章（左ポケットの上部に内側から順に、台座の色はカブは黄色、BSは緑色、SSは紺色）
10. 進歩記章（左胸ポケットの中央）
11. ズボン（カーキ色半ズボン、ただし隊の判断で長ズボンも着用できる）
12. ネッカチーフスライド
13. 世界スカウト記章（右胸連盟員章に接してその中央部）
14. 連盟員章（制服には縫い付けてある）
15. 班別章（右肩縫際から5cm下）
16. 技能章（班別章の下につける。7個以上になると技能章タスキにつけて、これを右肩から左わきにかけることができる）
17. 臨時標章（参加章、記念章など、1年間着用できる）
18. ベルト（布、革、スカウト用バックル付）
19. 靴下（カーキ色ストッキング）
20. 靴下止めの房（BSは緑色、SSは濃紺）
21. 靴（短靴、茶色系がよい）

### 物事に生命を吹き込む

正しい班名、きれいな班旗、正しい制服は、それぞれ班精神を築き上げる助けとなる。しかし、なんといっても、これらは単なる物に過ぎない。その価値は、君が、その中に吹き込む生命によって決まる。

班旗は、班ルームの片隅にほうり投げて置くものであれば、何の意味もない。ユニフォームも、ただ着るだけのためのものであるならば、これまた何の意味もなくなる。このことは、今まで述べてきたあらゆることに当てはまる。生命なしには

それらのものは意味がない。班旗は、それがあらゆるハイキングに持って行かれる時、キャンプしている脇に立てられる時、班が征服した断崖の上から打ち振られる時に意味を持つのである。

制服は、みんながそれを着ていっしょに何かをやる時に意味を持つ。班のエールは、キャンポリーなどでメンバーを励ます時、班の歌は20kmハイキングの最初の何kmかをがんばり抜くために歌われる時、それぞれ意味を持ってくる。

班員たちは、自分の班を世界一と考え、班の名誉と、その旗の名誉のためにがんばるだろう。君

は班長として大きな責任を持っている。君のリーダーシップが班集会やハイキング、キャンピングに生命を吹き込み、君の熱意が班精神を培うことだろう。

### Ⅲ 班と隊

スカウトの隊には、必ず班が存在する。しかし班自体のために存在する班というものはない。ひとつの単位としての生命のほか、各班は、隊という大きな生命の中で、それぞれの役割を果たしている。隊は班を加え合わせたものなのだ。

一つの鎖の強さというものは、その鎖を形づく



っている輪の、いちばん弱い輪の強さである。一つの隊の強さも、その中のいちばん弱い班の強さに過ぎない。だから君の班は、班員が真の隊精神と、隊が取り組む何事にでも、隊がよい成績をあげるのを助ける熱心さと、隊の理想への献身そして隊の指導者たちに対する忠実さを合わせ持たない限り、決してほんとうの班精神を持つことはできない。このような精神をほんとうのものにする事がらが二つある。

1. 隊の指導に君自身が心から力を尽くすこと
2. 隊の活動に君の班が熱心に参加すること

この二つである。第1の事がらは、君が班長会議のメンバーであることによって実現でき、第2の事がらは、隊集会やハイキング、キャンピングを成功させるために、君の班の役割を十分尽くすことによって実現できる。

#### 班長会議

君は、君の班を引き受けた瞬間、一役ではなく二役を引き受けたことになる。

まず第1に君の班のリーダーになるわけであるが、同時に君は、君の隊のリーダーとなって隊を運営する仕事を分担することになる。

班長章には、班長会議またはグリーンバー会議——記章が緑色の線であるところからそう呼ばれている——のメンバーという特権がついている。君はこの会議で普通月に1回は他の班長たちや指導者と会って、隊の活動を計画し、隊の問題を討議し解決する。この会

議で君は、君の班の希望を述べ、班が現在やっていることや、これからやろうとすることなどを説明する機会を持つことができる。またここで、君の班の運営や班員たちの訓練について、指導や助言を得ることができる。またこの会議で君は、君の班を最善の班に作り上げるインスピレーションを得ることができる。

さらに君はここで、隊の活動に積極的に参加するよい班を運営することによって、隊全体をよくするのに力を尽くしていることを発見することだろう。(つづく)

# 班長のでびき

～ 5 ～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅲ 班と隊 (つづき)

### ☆班長会議の構成

班長会議では何をやるのだろうか、まず調べてみよう。新しく班長になったばかりの者といっしょに、初めての会合に行くものと仮定しよう。

出席者はだれだろう。

班長全部と上級班長がそこにいる。隊長は助言者として、また隊のあらゆることとがらに対する指導者として出席している。副長や副長補も、計画に参加するために出席しているかもしれない。隊付はその分担の役割を果たすために出席している。準備は整った。いよいよ会議の始まりだ。

### ☆開会～議事

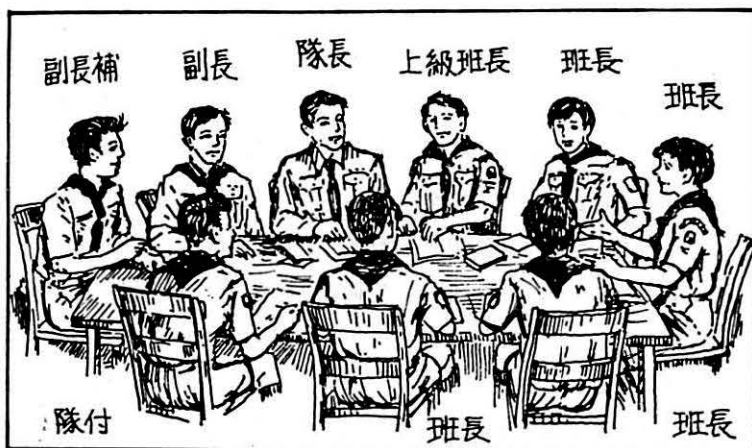
上級班長が座長である。上級班長が欠員、または不在のとき

は、前任班長が座長をつとめる。座長は、会の秩序を保ち、出欠をとる。書記(隊付)が前回の会の議事録を読み上げる。それは短く事務的に、しかも要領よく行われる。

だれかが、議事録をそのまま承認したいと動議を出す。

「賛成の人は、ハイとってください」

「ハイ」と言う声、これで承認である。



班長会議は、よいスカウティングのかぎである

みんなを見回して上級班長が「未処理の仕事はありませんか」と尋ねる。もちろん未処理の問題がある。副長補が、隊の次回のハイキングで、自然についての専門家がいっしょに来てくれることになったことを発表する。また、ほかの誰かが、福祉施設のための書籍や雑誌の収集活動について報告する。

リーダーたちが、次々に前回の会合で自分たちに割り当てられた仕事についての報告をする。

#### ☆つぎの月の計画を立てる

「よし、それではこれからの計画をながめてみよう。皆も知っているように、われわれが年次計画として立てた長期計画によると、来月は探検ということになっている。それについて君たちの考えを聞きたい」上級班長が第1の議題についてみんなに意見をきく。しばらく討議を重ねた後、全会一致で目的地が決定された。

「しかし、ただ行って帰るだけではつまらないから、田舎を横切って行くことにしよう」「そうだそうだ。何でもかんでも突破して行こう」「だけど君たち、それはちょっとむずかしいのではないか。それにはコンパスも地図もいるし、徹底した訓練が必要だ」「ますます、いいではないですか」討議はまだ続く。

このような大きな行事には、十分な計画と、多くの訓練が必要である。徐々にプログラムの形を整えていく。コンパス使用法の実演、地形図の研究、屋内外のゲーム、ハイキング備品の購入、ハイキングの献立の決定、食料リストの作成などがこの会議で行われる。

この大きな行事がすべり出すまでには、隊や班の集会で実に多くのことをやらなければならない

い。いっしょに来た新しい班長は、たくさんのノートをとる。彼の班員たちを興ふんさせるものがここにある。班の活気を持続できる、いろいろな活動がここにあるのだ。

「これら隊にかかわる事がらが、班長会議で検討される」のである。

#### ☆なされるべき決定

「何か新しい事項はありませんか」隊の活動方針の問題が出てくる。

教会の音楽会の手助けをしてほしいという要請があった。「だれか希望者はいませんか」「ほとんどの班の者の大部分がその教会に行くから、われわれがやります」と班長のひとりが申し出る。

「救急法の講習会が近く始まるという通知があったが、それを受けたい班がありますか」もちろん全部の班が受講を希望する。

そのほか決定を要する問題が提出され、処理され、あるいは研究や処理のためにだれかに割り当てられる。こうして新しい班長はあらゆることに耳を傾け、多くを学ぶ。

#### ☆隊長の報告

それから新しい班長にとって、会議のうちでいちばん重要な事がらがやってくる。班長が一人ひとり立って、前の会議から今日までに、自分の班が何をしたか、どういう会合をしたか、どんな奉仕作業をやったか、どの班員が進級したかなどについて報告する。そのほか自分の班のメンバーたちの進歩を示すあらゆることについて報告する。

新しい班長は、この報告を聞いて心をおどらせる。ほかの班はずいぶんいろんなことをやるものだ。何とすばらしい班長たちだろう。自分もいつ



かあのようにになりたいものだ。自分の番が回ってきても、新しい班長はあまり言うことがない。班長としての仕事が始まったばかりだからである。恥ずかしそうに自分の最初の班集会について報告をする。自分の班員たちは、必要なスカウトの規定を知っていること、ロープの結び方をいくつか知っていること、あと1か月で初級スカウトに進みたいとねがっている者がいることなどである。



積極的な班の班長は報告事項をたくさん持っている

「出だしはなかなかいい。もし助けがいらないいつでもそう言いなさい」と上級班長がいう。「副長補のおかげで、ぼくたちはうまくやっています。副長補はとてもよくぼくたちを助けてくれました」副長補は隊長から、まさにこの仕事をするように指示されているのである。これがこの隊のやり方である。つまり、いつもだれかが班長を助けるために任命されているのである。

大きな成功と見なければならぬ。われわれの新しい班は、なかなかうまくやっているようだ。その調子で進んでほしい。

次の会合にも、みんな、必ず制服を着て出席するようにしよう。今夜はこのくらいで話を終わろう」

「会の後でちょっとお時間をいただけますか。ある班員に手こずっているのですが、ぼくのやり方がよいか悪いか迷っているものですから……」と班長のひとりが申し出る。

「いいとも。ただし処方せんを書く約束はしないよ。それは君の仕事だからね。できるなら、いっしょに君の問題の診断をしてあげよう」と隊長はいう。

「すばらしい人だ。ぼくたちに仕事をさせる。自分がボスであるということをぼくたちに感じさせない。彼はみんなを助ける。ぼくたちみんなの友だちだ。ぼくも班員たちに対して、あ

#### ☆隊長の話

隊長が立ち上がる。「さてみんな。われわれは正しい道を進んでいると思う。もし諸君の計画したプログラムの結果が、予想の半分でもできたら



あでなければならない」新しい班長は、あらゆる問題への回答、すなわち「ただ、みんなの友だちでなければならない」ということにめぐり合わせたのである。

#### ☆隊の活動における班

すでに見てきたように、隊の活動——班がみんないっしょになってやるのだが——は、君もまたその正式メンバーである班長会議で決定される。そこできめられた計画や考えを班員に伝えて、みんなの協力を求めるのは、君の責任である。その計画は、隊集会であったり、ハイキングやキャンプであったりする。また隊全体の中でよい成績をあげようとするなら、班員の特別の訓練を必要とするような、特別な行事であることもある。その計画はみんながそれをりっぱにやり遂げることを要求し、さらに各班での進級が、確実に行われることを期待している。

#### ☆隊集会に参加すること

ある隊では、隊員全体が参加して、1か月に1回集会をもつ。また、月に2回集会をもつ班もある。さらに班が全部いっしょになるときに、1週

間に1晩集会をもつ班もある。君の班でどんなスケジュールを持つにしろ、班員が全員出席するようにするのは、君の義務である。ただ出席するだけでなく、時間に遅れることなく、しかも制服を着て出席させるのである。隊全体が、いちばんよい成績をあげることに誇りを持つことだろう。

きびきび動作をし、服装をきちんとし、礼儀正しくふるまうように、君の班員たちを励ましなさい。

合図があったら、第1番に待機の姿勢をとり、ゲームや計画が発表されたら、第1番に行動を起こしなさい。集会でのある活動が、前もって班員を訓練しておく必要があるものであるなら、隊集会の直前の班集会のときにでも、班員全部が、その活動のために訓練を受けるようにしなさい。もし君が何かの実演かゲームをすることに同意してあるのなら、順番がきたら時を移さずにすぐやるように、あらゆる準備を整えておきなさい。君の班を、あらゆる行事に参加できる態勢におくことによって、君は君の隊長が当然に期待する標準に近づくことだろう。

#### ☆隊のハイキング

隊のハイキングがスケジュールに組まれたら、全班員に、決められた時間に正しく制服を着けさせ、ハイキングを成功させるために必要なあらゆるもの、つまり食糧、炊事用具、コンパス、地図その他を持って集合させる。

「しまった／＼忘れた／＼」または「覚えつかなかった」などという叫び声を聞かないようにしなければならない。いつも物を忘れる班員は訓練がたりな





い班員である。ハイキングから、君の班が最大の効果を得るように努力しなさい。

ハイキングでのあらゆる活動は、班長会議で、班員たちがよりよいスカウトになるのを助けるという特別な目的をもって、注意深く計画される。この目的は、班員各自が何をするにしても、一所懸命にやらなければ達せられない。このことは、厳格なしつけを受けること、言いつけを注意深く聞くこと、命令には直ちに服し、敏速な行動をとることを意味する。

途中では、班として固まって歩くことはごく自然なことだが、あまり党派的になることは避け

なければならない。そうすることが自然であるときには、つとめて他の班ともいっしょになりなさい。ハイキング中に、他の班長やその班員たちと、考えを述べ合って友情を深めることが多い。

リーダーであることは、ほんとうに「ギブ・

アンド・テーク」することである。君の隊長から目を離さないで、君が隊のためにできる何か特別なことはないかどうかを、いつも注意していなさい。

君自身の班員たちに対してばかりでなく、ハイキングをスムーズにしかも効果的に運ぶために、君自身ができる事がらに対しても責任をもつことだ。このことは、班長ばかりでなく、隊指導者としての仕事の一部である。君の隊長は、いつでも彼の「グリーンバー」を、自分の片腕として頼ることができるようでなければならない。

(つづく)

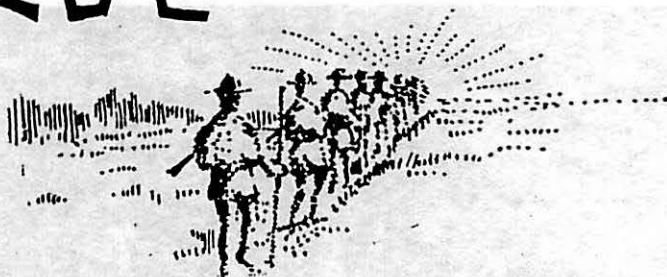
# 〔JARL 地方事務局〕

事務局	住 所	電話番号
関東地方事務局	東京都豊島区巣鴨 1-14-2	03-944-0311
東海地方事務局	名古屋市中村区広小路西通 1-20 ガーデンビル 5 階	052-586-2721
関西地方事務局	大阪市天王寺区大道 3-160 赤松ビル内	06-779-1676
中国地方事務局	広島市銀山町 2-6 松本無線ビル 4 階	0822-43-1390
四国地方事務局	松山市一番町 1-11-1 明関ビル内	0899-43-3784
九州地方事務局	熊本市下通町 1-8-15 上田ビル内	0963-52-3469
東北地方事務局	仙台市大町 2-6-20 高橋ビル内	0222-27-3677
北海道地方事務局	札幌市中央区北一条西 5 丁目 日本赤十字会館内	011-251-8621
北陸地方事務局	金沢市彦三町 1-4-1 西田ビル内	0762-61-6319
信越地方事務局	長野県市町 477 富士井ビル 3 階	0262-34-7676



# 班長のてびき

～ 6 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅲ 班と隊 (つづき)

### ☆隊のキャンピング

隊集会やハイキングへの班の参加について言ったことの大部分は、そのまま、1泊キャンプであれ、夏のキャンプであれ、隊のキャンプにあてはまる。君の班が、キャンプの作業やゲームを十分に分担し、キャンプファイアのための歌や劇の準備を完了し、訓練期間を最大限に利用し、割り当てられた仕事を早く

やり遂げるようにするのは、君の責任である。隊のキャンピングで、君は当然に班員が規則を守るように指導しなければならない。

君の班員たちは、消灯の合図が鳴った

ら、第1番に就寝し、起床の合図が鳴ったら、第1番に起きなければならない。

このことは、君がもし前もって班を正しく扱って、班員たちが正しいことを正しいときにやる自己訓練をするのを助けたのであれば、君にとって何も問題はないはずである。

もしも、ほんとうの班精神がキャンプでも発揮されるとすれば、君が誇りに思うようなやり方で君の班が隊の生命にとけ込んでいくことは確実である。



どんな天候のときでも出てくるのがほんとうの班だ

班員たちは、君と全く同じように班のテントや炊事場を、点検で1番になるように清潔にし、そのスカウト技能をいちばん効果的なものにし、キャンプファイアでのだしものをど

の班よりもよくやり、そのスカウト精神をいちばん強いものにしていることを、君は発見するだろう。

#### ☆その他の隊活動

だいじなことは、あらゆる隊活動に全面的に、積極的に参加することである。もしも隊の奉仕作業計画に、社会のための善行好事が組まれるならば、それを成功させるように最善の努力を尽くしなさい。もし、隊のために拠金することになったときは、君の割当てを、いや、君の割当て以上に責任を負って果たしなさい。またもし、隊が班の競争プログラムを行うなら、それに参加して勝ちなさい。(注、日本では「班競点」と言っている)

競争といえば、スカウト技能のどの面のコンテストでも、競争が班員たちを大いに鼓舞して特別の努力をさせるのを見ることができるだろう。競争はまた、班の全員がその競争行事の準備に全身を打ち込むならば、班精神のかん養に大きな助けとなる。結局班の競技会をやるのは、隊のリーダーが、隊員たちがよりよいスカウトになるのを助けたいと希望するからである。

もしも、君が隊とのチームワークや、隊への忠誠心や協力という考えを、しっかりと君の頭と心に刻み込むならば、君の班もまた、自然に同じ考えを持つようになる。その時に君たちは、ほんとうのスカウトの班になる道を進んでいることになる。

## Ⅳ 班の組織

成功している実業家に、何のおかげで成功したかを聞いてみるとよい。自分の事業を

注意深く組織し、仕事を正しい人にやらせるということが成功の大きな原因であると、彼は答えるだろう。このことは成功している班にも当てはまることである。

よく組織されているグループは、多くのことを成し遂げ、ほかよりもずっと先に進むものである。組織ということは、結局次の3点にしばられる。

1. 班の大きさ
2. その構成員の種類
3. やるべき仕事

#### ☆班の大きさ

班の大きさはどれくらいが適当だろうか？

それは、いろいろな条件によって違う。一般的にわれわれが班について語るときは、普通8名を適当な人員としている。つまり班長、次長それにスカウト6名という構成である。しかし8名という数が必ずしも理想的だというのではない。班にとって、もっと重大なことは、ほんとうに協力的なグループであるということだ。

君の場合は6名がちょうどよい人数かもしれない。事実ほかの隊を見回すと、8名の班よりも6名の班のほうがずっとよい例を見ることもあるだろう。4名しかいないが、正しいチーム精神があるために、すばらしい仕事をする班もある。いず



れにしても8名が最大限であるべきで、それ以上になると扱いにくくなる。

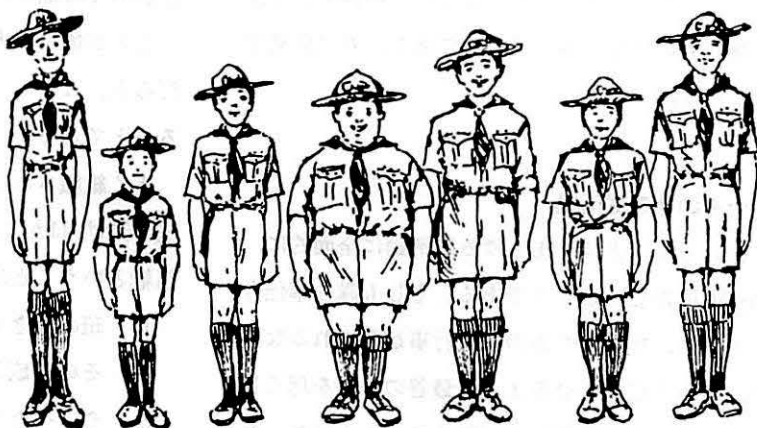
適当な人数は何人か？ 一般的に言って、もっとも理想的な数は、6人から8人の間のように思われる。6人以下になると、ゲームやいろいろな活動ではかの班といっしょにやっていくことがむずかし

くなる。また、8人以上は多過ぎる。最初は6人から始めるのがいちばんよいだろう。そしてそれ以上扱えることがわかれば、8人に増やせばよいのである。また、6人あるいは7人がちょうどよいと思うなら、その数で押し通しなさい。

時がたち、君がすばらしい班長であることを自分で証明したために、少年たちがたくさん君の班に入りたいと希望するような時が来たら、君の班員はグングン増えて、10名あるいはそれ以上にもなってしまうかもしれない。そのときは、もうひとつの班を作って、もうひとりの者に班長になるチャンスを与えることだ。



消極的な班員には、激励が必要だ



これがメンバーだ。体つきや性質こそ違おうが、みんなよいスカウトだ

### ☆班の中の少年たち

ここに少年の一群がいる。彼らはどんな種類の少年たちだろう。よい班を作るために彼らを動かしているものは何であるかを、考えてみる必要がある。どんな少年が君の班に適するかを知るために、P君の班の少年たちを調べてみよう。P君は3年近くも班長をしていたし、その期間中にあらゆる種類の少年たちを扱ったはずである。

扱いやすい少年 たとえばC君がいる。当たりさわりのない少年という部類に入る。彼の家は裕福で、そこで彼は社交の心得と他人への思いやりということを学んだ。彼はなんでも受け入れ、自分のやるべきことはさっさとやってしまう。特に野心的とは言えないが、自分から進んで物事を覚えようとする。P班長は彼を進級させ、いくつかの責任を負わせた。

A君は消極的という言葉がいちばんピッタリする少年である。自分から進んで物事はやらないがP班長の指揮には喜んでついていった。自分で考えて自分でやることをひとつも考えたことはなく何でも他人の言いなりになっていたが、それでい

てめんどうなことも起きなかった。

P 班長は、いつも注意していて彼のあと押しをした。ごくまれに A 君は自分の考えで口を開くこともあったが、そんなとき P 班長は、すぐさま助け船を出して A 君に発言させるようにした。

B 君は賢いという言葉以外には、形容のしようのない少年だった。彼は隊きっての分析家でありあらゆるできごとに極めて鋭い批評眼をもっていた。ある点でどうして班が失敗したか、何をすべきであったかを確実に知っていた。そこで P 班長はどうしただろう？すなわち、B 君に次長という地位を与えて、彼の賢明さを善用したのである。

**比較的扱いにくい少年** R 君はなまけぐせのある少年だった。心根はよく、班員にめいわくをかけるような少年ではなかったが、ただ、やるべきことをなかなかやらなかっただけであった。P 班長にとって R 君の目をさますことが第一の仕事だった。とうとう班のある仕事に興味を覚えさせることに成功したが、くり返しくり返しめんどうをみなければならなかった。P 班長が R 君の忠誠心に訴えたとき、大きな効果があらわれた。彼のだらしないやり方が班の不名誉となり、そのために隊での競点で、班がよい成績をあげることができないでいるのを、彼に知らせたのだ。

そのことが、少しの間ではあったが彼をまともにした。R 君が再びだらしなくなりはじめると、すぐに P 班長が R 君を追いたてて仕事をやらせた。

G 君は典型的ないたずら者だった。しかし悪意は全然なく、元気がありすぎて走り回っているような少年だっ

た。だれにでもいたずらをしないではいられず、自分もめんどうなことにぶつかり、また班にもめいわくをかけた。

P 班長は、やろうと思えば G 君を押さえつけることもできたのだが、それをやらなかった。その代りに G 君の知恵を、班の作業や班の活動計画を考え出すことに使わせることによって、彼を班にとってはなくてはならない存在にしたのである。自分に負わされた責任が彼をまともにし、彼をいたずらから遠ざけ、彼の活躍は班精神を高めるのに大いに役立った。

**非常に扱いにくい少年** 以上は P 班長にとって取り扱いがそれほど困難な少年たちではなかった。しかしながら、どの班でもそうであるが、彼の班にも、2、3人ほんとうに扱いにくい班員がいた。

そのひとりとは J 君で、彼は典型的な気むずかしやだった。彼はいつも物事の暗い面ばかりを見る興ざましやであった。

「日曜日にハイキングしたって何になるんだい。どうせ雨が降るにきまっているんだから」と



うんと楽しいことを計画すること。そうすれば気むずかし屋も気むずかしいことをいう必要がなくなる

か、「なんであんな料理コンテストに参加するんだい。負けるにきまつてるじゃないか」などというのが彼の口ぐせだった。だれかが何かをやろうと提案すると、J君はいつでもそれをオジャンにする理由をいくらでも発見できたし、たとえひと夏中かかってもやらないように議論しそうであった。

要するに彼はみんなの手に負えない存在であった。その彼をP班長は適当に扱った。つまりあっさりとは無視したのである。J君は、だれも自分に注意を払っていないことを知ったときに他人に従いはじめ、われにもなくみんなといっしょに楽しむことさえおぼえた。

D君は、いわゆる「賢い」少年で、自分の才能を見せびらかし、何ごとについても皮肉たっぷりなことを言っていた。機会あるごとにP班長をひっかけようと努力していたが、P班長はその手に乗らなかった。D君は何でも知っていた。少なくとも自分では知っていると考えていた。だれが何をやってもそれはマズく、自分自身で一方的に自分のほうがずっと上手にできると考えた。

P班長はゆっくり時を待った。いわゆる「かしい」少年を正すには、いちど徹底的に毒気を抜くのがよいことを彼は知っていた。その機会は隊

の夏期キャンプのときにやってきた。例によってD君は、何をすべきかについて長広舌をふるっていた。

火のたき方の実習になったとき、P班長は整列している班員たちの前でD君に向かい、「君、出てきて火のたき方をみんなに見せたまえ」といった。大失敗をして、彼は割れた風船みたいになかったで戻ってきた。これが彼の欠点を大いに直すこととなった。彼にもたくさんよい素質があったのであり、それを表面に引き出してやりさえすればよかったのである。

P班長が扱いにいちばん困難を感じたのは、弱い者いじめの少年だった。W君は典型的な弱い者いじめで、自分より小さい者にとっては、ホラ吹きで暴君だった。P班長は賢明にふるまった。W君が自慢する力は、彼があると思い込んでいるだけで、実際にはないものであることを知っていた。P班長はW君が2人の初級スカウトをつかまえていぼっている現場を見つけ、すぐさま2人に2級課目を教える仕事をW君に与えた。W君は、突然自分が今までいじめてきた班員たちの保護者になったことを知った。

彼がゆっくりと変わって行く姿を見るのは、興味深いことだった。彼は班の中でも、いちばん働

く班員のひとりになったのである。

P班長が扱わなければならない少年たち、これが全部ではないが、これで君が直面しなければならない問題について十分わかったと思う。

(つづく)





# 班長のてびき

～ 7 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## VI 班の組織 (つづき)

——君の班員をどう扱えばよいか

さて、P班長が彼の班員たちをどういうふうに扱ったかをふり返ってみれば、彼は、君の班でも適用できるような簡単な2、3のルールに従ったまでであるということがわかるだろう。

すなわち、つぎの3点である。

1. 班員たちに対して、しんぼう強く、また理解を示すこと。
2. 班員たちが興味を感じる仕事に、いつも従事させておくこと。
3. 班のために特定のことをやらせる責任を負わせること。

しんぼう強くあれ 班の仕事をしながら、いらんすることが何度もあることだろう。君が思うように物ごとが早く進まない。物ごとがうまくい

っていない。こんなことが何回かあるだろう。

しかし、無理押ししたり、しかったりしたところで、得るところは何もない。そんなことをすれば、班員たちを防御の立場に追いやり、君がやりたいと思うことの反対のことをさせる結果になるだけである。

「ゆっくり、ゆっくり、あわてないで」これがベーデン・パウエルのスローガンのひとつであった。ゆっくり構えたまえ、そうすれば最後には皆がいっしょうけんめい君に協力するようになる。協力、すなわち皆がそれぞれに自分の役割を果たして、いっしょに働くことである。

これが班の目標であるべきである。

協力であって制裁ではない 制裁ということとは、外部からの圧力で、つまり強制で物ごとをやらされることである。これに反して、協力ということは、各自が自分の分担をやりたいからやろう、ということである。この場合、各自の心の中



「だれもボスのまねをする者に従っていいとは思わない」「氣力を充満させて進んでいる班では、興味が薄れるということとはあり得ない」

に、各自の分担をやろうという意志が働いているのである。

君がさせるからではなく、班員たち自身がやろうと欲し、しかもやることに意義を見だし、班で正しいことを班員たちがやるというところまで持って行ききれるならば、君の仕事は成功である。

ある状況、あるいはやらなければならない仕事の理由を説明すれば、前もって困難や摩さつを除くことができる。前もってちょっと注意をはらって「なぜなのか」を説明しておけば、後になって「なぜ」の質問せめに会うことはない。かしこい班長は、班員たちを信じ、そしてまた班員からも信じられるのである。

いつも仕事をさせておくこと　いつも仕事に従事させて、いそがしい思いをさせておくということは、計画すなわち彼らが興味を持つ事からをうまく配置することである。ところで班員たちは、スカウティングをするために君の班に入ったのである。だから、十分それをやらせよう。集会や、ハイキングや、キャンプやそのほか班の活気を保ち続けるあらゆる活動を立案し、それを実行しなさい。

責任を負わせること　世の中に出て行くこと、自分に頼るようになること、指導力を身につけること、これらのことを達成する場合に「責任を持つ」こと以上に効果的なものはない。責任は、りっぱな少年を作り上げることが多い。いわゆる「かしこい」少年や弱い者いじめの少年ですら、責任を負わせることによって変えることができる。仕事を分け、各班員に仕事を与える班の組織は、ほんとうの班精神を身につけることに大きな役割を果たす。そこで、この仕事に目を向け、班員たちにそれを割り当てて、やらせることにしよう。

### ■班の仕事

君は、よく「ボス風を吹かし」たがる班長に会ったことがあるだろう。彼はあらゆる集会をひとりで計画し、ひとりで会費を集め、ひとりで記録をつけ、ひとりで道具の始末をし、しかも自分はほとんど完べきであると信じ込んでいるから始末が悪い。君は彼がいけないときの彼の班の状況を見たことがあるかな？

彼が集会に来られないときは、まったくだれもいないのと同じである。というのは、彼以外には



いつもいそがしくしておく

いそがしいスカウトは、ふつうよいスカウトだ。たくさん仕事を与えない

中で何かをやる機会を与えることによって、君の班員たち皆に、指導力と円満な能力を養う機会を与えることになる。そしてこれは、スカウティングを通じて、われわれが成しとげたいと思うことのひとつなのである。

仕事を割り当てる では

だれも、どうして会を進めていくのか知らないからなのだ。

班の中で各班員を、それぞれ一定の仕事でいそがしくする計画について述べてみよう。

班の1泊キャンプに、彼がいっしょに行けない日は、何もかもめっちゃくちゃになる。というのはどういう手配をしたらよいのか、知っているのは彼だけだからである。

その計画を君の班にあてはめるときは、あまり急いでしてはいけな。最初から皆いっぺんにやる必要はないかもしれないのだ。しばらく待ち、班員たちと1か月くらいいっしょにやってみてから、仕事と、それを割り当てる班員を決めたほうがよい。そのころまでには、君は各少年の持ち前の能力を知ることができると思うからである。

班を運営するということは、ひとりでできるものではないということを、すぐに君は発見することと思う。なんでもかんでもひとりでやろうとしたら、物ごとは成功しない。分担して班の仕事をすること、班のためばかりでなく、君自身のためにも必要なのである。班員各自に、班の

班の組織、責任を各班員に割り振る。

組織計画の基礎として、今、君の班に8名の班員がいると仮定しよう。もしそれ以下であれば、



班はひとりの仕事ではない。全員の協力が要だ



2つの仕事を1つにして、ひとりの班員に割り当てればよい。

さて、一人ひとりの場合について述べよう。

班 長 これは問題ない。君の仕事だから。

次 長 彼は君の片腕となる班員で、君と同じくらいに班を動かすものについて知っており、君の留守中に班を指導していけるものでなければならない。

会計係 班費などを集め、班の会計をつかさどる。

記録係（書記） 班の報告や日誌を取り扱う。

備品係 班の備品器材の世話をする。

ハイイク係 ハイキングやキャンプの手配をする。

食糧係 班の献立表を作り、食糧を調達する。

衛生係 班員の健康と安全について、めんどろをみる。



反応するか気をつけて見ていなければならない。そして、それぞれ興味がどういふところにあるか知ることである。

たとえば、R君が算数にすぐれた才能を持っているのを発見するかも知れない。彼はお父さんからなにがしかの小遣いをもらっている。彼は毎週土曜日に、その金銭出納帳をお父さんに見せなければならない。彼は班でいちばんきちんとしてい

るようである。R君にはどんな仕事に適しているだろうか？ そう、もちろん会計係である。

J君はまた変わったタイプの班員である。彼はいわゆる本の虫で、手に入ったものは何でも読む。去年の夏旅行したときの彼は、すばらしい手紙を君に書いた。彼はまた、雑誌から絵やなにかを切り取ってつづっている。



君の班員たちを知り、それからそれぞれに適する仕事を割り当てる

各スカウトを仕事につける それぞれいちばん適する仕事に各班員をつけることだ。

これには、ある程度の研究と思慮が必要である。

起こってくる事がらに対して、各スカウトがどう

君が彼を記録係にしたのもふしぎではない。このような調子で、ほかの仕事もそれぞれ割り当てるのである。

もし君が、B君は備品係として、E君は食糧係

として適任だと思ったら、まずそれぞれやらせてみることだ。うまくやれるならこれにこしたことはないし、また期待に反するなら、何かほかの仕事をやらせてみればよい。そうしているうちにはもっともよくできる仕事が見つかるものである。

## ■次 長

班の中で、君のポストの次にいちばん重要なのは、君の助手のポストである。そのポストのしるしとして、彼はユニフォームのそでに、1本の緑の線の入った記章をつけている。

ただこの緑の線（グリーン・バー）があるから、次長は他の班員よりえらいのだと単純にきめてむ班が多いのは、困ったことだ。君の班の場合、そうでないように注意しなければならない。君の助手はただ次長章をつけているだけではいけない。はっきりと、君の助手としての仕事をしなければなら

ない。彼の仕事の内容は、その役名からわかる。彼は、君が班内でやるあらゆる事

がらについて、君を助けるのである。これをするために、彼は君に完全に信頼されなければならないし、また君のやり方を完全に理解していなければならない。彼が君と君の特別な指導方法を理解しなければ、君の不在の時に彼は君の代わりをすることはできないし、また君と彼の2人の間に、ほんとうの意味の協力というものは

あり得ない。だから君の助手を選ぶさいには、十分に注意する必要がある。

**彼の資格** 君の助手は、一人前の完全な班長としての、あらゆる資格を持っているべきである。りっぱなスカウト精神と、ある程度の指導力を持った円満なスカウトであるべきである。彼は君といっしょにりっぱに仕事をし、君と同じように班員から信頼されていなければならない。

班長が自分といちばん仲のよい班員を、自分の



君と次長が力を合わせれば、強い班に育て上げることができるのだ

次長にするという間違いをすることが、ときどきある。次長の選任に私情をはさんではならない。「班にとって、だれがいちばんよい次長になれるか」ということだけを考えて、決定することだ。だからたとえ君の親友でも、次長として申し分なければ、だれも君の選定にケチをつけたりはしないだろう。もしそうでなかったら、皆の悪感情をあおるだけである。だれを選ぶべきかについて君の心の中に疑問があるときは、班員全員に投票で決めさせるほうが、ずっとましだろう。

(つづく)



# 班長のてびき

～ 8 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅳ 班の組織 (つづき)

### ■次 長

彼に指導させる 君の次長は、班の仕事を計画したり、班員を訓練したりする場合に、君の手助けをする第一人者である。君の不在の時に彼は隊活動で班の指揮をとり、班の集会やハイキングを指揮し、隊幹部会議で君の代理を務める。しかし自分は何をやるべきかを知って、初めて彼は仕事をうまくやることができるのだ。だから、君が出席しているときでも、定期的に班の指揮を彼にゆだねて、彼が班を指揮することを習得するチャンスを与えなければならない。次長を全般的な助手として用いると同時に、彼に指導力を必要とする特殊な仕事、たとえばゲームの指揮などをやらせることである。班に向くようなゲーム用具を集めることに彼の興味を向けさせる。ゲームをやるときには、いつでも彼にその指揮をとらせて、自分の役務には、ほんとうの責任が伴っているのだと

いうことを感じさせることだ。同時に記録係といっしょに、班員の出欠を調べさせ、欠席した班員たちに連絡させて欠席の理由を調べさせる。

君と班員たちの家庭をつなぐ役割を彼に果たさせるのである。さらにハイキングやキャンピングについて必要な指示を、彼に考案させる。言いかえれば、君のこまごましたたくさんの仕事を、彼に肩代りしてもらいながら、彼に自分の能力を示す機会を与えるのである。班の指揮を彼にも十分手伝わせることだ。

### ■会計係

この世の中で、お金を取り扱うときは、いつでもわれわれはそれを正しく使い、その用途を正しく記録しなければならない。このことは班の場合にも当てはまる。隊は予算計画を持ち、隊費は班員たちが納める。キャンピングを計画するときは現金が必要となる。お金なしにはすまされない。どうしてもお金を取り扱わなければならないことになる。だから、まず最初にだれかを任命しなけ

その仕事 その仕事を引き受けると、会計係はまず最初に君と相談する。君の隊は、登録や月刊誌の購読料やその他の出費にあてるために、毎月各スカウトが一定の金額の費用を払う予算制度を採用しているのが、だいたいにおいて現状であろう。会計係は、隊の予算がどのようにして編成されているか、また自分の班はどのようにしてその分担を果たすのかを、理解しなければならない。また、隊費をどのように徴収し、記録、預金するかを理解しなければならない。

隊へのこれらの費用の納入を遅らせないようにするために、君の班の会計係が、班員たちから前もって隊費を集め、班の帳簿に記録したあとで、隊の会計係に預けることが賢明なやり方である。こうすれば、堅実に歩むことに役立ち、自分の義務を果たしているという誇りを助長する。

[illegible]

班の巣と班の備品 希望に燃えて  
いる班は、よく設備の整った巣を持  
ちたいと願うだろうし、また隊が供



給することのできる物以外にも、自分たち専用の備品を持ちたいと思うだろう。たとえば君の班員たちがパイオニアリングに興味を持てば、ばく材用のロープがたくさん必要になる。

進んだ救急法の訓練のため、ほうたいや三角布など、また仮想患者を本物の負傷者らしく見せるための、いろいろな種類のメイキアップ用具などが必要になるかも知れない。

ハイキングをするのに、特別なハイク用具を作りたいと思うかも知れないし、またキャンピングでは、テント張りをして自分の腕を試してみることに決めるかも知れない。これらはすべて金がかかるし、その金は君たち自身で作り出さなければならぬ。班集会で計画案を討議し、何をやるか

會計簿（金錢出納帳）

[illegible]

会計係は、実際の出費の記録を簡明につける

を決定し、班の会計係と備品係を協力させて、その費用がいくらかかるかを調べさせる。それから予定を立てて隊長に持って行く。君たちの夢の実現にとりかかる前に、隊長の助言と承認を得るようにする。

班のためにお金をかせぐ 精力的な班の会計係は、彼の班がお金をかせぐ方法を考案し、隊が資金集めの行事をするときには、自分の班にその分



お金を作り出すためにいろいろな活動を君の班はやることができる

担を果たさせる。

ほんとうに自分で金をかせいでやっていこうと思う班の参考のため、いくつかの例を次に示すことにするが、同時にこのことは忘れないようにする。すなわち、なに事をやるにも、その前にまず隊長の承認を得ること。また君の活動計画が、法令に触れず、さらにそのような仕事を必要としている人々から、仕事をうばうようなことのないようにする。

手芸品を作る 温室で働く 植樹をする  
ピラを配る 庭師のために苗床を作る  
家畜を飼う 両親の留守に子守りをする  
農家や庭師の手助けをする



飼い主が留守のときに愛がん動物の世話をする  
持ち主が留守のときの庭の世話をする  
まき集めやまき割りや積み上げ  
愛がん動物を飼育する 家庭の雑事をする  
事務所や店で臨時雇いの仕事をする  
雪かきをする ペンキ塗りや掃除をする  
果物や野菜を取り入れる 犬を洗う  
落葉をかき集める 魚つりのエサを売る  
クルミやいちじくの実を集める  
荷物配りや走り使いをする 芝生を刈る  
古金属、古紙、空びん、空かんを集めて売る  
趣味の切手などの交換会をする

仕事は山ほどある 班が隊と班の備品を確保するために、その分担を果たそうとする熱心な班であれば、その班の会計係がやらなければならないことはたくさんある。この仕事をするにはよい経験となり、この仕事を通して彼が受ける訓練は彼の将来にとって大きくプラスになるかも知れない。

## ■記録係

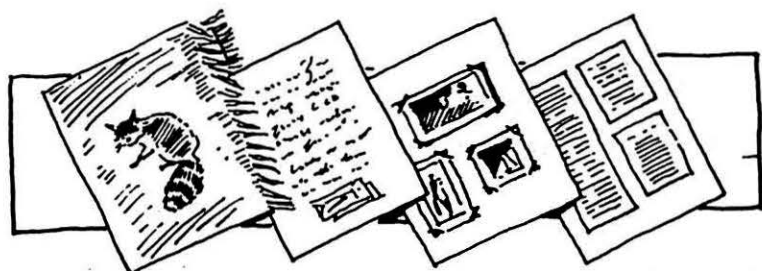
班の競技で勝った者に、この仕事を割り当てるのもよい考えではないかと思う。

班の1か月の活動記録を、いちばん上手に書き上げた者に、記録係の仕事を与えるのである。報告書は君自身が採点するか、あるいは隊長や団委員会のメンバーに採点を頼めば、さらに興味をかきたてることになる。

競技の目的は、班の歴史をもっとも生き生きとした文体で、きちんと体裁よく書ける者を見出す



ことである。もし彼に、書く能力と同時に、報告書に簡単なスケッチを入れる能力があればなおよい。



**班の日記** 記録係の第一の仕事は、班のあらゆる活動を生き生きと記述して、班の日記をつ

君たちみんなが自慢できるような日記をつくる

完全とは言えない。賢明な記録係なら、班員全部をけっこう多忙にになってしまうことだってできるのである。カメラを持っている者には、班の活動を写真にとってもらい、班の「絵かき」には、活動中の班員たちの絵を描いてもらい、班の地図専門家には、ハイキングのルートや、キャンプの配置図などを描いてもらう。彼はまた、工作の上手な班員に、日記の革製のカバーとか、止めひもを作ってもらったことだってできる。こうしてでき上がった日記が、どれだけ班の精神を高揚するか想像してみるのだ。

次のような書き方はさけよう。

「9時50分家を出る。10時45分〇〇到着、□□キャンプ場まで歩く。テントを張る……」このような書き方をせずに、報告は活気に満ちたものに、途中で班員たちがしたこと、言ったこと、見たことなどを記述しなければならない。

日記にはもちろん、班の冒険、業績や成功したことなどすべて書かなければならないが、同時に失敗やしくじりも含めることを忘れてはならない。しくじったことなどを含めなければ、記述は

班員出欠表の一例

10月		日	1	2	8	9	15	22	23	29	30	出席数	欠席数	隊	
		集会	P	T	P	P	T	P	T	P	S		理山		
No.	氏名	M	M	M	H	H	M	M	M	M		数	有無	責	
1.	山田 守	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		○	
2	太田 二郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		○	
3	中島 勇	○	○	○	○	W	○	○	○	W		7	2	○	
4	加藤 正男	○	8	2	○	○	○	○	○	8		7	2		
5	山本 正	W	○	○	○	○	○	○	○	○		7	1	1	○
6	鈴木 太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		○	
7	田中 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		○	
8															
9															
10															
計 7 名		出席	6	6	7	7	6	7	7	6	5	(出計) 57	出席率		
		欠席	1	1	0	0	1	0	0	1	2	(総計) 63	90%		

集会種別：PM (班集会) PH (班ハイク) PC (班野営) TM (隊集会) S (特別集会)  
出欠種別：〇 (出席) △ (遅刻) / (欠席) S (病欠) W (家事)

**班の記録** 記録係のもうひと

つの重要な仕事は、班員たちの出席状況や、隊費・班費の納入や、進歩の記録をつけることである。

記録係は、君の手助けを得てスカウトたちの氏名、住所、誕生日、その他を記録することから仕事を始める。それから各集会やハイキングに参加した班員の名や、隊費・班費の納入その他を、×印 (〇, √でもよい) をつけて記録する。

スカウトが1級または2級の要件を満たしたり技能章を獲得

したら、そのつどこれも記録簿に記入する。

班の記録簿は、ひと目ただけでスカウトの一人ひとりの状況がはっきりわかるように、記録しなければならない。

隊への月間報告 活発な隊は、班から毎月簡単な報告を受ける。この報告は、何か競技が行われていて、班の諸活動が最終結果に大いに影響を及ぼすときなどには、特に重要である。

もし君の班記録簿がきちんと記入されているならば、この月間報告を書き上げるのに、ほんの数分しかかからないはずである。この報告書の1枚は普通、班長がサインして隊長に送り、もう1枚は控えとして、班のファイルにとっておく。

班のファイルを保存する 班のファイルは、普通の紙ばさみか折りたたんだボール紙で、その中に記録係は、将来、班にとって必要となるかも知れないような資料や、手で書いたり印刷したものを保管する。隊の月報や班から発送した手紙の控え、班が受け取った手紙、地区や連盟の大会や各種行事のプログラム、団や連盟などの活動についての新聞記事の切り抜きなども、その中に含める。

その他 もし君の隊が他の多くの隊がするように、毎月、謄写版ニュースを出すとすれば、編集者に班のいろいろな活動についての、簡単な記事を提供するのもまた、記録係の仕事である。

## 班 報 告 書

隊 \_\_\_\_\_ 班 \_\_\_\_\_

第 _____ 日 _____ 月 _____ 日 _____ 曜			ところ _____						
天候	朝	昼	夜	班精神					
気温				班 呼					
湿度				班のモットー					
				本日の重点目標					
朝	昼	夕	番号	役 務	氏 名	睡眠	食 飲	便 通	事 故
こ ん だ て  間 食			1	班 長					
			2	次 長					
			3						
			4						
			5						
			6						
			7						
			8						
作 業 ・ 行 動				感 想					
				隊長署名 _____					

睡眠、食飲等については、良は○印、不良は×印で記入

### 班活動報告書例

君がまた、小さな町に住んでいるなら、町の新聞編集者は、君の班でやっていることがら、特に報告するのに値するたくさんの活動を班がやっている場合はなおさらのこと、それらのことがらについての短い記事を受け取ることを喜ぶことだろう。そして最後に、君の班員たちが書庫を作ってスカウトの手引書や自然に関する本などを保管すれば、その書庫の世話をし、本の出し入れを記録するのはまた、記録係の仕事である。記録係は、なまけ者にできる仕事ではないが、よいスカウトにとっては、もっとも興味のある班の仕事のうちのひとつである。

(つづく)

# 班長のてびき

～ 9 ～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅵ 班の組織 (つづき)

### ■ 備品係 <クォーター・マスター>

次にリストに上がるのが備品係<クォーター・マスター>である。班の備品や本部を世話するのが彼の仕事である。古い野心的な班では、班のハイキングやキャンプの用具の大部分は、スカウトたちが自分で作ったものを持っているものである。君の班がそこまでいけば、もうしめたものだ。

新しい班は、班のものとして保存する物品以外に、隊の財産(テント、炊具等)と、班員たちの個人備品(おの、スコップ、救急箱、方位磁石、その他)に依存しなければならないだろう。しかし、班がその備品を所有していようと、また他から借りようと、それは問題ではない。問題は、それらの用具を班が使用する以上、備品係はその保管場所を知り、維持する責任があるということである。

用具の整理をする まず第1に、新しい備品係は、班がその活動に必要なとするあらゆる用具のリストを作り上げる必要がある。リストができ上がったら、班がすでに持っている用具をリストから消す。次の班集会で班員たちから、彼らがどういふものを持っていて、それを班全体のために役立てようとしているかどうかを調べる。その後で備品係は用具全部を1か所に集める。ここで注意深く品物を調べ、必要な修理をさせる。それから必要となしにいつでも使えるようにして、しまっ

在庫品調べ

1976年3月31日現在

	品 名	数量	価 格	摘 要
1	家 形 テ ン ト	1	45,000	ウグイス色
2	フ ラ イ シ ー ト	1	8,000	雨もる 要修理
3	支 柱	4	4,000	木製 1本破損
4	グランドシート	1	3,000	ビニロン
5	く い	24	600	6本不足

用具はたびたび調べ、よく手入れ修理をしておく

班の用具一覧

おく。

備品係は、何でも自分一人でやろうとしてはいけない。むしろ反対にスカウト一人一人に、班の用具を確保することに興味を持たせるようにしなければならない。

**備品の持ち出しと収納** 班がハイキングやキャンプを計画するときは、いつでも備品係は、必要な用具を取り出して、持って行くものを自分のノートブックに記録する。そして班が戻ってから、その用具を受け入れる。このとき、すべての用具がきちんとしておける状態にあるかどうかを確かめる。もしテントがまだぬれていたら、それを乾かすように手配し、またもし破損していたら修理させる。おのやスコップなどの用具は、よくこすって、さびを防ぐためにグリースをぬっておく。おのは研ぐ必要があるかもしれない。もし何かゆくえ不明のものがあたら、直ちに調査し、もしふん失しているものがあれば、代りを購入する手配をする。

**在庫品調査** 一定の期間——半年くらい——ごとに備品係は、用具の在庫調査をやらなければならない。すなわち、各品目ごとに見積り価格を表示し、班の財産についての完全で最新のリストを作るのである。このリストには、単にキャンプ用具ばかりでなく、班のデン（本拠）にしまっている品目も含める。

このリストをほんとうに役立てるには、各品目について、状態は良好であるか、修理すれば使えるようになるか、または取りかえる必要があるかどうかなどをあわせて記入すべきである。君と会計係と備品係が頭をそろえて、君たちの用具を標準に持ってくるために、班全体の資金作りと用具調達運動の計画をねるのはこの時である。

班がもっているもの

1976年6月1日現在

品 目	数量	重量	価 格	所有者	保管場所	備考
班 旗	2		300	班	班デン	
テント #1	1	10	30,000	"	倉庫	5年
テント #2	1	8	25,000	"	"	3年
グランドシート #1	2	3	5,000	"	"	
グランドシート #2	1	2	3,000	山田	家	
お の	2	2	2,500	"	"	
単 旗 信 号 旗	1		250	班	班デン	
炊 具 セ ッ ト	1	3.5	3,000	"	倉庫	新品
フ ラ イ パ ン	3		1,000	丸山	家	
水 お け	2		600	班	倉庫	
	2					

「君の班がどんな用具を必要としているかを知る  
——それからそれを入手するように努力する」

#### 在庫品調べ

**班のデン（本拠）** 用具のほかに、備品係はまた隊本部での班コーナーを手入れすること、つまり装飾などを施して、そこをきちんとしておく責任を負っている。もし君たちが自分たちのデンを持っていたら、その器具類をよく修理し、室内をいつでもきちんとして整頓しておくようにするのは、備品係——クォーター・マスター——の仕事である。

#### ■ハイク係

もし君が、君の班にハイキングやキャンプを大いにやらせたいと思うならば、君は自分の住んでいる地方で、出かけるのによい場所をたくさん知らなければならない。そのような場所を発見するには、ハイク係を任命し、彼に場所探しを大いにやらせてもらうことだ。おもしろいハイキングのコースや、よいキャンプ地をいつも注意して見つけるようにするのが、ハイク係の仕事である。彼は自分で出かけて行って探したり、また他の班の班長や隊長その他の人々と話し合ったりする。

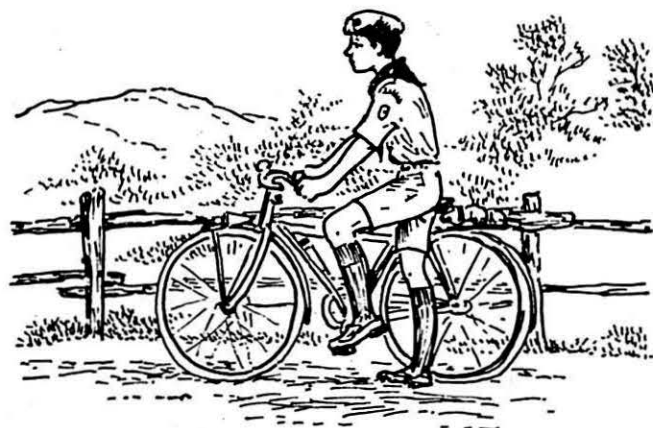
そしてよさそうな場所のことを聞いたら、彼自身で出かけて行って、ほんとうに班が行きたがるような場所であるかどうかを確かめてくる。

このようにして彼は、本部から数キロ～10キロメートルの半径内で、あらゆる種類のハイキングやキャンプに適した場所を知るようになる。

ハイク・キャンプ控え帳 いかに優秀なハイク係でも、自分が調査したハイキングのコースや、キャンプ地の詳細を1から10までおぼえておくことはできない。そこで彼はノートブックを持っていて、その中にそれぞれの場所について、その所在地、そこに行く方法、見るべきもの、その他を別表に示すような書式で書き込むのである。

これらのノートのほかにハイク係は、その地域や地図を入手すべきである。5万分の1または2万5千分の1、あるいは、もう少し詳しいものがほしければ、1万分の1といった地形図を用意するとよい。

これらの地図は、ハイキングの計画を立てるのに用いる。またハイキングがすんだ後でハイク係は、君たちが行ってきたところを示すために、コースを地図に記入するようにする。君の班がや



自転車は、ハイク係が新しいキャンプ地を探すのに、大いに助けになる

キャンプ地 No.4

場 所	あさひが丘
特 徴	傾斜した草原、森と湖に近い
距 離	10km
使用許可	山中太郎氏に許可を求める
住 所	山梨県南都留郡山中湖村
電 話	05556-2-0141
到着方法	富士吉田からバス 車賃150円 3km歩く
水	よい井戸あり、北西に100mの地点
木	たき木は多く、工作用材料となる木も豊富
食 料	旭が丘のスーパーマーケット、牛乳、卵は山中氏の農場
水 浴	北方400mに湖
名 所	近くに古戦場、洞穴あり
そ の 他	砂の穴の中でのみ火をたく。蚊はいない
実施期日	'75・11・3, '76・3・25, '76・5・5

キャンプ地ノート

たすべてのハイキングを示すような地図を作ればそれは君の班の伝統を築き上げるのに大いに力になるだろう。

所有主と連絡をとること もし君の班がクロスカントリー・ハイクを計画するならば、個人所有の畑や森の中を通る許可を、まず取る必要がある

かもしれない。もしまた新しいキャンプ地でキャンプをやるつもりなら、その土地の使用許可ばかりでなく、まきを集めて火をたく許可なども得なければならない。これらの許可を取るのは、ハイク係の仕事である。それで、これらの行事を行う日時と場所が決まったら、ハイク係は電話または手紙で、使用しなければならない土地などの所有主と連絡をとり、必要な手配をしなければならない。ハイキングやキャンプの間中、ハイク係は、所有主から出された土地使用に



ついでに条件を各班員に理解させ、それをみんなに守らせるようにして君に協力する。

その行事がすんで、班が再び家に帰りついたらすぐにハイク係は、その土地の所有主に手紙を書き、班にその土地を使わせてもらったお礼を伝える。このような行事の後で、すぐにこのような礼状を出すようにすれば、今後も君の班は心から歓迎され、その土地を使わせてもらえることは確実である。

## ■食料係

食料、これが食料係の責任である。班のキャンプを成功に終らせようと思うならば、この仕事もまた非常に重大な責務となる。この仕事には君も想像できるように、料理とよい食物を作るのに興味を持っている者を選ぶことである。彼はキャンプ料理についても知識を持っており、品物を正しいところで、正しい値段で買入れる才能を持っていないといけない。

**班自体のメニュー** いやしくも食料係と名のつく者はだれでも、班員たちの好む料理が何であるかを発見するのに手間はとらない。それが分ると彼はすぐに、調理法の資料を集めることを始め、班全体をまかなうのに必要な食料の分量を計算する。そして、よい食料係はこれだけでは満足せず調理法についての資料をできるだけ多く集めて、班がキャンプについて検討するときは、いつでも朝食、昼食および夕食のメニューを提案することができるようにしておく。

**経費を計算する** もし食料係がほんとうに賢明ならば、メニューに必要な品物、つまり肉、野菜その他の値段について、かなりははっきりした知識を持っていて、1回の食事にだいたいいくらぐら

いかかるかということを、すぐに計算できるはずである。もしまだ値段を調べていなければ、キャンプの2、3日前に班員たちが彼ら自身の食事の分担金を払い込むのに間に合わせるよう、その計算をすませておかなければならない。食料を買込むのに現金がいるが、お金は普通、会計係に払い込まれ、それから会計係と食料係がいっしょになって買い物に出かける。



食料品の値段を知る<よい食料係は、いつも食料品の値段をよく知っておくようにする>

**食料の購入** キャンピング出発の前日、この2人の買い出し係は食料を買入れ、それを班のデンまたはどこか班員たちが集合する場所まで運ぶ手だてを講ずる。肉や果物のように腐敗しやすいものは出発直前に買入れる。牛乳や卵や野菜はキャンプ地の近くで入手できるならば、家から持って行かないで現地で入手するように手配する。すべての準備が整ったら、食料係は、食料をスカウトたちに分割してキャンプ地まで運ばせる。キャンプ地に着いたら、再び全部をとりまとめて、キャンプ期間中に合うように貯蔵する。

**調理法を調べる** 君がちょうど班をまとめている間に、食料係は主として班の料理の責任を受け持つ。しかし、激励と助言と積極的な援助を与え

ることによって、できるだけ早く各スカウトを、りっぱな料理上手に仕立てることを、食料係は目標にすべきである。

**残り物** 班が家に帰るとき、食料係は使いきれなかった食料を集める。次のハイクやキャンプまで保存できないようなものは処分し、さとう、小麦粉、かんづめ類のように後で使えるようなものは、食料箱に入れて班のデンに保管する。

食料係がしっかりしていれば、腐敗しやすい物は、残ったとしてもほんの少ししかないだろう。必要なだけしか買い入れないようにするからである。

### ■チャマスター〈歓呼係〉

チャマスターは、その名の示すとおり歓呼係である。班の中に歓呼やかっさいを持ち込み、君たちの叫び声に活力を入れ、君たちの歌に調和をもたすのが彼である。

**歓呼やかっさいをリードする** いわゆる歓呼をリードする者として、チャマスターは、曲芸もいくつか含めて、真のチャリーダーになる技術を得なければならない。自分の仕事に変化を与えることができるように、いろいろな叫び声を集めておくように彼にすすめる。即座に何か新しい呼び声を自分で作れるようになっていけばさらによい。

**班のラッパ手** もし君の班にラッパ手が必要だ



元気いっぱいのスカウトをチャマスターにえらぶ

と思うなら、チャマスターにやらせてみるとよいだろう。歌がうたえて、音感とリズム感のある者なら、たいてい容易にラッパの吹き方をのみこむことができるものだ。

**歌と演技** 彼はまた歌の指揮者でもある。歌の種類は、ハイキングで歌う歌、おもしろい歌、はじめの歌、あらゆる気分合う歌などたくさんある。皆がどういう歌が好きであるか彼は知るようになる。

演技もまた彼の仕事の一部である。寸劇などをいくつか準備し、班員に練習させて、隊集会の夜やキャンプなどで、班員がいつでもそれを出せるようにしておく。

チャマスターは、自分の妙技をひろうして班のキャンプファイアに生気を吹き込む。そして20キロハイキングの最後のところで班を元気づけるものもまた彼である。

チャマスターは、やることはそう多くはないが熱意と興味を絶対的に必要とする。彼のアイデアに皆が喜んで同調するほど、彼は皆に好かれていなければならない。公衆の面前へ出て何かやるようなときなど、班員の生来の遠慮を彼がすることができるほど、皆に好かれるような者でなければならない。彼は魅力がある個性プラスアルファの少年でなければならないのだ。(つづく)

# 班長のてびき

～10～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅲ 班の組織 (つづき)

### ☆一心同体

さてここで、組織体の持つ雑多な仕事にもういちど目を通してみよう。そうすれば一つひとつが、あたかも時計の歯車のようにかみ合っていることがわかるだろう。君はいろいろ複雑に分かれている仕事を動かす、いわば時計の大きなぜんまいのような存在なのである。そして君が一つの歯車を回転させると、同時に他の歯車もいっせいに回り出すのだ。たとえば、班の会計係は次長と記録係といっしょに働き、2人に相談なしでは決して勝手なことはしない。ハイク係と食料係は、二人三脚の関係にある。また演技係は、記録係に頼んで歌を作ったり、妙技をひねり出すのを手伝ってもらう。こんな具合に、お互いが関係づけられていくのである。

こんなたぐいの組織の上に立つ班なら、いろいろなことが達成できる。2つの目よりは16の目で見たとほうが、より多くのものが見え、8つの頭を

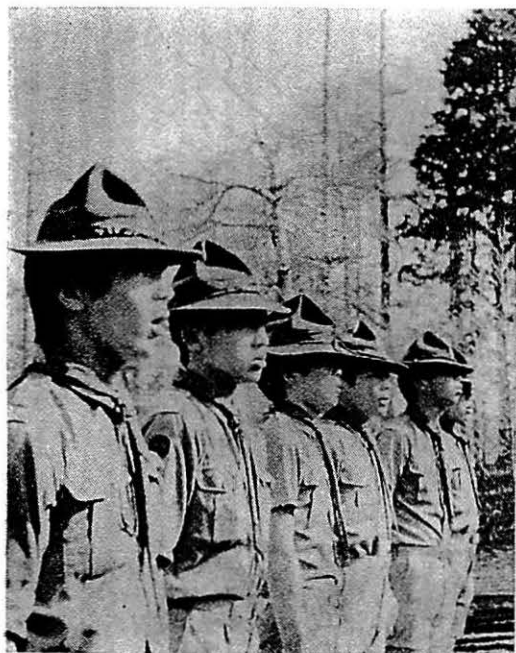
合わせたほうが、君一人の知恵でしぼり出すよりは、もっと多くの名案を生むことができるものである。

こうして、皆が一体となって働き、一人ひとりがその務めを果たすようになれば、いきおい、だれもが班の行事のすべてに、強い責任感を自覚するようになるものである。

君が、班員の一人ひとりに信頼を寄せ、班全体のために各自が最善を尽くすように仕向けるならば、これがひいては、全員の人格、指導力そして一般的能力を伸ばす絶好の機会となるのだ。

### ☆融通をきかせる

しかし、何がなんでも一から十まで、今言ったような組織どおりに運ぼうなどという、融通のきかない考えはよすべきだ。そんなに四角四面にやらなくても、ほかにいくらでも方法はある。ただ何をするにつけても、ある程度組織的なやり方は必要である。だから、大筋の点を組織どおりにやるのは君の自由だが、そうでなければ、君の班独特の欲求とにらみ合わせて、君なりのやり方を案



出してもよいわけだ。

ただ、やり方はどうあれ、まずいちばん大事な仕事から先に手をつけ、しかも派手にやらないようにすることだ。

君はまた、できるだけ早目に、君の片腕となる助手を見つけなければならない。そして記録係には班の日誌をつけさせ、会計係には班の台所のやりくりをさせる。これをきっかけに君がどんどん仕事を進めれば、いきおい他の班員も自分で仕事をするようになるだろう。

班を一つの組織に乗せる秘けつは、後にも先にも、班員たちにある仕事を引き受けさせ、分担してやってもらう以外にない。そうすれば、班員たちはいつの間にか君の言いつけを待たずに、自分でその仕事をするようになるものだ。ここまで来たら、君の班の組織作りは、もう軌道に乗ったも同然である。

結論を言えば、班の組織作りにあたって心得なければならない重要なことは、班員一人ひとりに仕事を割り当て、班運営の任務を分担させることであることを忘れないことだ。班員すべてが、自分に与えられた務めを、効果的にしかも和気あいあいのうちに果たしながら、足並みをそろえて進むようになれば、君はそのうちに、りっぱな指導者として自他共に認められるようになるだろう。君の班は、もう、一つのチームに育ったのだ。

## V 班の集会

君はこれまで、班の指導とか、班精神だとか、あるいは班のメンバーとかについていろいろ読んできたが、いよいよ班の活動に参加して行動に移るときがきた。ということは、それらについて話をするということではなく、実際にするということを意味している。班のハイキングやキャンピングはこれからやっていく。しかし班に対する君のすべての夢を実現するためには、君は、班の定期的な集会のスケジュールを組む必要がある。

班長としての君の主な仕事の一つは、これらの集会で班の一人ひとりがスカウトとしての経験を積むことができるように、それらの集会を有益なものにすることである。

スカウトとして必要なことがらについて班員た



ちに教え、またスカウトのちかいやおきての意味を彼らが理解するのを助けるのは、班の集会においてである。君がいっしょうけんめいやりたいと思う活動を選ぶのはここであり、将来への大きな計画を立てるのもここである。そしてまた将来の仕事のため、君自身と君の班員たちを訓練するのもここにおいてである。君のスカウトたちが班精神に目ざめ、一つのグループとして共に働き始めるのは、班の集会においてである。これらの目的を果たすためには、班集会を正しくもつことが絶対に必要である。そして準備さえ十分整えば、集会は正しくもつことができる。

集会を開く適当な場所を探しに出かけて行き、もっともよい時間を決め、よいプログラムを作りそして班員の一人ひとりにその役割を果たすチャンスを与えなければならない。このことは4つのポイントを考えなければならないことを意味する。つまり

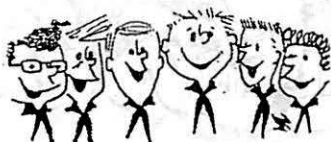
どこで? いつ?

何を? どのようにして?

の4点である。この公式を君はどこかで聞いたことがあるだろう。事実これは新聞記者が記事を書き上げるときに用いる公式の一部である。しかしそれは、班の集会にもちょうど当てはまる。

## 》どこで?《

班集会は屋内でやらなければならないという、おかしな考えを持っている班長が多い。なぜそんなことを考えるのだろうか。スカウティングは戸外活動である。だから暴風か雨が君たちを屋内に追い込むのでなければ、どうして皆を屋内に押し



込める必要があろうか。

### ☆戸外で集会をもつこと

集会をもつ場所を戸外に見つけることは、むずかしいことではないはずである。ある班員の家族はちょうど、この目的にかなうような場所を、庭の片すみに持っているかもしれないのだ。

大きな都市では、運動場の一すみか公園のどこかで集会をもつことができるだろう。小さな町に住んでいるのなら、町のはずれで集会をもち、また真の戸外訓練をやり、集会をキャンプファイアのまわりで終えることのできるような場所を見つけることは容易であろう。

### ☆家で集会をもつこと

君の班の会合のいくつかは、屋内でやらなければ





ばならないこともあるだろう。そのときは、班員たちの家でその会合をすることから始めなさい。最初の屋内集会は、皆を君の家に招待し、あとの会合は次々に班員の家でやるようにしたらよいだろう。そうすれば、特にスカウトに興味を示し、班全体の後見役にすら喜んでなってくれるような父親に出会うかもしれない。

異なった家で会合をするということは、2つのよい理由がある。つまり、君は、君の班員たちの両親を知るようになり、両親は、君と君の班員を知るようになるからである。

皆がお互いをよく知れば知るほど、よりよい協力ができることになる。

班集会を、たとえばB君の家でもつことによって、君はほんとうにB君を知るようになる。それまでは、彼を班と隊の中の一少年としてしか知らなかったのが、今は、彼を家庭の一員として知るようになった。

君は母親や父親、そして家に対する彼の態度を知るようになり、さらにスカウティングに対する彼の両親の考え方をも知るようになる。このことは君が班のハイキングやキャンプを計画するときに、大いに役に立つことだろう。ほとんど例外なく両親は喜んで班を迎えてくれるだろう。も

し君が正しい種類の班長であれば、班員の家でよい集会をもつことによって、その両親のスカウティングに対する興味を増すことができるだろう。

しかし、この集会は、プラス、マイナス両方の働きをすることを忘れてはいけない。すなわち、班員たちが乱ち騒ぎをし、めいわくになるようなまずい会合をやったら、2度とその家に招待されないばかりでなく、こんなまずい指導者のもとで自分の子供を引き続きスカウティ

ングに参加させることが、果たしてよいことかどうかを、両親は疑うようになるだろう。

集会が班員たちの家で行われるとき、班員たちに軽なお菓子や飲み物、あるいはアイスクリームなどのもてなしをする母親もあることだろう。そんなとき、君はまれな待遇としてそれを受け、感激の意を表しなさい。決してそれを当然受けるべき接待であると考えてはならない。君と班全体の感激の気持を表わすことを、決して忘れてはならない。



# ☆班の本拠での集会

班が班員の家の全部を知り、また両親が班員の全部を知るようになったら、君の屋内での集会のための恒久的な場所を考えるべき時である。れっきとした班なら、自分自身の本拠を持つように努力するものである。

それは、場所というほどのものではなく、ガレージや倉庫の片すみ、あるいは物置小屋の一部であってもよい。こんな場所を選んだら、そこで班の会合をもち、ペンキを塗ったり、装飾をしたり、壁にロープの結び方の見本や地図やその他のものをさげたりする作業をする。こんな仕事をするこ

## ＞いつ？＜

集会の場所が決まったら、いつ集会を開いたらいちばんよいかを決定することである。

### ☆何回ぐらい開くか？

真に活動的な班をもとうと思うなら、毎週班集会をもつべきである。それが君の班員を訓練し、

もてないような班では、ものにならないから止めたほうがよい。

しかし君は積極的な班長だから、隊の活動のほかに、週1回の班集会のスケジュールを、しっかりと組まなければならない。

### ☆何日、何時に？

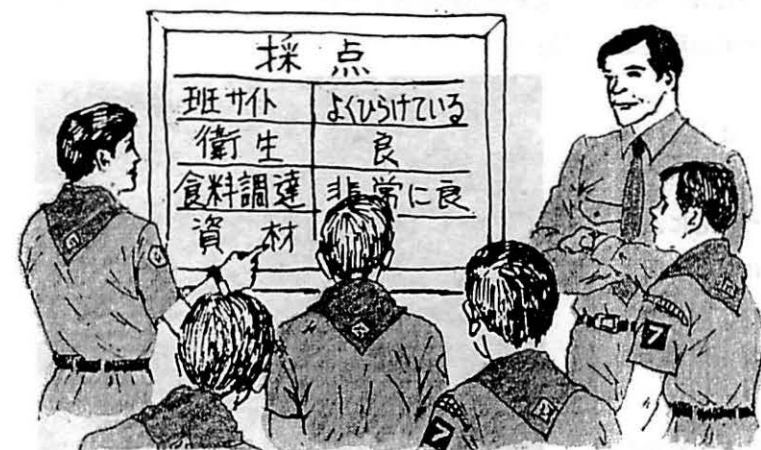
班員たちといっしょに、週のいちばんよい日といちばんよい時間を決定しなさい。

まず第1に、隊集会とかち合わない日を選びなさい。たとえば、もし君の隊が土曜日の夜に集会をもつならば、当然班集会のためには別の日を選ばなければならない。

火曜日の夜7時と決定したら、ずっと火曜日の夜7時を守ることである。そうすれば何の混乱も起こらない。班員たちも、また彼らの両親も火曜日の夜は班集会であることを知り、皆そのように計画を立てることができる。非常に特別な場合とか緊急な理由があったときだけ、集会予定を変更すべきである。このような変更は、ごくまれにするようにしなければならない。

### ☆時間を守ること

どんな日であろうと、時間であろうと、時間はきちんと守ること。「スカウトは信頼できる」ある場所にある時間に来ると約束したら、彼は必ずそこに来る。このことは、スカウトの班にとっても当てはまらなければならない。要は班員たちに時間を守るように望むことである申し合わせた時間に会合を始

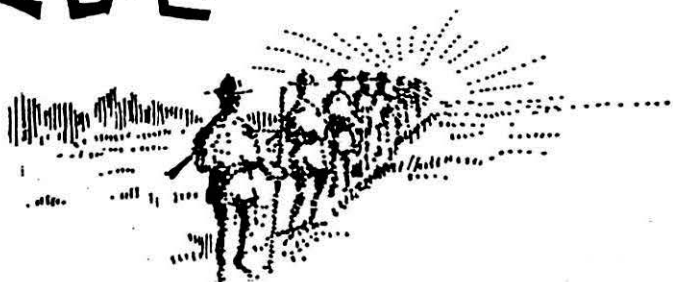


班の本拠と、班の備品の整備をし、ハイキングやキャンプの準備をするのに十分な時間をもつ最良の方法である。ある場合には、1か月に2回の会合でもやっていける。2週間に1回も会合を

め、スケジュールに従ってそれを閉じること。両親と隊から、君の班は物事を正しくやるという評判を得ること。これが班員たちの尊敬を集めるみちである。(つづく)

# 班長のでびき

~11~



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## V 班集会 (つづき)

### ■何を?

どこで、いつ、ということは重要であるが、班の集会をよいものにするのは、その集会で何をやるかということである。

集会には何を含まばよいのか? この質問はもう一つの「何を」にさかのぼる。

すなわち君は、何をやり遂げようとするか? である。スカウトの知識について、隊でいちばん優れた班に君の班を推したいのであるが、それにはあらゆるスカウト技能の訓練を必要とする。あるいはまた、スカウト精神においていちばん優れた班にしたいのであるが、それには班員たちの熱意に火をつけ、彼らを鼓舞し、ただの集団を真のスカウトの班に鍛え上げる創造力を必要とする。君は班員たちが物事をやること、つまりやる仕事があるときには、いっしょけんめいそれをやり、

遊ぶときには大いに、遊ぶことを覚えるように望む。そしてさらに、班の仕事と将来への計画があることを皆といっしょに考える。

ここに、6項目の問題をあげてみよう。

### 儀式(セレモニー)

短く美しく。印象的な方法で会を開き、真のスカウトらしい形で閉じるためのもの。

### 点検(チェックング)

出席、班費納入状況、進級、制服の着用状態などの点検。

### 指導(コーチング)

集会のいちばん重要な部分で、君と、スカウティングについて知っているものが、他の班員たちを、スカウトにとって必要なことからについて指導する。

### 作業(プロジェクト)

班員たちが覚えたばかりのことを生かした作業、また班の用具作りや班の善行あるいは資金ねん出の仕事など。

## 計画（プラン）

班のハイキング、キャンプ、将来の特別活動など。

## 遊び（プレイ）

プログラムに活を入れ、変化を与えるためのゲーム、歌、余興など。

## ■ どのようにして？

これらの行事は、きれいにプログラムに組み込むことができる。しかしそれでもなお、班集会はみじめな失敗に終わることがある。問題は、集会で何が行われるかではなく、物事がどういうふうに表示され、集会がどういうふうに運営されるかということである。

班集会を成功させるためには、次の点に注意を払わなければならない。

1. 君が計画することは、班員皆にとって興味あるものでなければならない。
2. スカウト一人ひとりが果たすべき、はっきりした責任を持たなければならない。
3. 集会は、各スカウトが何か新しいものを覚えるように計画されなければならない。
4. 集会の各部分は短くして、区切りをよくしなければならず、集会では、実際に行うことがで

きるより以上のものを計画しなければならない。

この4点をもういちど振り返ってみるとよい。そうすればその全部にとってカギとなる言葉は、「計画」であることがわかるだろう。集会を成功させるためには、よい計画を立てなければならない。ところでだれが計画するのだろうか。それは君の班の事情により、もし君の班がまったく新しいものであるなら、次長といっしょになってプログラムを作りなさい。もしまた父親の一人を班の助言者として選んであったら、彼にも計画に参加してもらいなさい。

また時間があるなら、君が実行することのできる二つのことがらがある。一つは、班を二人一組のいろいろな委員会に分け、その各委員会に次の集会、あるいは部分部分を手分けさせる。委員会は重複するかもしれないが、それはたいしたことではない。

もう一つは、班の次の集会に皆が含んでおいてもらいたいことがらを話し合ってから、紙片に自分の希望することがらを書いて帽子に入れ、班員一人ひとりにひかせる。その紙に書いてあることがらを、次の班集会で責任をもってそれぞれやるようにする。



いろいろとおいしい料理を作って、班が成長するのを見守りなさい

班の仕事を、ほんとうに適材適所で割り当てるならば、班集会の運営はまったくやさしい仕事である。各スカウトに、それぞれの仕事のときだけその会を任せればよいのである。そして君は班長として、その集会をリードすればよい。

指導のところでは、次長を君の助手として、君がその任に当る。

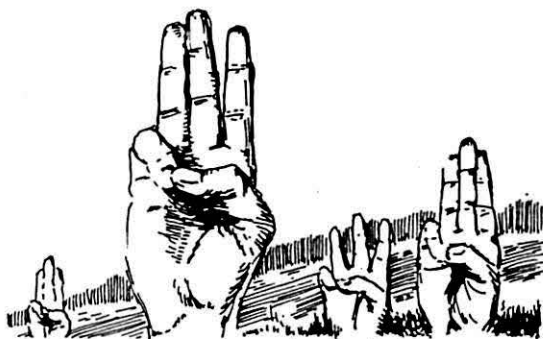
いろいろな作業を考え出すときには、備品係の助けを借りる。全体的な計画を取り扱うには、君は班長としてその任に当る。班員たちが持っているあらゆる提案事項を引き出してから、ハイク係を呼んで、ハイキングのコースやキャンプの場所について助言を受け、食料係からは、食物やキャンプ料理についての助言を受ける。

演技係は、もちろん、\*遊び、の時間に責任を負う。そして閉会儀礼になって、再び班長が集会をあずかることになる。

さあ、班集会の骨組みだけはこれでかなりよくでき上がった。ではこれから、それに肉を少しつけよう。

## ○……………開会儀礼

君の班集会を儀式で始めなさい。儀式は士気を鼓舞するのに非常によい。君がほんとうにこれから仕事にかかるのだという気分にしてくれる。隊集会の始めで国旗儀礼に慣れていたなら、班集会を



同じような方法で始めるのが自然だろう。しかし君たちが頭をしぼって、班独自の儀式を考え出すのならさらによい。他の多くのものの場合もそうであるが、儀式の進め方は、班長の考え方によって異なる。儀式に威厳をもたすのは君である。君がほんとうにまじめで、しかも自然なやり方で儀式を進めるということを班員たちが感じるなら、その儀式は彼らにとって重要なものとなる。

これに反して、式のはじめ方が何だか不自然だと班員たちが感じるとしたら、儀式をやめてすぐ点検の仕事にかかったほうがよい。

### 儀式の例

- (1) 班の本拠の壁にかけた国旗に向かって班員を整列させ、敬礼(礼)を行う。
- (2) 各スカウトが、スカウトのちかいとその重要性を考えて1分間沈もくを守る。
- (3) 「私は名誉にかけて……」という言葉ではじめて、班長がちかいの前文をいう。彼が言い終わったら、班員皆が「私は名誉にかけて……」と最初からちかいを唱和し、ちかいの再確認をする。

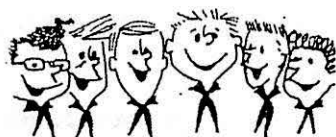




- (4) 班内でいちばん新しいスカウトと古参者が、おきてを唱和する。
- (5) 記録係が人員点呼する。名前を呼ばれたとき班員は返事をして、スカウトのおきての一つ、たとえば「スカウトは人の力になる」などと暗唱する。
- (6) あかりを全部消して、できるだけたくさんのかい中電灯を国旗に当てて、国歌または連盟歌を歌う。
- (7) 厚紙かベニヤ板で切り抜いて作ったスカウト章を、あらかじめ壁にかけるか台の上に置く。それに向かって「名誉にかけて」を歌う。
- (8) ローソクを3本立ててともし、ちかいとおきてを唱和するのもよい。

## ○……………点 検

点検にあまり時間をかけてはまずい。テキパキとかたづけていくべきである。何か調査事項のあ



るものは、集会が始まる前でも処理できる。班員たちが集まってくるにつれて、記録係は班記録簿に出欠を記録できるし、会計係は、班員たちが整列する前に班費を集めることができる。

班集会で確実にやらなければならないことは、前の班集会または前の週のハイキングやキャンピングのことを書いた、班の日誌や記録を読み上げることである。この報告は記録係が読み上げ、班全体がそのまま、あるいは修正して承認する。集会のある部分を進級問題に当てようと思うなら、会を進める前に、2～3分費やして各人の進級記録を調べるのもよい考えである。

時どき、班員たちの服装検査をやりなさい。班集会をもつときには、班員は皆きちんと制服をつけていなければならない。君の基準を高く置き、それを維持しなさい。

## ○……………指 導

行動、これが指導時間中のあるべき姿である。実際に行うことによって覚える。これがスカウトの前進の方法である。この考えで指導をするならば、スカウティングの進歩の階段をまっすぐに上って行くスカウトであふれた、活発で積極的な班を、君は持つことだろう。指導の時間が、班集会ではもっとも大事である。それは集会の他のどんな部分よりも先に準備しておかなければならない。

君が指導することがらを、君自身が十分知らないでは、指導できないからである。君の助手と二

人でその準備をしなさい。いっしょにやることを決め、そのやり方を決定しなさい。

実際にやって見せてから、やらせる。これを君は指図すべきである。たとえば応急手当の場合、君の助手を実験台にして、人工呼吸の正しいやり方をやって見せる。その後で全班員に組を作らせて、お互いを実験台にしてやらせ、君と助手二人で指導する。

このようにやって見せて、その後でやらせる方法は、その他のスカウト技能、たとえばロープ結び、信号法、旗の掲揚と降納およびしまい方、ナイフやおのの研ぎ方、その他に用いることができる。指導についての提案を、君は班訓練の章でいくらでも見つけることができる。君の班員たちが、何の指導を必要としているかを見つけてから、それに必要な要件は何であるかをさがす。その条件のひとつについて、君の指導の基礎となる提案を、この本から見つけ出すことができる。

## ○.....作 業

班集会のプロジェクト（作業）の時間は、スカウト技能またはハンディクラフト（工作）で占められるかもしれない。

### スカウト技能プロジェクト

君がちょうど今行った指導のあとには、当然スカウト技能の実習が従わなければならない。たとえば応急手当の訓練の場合、事故の想定をして、班員たちに効果的な応急手当を施すプロジェクト



（課題）を与えなさい。2，3その例を示そう。

隣の部屋から「助けてくれ！」という叫び声がある。全員隣の部屋へかけ込み、一人のスカウトが右の腕を折り曲げ、握った手のひらから血（赤チンキなど）を出しているのを発見する。「コップを割って手の動脈を切ったんだ」とスカウトはうめく。または一人のスカウトが足をひきずりながら、班ルームに入るなりいすに倒れ込み、「ひざをねじったんだ。ああ痛い痛い」という。あるいはまた、片方の腕を下にして床に横たわっているスカウトが、「ああばくにさわらないでくれ。頼む。腕が折れてしまったようだ」とうめく。班を二組に分けて順番に手当をさせ、他の者は、自分たちならどうするかを考えながら、その手当を見守る。

班訓練の章を読んで、あらゆる種類のスカウト技能についてのプロジェクトを、いくらでも作り出すことができる。

（つづく）



# 班長のでびき

～12～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## V 班集会 (つづき)

### ハンディクラフト (手工) の作業

活気に満ちている班は、班集会中にやるハンディクラフトの作業を、二つ三つはいつでも準備しているものである。30分もかからない短いものもあるし、数回の集会にまたがる野心的なものもある。班の用具を作ったり、班の本拠の設備などが後者の例である。

簡単な作業を少し示しておこう。あ  
るものは少々計画を必要とし、他のも  
のは班の集会にいきなり持ち出せるも  
のである。(IX章 班の工作参照)

- (1) 30cm×5cm×10cmの木材から、何か有用なものを作り出す。皆ナイフを持って来ること。
- (2) 木の切れはしで鳥の巣箱を作る。  
木切れと道具を準備する。

- (3) ブリキかん、針金やくぎでキャンプ用具を作る。空かん、ブリキの切れっぱし、針金その他を準備する。
- (4) 皮革、皮ひも、つの、クルミ、竹の節、羊の骨、木の皮などで、ネッカチーフスライドを作る。
- (5) 棒や糸を使って、橋や信号塔の模型を作る。
- (6) 班旗のデザインをする。(75, 12月号5ページ参照)
- (7) 石けんに班のシンボルである動物を刻み、だ



班ルームの新しい装飾は計画的に行いなさい

れがいちばん上手にできるかを見る。

- (8) 各自リノリューム（プラスチック）スタンプを作る。
- (9) 原紙を切り、ふりかけ法によって班の便せんの頭書（レターヘッド）を作る。
- (10) ベニヤ板で、各自の進級たてを自分でデザインして作ってペンキを塗り、班の本拠の装飾用にする。

次に大きなハンディクラフト計画をあげてみよう。

- (1) 班の本拠のための家具を作る。または本拠にペンキを塗り装飾する。
- (2) 班用テントをデザインし、模様を作り、材料を切り、テントを縫う。
- (3) キャンプでバケツやたらいのような、班のキャンプ用具を作る。
- (4) 各自の用具入れ、用具入れのわく、物入れかごを作らせる。
- (5) ある特別な行事で、班全体がインディアンにふんすることができるように、インディアンのかぶり物や、その他の道具を作る。

- (6) 班の好きなキャンプ地に立てる、トーテムポールを作る。

もっと提案が欲しければ、Ⅷ班の工作の章を参照のこと。

## ○……計画

君の班がどんな種類の班であるべきかについて君はかなりはっきりした考えを持っている。しかし、班員たちは君の考えをくみ取り、希望を分かち合っているだろうか。

班の集会で計画を討議するときに、これを発見できる。ここで班員たちの熱意をあおるために、君の将来への考えを討議するチャンスに、君は持つことができる。いつも班員たちのほうを向いて、「次は何をしよう」といわなければならないようでは、成功はおぼつかない。成功の秘けつは、君がいっぱい提案をもっていて、いつでも、「次の日曜日に乳滝へハイキングをやるのはどうだい」とか「来月、教会のバザーに手を貸すのはいい考えじゃないかね」とか「次の班集会はキャンプファイアを囲みながらするのはどうだろう」というぐあいに、彼らに働きかけることである。



月々を楽しい班活動で満たしなさい

班員たちが考えていることをまず発表させ、それから、提案のどれが実行されるべきであるかを決定する。これに関連することであるが、班長会議が決定した隊全体のためのプログラムを、班員たちに公表することは大事なことである。君は、班員たちの考えを班長会議に持ち出したわけだが、今は、班長全部で決定したものを持ち帰ったわけである。もちろん、隊全体の活動の成功のために、君の班は喜んでその分担を果たすだろう。



大きな事がらについてみんなで計画を立てなさい

物ごとを計画する場合、君は君のグループのリーダーであって「ボス」ではないということを、決して忘れてはならない。君は班の一部分であり、他の少年の一人ひとりもまたそうである。君の班はだれもが発言権を持ち、多数決で行動を決める小さなデモクラシーの組織である。政治についてのリンカーンの有名なことば「人民の人民による人民のための」は、国にだけ当てはまるのではなく、班に対しても同様に当てはまるものである。

## 計画に対する提案

前もって計画を立てなさい。しかしあまり先走ってはならない。来たるべき2、3か月の間何をするかをはっきりと決めて、そのあとは、何を成



し遂げるかについてだいたいの考えを持つようにする。班の「大いなる将来」についての計画と夢に君の時間を全部費してはならない。目の前の事がらについて決定を下し、記録係にその決定の記録をとらせ、それから行動に移る。

君が考えなければならない事がらのいくつかを次に掲げておこう。

- (1) 次の集会のプログラムと、だれに何をやらせるかを決める。
- (2) ハイキングと食料係の提案を受けて、次のハイキングまたはキャンプを決める。
- (3) 進級——班員全部を1級スカウトにするにはどうしたらよいか。
- (4) 制服——班員100パーセントの制服着用を目標にする。
- (5) 班員の選定——だれを勧誘して班に入れようか。
- (6) ほんとうの班善行をやろう。
- (7) どのようにしてキャンポリーで最優秀賞を取



るか。

(8) 次の隊集会で何か実演するのはどうだろうか。または次の隊1泊キャンプで、何か新しいキャンプファイアの出しものを二つ三つやたらどうだろうか。

(9) どのようにして新しいテントを手に入れるか。

(10) 班の財源を確保するために、どうしたら金を得られるだろうか。

# ○……諸活動

「勉強ばかりして遊ばない子供はバカになる」といわれているが、班でも仕事ばかりしているとバカになる。これが君の集会に活を入れ、おもしろさを増すために、ゲームや歌やイエールや物語を取り入れなければならない理由である。

君の演技係に本領を発揮させるようにする。彼

はそのために選ばれたのであり、彼が登場する時である。

## ゲーム

班内でやれる楽しいゲームは、スカウト技能ゲームからインディアン式腕相撲、屋内動物狩り、キムスゲームなど楽しみ本位のゲームに至るまで無数にある。(X. 班の出し物の章参照)

## 歌

歌のうたい方を知り、歌うことが好きになれないかぎり、君の班はまだほんとうの班にはなれないのだ。ハイキングのときであれ、キャンピングのときであれ、キャンプファイアのまわりであれチャンスがあるときは、いつでも歌いなさい。班集会を利用して新しい歌を覚えなさい。(X. 班の出し物の章参照)



## イエール

耳をつんざくような、良いイエールを六つばかり作って、元気いっぱい熱を込めて叫べるように何回も練習する。(X. 班の出し物の章参照)

## 物語

「ぼくには話ができないよ」という班員をそのままひっ込ませてはならない。とにかく始めさせることだ。そうすれば班を正式の話し手の集まりにすることができよう。(X. 班の出し物の章参照)



班集会では皆が楽しめるようにゲームの時間を持つべきだ



始めたときと同じように閉会のときも特別な儀礼で終る

参照)

班集会の間にやることについては、その章を参照するとよい。いろいろな班集会に必要なあらゆる提案を、君は発見することだろう。

### ○……閉会儀礼

ちょうど君がおごそかに班集会を始めたのと同じ調子で閉会する。開会儀礼のところで述べた提案の一つを用いるか、または次に示すものから選ぶ。

- (1) 国旗に向かって一列に並ぶ。各班員は三指礼をして順番に列から一步進み出る。
- (2) 模擬キャンプファイアの周りに集まる。「ディ・イズ・ダン (Taps)」を歌い、うみに丘に空に……、のところへきたら、腕をゆ

っくり上げ、やすらにいこわん。と結ぶときにゆっくりとおろす。

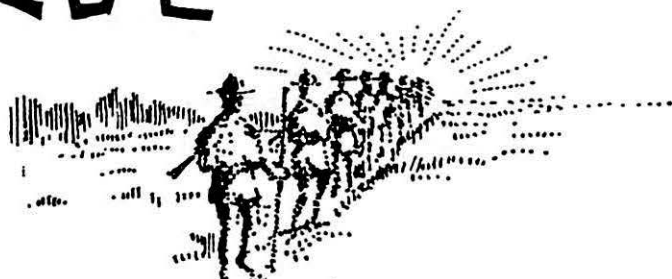
- (3) 班のイエールで会を閉じる。
- (4) 班長が「準備はよいか」といい、班員はいっしょに「準備よし」と答える。
- (5) 円形を作る。スカウト一人ひとりがスカウトサインをし、左手で左側のスカウトの上げた手首をつかまえさせ、「ちかい」を唱えさせる。
- (6) 円形を作って立つ。前で手を交差させる。右手で左側のスカウトの左手をかつみ、左手で右側のスカウトの右手をかつむ。「別れの歌」を歌いながら、曲に合わせて体をゆらせる。
- (7) 班旗を中心において円形を作る。各スカウトは左手で班旗の棒をつかみ、班の歌をうたいながら、右手で敬礼する。(つづく)



- 3 彼に興味をもたせると——全くすごい勢いだ！  
一人で引っぱり、押したりしていたのでは成功しない

# 班長のでびき

～13～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## V 班集会 (つづき)

### 班集会を運営する

さてこれまでで班集会についてのあらゆるアイディアの整理がついたに違いない。アイディアを選定し、計画し、準備し、そして集会を遂行するのは君の仕事である。

#### ☆選 定

君はすでにやりたい活動について、班員と討議した。またスカウト活動で進級するには、どういう訓練を彼らが必要とするかということも、君は知っている。班員全部にいちばんためになる事からを選定することが、次の問題である。

スカウト活動を始めたばかりの少年たち、おそらくまだ初級にも達しない少年たちをかかえるという問題に、多分ぶつかるであろう。ほかの者は1級への途上にあるかも知れない。君は皆に仕事

を与え、喜ばすようにしなければならない。だからバディ・システム(相棒方式)を採用したらよい。すでにスカウト活動について知っている者たちに、新しい少年たちを教えさせるのである。この方式をくり返し、新入班員たちを古参者たちの進んだ応急手当の実験台にしよう。班にいる者たちと彼らが必要とするものを、いつも心にとどめていれば、これまで述べたたくさんの提案事項の中から、よいプログラムを選定するのに、さほど困難は感じないはずである。

#### ☆計 画

いろいろな活動を選んだら、次にやることは、それらを効果的なプログラムに組み込むことである。

次のページに示したような書式の用紙を前にして、君の助手一次長といっしょに座りなさい。君がやろうと決定した活動をその紙に記入し、そして各活動に要する時間を見積り、その活動に移

る時間を記入する、このようなスケジュールは物事を進行させる助けになる。

しかしながら、あまり厳密にこれに従ってはならない。それは物事を推進するためであって、じゃまするためのものではないからだ。たとえば、ある行事をやってみて非常におもしろいと思う場合、君のスケジュールがそうになっていたからといって、わざわざ8時05分かきりにそれをやめる必要はない。要は弾力性を持たせることだ。

### ☆準備

プログラムを振り返り、どういう準備や器具が必要であるかを考える。たとえば信号法、送信では君はブザーを作り、通信文を書き、紙とえんぴつを準備しなければならないだろう。

救急法のためには、ほう帯、副木、さらに仮想で仕組んだ事故を

ほんとうらしく見せるための、メーキャップ用材料すら必要であろう。結索法の訓練には、ロープと2、3本の丸太が必要となろう。必要な用具のリストを作り、君の助手が班のだれかに責任をもっていろいろなものを持って来させる。あるいは君自身その責任を負う。

### ☆遂行

「プディングの美味しさは食べてみてわかる」

## 班集会のプログラム

集会場所 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分  
今月のテーマ \_\_\_\_\_

	時間	活 動	リーダー (責任者)
開会儀礼			
調 査			
指 導			
作 業			
計 画			
ゲーム等			
閉会儀礼			

班集会を計画し運営する、もっとも効果的な方法は、上に示したようなプログラム様式を用いて、アイディアを全部書き込むことである。この様式にはそれぞれ、行事、時間、分担責任者の名前を記入する欄が設けられてある。

同じように、班集会の計画と準備のよしあしは、集会を開いてみて初めてわかることだ。前もってあらゆるものを準備し、まっすぐにプログラムに飛び込むことだ。君の持っている材料をよく知り君がやることに確信をもってのぞむならば、班員たちを引っ張っていくことは非常にたやすいことを知るだろう。そしてまた、君の集会は成功せざるを得ないだろう。

それが集会をうまく運営する技術である。そし

て幸いなことには、その技術は、努力する班長ならだれでも獲得することのできるものなのである。

## Ⅵ 班のハイキング

班集会を何回か重ねると、そのうちに班のだれかが「ハイキングをやることにして



は？」といい出すことは確実である。すると間髪を入れずに皆が「それはいい。いつ行くことにしよう?」「何を持って行くんだい?」と応じてくる。君もまた行きたいと思うことだろう。その少年たちの一団をほんとうの班に仕上げるのが君の願いであり、ハイキングの上手な班こそほんとうの班である。しかし、班集会を運営することと、ハイキングをすることには大きな相違がある。

### ☆班ハイクにともなう責任

集会とハイキングとのもっとも大きな相違点はハイキングには集会の場合よりも大きな責任がともなうということである。屋内で行う集会には、あまり危険はない。屋外の場合でも家の周りでやる場合には危険はない。

しかし、グループを野外に連れ出す場合には、めんどうなことに会う可能性も出てくる。まず交通の危険があり、通ってはならないがけや沼地がある。野外で炊事するために火を起し、その扱い方を誤って山火事に発展させたりするおそれもある。



予期しないできごとがいろいろと起こって、君の指導力が試されることになったりする。もちろんどんな状態が発生しても、それを処理し得るという十分な確信がなければ、君は自分の班をハイキングに連れ出したいとは思わないだろう。単に物は試しという軽い考えで最初のハイキングをすることは許されない。

事がうまく運ぶように、すべてに計画を立て、その計画に従って実行しなければならない。これはあらゆるスカウトハイキング技能の訓練を受けて初めて、確実を期することができることである。物事をスムーズにおし進めるためには、すべてどのようにやればよいか、そのコツを隊のハイキングで見せてもらえることはいうまでもない。

しかし、君が参加したリーダーのハイキングはもっと役に立つことだろう。このようなハイキングは、少年幹部に班長の訓練を施すのに非常に重要なものである。ちょうど班長会議を行うために隊長や副長、上級班長や班長たちが集まるように、その同じメンバーがあらゆるハイク技能を習得するために、ハイキングに時たま出かける。君はこのリーダーたちの班で、いろいろと楽しい思いをするであろうが、同時にまた、他のリーダーたちから君自身の班に用いることのできる、いろいろなことがらを学ぶことになるのだ。



## ☆ハイキングとは？

元来ハイキングとは、歩いて長い旅をする意味だったが、現在では実際にはほとんど歩かなくても、野外に出て行きさえすれば何でもハイキングと見なされる。

それで、これから説明するハイキングは、長距離、短距離にかかわらず、またまる1日、あるいは数時間であれ、班を屋内から自然の中に連れ出し、自由な感じを与え、エネルギーを散らせる待望のチャンスを与えるようなものを意味する。



班は子犬みたいなもので、健康を保つためには、ときどき大気にあたる必要がある。

## 2種類のハイキング

便宜上、ハイキングを2種類に分けてみよう。サンドイッチハイクとチョップハイクの2つである。

サンドイッチハイクとは、火を起して料理をする時間を省くものである。特別な訓練、たとえば信号、通信、追跡、自然界に関する知識の開拓などの目的をもって、1分でも余計にその目的のために時間を費したいときに向く。あるいは火をたくことが許されない地域にハイキングする場合、または何かほかに理由があって、食事時間を短くしなければならないときなどに適する。

とにかく、サンドイッチハイクでは、すばやく食べることができて、しかも、後かたづけにもあまり時間がかからないような食物を持って行くのである。もちろん持って行くものをサンドイッチにしなければならないということはない。創意に富んだ、特に頭のいい食料係のいる班では、何かもっと心のおどるものを考え出す。つまり、簡単



名古屋第80団 今野 明美

で時間のかからない食事を計画することである。

チョップハイクとは、火を起こすことと料理をすることが主な位置をしめるようなハイキングをいう。火を使用するために、リーダーとしての君の責任がより重くなり、料理をするためには、出発前に、より多くの計画と準備をしなければならなくなるということは、容易に理解できる。この場合「チョップ」。(厚切りの肉)は必ずしもチョップにする必要はなく、好みどおりの混ぜ方で、肉と野菜をたき合わせてもよい。

最初の数回にわたるチョップハイクでは、班員たちに各自、自分の食事を準備させる。そうすると彼らは、2級スカウトの必修課目をやるための訓練を受けることになる。後日、君の班は、キャンプのための班の料理法習得を本格的にやり、班員たちに、順番に、班全体の食事を料理させるようにしなければならない。

## 班ハイキングのための指導力

班のハイキングに関連して、まず君がしなければならないことは、君自身の準備はどうかを確か



ることである。「もし、班員たちをハイキングに連れ出したとき、どんな困難に出あっても冷静に対処し、それを乗り切るだけの知識を、果たして自分は持っているだろうか」という重要な問題を自分自身に投げかけてみることである。

君が隊長に、君の班員を初めてハイキングに連れ出す許可を求めるとき、その隊長は、ちょうど同じような質問を彼自身にすることだろう。つまり「この班長はハイキングに取り組んで、うまくそれをやれる能力を持っているだろうか?」と。結局隊内で起こることがらに対し、もっぱら責任

を持つのは隊長である。君が十分やれるという確信を隊長が持てなかったら、むしろ君自身のために彼はハイキングを許可しないだろう。もし隊長が君はまだ班員をハイキングに連れ出す準備ができていないと決めたら、その目的にかなうように自分を慣らすまで、いっそう努力することが君の務めだ。(つづく)

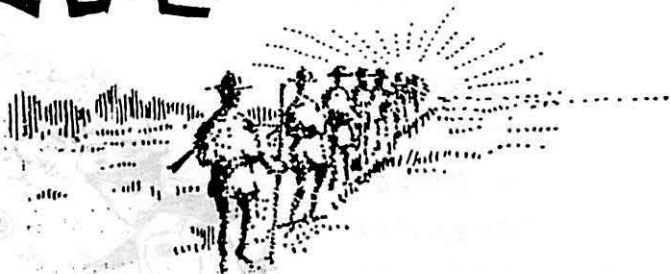


最初はうまくできないかもしれないが、慣れるまで待つことだ



# 班長のてびき

~14~



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅳ 班のハイキング (つづき)

### ◇班長に必要な条件

君の隊長は、不合理な決定は下さないはずである。君の能力を試すために、隊長が試みるテストがある。君が班員をハイキングに連れだすのに同意する前に、隊長は必ず次の諸点を考慮し、最少限、君がその諸条件を満たしていなければならないことを強調するだろう。

1. 君は1級スカウト章を獲得していなければならない。
2. 君は少なくとも1回は隊のハイキングに加わった経験がなければならない。
3. 君は少なくとも1か月間、班長としてりっぱにその仕事をやりとげたという経験をもっていなければならない。

君がハイキングに出発する前に、隊長はまた次の事項についても、念を入れることだろう。

4. 君は各班員の両親の承諾書をもっていなければならない。(その季節中を通じて有効な承諾書をもろうこともできるだろう)
5. 君はハイキングに出かける地域を十分知っていなければならない。



6. もし調理ハイクをするのなら、火起こしや料理をする許可を、行先地の所有主などからもらわなければならない。

以上の条件を読み返してみれば、その条件の一つ一つの意義と重要さがわかるはずである。

## ◇最初のハイキングへの援助

普通は、班の最初のうちのハイキングには、隊長（または副長あるいは上級班長など）が2、3回同行する。これらのリーダーは、いっしょに行くからといって、別にやることがあるわけではない。君が班を指揮していくのに干渉しないし、たぶん助言すらしないかも知れない。ただ彼はそこにいるだけである。

### ハイキングの計画

それでは、班のハイキングにとって必要な計画をいっしょにやってみよう。

定例集会でハイキングの問題を君の班員たちにもち出す。ハイキング以外の行事の期間は終って、君はそれらをたっぷり楽しんだはずである。さあこんどはハイキングの計画にとりかかるのだ。

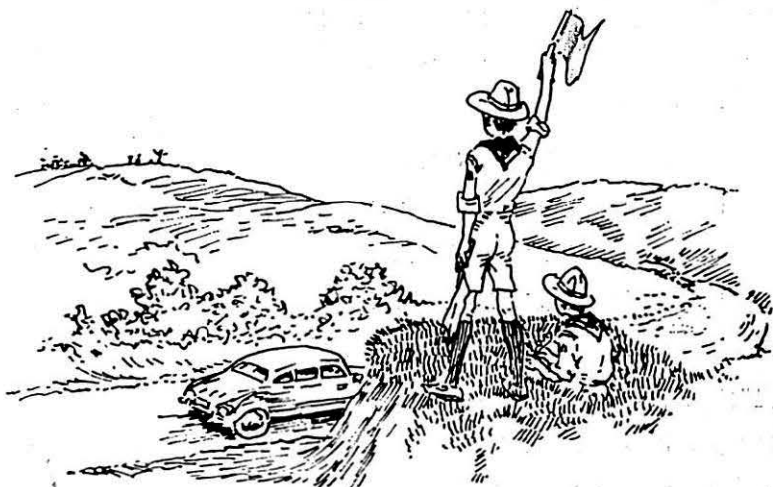
そこでひとつの方式をもとう。

班集会を計画したときの「いつ、どこで、なにを、どのようにして」を思い出してもらいたい。順序は違うにしても、同じ原則がハイキングの場合にも当てはまる。つまり「何を、どこで、いつどのようにして」の順序である。

今からこのポイントを一つ一つ検討していこう

## 何を？

ハイキングは、どれでもはっきりした目的をもたなければならない。「われわれは何をやりたいか、また何をやらなければならないか。スカウト技能、たとえば救急法、信号法、追跡、地図作製、料理などの訓練がわれわれにとって必要か？ 自然観察ハイクとすべきか？ あるいは歴史ハイクとすべきか？」などを考えて決めなければならない。君の班員の何人かにまだ初級の者がいるなら、君は彼らが2級課目をやりとげるための作業



信号法は戸外の長距離スポーツだ。ひんばんにそれやることだ

ができるように、おそらくスカウト技能ハイクに決めることだろう。

2級スカウトである班員たちは、同時に1級スカウト課目に挑戦するために自分を訓練することができる。君の班員たちがスカウティングで進級するにつれて、その他の種類のハイキングをやっていけばよい。

そう、君の班員たちは何をいちばん必要としているか？ 信号法？ そうであれば、何か長距離の作業ができるように、視野のきく広々とした地

域に皆を連れ出したいと思うだろう。

あるいは追跡？ そうならば君の行くべき所は森林地帯である。

料理なら？ そのときは許可を受けることや、まき、水などを考慮に入れなければならない。

スカウト技能訓練は、それぞれに適した地域を必要とするのである。

どこで？

君の班組織がすでに活動しているなら、ハイク係の助言に従えばよい。もし、ハイク係がいなければこの質問を班員全部に出して、その提案を検討し、ハイキングの目的にいちばんぴたりするコースと場所を決定する。

参考までにヒントを少々あげておこう。

もし君の班が新しい班ならば、短いハイキングをすること。3〜4キロメートル出て行って、また同じ距離を帰って来るだけで十分である。バスの便があるか、あるいは班員の父親が自家用車を提供してくれるならば、ある地点まで車で行き、そこから短いハイキングをして目的地に行くこともよい。だんだん歩く距離を増していくこと。これもまた訓練である。君の班員たちに歩くことに興味を覚えさせることができれば、だんだん遠い場所をハイキングの目的地として提案するようになるだろう。

守らなければならないルールは、幹線道路はさけるということである。国道などの幹

線道路は危険であり、美しい場所も少なく、コンクリートの路面を歩くのは非常につかれるものである。このような道路の代わりに脇道を行こう。間もなく気に入るようなハイキング場所にぶつかるだろう。

しばらくはそのお気に入りの場所にだけハイキングするとよい。しかし班員たちがその場所にあきないうちに、他の場所をさがすことを忘れてはならない。ハイク係がの本領を発揮するのは、このときだ。

いつ？

まる1日のハイキングをするのはいつがよいかということについては、あまり問題はない。答えは日曜日か、あるいは何かの休日である。

半日ハイキングには、やはり日曜日などの休日をあてることになる。いずれの場合でも、もし君の班員たちが宗教の義務を果たしており、そして隊長や班員たちの両親が許すならば、その日にハ



何がなんだか分からないよ。だって見えないもの

(アメリカ連盟「ボーイズ・ライフ」より)



イキングをやってもよい。

### ☆出発の時間

日は決まった。こんどは時間である。終日ハイ  
クの場合、午前8時は、出発によい時間である。  
9時以後に出発してはならない。朝寝ぼうしてい

てはハイキングはできない。  
午後のハイキングには、皆が  
同意する時間を決めなさい。

コースの一部をバスなど  
で行かなければならないとき  
は、予定の時間に目的地に着  
くように、時間を計って出発  
する。

### ☆帰る時間

帰る時間は出発の時間と同  
様に重要である。班員たち  
は、帰る時間を両親に告げなければならないし、  
その時間は確実に守らなければならない。

### どのようにして？

この\*どのようにして。の質問によって、実際の  
準備が始まる。両親の許可を得なければならな  
いし、輸送方法を調べ、食べ物と用具について決  
定し、費用を計算しなければならない。

### ☆許 可

許可書、特に班の最初のハイキングではそれが  
必要である。両親がその子供をハイキングにやる  
のに完全な同意を与えたことを確めるために、君  
はそれが必要なのである。それはスカウティング  
の中に「戸外」の要素を入れるのに、両親たちは

喜んで力を貸すということの一種の証拠となる。

班集会を班員の家庭でもつことに慣れ、両親た  
ちが君と君の班員たちを知っているならば、許可  
書を取ることはそれほどむずかしいことではない  
はずである。

両親たちが君や班員を知らないときは、知って



紳士は時間を守る。君の班員たちを紳士に仕上げなさい

いる場合よりむずかしい。この場合、君がやるべ  
きいちばんよい方法は、班員たちの家庭を訪問  
し、両親たちと話をし、君がやりたいことを説明  
することである。

許可書は、たとえば次のような簡単なものであ  
る。

「(名前) が、5月5日午前9時から午後6時  
まで、オオカミ班のハイキングへ行くことを許可  
します。署名。」

班のハイキングに出発する直前に、班の記録係  
に命じて許可書を集めさせる。あるいは許可書を  
班ハイクの前の班集会のときに持って来させるよ  
うに、早く計画すればさらによい。

もちろん君の隊長はハイキングのことを知り、  
それを承認しなければならない。



### ☆輸 送

町から相当離れた地点から出発しようとするときは、バスや電車、あるいは鉄道の便を調べる必要がある。またもし班員の父親の協力が得られるなら、2台くらいの自家用車を都合して、班員を出発点まで運ぶようにするのは、簡単なことだ。

### ☆集合場所

もし班の本拠が便利な所にあったら、君はそこからハイキングに出発することを望むだろう。そうでなければスカウトのうちの一人の家が、集合場所としてもっともよい所に位置しているかも知れない。もしバスか汽車で行くのであれば、バス停留所か、駅に集合するのがいちばんよい考えだろう。

### ☆費 用

輸送には金がかかる。だから交通費を含むハイキングの全般的なことがらを決定する前に、班員たち皆が、その費用をまかない得るかどうかを確かめなければならない。もちろんこれは班員たちを困らすような質問をして調べるのではない。あるハイキングが、何名かのスカウトにとって負担が多すぎると君が感じたならば、そのハイキングは取り止めることである。両親は喜んでその子供のために多くの犠牲を払うものであるが、もしスカウティングが、そんなに金がかかるものなのかと思うようになると、勢い自分たちの息子をスカウトにするだけの余裕があるかどうかを疑うようになる。

もしどうしても金のかかる何かすばらしいハイキングをやりたいのであれば、班自体でその費用を生み出せばよい。(つづく)



(注) この「てびき」の原本は、和文、英文とも、今手に入れることはできません。  
内容で日本の実情に合わない部分は、書きかえたり、省略してあります。



# 班長のでびき

～15～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## Ⅳ 班のハイキング (つづき)

### ◇最初のハイキングへの援助

どのようにして？

#### ☆食 物

班の最初のハイキングでは、スカウトは各々家から食物を持参する。サンドイッチハイクの場合は、でき合いのサンドイッチを持って来てもよい。しかし、班員たちがそれぞれ材料を持って来て、野外で料理するならば、食欲をそそるよい食事をとることができよう。



食物にはあらゆる種類のものがあるが、ハイキング向きなものにもいろいろある。チョップハイクの場合は、次のことを考えてよい。つまり、生の材料（パンを除く）を持って行って、器具なしで、あるいは器具を使って、昼食をとるところで料理をする。ここでもいろいろ好みのものを選んでよい。食料係に献立表を調べさせておく。

### ◇ハイキングの用具

#### ☆ハイキングの服装

必要なもの：スカウトの制服、遠出に適するくつとくつ下

必要なときに持参するもの：レインコートまたはポンチョ、ジャンパーまたはセーター

班員たちに、必ず正しい種類のはき物をはかせるようにしなければならない。底の薄い運動ぐつはハイキングの場合は全く認められない。足の合わないくつやくつ下も同様である。

足のまめのためにびっこを引いている班員とハ

イクするのは、あまり楽しいことではない。「ハイキングの仲間と、ハイキング用のくつは、古くからのなじみでなければならない」ということわざがあるくらいである。内側がまっすぐで、足の親指がまっすぐ前方に伸びているようなくつがいちばんよく、前方は全部の指が自由に動けるよう

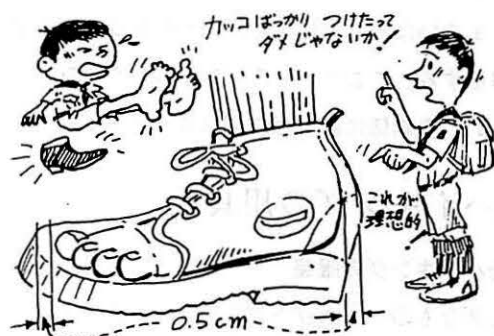
に広くなければならない。かかととは低く幅広で、革は軽くなやかでなければならない。制式のボーイスカウトシューズは、これらの特徴をみなそろえている。

新しいくつをはいてハイキングに行くのは、大きな間違いだ。新しいくつは、家にいるときに、はきはじめるべきである。



スタイル（かっこうのよい）シューズと、スマイル（ほほえみ）シューズがある。正しいものを選びなさい

ターやジャンパーは、寒い天候には着心地のよいものである。制式のセーター以外のセーターは、制服の下に着るのが、スカウト式の着かたである。こうすれば、君はどこへ行ってもスカウトであることがわかる。服装についてはこのくらいにして他の用具のことに移ろう。



くつ下は、足にぴったりしたものでなければならない。長すぎると、しわになってイライラするし、短すぎると、足指を自由に動かせなくなる。木綿でも毛でもよいが、どちらかという、夏冬を問わず毛がいちばんよい。

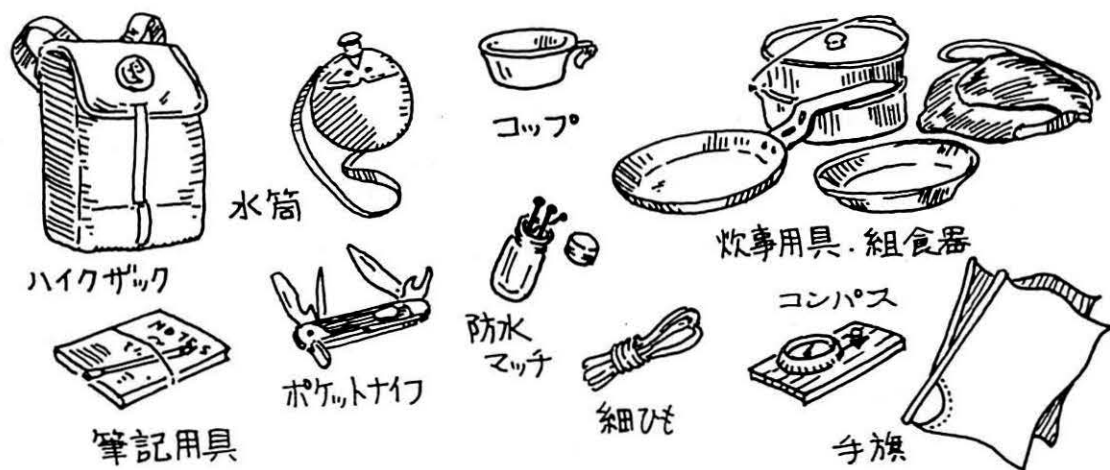
もし寒かったら、班員たちはそれ相当の身づくりをして来なければならない。スカウトのセー

#### ☆個人用具

必需品：ハイクザック、コップ、ナイフ、細いロープ、筆記用具

必要に応じて持って行くもの：マッチ、コンパス、水筒、炊事用具、カメラとフィルムなど  
班員たちが、各自弁当の入った紙袋などを持って歩いているのは、あまりよいかっこうではない。班員たちを激励して、食物や用具を運ぶための小さいバックを作るか、あるいは手に入れさせなさい（需品部で売っているハバザックは、肩から下げたり、背負い式にもなるので便利だ）。あるいは班全体で使用するために、班のキャンピングバックを2個持って行くのもよい。班の食料をみんなそれに入れて、班員たちに交代でそれを運ばせなさい。

＜ハイキングの個人用具＞



班員たちには、必ずコップを持ってこさせるようにしなければならない。ただし、アルミのコップから熱いものを飲むには“革のくちびるとプライヤーのような指”が必要となる。

コップを使う度数の多いのに君は驚くことだろう。コップがあれば、一人の水筒から数人が口をつけて水を飲む非衛生的な習慣を止めさせることもできる。

スカウトのナイフは、なかなか便利なものだ。それを研ぐことを忘れてはならない。

細ひも（ロープ）は、班員一人一人のポケットに入っていないといけない。

小さいノートとえんぴつは、上着のポケットに入るだろう。ハイキング特修章のためのハイキングの日付と距離などから、自然保護関係の技能章のための、鳥や動物の名前、その他にいたるまで、ノートに記入することがらはたくさんあるであろう。

マッチは防水容器に入れなければならない。写真フィルムのカースや猟銃の空の薬きょうにコルクのせんをして使用してもよい。もうひとつの方

法は、パラフィンを溶かし、それを火からおろして少し冷やし、マッチをその中につけてから取り出して乾かすことである。マッチの周囲を囲んでいるパラフィンが、マッチの湿るのを防いでくれる。もうひとつは、マッチに透明なツメ磨きを塗る簡単な方法もある。



オリエンテーリングやクロスカントリーに、方位磁石は欠かせない。班に2個もあればよい。シルバーコンパスは、制式のコンパスであり、たいへんよい。

ハイキングのスナップ写真を撮るために、だれかカメラを持って行けば、それはすばらしいことだ。結局、君のハイキングは、ほんとうに歴史的



なことからであるから。この仕事は、班の記録係にやらせるとよいだろう。班の記録帳のために写真を必要とするのは彼である。

ハイキング途中の水の心配があるなら、班員たちは家から水筒に水を入れて持って来させるとよい。アルミ製で、カバーのある水筒を用いる。

次は個人用の炊事用具である。需品部は、すばらしいキットを売り出している。しかし班員はだれでも、その最初のハイキングのために、自分の家の台所から、小さななべ、ポット、さら、フォーク、ナイフ、スプーンなどを持ってくるができる。

#### ☆班の用具

必ず携行するもの：救急箱、班旗、地図

必要に応じて持つもの：班の炊事用具、信号旗、

なたまたはおの、ショベル、ロープなど

救急箱は、起こり得る緊急事態に必要なもの。すなわち、消毒ガーゼ、ほうたい、テープばんそうこう、軟こうなどを持っていればよい。君の班

なら、ボーイスカウトベルト救急ケースが手ごろだろう。

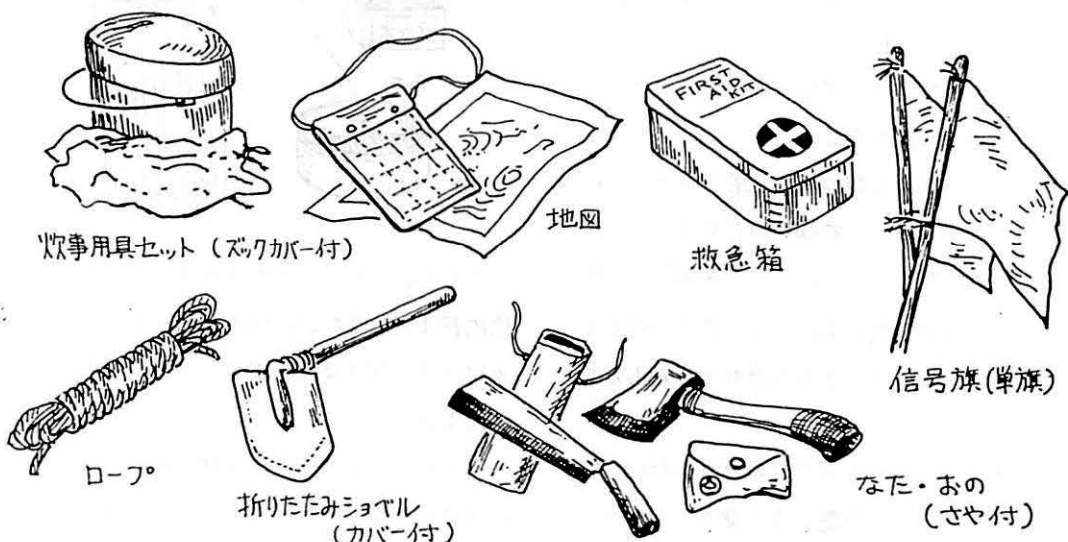
班旗は、もちろん君たちがどこへ行こうと、それは君たちといっしょである。

君がこれから行こうとする地域の地図を持って行くこと。地図を使用することによってしか、君の班員たちは、地図が読めるようにはならない。国土地理院の地形図がいちばんよい。容易に入れできるところ、たとえばポケットか、地図ケースに入れておくとよい。

火をたくつもりであれば、1～2丁のなたあるいはおのと、ショベル（折りたたみ式がよい）を持って行くこと。ショベルはおのよりも大切である。まきを手に入れるためには、君は十中八九までは、なたやおのはいらないだろう。班の火を燃やし続けるのに必要なかれ枝は、普通周辺にあるものだ。もし木の枝をなたで切らなければならぬとすれば、それは生すぎて、あまりまきの用をなさないだろう。

「ボキッと折れなければ捨てよ」ということわ

#### <班のハイキング用具>



ぎを忘れないこと。一方、火をたくところと便所を準備し、後でそれを埋めるために、ショベルはどうしても必要である。

ロープは非常に役に立つ。ボーイスカウトロープの1～2本、5メートルから7～8メートルの長さのものが本領を発揮する。

特別な活動には、特別な用具が必要だ。たとえば信号通信をやるなら手旗または単旗信号旗、追跡の訓練をするのであれば、それに必要な用具を必要とする。要するにそれが何であれ、君がやろうとするスカウト技能訓練に必要なものは、何でも持って行き、君がそれを必要とするときに、いつでも手もとにあるようにする。わずらわしいことは、備品係にまかせることである。

## ◇最終計画

ハイキングについての討議は終わった。全員がその決定に参加した。ここで同意したことがらをとりまとめ、最後に細かい点をはっきりさせるのが班長としての君の仕事である。班員たち全員が、あらゆること、すなわち、どこに、いつ集合し、何を持ってくるか、などを完全に了解するように努力しなさい。いや、それをどこかに書きとらないと全てを覚えることはできないだろう。必ず班員たちに、用紙かノートブックに、詳細を書きとらせるようにすることである。

もう一つやれば準備完了ということになる。それは、出発する前に次長といっしょに、その日の活動の概略と、それに対する時間割りを作り上げ



ることである。こうすれば、ハイキングから最大の効果を引き出すことができるだろう。

出発と帰着の時間を書き込む。昼食の時間を決める。それから実際のハイキング、スカウト技能ゲームおよび作業などで時間を埋めていく。次に一つの例を示そう。

### ＜元原への班ハイク＞

9月23日（秋分の日）

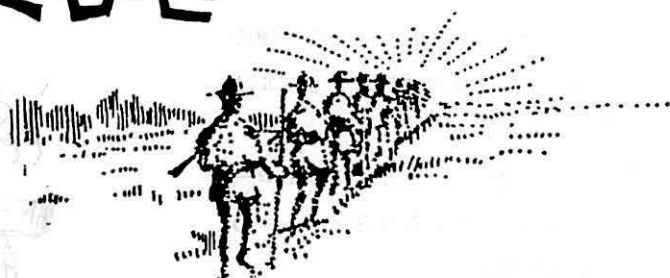
- 8:20 本拠に集合。用具の点検。
- 8:40 公園広場でバスに乗る。
- 9:30 川端通りターミナル到着。ハイキング開始。川の西岸を通ってみどり湖に到る。  
自然研究：樹木、植物、鳥、動物の足跡
- 10:40 元原のキャンプ地到着。長距離信号通信の訓練。その後火をたいて食事の用意。
- 12:20 昼食。食事の後片づけ。パッキング。休けい。
- 13:20 ゲーム。
- 14:00 キャンプサイトの調査。帰路につく準備
- 14:20 はと原の新しい橋までハイキング。そこからバス乗り場まで行く。
- 16:40 バスで川端通りを出発。
- 17:20 班の本拠に到着。解散。
- 18:30 約束どおり班員たちは家に帰りつく。

（つづく）



# 班長のでびき

～16～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとく出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 6 班のハイキング (つづき)

### ハイキングへの出発

ついにハイキングの日が来た。雨が降ろうが、天気がよかろうが君たちは出発する。どんな天候でも、スカウティングに悪いということはない。班長である君は、皆より少し先に班の本拠に到着する。すでに何人か到着していて、ハイキングの見込みについて、いろいろと語り合っているかもしれない。

「原田がまだ来ないよ」「まだ時間があるさ」「君、譲二は来ると思うか」「来るとも、きっと来るよ」等々。

ついに8時20分になった。班員たちは皆到着した。皆きちんと制服を着ている。用具はきちんとパックされている。必要なものが全部そろっているか、もういちど点検してからいよいよ1日の冒険の途につく。

時間の余裕をもって、列車かバスか電車の待つ

ているところに到着する。間もなく全員乗車だ。

### 「スカウトは礼儀正しい」

公共の乗り物で旅行をしている間、スカウトはどういう態度をとるべきかを知らないという批判を、ときどき耳にする。車中で叫び声をあげ、かけ回り、ちょうど動物園から出て来たばかりの動物みたいになる。わくわくするあまり、そうなるのだろう。しかし、多くの場合、見せびらかしたいという欲望が、彼らにこんなふるまいをさせるものである。

スカウトへの非難が正しい場合が多い。行儀の悪い一つの班が、スカウト全体に非難を向けさせるものだ。バスや列車に長いこと乗っている間、元気いっぱい少年たちのグループを、静かにさせておくことはできるものではないし、そういう芸当が君にできるとは、だれも思うまい。たいていの人は、ピチピチしている少年をながめるのが好きである。かと言ってこのことは、少年たちが紳士らしくふるまう必要がないということにはな

らない。彼らはスカウトであり、「スカウトは礼儀正しい」のである。班が一つのグループとして旅行するとき、正しいふるまいによって、これを立証しなければならないのだ。

すなわち、いっしょに旅行している人にうるさがられないように、あまり大きな声で話をしたり歌をうたったり、その他雑音をたてたりしない

ことである。さらにきちんとすわって、あたりを走り回らないようにすること。そして乗り降りするときは一度に押しかけてはならない。もちろんいうまでもないことであるが、婦人や老人などが立っているときに、スカウトはすわってはいはならない。

### ◇道路上での礼儀

礼儀正しさが期待されるのは、車に乗っているときだけではない。どこに行こうとも、礼儀正しさはついていかなければならない。

コース途中の立札に、「入るな」「私有地」ま



たは「通り抜け不可」と書いてあるならば、それは文字どおり守らなければならない。同時にまた門は閉じなければならないこと。耕やされた土地は、公共道路ではないこと。および果物のなっている樹木は、個人財産であることを忘れてはならない。

自分の常識で判断して、君は世間がボーイスカウトにふさわしくないと思う行動を、避けることができる。

### ◇道路上で

車に乗ることは終わった。君は今、道路上にいる。ほんとうのハイキングを始めることができる。

ここで一つのことをはっきりきめておこう。それは、われわれが話をしているのは、スカウトのハイキングについてであるということである。君と君の班は、ハイキングをして小道や新鮮な空気を楽しみ、スカウティングを学ぶために戸外に出て来たのであって、友好的なモータリストに拾い上げられて、歩くのを省くために出て来たのではない。ヒッチハイクは問題外である！ それは全然ハイキングではない。



もう一つのことを忘れてはならない。それは、スカウトのハイクは、競走ではないということである。何かの記録を破るために戸外に出て来たのではない。田舎をハイキングして楽しむため、物事を見るため、物事をするため、戸外の自由さを味わうために君は出て来たのである。君たちは冒険を求めて来たのであり、フルスピードで田舎の片すみをかけ抜けるために来たのではない。

### ◇歩くときは歩け！

と言っても、足をひきずってでも歩けというのではない。むしろ反対で、歩くときはしっかり歩けということである。始めからしっかりとした歩調をとるべきで、ただ、だらだらと歩いて行くのではない。ぶらぶら歩きは、いちばん疲れる歩き方である。1時間に約5%の割合で、自由な気やすい歩き方をするとよい。これが適当な平均速度である。その歩き方は君たちを疲れさせないし、ほんとうに、ある目的地に近づいているという感じを、君に与えるだろう。

歩くという技術は失われつつある。君の仲間の中でそれを保存したまえ。それは、人間のからだ全体に効果を与える。肺を訓練し、心臓を強める。し

かし、何ごとともそうであるように、それを正しくやらなければ、最大の効果は得られない。正しい姿勢と正しい歩調が必要である。

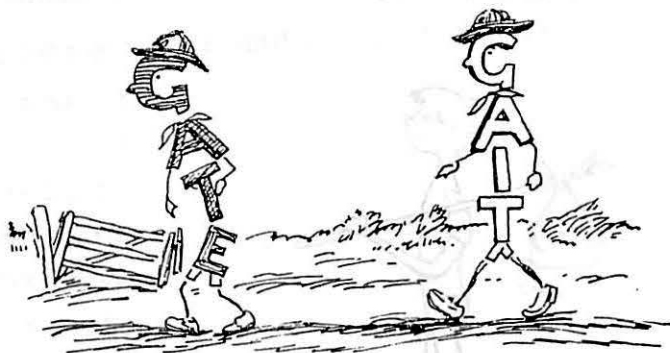
であるから、きびきびした、弾力に富んだ歩調で歩く習慣をつけたまえ。いちどその習慣が身につくと、ひとりでの胸を張り、肩をあげ、まっすぐ前方を見つめて歩くようになる。足はほとんど平らに地面におろし、足のつま先はまっすぐ前方に向く、腕を振らなければならないから、手はポケットに入れない。

### ◇主要道路からそれること

冒険が待っている脇道のところに来るまで、君たちは少し主要道路を歩かなければならないかもしれない。けれども、できるだけ早く主要道路からそれることだ。

主要道路沿いには、見るもの、学ぶものはあまりない。自動車は君が街で見るものと同じだし、広告板が宣伝している商品は、街のショーウィンドーが宣伝しているものと同じである。そのうえ主要道路には危険がある。交通量が多く、君はいつも注意していなければならない。

もし主要道路を歩かなければならないのなら、



古いゲート（門）のようにぶらさがってはならない。君のゲート（歩調）は正しくなければならない。「ハイキングから最大の楽しみを得るために正しく歩くことをおぼえなさい」



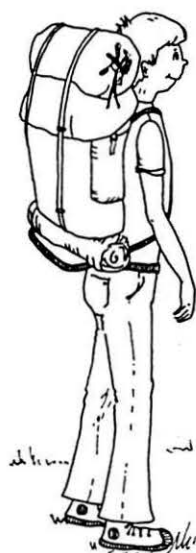


君の住む地方をあちこち歩きまわって、  
美しい地点を知りなさい。

右側を歩け。それがわが国の法律である。そうすれば、走って来る車両に面することになり、危険を避けることができる。トラックなどが、いきなり飛び出して来るかもしれない横道に注意すること。十字路も同様に注意をすること。

### ◇冒険をはじめる

主要道路からはずれて脇道に入るまでは、実際のハイキングが始まったとは言えない。脇道とい



っても、実際には道ではなく、川の岸であったり、湖岸であったり、海辺であったり、丘の稜線りようせんであったり、雑草におおわれた古い小道であったり、あるいはコンパスに従って、いろいろな障害物を乗り越えて、田舎を横切って行く冒険であるかもしれない。

君が正しい班長であれば、この地点から予定の行動を開始する。脇道にそれるまでは、歩くということが主な目的であったが、今こそ、あらゆる種類のスカウト技能に力を入れることができる。

### ◇大自然を見る

今君は大自然の中にいる。班員たちに自然観察の方法を教えなさい。

何かを見ることと、観察することとの間には、大きな相違がある。一生涯を通じて、少ししか物を観察しないで終る人々も多い。君の班を、ほんとうに物を観察する班に仕上げることに。

物を観察することを学ぶ唯一の方法は、時間をかけて観察することである。「止まれ、よく見、よく聞け」これがスカウトハイカーに対するよいアドバイスである。歩いているときよりも、止まっているときのほうが、よく自然を観察できる。

止まって今まで知らなかった木や花を発見し、また、すでに知っている木や花との交友を深めること。何か動物の足跡を見つけたら止まって研究し、何の足跡であるかを確かめてそれに従って行け。もし鳥が飛び立ったら、そこに静止してその歌に耳を傾け、鳴き声をまねて近くに引き寄せるようにしてみたまえ。くちびるを手の甲に押し当てて息を吸い込むと、鳥の困ったときの呼び声をまねることができる。

いちど班員たちの興味を大自然の発見ということに向けることに成功したら、班ハイクの喜びを増す何百もの事がらを君は発見するであろうし、それだけまた班員たちの生活を豊かにすることが

できる。

「少年たちは美というものを知らない」という人々がいるが、彼らがどんなに間違っているかを君は知っている。少年たちは、美しいものを観賞できる。ただそれを口に出して言わないだけである。さざめいている小川のそばの静かな場所、風に打ちひしがれた木々、日没、幻想的な形の雲、星空などは、少年たちに深い影響を与えるだろう。

ハイキングの途中で、これらのものに班員たちの注意を向けるのを恐れてはならない。しかし、静かにそれを行うこと。君が突然「全く美しいじゃないか！」と言ったら、班員たちはどう受けとるか想像できるだろう。

## ◇スカウト技能訓練

ハイキングと進歩は一体である。ハイキングをひん繁にやれば、班員たちは2級スカウトの技能や1級章課目、特修章や技能章の多くを覚えざるを得ないわけである。もちろんこれは、君がこれらの技能を使うチャンスを彼らに与えることを条件としてである。

ほんとうのハイキングでは、コンパス使用と地図の読み方が、最高の技能であることは明らかである。コンパスと地図を十分に使用すること。各人に、班全体の山野横断を先導するチャンスを与



えること。または、班をいくつかのチームに分けて、オリエンテーリングのコンテストをやってもよい。

信号法もハイキングで実行すること。班を2つのグループに分け、1つのグループを先に出発させ、彼らが発見したものをモールス信号で他のグループに知らせる。

また、途中で「事故」を想定して、班員の応急手当の訓練をする。

（後で出てくる「班訓練」の章を読んで、君と次長が、ハイキングに取り入れて実行できるアイデアを探し出さない）

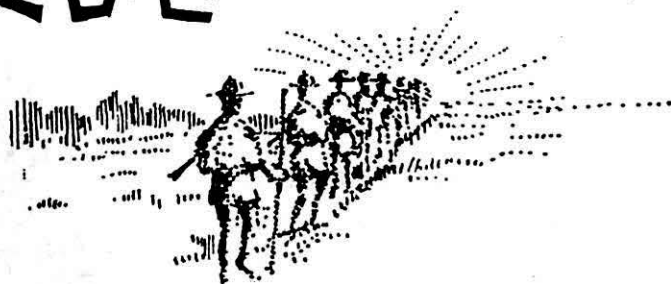
もし君の班員たちが、特修章や技能章を取るために努力を続けているのであれば、班ハイイクで彼らの手助けをすることもできる。写真や収集、スケッチ、その他の趣味をもっている班員たちは、ハイキングでその興味を満足させることができるだろう。

一つだけ重要なことがある。それは、何をするにせよ、班員一人一人をそれに積極的に参加させるようにすることである。（つづく）



# 班長のてびき

~17~



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 6. 班のハイキング (つづき)

### ◇途中の休けい

一般的に言って、一気に歩いて長い時間休むよりは、着実に歩いて短い休息をするほうが、労が少なくて遠くへ行けるものである。

慣れないハイカーは、1<sup>き</sup>ごとに休まなければならないかもしれない。慣れればハイカーは、疲れを感じずもって長く歩ける。

疲れている様子が見えないうちに小休止を命ずることが大切である。

30分歩くごとに短い休けいをとるのがよいとされている。ただしこの場合の休けいは、短いものであること——3分から5分がよく、決してそれ以上休ん

ではない。足の筋肉は歩いている間に柔軟になってくるので、あまり長い時間休むと硬化して、再び歩き出すことがむずかしくなる。

また暑い天気で汗をかいているときは、長く休むと涼しくなり過ぎて寒気をもよおすこともある。皆が寒気を感じる前に出発することだ。

ほんとうに休むためには横になること。あお向けに寝て、足を木か木の株、あるいは垣根その他に上げる姿勢がいちばんよい。



休むときは十分に休むこと。飲料水は有毒でないか確かめること

## ◇飲み水

もし休けい場所付近に水があれば、班員たちがそれに飛びついていくのはほとんど間違いない。特に、彼らがスカウトになって間もないのなら、なおさらである。班員たちをあせらせないように押えなければならない。それには、二つの理由がある。

第1の理由は、思い切って飲むとすぐにのどがかわき、ずっとその状態が続くということである。

水を飲む代りに、小石（あやまっても飲み下せないくらいの大きさの小石）を口に含んでいたほうがずっとよい。その小石はだ液せんを刺激して口の中を絶えず湿らせてくれるからである。

もう一つの理由は、これは他の理由よりも重要であるが、水が、腐った物または細菌で汚染されているかもしれないということである。水の外観は問題ではない。たとえば水晶のように澄みきっていたとしても、有毒な場合がある。試験ずみであるということ、飲料水として適当であるという確証がない限り、水に触れてはいけない。

疑いがあれば、水を浄化すること。10分間沸騰させることは、その一つの方法である。さめた後は、飲料水として安全である——煮沸のためにその新鮮味は大部分失われるかもしれないが……。

もう一つの方法、これは簡単な方法であるが、殺菌力をもった化学製品で水を処理することである。いろいろな品名で薬局などで市販されているから、携帯用救急キットに常備しておくといよい。

水についてあまり知らないなら、君の住んでいる町の水道から、2個ぐらいの水筒に水を入れて持って行けばよい。目的地に着いて、料理や飲み水用として、もっと水が必要であれば、水を沸騰させる。

とにかくハイキングにおける水の飲み方は、一



澄んでいるからといって、純粹だとは限らない。疑わしいなら処理すること

度に少量ずつ、できるだけゆっくりと飲むことだ。ハイキングのエキスパートの多くは、最初のひと口の水を口に満たし、頭を動かして口の隅々までぬらすためにだけ使用する。その後二口三口飲んで、ずっと最後までそのまま通す。

それから、コーラやアイスクリームを買うために、班員たちが道端の店にかけ込んで行くことだけは、ぜひやめさせること。ハイキングでこんなことをしたら、彼らはいつでも渴いている状態におかれるだけである。

## ◇昼食をとる場所に到着する

道沿いであれクロスカントリーであれ、今君は皆が同意した昼食の場所にいる。

そこに到着したら、まず第一に、装具や器具を一行に地上に並べる。＊整とん、という問題がそこにあり、この整とんは、君の班がやるあらゆることのルールでなければならない。

何の秩序もなくやると、後で掃除をするときの仕事を多くするだけである。

## ◇食事の準備をする

サンドイッチ・ハイクであれば、食物をとり出して皆いっしょに食べるだけである。

チョップ・ハイクであれば、火は許可を得た地

域でおこななければならない。

火をおこす適当な場所を決めること。班員たちをできるだけまとめておき、あまり広い地域にひろがらせないようにする。それは、一つには君が彼らを指導し手助けすることができるように、もう一つには、あちこちに焼け跡を作らないようにして、土壌を保護するためである。

君はもちろん火のたき方を知っているだろう。君の班員たちは知らない。はじめての「ゲーム」。であればなおさらである。だから正しい火のたき方を彼らに教えなければならない。

地面をきれいに掃除させ、周囲の植物を保護するため、土を掘りおこす。火事になる危険を完全に取り除き、消火用の水を、手もとに用意しておく。不注意から草地や森林を焼くようなことがあってはならない。

次はまきである。火をおこす前に、食事全部を料理するのに十分なだけのまきを、班員たちに集めさせる。それができたら火をおこし、料理をさせる。

初めの2、3回のハイキングの間に、班員たちは2級章課目の料理をやり、そして1級章の料理への訓練をはじめることになる。

その後のハイキングで、班の炊事つまり班全体のために完全な食事を準備することをはじめ。これは、班のキャンピングのための練習となる。

班の炊事には、班の炊事用具と、仕事をもっとも効果的な方法でやるために、ある簡単な組織を作ることが必要になってくる。それは、コック長と助手、火たき、まき係から成る「炊事班」を作ることである。このことはキャンピングの場合にとくに有意義なので、第7章（班のキャンピング）のところで、さらにくわしく述べる。



これが料理かい？（彼らはしばらくはコックじゃない。しかし「練習」すれば、だれでも上手になれる。のだ

各自別々に料理するときは、班員たちは各々、料理ができ上がり次第食べる。しかし、班で炊事する場合は、班全員が一家族のようにいっしょになって食べる。食事をいっしょにとるということが、どれほど楽しさと友愛を深めるものであるか、容易にわかるだろう。

### ◇あとかたづけ

食べ終わったら皆あとかたづけをする。皿やポットやなべは湯で洗う。紙やくずは焼く。空かんは洗い、押しつぶすかそのままの形で、指定場所に捨てるか持ち帰る。火消し班は、料理した跡が残らないように、掘り起こした土を元どおりに戻す

### ◇食後の休けい

清掃の後は休けいをする。食後にくつろぐことは、大いに消化を助けることになる。

休んでいる間に、午後のプログラムや、将来の計画などについて、班員たちに討議させる——しかしつめらしい討議でなく、笑いながらの軽い討議である。

やがて班員たちの態度から、休けい時間が終



たことがわかる。一人が立ち上がり、他がこれにならう。いつもの出発の合図だ。

### ◇班のゲーム

生き生きとしたゲームを2, 3やりなさい。

どんな種類の鬼ごっこでもよい。昼食場所の周りに自然の障害物があれば、なおさら好都合である。あるいは、班を2つのグループに分けて、いろいろなコンテストをやって楽しむのもよい。

楽しみと笑いのうちに1時間はまたたく間に過ぎ去ることだろう。いつの間にか、帰途につく時間がきている。

### ◇サイトの点検

帰途につく前にやらなければならない大切なことがある。それは、必ず昼食場所を完全に清掃することである。

班員を1列横隊に整列させる。各人の間隔を小さくして、隣りの者との間の地面が余すところなく目に入るようにする。合図に従って全員がゆっくり前進をはじめ、各人は、どんなに小さくても人間がそこにいたことを示すもの、たとえば紙切



れや使ったマッチ棒、その他を拾い上げる。

このようにしてその場所を進んだら、すべてが整然となり、出発準備完了である。

### ◇帰 途

特に何か変わったことが起こらない限り、帰途、班員たちにもういちど自然観察をやらせたり、進級課目の研究をくり返させることは、無理かもしれない。班員たちは、その日の楽しみの頂点を、火おこしや炊事、そしてゲームなどですでに味わったのである。だから、班員たちの元気を保つには、帰りには何か興味を新たにすることをするしなければならないだろう。

そのためには、行ったときのコースと違ったコースをとるとよい。そして新しい発見や冒険を試みることだ。

班員たちに歌をうたわせれば、道は短く感じられるだろう。君は隊でスカウトソングを習ったはずである。それを用いることだ。それからまた、皆のよく知っている古い歌なども歌うとよい。君の演技係（またはイエルマスター）が本領を発揮するのは、この時である。

班員たちは、正式の解散をするために、班の本拠まで帰りたがるかもしれない。班ハイクをそのようにして終るのが、班の伝統とさえるかもしれない。あるいはまた、町に帰り着いたらただ簡単に「じゃ、またね」のあいさつで解散してもよい。いずれにせよ、班員たちが決められた時間どおりに家



皆に歌をうたわせよう。そうすれば道も短く感じるものだ

に帰り着きさえすれば、どんな形で解散してもよいのである。

班員たちが、快い疲れとうきうきした心で、すばらしいスカウティングの経験をあたためながら帰ってきたら、その日の行事は成功したとみなしてよい。

## ハイキングの種類

今まで述べたものは、班の典型的なデイハイク（日帰りハイク）である。それは班のりっぱな戸外活動の特性を備えている。

しかし、もちろん君は、同じハイクプログラムを、いつまでも用いはいしないだろう。班員たちの興味を持続させるためには変化が必要であり、ここで君の独創性が必要となってくる。

君は班長として、新しい種類のハイキングを考え出し、その一つ一つに新しいワザを織り込むための、あらゆる資料をさがし求めなければならない。

スカウトの月刊誌に目を通しなさい。その記事や写真などの中に、ハイキングのアイディアをたくさん見つけ出すことができるだろう。それを使うことである。



夜間ハイクは、計画さえよければ、ほんとうの冒険を味わうことができる

まず手はじめに、次のようなものはどうだろう。

（注：原書ではここで、各種のハイクについてその内容が説明されているが、紙数の関係上省略して、種類の紹介にとどめさせていただく）

- 冒険ハイク
- オリエンテーリングハイク
- 探険ハイク
- 北極ハイク
- 自然観察ハイク
- ロビンソンクルーソー（生存）ハイク
- 追跡ハイク
- 宝探しハイク
- ミステリーハイク
- 信号ハイク
- 結索ハイク
- ホットケーキハイク
- 歴史研究ハイク
- 父子（親子）ハイク
- 20kmハイク

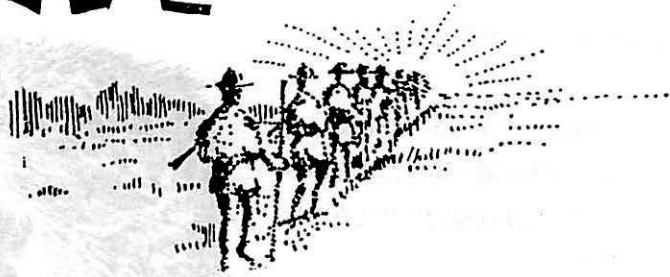


自然から学ぶことはたくさんある

次号は、いよいよ「班のキャンプ」です。ご期待ください。（つづく）

# 班長のてびき

～18～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した、四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7. 班のキャンピング

少年たちはハイキングが好きである。しかし彼らがスカウトになったその日から、いちばん待ちこがれるのはキャンプである。

キャンプ——それはあらゆる純真な少年たちにとって、スリルに満ちた言葉である。それは、自由、楽しみ、そして冒険を意味する。

班長として君ができる最大の仕事は、君の班を、各班員を、りっぱに訓練してキャンプの上手な班に仕立て上げることである。それには時間がかかる。また、ねばり強い根気を要する。しかし、それは実現できるのだ。君が班員たちをりっぱなハイカーに仕立て上げたその日に、すでにその仕事は相当に進んでいるのである。

キャンピングはハイキングの一步進んだものに過ぎない。それはハイキングよりも多くの計画と用具を必要とする。野営という点で手は込むが、だいたいの計画はそうは変らない。実際、班のハイキングはすべて次のいっそう大きい冒険活動、



つまり班のキャンピングに備える、いわば予備訓練なのだ。ハイキングでは自分のことは自分でやる。すなわち独立独行の心構えを学びとり、同時に火のたき方、炊事、おのの使い方その他のキャンプ技術をおぼえる。問題はこれらの技術を1泊の遠征で使用するすることである。初めは隊全体と共に、後では班だけで遠征に出かけるのである。

班のキャンプを始める前に、考えなければならぬことがらがある。

第1に、必要な用具を持たなければならないということ。

第2には、君は班長として必要な訓練を受けていなければならないということである。

## 用具について

経験を積んだキャンパーの場合、用具は非常に少なくすむ。彼は大自然の中に入りこんで、自然の資材を使って仮小屋を作り、なべ、かまなしに食物を調理して、一夜を安楽に過ごすことができる。

この種の冒険に、初心者の一群を連れて行くのは、あまりよい考えではない。彼らには、ある程度の用具が必要である。

つまり身の回り品、炊事用具、テントなどである。これらの用具の大部分は家から持って来ることができる。しかしテントは難問題である。

ある新任の班長が班員の一人から「ぼくたちはいつキャンプに行くのですか？」という質問を受けた。「ぼくたちの力で隊のテントを買う資金ができた日に行くさ」と彼は答えた。彼の答えは正しい。

君は、ほかの班が作ったものか、または他の班

に割り当てられたテントを借りることができるかもしれない。あるいはまた、君の隊が少しは持っているかもしれない。しかし君たちが自分でテントを作れば、班全員が誇るに足る秘蔵品になるだろう。

キャンプの準備は早目に始める必要がある。班の結成と同時にそれを始めれば、班員がキャンプに出られるようになる日には、用具がそろっていることになるだろう。

もし君の隊がテントの資金作りをやっているなら、班員各自が自分たちの仕事や班のハンディクラフトその他資金作りになる方法で、自分たちの分担を果たすように激励する。



## キャンプ訓練

班全体がキャンプ用具を作り、または購入しようとしている間に、あるいはまた後には班のものとなるテントの資金獲得に隊と協力している間に、キャンプのための必要な訓練を受けるために、できるだけのことをしなければならない。

隊長が君に君の班のキャンプを許可する前に、君が到達していなければならない、ある種の標準と、持ち合わせていなければならない、最低限のスкауティングの経験とがある。

それは次のとおりである。

1. 1級章を獲得していること。
  2. 隊の1泊キャンプに最少限2回、少年幹部班の1泊キャンプに1回参加した経験があること。
  3. 隊長の満足のいくような、班のデイハイクを少なくとも5回指揮したことがあること。
- そして、さらにそのうえに、1泊キャンプの前に整えておかなければならないこと——
4. 班員たちの両親の許可書を取らなければならない。
  5. キャンプ地域の事情と、キャンプ場所について、かなり詳しいこと。
  6. キャンプ地の所有者から、設営し、火をおこして炊事をする許可を得ること。
  7. 事前に隊長の承認を得ること。

注意：もし君が上記の条件を満たしていなかったら、班員の父親または他の大人が、必ず君の班に同行しなければならない。

上記のリストと、ハイキングの指導に必要な経験を述べたリストを比較してみると、あるものは同じであり、またあるものはハイキングの場合よりもむずかしいことがわかるだろう。



初期の班ハイクの場合と同じように、君の隊長または副長が同行して、君の班の最初のキャンピングに力を貸すことだろう。君は、始めのうち大人がついていると大助かりすることを知ろうし、かりに何か困難なことがおこったとしても、彼の助言によって切り抜けることができるのだ。

## キャンプの種類

班キャンプの詳しい説明に入る前に、キャンプの種類に目を通すことにしよう。

1泊キャンプは、ハイキングとキャンピングをいっしょにしたものである。ある適当なキャンプサイトまでハイクしていき、テントを張り、食事を作り、予定の活動をし、一晩か二晩をキャンパスの下で寝て、上首尾のうちに町にハイクして帰る。

キャンポリーは、君の班のキャンプ技術が試されるキャンピングである。

キャンポリーは、団、地区、または連盟単位で行われる。

長期キャンプは、1か所で1週間またはそれ以上過ごすキャンピングである。夏期キャンプがその代表的な例である。完全な設営をし、あらゆる改善を施しながら、キャンプ活動のプログラムを毎日実施する。

旅行キャンプは移動キャンプである。毎朝あるいは1日おきに、朝キャンプを撤収して新しいキャンプサイトへ移動する。ここで再び設営し、1日か2日間、ほんとうのキャンプ生活を送り、再び新しい地点に移動していく。この種のキャンピングがいちばんむずかしい。班員もリーダーも十分訓練を積んでいなければならない。旅行キャンプは、徒歩でも、自転車でも、船あるいはカヌー





でやってもよい。

## <1 泊キャンプ>

キャンプを成功のうちに終らせるには、その全体の三分の一を計画と準備に費やすことだ。この計画と準備は班集会でいい、あらゆる点にわたって、細かく慎重な検討が加えられる。

そこでわれわれは、再びとおきの古い公式つまり何を、どこで、いつ、どのようにして——を持ち出すことになるわけだ。

○………何を？

これを決めるのは簡単である。答は、戸外に住み、夜を野外で過ごす \*キャンプ。である。信号法、追跡その他のスカウト技能が、日中のプログラムの一部になる。しかしこれらのものは、二次的の重要性しかない。キャンプは、何よりもまず訓練である。

○………どこで？

もちろん、理想的なキャンプサイトである。それを調べる簡単な方法がある。

しゃへい物、水、まき、この三つをまず第一に考えなければならぬ。もちろん、選択にあたって考慮しなければならないことがらは、ほかにもある。

### 理想的なキャンプサイト

理想的なキャンプサイトとは、かなり広い空地で、かりに付近の低地から朝霧がわき上がることがあっても、視界をさえぎられないような高台になっている所である。平たんであってもよいが、自然に排水できるように軽いこう配がつき、砂質の土

で草におおわれていればなおよい。ねん土質のところは避けなければならない。その上に生えている草はしだきやすく、雨が降るとどろんこになるからである。また砂地も避けなければならない。砂が所きらわず入ってきて、食物や衣服をだめにしてしまうからである。そして、草が密生している所も避けなければならない。それは、地面が湿っていることと、蚊がたくさんいることを示しているからである。

風からよくさえぎられた所が理想的である。西と北側に木があり、午前中はキャンプに日が当る



ような場所を選ぶこと。樹木の真下にテントを張ってはならない。木は雨をよけてくれると思うだろうが、雨が止んだ後もずっとしずくが落ちて、テントが乾くまで相当に時間がかかる。木の下にテントを張る場合のもう一つの不利な点は、かれ枝が不意にテントの上に落ちてくるかもしれないことである。

水はそう遠くない所になければならない。飲み水ばかりでなく、できれば水浴用のものまでほしい。水については安全第一を心がけること。ハイキングの章に書いてある飲料水の項を読み返すこと。水浴のためには、よく場所を調べること。ここでもまた、安全第一である。



燃料とキャンプ地の整備に使う木は、十分になればならない。まきを遠くから運ばなければならないようだったら、理想的なキャンプサイトとはいえない。

キャンプサイトについてはこれくらいにして、次にその環境に移ろう。

キャンプ地は、四方が美しく、しかも君たちの自由な楽しみをじゃまされることのないような、

季節によるキャンプ



たもなかなかいいモンだ!

人里離れた所を選ぶべきである。ひっきりなしに訪問客があるようでは、ほんとうのキャンピングなど望むべきものもない。また、君のキャンプ地は、往復に多くの時間と費用をかけなくてすむように、君の住んでいる町の近くに探すことだ。

どうして場所を見つけるか?

理想的な場所をさがすことは、なかなかむずかしいことである。そんなものは、われわれの想像の産物でしかないと主張する人もいる。しかし君は探しさえすればそれを発見でき、それを使用する許可を得ることができるはずだ。ひょっとすると、何から何まで満足という場所はみつからないかもしれない。そのときは、できるだけ理想に近い場所を選ぶことである。

君の班がキャンプに出かけるようになるころまでには、少なくとも6か所くらいのキャンプサイト候補地は、見つけてあるはずである。班のハイキングのとき君はそれを見つけたはずだし、君のハイク係が、その場所やその他を注意深く記録しておいたはずである。

(つづく)



# 班長のてびき

～19～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング (つづき)

☐ い つ ? ☐

それは班員たちの都合次第である。土曜日の夜から日曜日の夕方まで、土曜日はできるだけ早く出発することにして出かけてもよい。ただこの場合困ることは、明るいうちにキャンプ地まで到着できないことであり、班員がキャンプになれていないときは特に困る。このようなときには、2～3名だけ先に出発して夕方までにキャンプ地に到着し、テントを張り、かまどを作り、夜皆が到着するまでには、万端の準備をととのえておくようにすればよい。

いずれにしても、出発の時間と帰る時間をきちんと決めて、それを守ることである。何でもきちんとプログラムを守ることは、両親にスカウティングを信頼させる一つの要件である。

☐ どのようにして? ☐

班キャンプの計画は、班集会でやる。

主な点は自分たちで決めることになるが、こまごましたことがらについては、第4章に述べた班組織を参考にしたほうが運びやすい。事実キャンプの準備をする場合、君の班の組織はもっともきびしいテストを受けるわけであり、そこからその組織が実際にうまく働くかどうかを知る手がかりをつかめるのだ。

それで、どういうことをやらなければならないか見てみよう。

キャンプの前にやらなければならない、四つのことがある。

1. 両親から承諾書をもらうこと。
2. 用具を整備すること。
3. 輸送費と食料費を集めること。
4. 食料を購入すること。

キャンプ中に、次の二つの事実があれば、その

キャンピングは成功まちがいない。

1. 正しい方法で張ったテントでよく寝る。
2. よくできた食事を十分に食べる。

## 班をキャンプのために組織する

今、ある班の組織を使って、もっとも効果的にこの仕事をやる方法を考えてみよう。もしまだ組織ができていなかったら、さっそく組織作りをする理由になる。

第4章に述べた班の組織によると、班員を次のように分けたはずである。

班長	備品係
次長	ハイク係
会計係	食料係
記録係	演技係

今やることは、班員たちに各自の仕事をいそがしくやらせることである。

最初にやるべきことを最初にやるに当って、すなわちキャンプの前にやらなければならない四つのことがらをやるに当っては、次のように仕事を

分担することになるだろう。

1. 両親の承諾 班長としての君が、班員たち全部の両親といちばん密接につながっている。したがって、班員たちの両親から承諾書をもらう役目は、当然君がやるべきだ。そのときに、班員たちが持って行く用具について、両親に説明することができる。記録係の手を借りること。書類を保管するのは彼である。だから承諾書をもったら彼に渡すこと。
2. 班の用具 班の備品係は、すでにその仕事をやっている。演技係に手助けさせる。
3. お金 班の会計係がこの世話をする。しかしお金を集める前に、経費はどのくらいかを知らなければならない。輸送費についてはハイク係と相談し、食料費については食料係と相談する。ハイク係といっしょにして2人でお金のことを心配させればなおよい。
4. 食料 これは今さらいいうまでもなく、食料係の仕事である。キャンプが成功するかどうかは、食料にかかっているところが大きいので、彼はできるだけ最上の

援助を必要とする。次長に彼の手伝いをさせる。彼らはその仕事を満足のいくように取り扱うことができるはずである。食料品購入代金を彼らに渡す会計係と、緊密に協力して働かなければならない。

キャンプの前にやらなければならないことのための組織作りについては、このくらいにして、こんどはその組織が



よかった。ぼくたちといっしょに彼をどこにでも行かすって言うてるよ。

よし。それじゃ学校がすんだら皆出かけられるわけだ。

君がりっぱな班長であることがわかれば両親は喜んで君の頼みを聞いてくれる

キャンプ中にやる必要のあることがらをやるうえでも、うまく役立つかどうかをみてみよう。それはみごとに役立つのだ。

1と2は、みんなをキャンプに來させて、そこにいる間愉快地に過ごさせることに関するものだということがわかる。3と4は、すでに密接な関係がある。つまり考えたり仕事をしたりすることには、お金が関係してくるのである。

全部のことを総合すると、次のようになる。

Aグループ……以後「設営班」と呼ぶ。

キャンプ前に

同意……班長、記録係

用具……備品係、演技係

キャンプ中に

設営……テントを張り、キャンプサイトを住めるようにする。

Bグループ……以後「炊事班」と呼ぶ。

キャンプ前に

お金と旅行……会計係、ハイク係

食料……食料係、次長

キャンプ中に

炊事……かまどを作り、まきを集め、炊事

をする。

すべての準備は完了したのだろうか。では、各人にそれぞれの任務にとりかからせよう。

その任務のうちのあるもの、たとえば両親の同意を得たり、お金を集めたり、用具をそろえたりすることは、前もってすることができる。しかし食料品の購入や旅行のための切符の購入（予約を要しないもの）は、キャンプ開始直前に行う。

## 両親の同意

班員たちに、キャンプに行ってもよいという両親の署名入りの許可書を、キャンプ直前の班集會に持参するようにいう。この許可書は、班のハイキング（第6章）のときに必要とされるものと似たようなものであるが、外泊許可も含めるようにしなければならない。

記録係にこれらの許可書を集めさせ、書類つづりにとじさせる。

## キャンプの費用

必要な金額は会計係、ハイク係、食料係それに次長の相談で計算して出す。彼らは買入れる必要のあるものを決め、運賃を計算し、合計額を出してこれを班員の頭割りにする。もちろん彼らは割当て額ができるだけ少なくてすむように最善をつくす。

各班員がキャンプのために支出する費用は、前もって時間的に十分余裕を置いて発表する。彼らはそれをキャンプの前の集會に持参し、会計係に渡しておく。そうすれば会計係は現金がそろい、必要なものは何でも購入することができる。



食料品の買出しは、食料係と次長の役目だ





備品係は、装備品をすぐ使用できるように準備するために、手助けがいる

## □ キャンプ用具 □

キャンプ用具は、慎重に考慮しなければならない。ハイクしてキャンプすることを計画する場合には、特にそうである。

テント、炊事用具、食料および戸外で一晩をすごすための身の回り品——それらはすべて実に重いものである。班装備のこつは、ちょうど十分だけ持って行くということにあり、——1個たりとも余分なものを持って行かないということにあるのだ。

次に、個人と班装備品で検査に合格した用具の表をあげる。実際にやってみると、この表にあげている物の中で、君のキャンプではいらないものが、いくらかあるかも知れない。そんな用具は、次回からは家に置いてくることだ。一方では君の住んでいる地方の天候の状態から、そのリストにある種の用具をつけ加える必要のあることがわかるかも知れない。そのときはそういう用具をつけ加える。しかも忘れてならないことは、長時間持ち運ぶときは、100グラムの軽い物でも1キログ

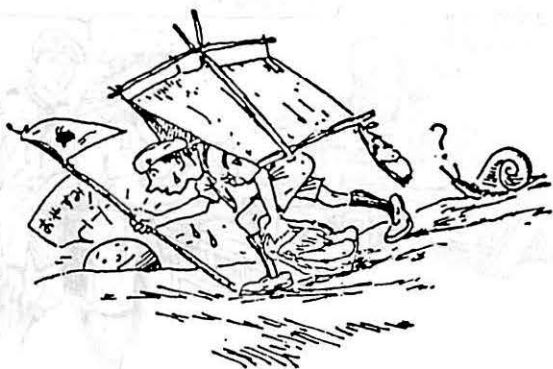
ラムの重さに重たく感ずるということである。

このような用具を、たった1日で、全部そろえることはできることではない。1か月でもむりだろう。もし君たちが用具を入手することを目指して努力すれば、つまり各班員がそのために働き、貯蓄することによって、徐々に用具をそろえるこ

とができるのだ。それは君たち仲間の者が努力を傾ける目標となり、その過程で班精神と団結心を養うのに役立つ。

自分たちの班備品を買うために、できるだけ君自身多くのお金を得るようにし、そして自分で作れるものはできるだけ自分で作る。必要な実際的な設計図は、第9章班の工作のところであげる。

君が個人装備品を作ったり買ったりするとき、班員にも同じものを買うようにすすめることを忘れないことだ。班員の装具を一樣にすれば、単に便利で、ていさいがいいだけでなく、班の伝統を築くうえにも効果があり、この意味でたいへ



ん望ましいことである。班でリュックサックやそのつめ方をそろえることは、世間一般にいうように、「ぼくはおおかみ班員である」と宣言しているのと同じで、君の班の名前が何であろうと、その班に所属していることを世間に知らせることになるのだ。

### □個人装備品□

まずはじめに1泊キャンプのための用具の参考例を掲げておこう。ここではスカウトの個人用具を列記してある。このほか各班員は、後で述べる「班」用具のうち自分に割り当てられた分も運ぶことになる。

完全な制服ひとそろい	リュックサック
毛布または寝袋	防水布
マットレス	ポンチョまたはレインコート

#### 次のものの入った衣類袋

下着の着がえ	パジャマ
セーターまたはジャンパー	水泳パンツ
予備のくつ下	ハンカチ

#### 次のものの入った食器袋

皿、ナイフ、テーブルスプーン、スープボウル、フォーク、ティースプーン、コップ

#### 次のものの入った洗面袋

容器に入った石けん	金属製の鏡
容器に入った歯ブラシ	くし
ねり歯みがきまたは粉	タオル

予備ぐつまたは野営ぐつの入ったくつ袋

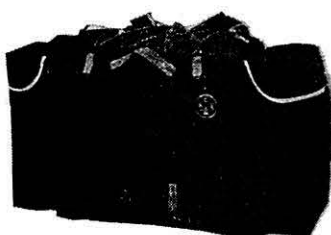
#### ザックのいろいろ



クリップザック



綿ポッカーザック



横形キスリング (ワイド形)



軽キスリング

次のものの入った修理袋

針、糸、安全ピン、ボタン

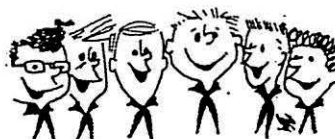
リュックサックの外ポケットまたは制服のポケットなどに入れて持つもの

携帯用救急箱または滅菌包帯	ノートブック
防水容器に入れたマッチ	えんぴつ
強い細ひもまたは細い針金	スカウトナイフ

その他希望により持つもの

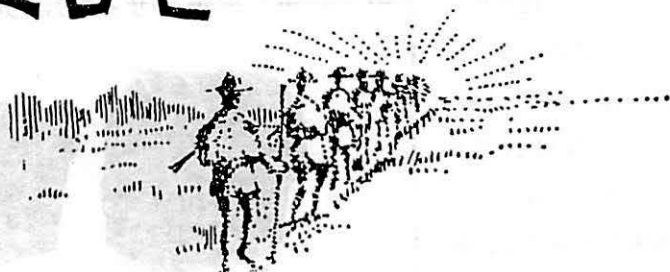
スカウト工作用品	方位コンパス
楽器	地図
ハンドブック類	カメラとフィルム
双眼鏡	水筒
毛布ピン	おの・なた

(つづく)



# 班長のでびき

～20～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング (つづき)

### □ 個人装備品 □

#### キャンプ用ザック

すべてのザックがキャンピングに役立つとは限らない。ある一定の条件があって、君のザックはその条件を満たしていなければならない。

何よりもまずそれは、君の装備品を入れるのに十分な大きさのものでなければならない。小さなザックはキャンピングには役に立たない。前もってその適当なサイズを決めるもっとも簡単な方法は、ザックに詰めるべきすべてのキャンプ用具を集め、それからそれをザックに詰めるのと同じ方法で並べる。ひもでその一つ一つ全部をくく

り、それから容積を計る。ザックの適当なサイズがわかったら、買う必要のある班員全員に、同じ種類のものを買うように進める。

しかし、サイズがすべてではない。そのほかにも、ザックのよしあしを検査する条件があるのである。

それは軽くなければならないということだ。残りの装備品の重さだけでもたいへんなのだから、



新米のキャンパーの中には、リュック  
なしでやろうとする者もいるし……

当然ザックがあまりにも重すぎることは好ましくないわけである。さらに、それは丈夫で防水性のものでなければならない。材料はもっとも激しい暴風雨でも防げるほど厚手のもので、十分に細かく織られているものでなければならない。

もう一つの条件が加わると、それはよいザックである。それはよく背負えるということである。歩くときにあっちこちにずれるザックは、あまり上等ではない。また背中の上部にかかって、ねこ背にさせるのもいけない。負いひものためにザックの重みはいくぶん肩にかかってくるが、おしりの後に余計にかかるようにザックをその低さまで下げることが必要である。ザックはおしりと肩だけに触れるようにし、ほかの部分には触れないようにする。負いひもの幅が十分広いものであることもまた確かめる。そうでないと、肩にくい込むだろうから。

要約：ザックは (1)十分なサイズのもので (2)軽く (3)丈夫で (4)防水のもので (5)肩とおしりでよく平均がとれて背負えるものでなければならない。

需品部で扱っているリュックサックや各種のザック類は、これらの条件にそっている。

班のキャンピングのためのザックを選ぶことは簡単なことではない。人によって好き好きがあり、その好みを満足させる前に、少々試してみなければならないかもしれない。自分で自分のザックを作りたいときは、第9章に掲げる説明をみるとよい。

## ザックを詰める—パッキング

ザックの詰め方をのみ込むのは簡単にはいかなように思えるものだ。時々人がやっているのを見ていると、であるが。しかし、ほかの場合と同

じく、そのコツさえ分かっしまえば、あとはさっさとできるようになる。

正しい詰め方の法則を次に掲げよう。

1. 背中に当るザックの部分には、柔らかい当てものを入れる。
2. 品物は各々それを入れる一定の場所を決めておく。
3. 同じようなものはひとまとめにしておく。  
(たとえば、フォーク、ナイフ、スプーン、さら、あるいは石ケン、手ぬぐい、タオル等のように)
4. 小さい品物をばらばらにしてザックの中に入れてはならない。
5. 雨具類は、残りの品物をぬらすことなく簡単に取り出せるようにして入れる。

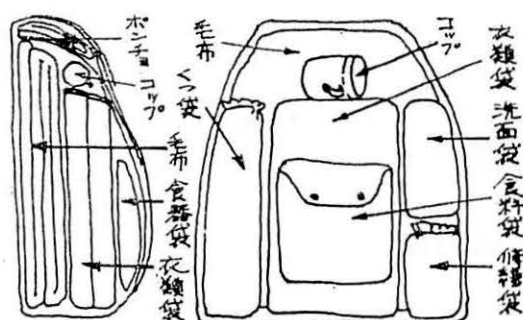


大きすぎるものを背負う者もいる。  
ちょうどびったりのものを整えよう。

6. ザックを動かしたときに、がたがた音がないようにする。

これらの問題のすべては、「袋の中の袋」式を用いることで解決することができる。この方式はザックを一つの大きな袋と考え、その中に様々な品物を詰めた、いくつかの小さい袋をびったり詰めることである。

これらの小さい袋は薄い木綿地なので、ほとんど場所をとらない。班員たちはそれらを容易に作



班員たちに正しいパッキングの仕方を教え、  
背中に当たるところは、柔らかいものを入れる。

ることができる（第9章で作り方を示す）。またはスカウトの母親たちに作ってもらう。そしてそれらは費用が安い。というのは、不用な布切れを用いることができるからである。袋詰め方式は多くの利点を持っている。

まず第1に、一つの大きな場所に何もかもびったり詰め込むよりは、小さい袋に別々にして詰めることのほうが、はるかに簡単である。

第2に、たとえば洗面用具を取り出すのに、石けんを取るために片方に手をつっこみ、歯ブラシを取るためにもう一方に手をつっこむというふうにやる必要がない。やる必要のあるただ一つのこととは、それらの品物のすべてが入っている洗面袋を取り出すことだけである。

第3に、そのザックはいつも完全に整理されていることになる。

## パッキングの順序

パッキングの際には、まずそれぞれの品物を、それを入れるべき袋に入れ、それからザックの正面を起こして床かテーブルの上に置く。毛布と防水布を適当にたたみ、背中に当たる側にできるだけ平たくして入れる。毛布の上から衣類袋を入れる。食器類を衣類袋の上に置き、それからくつ袋を

一方の側に、修繕袋と洗面袋をもう一方の側に立てて置く。コップはザックの上のほうに置く。ポンチョまたはレインコートを平たく巻いて、いちばん上の、ふたのすぐ下に詰める。これでザックは、個人装備品に関する限り、準備完了である。

班の準備の分担品といっしょに詰める場合は、詰め方をちょっと変えなければならない。多くの班用品を中に入れなければならないので、毛布は馬てい形にして、ザックの外側につけて持つようにする。毛布はきつく巻いて、防水布で包む。それは、ザックのどこにくくりつける場合でも、一方の側の下の方から始まり、上部を回ってもう一方の側の下の方にくるような長さに巻く。ひもかロープでそれをくくりつける。

## □ 班の装備品 □

われわれはすでに、班員を設営班と炊事班に分けたので、班の装備品もこれに応じて2つに分けよう。「設営班」のものの中には、テントとテントを張る資材を含める。「炊事班」のものの中には、班の炊事に関係のある物品を含める。

## テント

テントは主要な問題であることがわかる。

君は1泊用として十分な、そして1～2週間の

さてーと。あらゆる用途にもっとも適したものを  
選ばなければ。



テントを選ぶときは、1年中使えるものを選ぶ。



夏期キャンプ用としても十分なテントがほしいと思うだろう。そんな種類のテントは、次のような共通点を持っています。すなわち、かなり軽い材料で、張ったときの広さがキャンパーに対して十分あり、普通の少年が、かがまずに立つことができるだけの十分な高さがある。

一般に、2人用テントがもっとも人気がある。いわゆるエクスプローラーテント（屋根形テントの一種）がよい。軽量のウォールテント（家形）もそうである。小型テントは1泊用に向いており、ウォールをつけた場合だけ、長期のキャンプングに向く。

これらのテント——そして多くのその他のテント——は市販されている。しかし君は自分で自分のものを作りたいと思うかも知れない。そのときは、第9章の班工作に掲げるデザインと作り方を参考にするとよい。

### その他の設営用具

各自の寝床の下に敷くグランドシートが必要である。それは布製でも、ビニール引き製でも、プラスチック製でもよい。キャンパー各自が自分用のものを持ってもよいし、テントの床全部に敷ける大きさのものを手に入れてもよい。

くいと支柱 ある地方では、それらを持って行く必要はない。——現地で手に入れることができる。キャンプサイトでそれらを手に入れることができるかどうか、はっきりわからないときは準備して持って行く。アルミ製のくいは、キャンプ用品を置いている店で売っている。——それらは非常に軽いが、値段が高くつく。支柱は完全な長さのものを用意し、スカウト杖あるいは旗ざおとして持って行ってもよい。

### 班装備品の参考例

#### <設営係>

- 班テント（または小型テント全員分）
- テントポール（支柱）とくいと（キャンプサイトで調達できない場合）
- 各テント用のランタン○救急箱○おの・なた○スコップ○長いロープ2本○班旗○みがき粉○たわし○ボロボロを入れた手入袋○次のものを入れた修繕袋〔カンパス（テント布地等）の端切れ、安全ピン、細い針金、と石、おのやなたをとぐ柄のついたヤスリ、針と糸（補修用の丈夫なもの）、細ひもまたは丈夫な細引〕

#### <炊事係>

- 炊事セット2組（それぞれふたのついた大なべ1、中なべ1などをカンパス袋につめたもの）、または班用炊具箱（携帯用炊事セット）1組○布バケツ2○布洗面器2○救急箱○おの・なた○スコップ○油布またはプラスチックのテーブルカバー○次のものを入れた料理用具袋〔肉切り包丁、かん切り、皿洗い、モップ、皮むきナイフ、塩入れ、スチールたわし、しゃくしまたは大スプーン、こしょう入れ、粉せっけん（または洗剤）、大フォーク〕○パン袋（小麦粉、さとう、塩オートミール、乾燥くだもの、豆類、米、麦などを入れる防水、防じんされた袋）○生肉、くん製肉、魚を入れる防水防脂された袋○バターやジャム用のネジふた付きの容器



班のキャンプ用具① 設営係用

組み立て式の支柱ならばなおよい。テントにくるんで入れることができる長さのものを準備する。

スコップとおの 完全な班装備品の中には、スコップ2丁(みぞ掘りショベル)と、おの(またはなた)2丁が含まれる。二つの係がそれぞれ1丁ずつ取る。「設営班」は座り場所を作り、便所と汚水穴を掘り、そしてテントの周囲にみぞを掘るためにそのスコップを必要とし、そして、テントの支柱やくいを作ってテントを立て、キャンプのこまごました道具類を作るために、そのおのを必要とする。「炊事班」は、かまどを作るためにスコップを必要とし、それから自在かきを作ったり、まきを切るために、おのを必要とする。

需品部には、それらの目的に合ったおのやなたと、携帯用ショベルが用意されている。

炊具 折りたたみ式のランタンは効果的である。あるいは君自身で空かんを利用して作ってもよい。

掃除袋と修繕袋については説明を要しない。



班のキャンプ用具② 炊事係用

救急キット2つ 各係に1つずつ。需品にあるベルトにつける形のものならちょうどよい。

## 炊事係の装備品

炊飯セット 班の炊事用として、いくつかの深なべと、浅なべが必要である。いちばんよい方法は、需品部にあるボーイスカウト用炊飯セットを買うことである。これには、2・4・6リットル用の深なべ3つ(つり手・ふた・おたま付)と、ふた兼用の浅なべを兼ねたフライパン(取手付)が含まれている。そのほかに、四つ組食器(大・小)などもある。

このセットを買う資金がたまるまでは、家から借りた深なべや浅なべで間に合わせる。2つの浅なべと、10号かんづめの空かんに針金で柄をつけて作った、手製の深なべでもどうにかしのげるものだ。

布バケツ これは、水をくむためにだけ用いるものである。適当な作り方のものなら、火の近くに置いておくことができ、そうすれば炊事の目的のために、いつも炊事係の手の届く所にあるということになる。

洗い用の水は、2つの布製洗いおけ(需品部では布洗面器として売っている)に入れて、彼のそばに置いておかなければならない。その一つでは石けんを使い、もう一つにはすすぎ水を入れておくのである。

調理用品袋 これについては説明を要しない。

ほこりよけの食料品袋と防水、防脂の食品袋の用途は明らかである。それらを自作するか、プラスチック製の袋を用いる。

バターやママレード、ジャムの容器としては、広口のびんで、ねじふたのついたものを用意する。(ふたが密閉できるプラスチック容器でもよい)

(つづく)

# 班長のてびき

～21～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング (つづき)

### □ 班の食料計画 □

「いつ食事をするか？」これはキャンプで1日に数回ぶつかる重要な質問である。

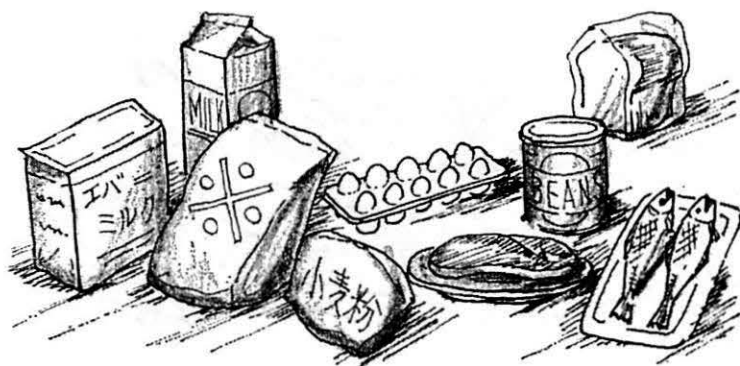
一方、「何を食べるか？」という質問には、旅行を始める前にすでに解答を出していなければならない。

食料系の務めが重要なのはこのためである。

おいしく食べてよく眠るということは、何にもまして、キャンプを成功させる二つの事からである。睡眠については考えなくても、大かれ少なかれうまくいくのであるが、食事はそうはいかない。それについては前も

って注意深く計画を立てなければならないのである。つまりメニューを作り、食料品目を決める必要がある。

手のこんだ料理は班キャンプには向かない。ぜいたくではなくても栄養がバランスよくとれ、おいしく食べられる料理なら、より満足すべきものであるだけでなく、準備にもまた、あまり手間がかからない。バランスのとれた食事とは、体をつくり、エネルギーを生み出し、健康を維持するために必要であることがわかっている成分を含んで



自分たちの食物を四つの基本食品群から選ぶ……

いるものである。正確にバランスをとることは、1泊のキャンプでは決してそんなに重要な問題ではないが長期のキャンプ生活の場合は重要である。

もっともよい方法は、国も推せんしている「四つの基本食品群」に基づいて、班のメニューをやることである。これに勝る方法はない。

### 基本食品群

(この項は、日本人向けに最近の資料により書きかえた)

### 四つの食品群

12才～14才男子の一人1日量標準 (2500cal)

1 群	牛乳 300 g 卵 50 g	350 g	良質タンパク質 脂 質 カルシウム ビタミン A ビタミン B <sub>2</sub>	栄養を完全にする
2 群	魚介・肉 150 g 豆・豆製品 80 g	230 g	良質タンパク質 脂 質 ビタミン A ビタミン B <sub>1</sub> , B <sub>2</sub> カルシウム	肉や血をつくる
3 群	緑黄色野菜 100 g 淡色野菜 200 g いも類 100 g くだもの 200 g	600 g	ビタミン A ビタミン C ミネラル 繊維	からだの調子をよくする
4 群	穀物 340 g 砂糖 20 g 油 脂 30 g	390 g	糖 質 タンパク質 脂 質	力や体温となる

※ この標準によるメニューで空腹を感じるときは、適宜各群の量をふやしてよい  
〔女子栄養大学学長 医学博士 香川 綾編「食品成分表」から作成〕

この食品群では、日本人の食生活に一般的に不足が

ちな栄養素を補って、完全な食事にするための工夫がほどこされており、この基本食品の組み合わせによれば、栄養所要量に相当するメニューを、簡単につくれる分量がきめられている。日本食品標準成分表もできれば参考にしながら、よいメニューを作ることを大いに期待したい。

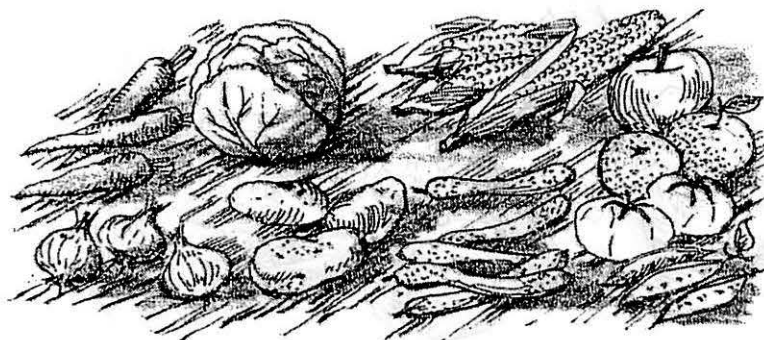
### メニューを作る

メニューを作るさいには、次の点を念頭におくようにする。

1. メニューは、すべての基本食品を適量に含んでいるものでなければならない。

2. それらは、まきの火で、しろうとの料理人でも、簡単に調理できるものでなければならない。

3. それらは、料理にあまり時間がかかりすぎるものであってはならない。適当な時間は、朝食30分、昼食45分、夕食90分以内であるが、特別な



……そして新鮮な野菜と果物をたくさん含める

場合は別である。

4. それらは、手ごろな値段のものでなければならない。

1日の主要な食事は、晩に出すのがよい。夕方は食物をもっとも消化しやすい時間である。それには、肉か魚と野菜、適当なデザートと飲物が含まれるようにする。

朝食は量も多く考える必要がある。

それは、夕食から翌朝の朝食まで10数時間あることが多いからだ。だから、主食のほかに果物、穀類、温かい飲み物などを朝食にはうんと食べること。

昼食はどちらかというと軽いものである。真夏は暑い、量が多いと腹にもたれる。サンドイッチとサラダとその他の軽い料理に、簡単なデザート、ミルクまたは果汁飲料を添えて食べる程度にすること。その日が寒いときは、温かいスープを用いる。

## メニューの準備をする

メニューが決まるとすぐに、食料係は品目表を作り、買い出しを始める。肉、パン、バター、卵および新鮮な野菜は、最後に買うようにするが、砂糖、小麦粉、塩などのような保存のきくものはかなり前に買って置いてもいい。次長が手伝って食料を買い入れ、班の食料袋に入れて班のスカウトたちに配る。

## □ 1泊キャンプの最終計画 □

ついにすべての用意がととのった。班の組織づくりは成功した。万事は計画どおりに申し分なく運んだ。すべての両親たちの許可書は手元にあり



お金も集めてある。食料も買い入れ、用具は配分済みである。あとはただ一つのことをやればいいだけだ。つまり、計画表を作るのである。

次に参考までに1泊キャンプの計画表を掲げてみる。2泊のキャンピングの場合は、中1日は、班の長期キャンプ（後の項で述べる）のときと同じような時間割に従って過ごす。

### 第1日

- 14:00 班の本拠で集合。班員たちに班の装備品と食料品を配る。個人装備品を点検する。
- 14:45 キャンプ地への旅行開始——徒歩、自転車、バス、電車などで。
- 15:45 キャンプ地到着。テントやかまどなどの位置を決める。
- 16:00 設営。設営係も炊事係もてきばきと働く。
- 16:45 炊事開始。
- 18:00 夕食。後かたづけ。
- 19:00 休けい、またはゲーム
- 20:30 キャンプファイア。おしゃべりや歌、物語などで過ごす楽しいささやかな集い。



21:30 火の周りで消灯合図。火を消す。寝る準備をする。

22:00 消灯。沈黙。

## 第2日

6:30 起床。洗面。朝食準備。毛布やスリーピングバッグを空気にさらし、テント内外を清掃する。

7:15 朝食。後かたづけ。

8:00 テントの形をととのえる。キャンプサイトの手入れ。

8:30 キャンプ地からの探検ハイク。自然研究とスカウトクラフト。日曜日の場合は、宗教儀礼。

11:00 キャンプ地に戻る。昼食準備。

12:00 昼食。後かたづけ。

13:00 休けい。

14:00 キャンプ引揚げ準備（撤営）開始。炊事場から始め、それから個人装備品をリュックサックにつめる。最後にテントをたたむ。

15:00 キャンプの跡が実際にきれいになったか点検して確かめる。

15:30 お世話になった人にお礼をいい、帰途につく。

16:30 班の本拠に到着。班の装備品を点検し格納する。

17:00 解散。

18:00 班員たちは時間どおりに帰宅。

## □1泊キャンプで□

午後2時が近づく。班員たちが到着し始める。備品係はスカウトたちにすばやく配分するために班装備品をひと山ずつ積みかさねて並べながら、しばらく前からそこにいる。食料係と次長は、食料品について同じようなことをしている。

しばらくすると全員が集まる。君は指揮をとり、各班員が必要な装備品を持っているかどうか点検する。みんな持っている！

## 班装備品を配分する

すべてのリュックサックをあけて床に置く。各

スカウトは自分の受け持つ班装備品と食料品をもらい、適当にリュックサックにつめる。備品係と食料係は、班員たちが班のキャンプ組織にどのようにとけ込んでいくか考慮に入れながら、緊密に協力して、班の全スカウトに公平にすべてのものを配分する。そしてリュックサックにつめ終ったときに、その中には6ページに列記してある物品が入っているのである。

この表では、各スカウトがほぼ同じ重さのものを運ぶように、異なった品



各自がそれぞれ公平に分担するように装備品を上手に配分する

物を配分するよう試みた。君はこれを自分自身の場合に当てはまるように調整しなければならない。テント、炊事用具、食料品の重さはそこに掲げてある計画とは異なるかもしれない。

何ごとも中途半端にやらないこと。班の装備品の正しい配分方法を発見するまでやめないこと。キャンプに行く最初の1、2回は、どこからか浴室用の体重計を借りてきて、実際に重さを計って配分して調べてみる。

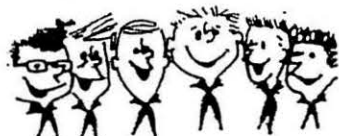
一方、班に大がらでがんじょうなスカウト何人かと、小さい少年が1、2名いるときは、彼らに同じ重さのものを君はかつがせはしないだろう。班員たちの力と、彼らが運ぶものの重さの間にはある比率をもうけなければならない。君の判断力を用いて、リュックサックをその場合に応じてつめさせる。

ひょっとして、計量してみてリュックサックの平均の重さが10kgをこえるときは、確かに君の装備品には、何かまちがっていることがあるだろう。調べて、不必要な物を取り除き、荷軽にしよう。

## キャンプ地への旅行

キャンプの旅行は、普通のハイクと同じ調子で始まる。利用できるどのような交通手段を用いても、町から出なければならない。それから実際のハイキングだ。できるだけ大通りを避けて、間道づたいに行く。

今では君の班員は、ハイキングのやり方を知っ



## 班装備品の配分

### A. 設営係

#### A 1. 班長

個人装備品  
テント1張  
支柱とくい  
おの(なた) 1  
救急箱 1

#### A 2. 記録係

個人装備品  
テント1張  
支柱とくい  
スコップ 1  
ロープ 1  
掃除袋 1

#### A 3. 備品係

個人装備品  
テント1張  
支柱とくい  
ロープ 1

#### A 4. 演技係

個人装備品  
テント1張  
支柱とくい  
修繕袋 1

### B. 炊事係

#### B 1. 次長

個人装備品  
深なべ 2 } 一袋に  
浅なべ 1 }  
肉入れ袋 1~2  
食品袋 1  
救急箱 1  
防水テーブルカバー 1

#### B 2. 食料係

個人装備品  
深なべ 2 } 一袋に  
浅なべ 1 }  
調理用具セット 1  
肉入れ袋 1  
食料袋 3

#### B 3. 会計係

個人装備品  
おの(なた) 1  
ねじふた付容器  
パン袋 1  
布バケツ 1

#### B 4. ハイク係

個人装備品  
スコップ 1  
布バケツ 1  
布洗面器 2  
パン袋 1  
食料袋 3

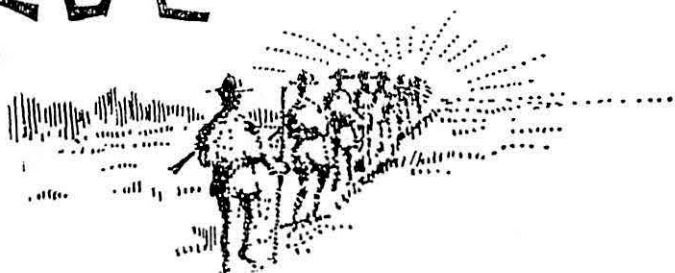
ている、ほんとうのハイカーたちだ。彼らは自分たちのハイキングが好きだ。しかし今日は、彼らはキャンプのことを考えている。——「もう、あまり遠くはないぞ!」「もう着いていたらなあ!」「楽しくやろう!」

道の最後の角を曲がると、キャンプ地だ! みんな足並みをちょっと早める。到着だ。

(つづく)

# 班長のてびき

～22～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング (つづき)

### キャンプ地に到着する

そのハイキングは骨の折れるものだったかも知れない。班員たちは全員ひと休みしたがっているかも知れない。しかし、これは休けいする時間ではない——まだである。その前にしなければならない仕事があるのだ！

何かをやる前に、まず班員たちにそのザックをきちんと一列に並べて置かせ、全員を一つの方向に向かせ、整列させる。「キャンパーの整列」である。

それから全員いっしょにキャンプサイトを歩き回って、キャンプをどうしたらもっとも効果的に設営できるか話し合う——テントを風からかばうように、炊事場の火からの煙がキャンプの反対側に流

れていくように、地面にでこぼこがなく寝床にすることができるように、等々。

これはあまり長い時間はかからないはずであるが、かかったとしてもむだにはならない。配置を決めるまでは、絶対に設営を始めてはならない。さもなければ、多くの余分の仕事を後でやらなければならないかも知れないのである。



「おーい、やっとついたぞ！」  
キャンプにはたくさんの楽しみが待っている

## 仕事にとりかかる

配置が決まったらすぐに仕事を始める。全員がそれぞれ特別な仕事——次の方針にそった——に全力を打ち込む。

## □ キャンプ設営組織 □

## (役割分担)

(注) テントは2人用の小型テント

## ④ テント設営係

(A1) 班長	立てる	各々のテントの準備する	便所を掘る	キャンプファイアのためのまきを集め、その準備をする。
(A2) 記録係	2張を			
(A3) 備品係	立てる	テントの寝床を	ごみ捨てる	
(A4) 演技係	2張を		捨てる	

## ⑤ 炊事係

(B1) 次長	火を起す場所を作る	炊事
(B2) 食料係	食器と食料品を取り出す	
(B3) 会計係	水をくむ	さらにまきを集める。 火を燃やし続ける。 炊事場を整える。
(B4) ハイイク係	まきを集める	

これでわかるように、上記の作業案は班員8人の班を標準として立ててある。班員が少ないときは、仕事のうちいくらかは兼ねて行わなければならない。もし多人数のときは、仕事の中のあるものは二人の班員に分けてやってもらってもよい。

重要なことは、各々の班員が何か仕事を分担しているということである——つまり、だれもぶらぶらしている者がいないようにすることだ。

## どのように行われるか

さて、この組織がどのような働きぶりを示すかを見るために、作業中のある班を観察してみよう。T班長の指揮のもとにあるイーグル班を例にとってみる。

これが彼らの組織である。

テント設営係：A1, A2, A3, A4

炊事係：B1, B2, B3, B4

全班員がキャンプサイトを点検した。「さあ、仕事にとりかかろう！」とT班長がいう。それから、班はその有名な働きぶりで、いっしょけんめい働き出す。

テント設営係全員は、T班長自ら指揮をとって、各自のザックをテントを張る位置に持って行き、炊事係は、E次長の指揮のもとで、各自のザックを炊事場の位置に持って行く。ザックをあけて、班の装備品だけを取り出し、個人用品はザックに残しておく。

## テント設営係の仕事

テント設営係の班員は、テント、支柱およびくいを広げて、それから最初の二つのテントを張る仕事にとりかかる。A1とA2が一つのテントを受け持ち、A3とA4の班員がもう一つのテントにとりかかる。

彼らはうまい方法を知っている。まずテントの四隅にくいを打ち込む。その後で一人は前側の支柱を垂直に立て、もう一人は前の張り綱をくいでとめる。それから支柱を立てる役の者は、うしろの支柱を立て、その相棒は後部の張り綱をくいでとめる。最初の班員は次にテントの中に入って、ソドクロスをきれいにのばし、もう一人はテント

の周囲をくいとめ、それを正しい位置に整える。

すべてのテントを張り終るとすぐに、4人の班員たちは寝床の準備をする。彼らはテントの内部の地面から、石ころを取り除き、でこぼこをならし、木の枝を取り去って、すわる場所を整える。そして防水グランドシートを所定の場所にひろげ、毛布（またはスリーピングバッグ）をその持ち主が寝る位置にひろげ、最後にザックを中に入れて各々のまくら元のほうに置く。

これで野営の準備は完了した！

次の仕事は便所作りである。A1とA2の班員がひまな時間にする。彼らはりっぱな便所は作らない。そんなものは、班キャンプには必要ないのだ。たて約60センチ、よこ約25センチ、深さ30～60センチの簡単な野営便所を掘る。それはテントサイトから十分離れていて、しかもあまり遠くない場所にする。そして水くみ場から少なくとも60メートル以上離れていて、低い所である。自然の繁みでしゃへいされるようにしてあるので、この場合、便所作りのスカウトたちは、その周囲に何も掘いをする必要はない。掘った土を一方の側に積んでおき、木で作ったスコップのようなものを置いておいて、それで、いつでも便所を使用した後に、土をかけるようにする。トイレット・ペーパーは、切り開いた空きかんに入れて、雨にぬれないようにして手近なところにぶら下げる。そして、便所の位置を全班員に知らせる。

一方、A3とA4の班員は、炊事係のスコップを用いて空きかん捨て場を作る。この場合それは炊事をする者たちに便利のように、炊事場に十分近くなければならない。ごみ捨て穴は、30センチ×30センチ、深さ60～90センチのものがあ



テント設営係はテントを張るのに  
いっしょけんめいだ……

る。掘り出した土を一方に積んでおいて、穴の中にあるごみに簡単にスコップでかけられるようにする。（注：空きかんや空きびんは埋めてはいけない。燃えるごみや生ごみはできるだけ燃やし、残ったくずだけを埋めるようにする）

便所とごみ捨て場の準備ができれば、テント設営係は全員集まって、晩のキャンプファイアの場所を決める。地面を掃除し、十分な量のまきを集め、いつでも点火できるようにしておく。

## 炊事係の仕事

一方、炊事係は、四つの異なった仕事にとりかかっていたのである。B1のE次長は、すべての炊事用具を取り出す。彼は地面に防水のテーブルカバーをひろげ、その上に食器袋を置く。これをすますと、夕食の材料を取り出し始める。

B2の班員は、自分の好きな種類のかまどを作るのにいっしょけんめいだ——それは高床式のかまど（立ちかまど）であるが、しかし石のかまどでも、溝掘式のかまどでも、あるいは簡単な自在かきをつけた丸太のかまどでもかまわない。それはテントのほうに煙や火の粉が流れていかないよ





……一方、炊事係は夕食の準備  
をはじめ

うな場所に作ってある。かまどの準備ができるころには、B3の班員はB2が炊事をする火を起すのに十分なまきを持って来てある。

B4の班員は、布バケツで炊事用の水をくんでくる——実際に炊事に使う分だけでなく、二つの洗いおけ（布洗面器はおけにも使える）をみたく分もくんでくるのである。

これらの四つの仕事が終わったら、班員たちは二人ずつ一組になって集まる。B1とB2は手を洗い炊事にとりかかる。彼らの仕事は、家族的な食事を作り、適当な順序でその料理を給仕することである。肉は半時間前にはなく、野菜と同時に料理する。そしてスープはまっ先に出せるように用



家族式にすわる——これがすぐれた班のやり方だ

意し、デザートの一部として出すべきではない。

やがてテント設営班のメンバーの何人かが、その仕事を終える。

彼らは班の協力を効果的にするためのルールを思い出す。「自分の仕事をやり終えても、何か仕事が残っていれば、それは皆の仕事である」

「さあ、食卓の準備をしよう」と班長（A1）が提案する。班員たちはザックから食器の入った袋を取り出し、小さい輪になるようにそれらを地面に置き、それから開いて、食器を袋の上に並べる。これで食事の用意はできた。いよいよこれから食事にかかるのだ。全班員が「食卓」につく。そして班長は「感謝の祈り」をささげる。＜スカウトのキャンプでは、食事の始まる前に、班はちょっと待ってお祈りをささげる。よい班はキャンプでのすべての食事の前に、食事のお祈りをする——各々のスカウトが心の中で、それぞれのやり方でお祈りをするか、あるいは各自がその信仰に従って、かわりばんこにお祈りのことばをいう＞

B1とB2の班員は、食物の入っているなべ類を持ってきて、皆に給仕する。

うーん、これはうまい！

食後の皿洗いは簡単だ。深なべ1ばいの水が火にかけてある。それは食事が終るところまでには、沸騰しているはずだ！そしてごみはもう焼いてしまった。

まあ、これがわがイーグル班のやり方である。訓練を受けているのだから、君の班でもそのようにうまくいかないという理由はない。

## 晩のプログラム

キャンプは整とんされ、夕食は終り、

あとかたづけもすませた——晩のプログラムの時間が来たのである。

まっくらになるまでには、まだ1時間くらいは明るいかも知れない。この時間を利用してゲームをする。

さらに寝るためのベッドの準備ができているかどうか、最後の点検をする。ついでに、積んであるまきから、いくらかたきつけ用のまきを、テントの一つの中に入れておく。夜の間に雨が降るかも知れないし、朝食の炊事の火を起すために、まきを乾いた状態にしておく最良の準備となる。

だんだん暗くなってくる。星が輝きはじめる。木々は黒いシルエットとなって、おおいかぶさってくる。キャンプファイアの時間が来たのだ。もし寒いときは、テントから毛布を持ってきて体に巻きつけるか、セーターを着る。

皆、火床を囲んで円陣を作って集まる。班員の一人——ファイア・キーパー（火もり）と呼ぶことにしよう——が点火する。小さい炎がまきの間からおどりと上がる。あたたかい炎の光が班員たちの顔の上にひろがる。

キャンプファイアノ そのことばには魔術的な響きがあるノ 後々に、キャンプそのものの記憶は消え去った後でも、班員たちは赤々と燃える火の周りで、友と輪になって、だまったままじっと残り火を見つめたり、あるいは上きげんで語り合って過ごしたひとときを思い出すことだろう。

くり返していうが、すべてのことは班長である



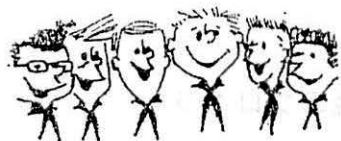
班のキャンプファイアを囲んで過ごした思い出は、いつまでも君の胸に残るだろう

君にかかっているのである。もし君自身が正しいスカウト精神を持っているなら、その正しい精神は、君のすべてのキャンプファイアで、君の班員と共にあるだろう。

たくさんの人が参加する団や地区などのキャンプファイアでは、スタンツや演劇、コンテストや大きなセレモニーが行われる。班のキャンプファイアは違う。ここでは、プログラムは即興的である——つまり決まった出し物ではなく、各自がその場で思い思いにやればよいのである。もちろんそれでも君はプログラムの基礎を作るために、二、三のことを考えておいてある。班員が好んでうたう歌、物語、討論の題目などである。しかしそれを絶対に守らなければならないような、むずかしい融通のきかないものにしてはならない。むしろ君の班員たちのムードに従うようにする。

班のキャンプファイアで、あまりやることなくても気にすることはない。キャンプファイアさえあれば、たとえプログラム、どおりに時間を埋めることができなくても、十二分に過ごせるからである。

(つづく)



# 班長のてびき

～23～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年とく出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング (つづき)

### 火を囲んで

次がキャンプファイアの様子である。

初めにその日のことについて、そして翌日は何をするかについて話をする。——実際に翌日の計画を立てるのである。そうすると班員たちはスカウティング一般について話し始めるかも知れないし、あるいは学校、またはスポーツ、さもなければ、いつかの晩彼らのうちの一人が見た映画について、話し始めるかも知れない。

それからだれかが言う、「ところで、それで思い出したんだけど……」そして彼は続ける。もしだれも言い出さなかったときは、君がする。君が話し始めると、他の者たちの中のいく人かがそれに口をはさんで、いっしょに話し出す。

「歌をうたおう！」それまでは、スカウトたち

がよくやるように、キャンプファイアを囲んで小休止しており、その間班員たちは、真赤に燃える炭火に見入りながら、夢うつつにすわっている。しばらくはそのままほっておいて夢を見させ、それから地上へ引きもどし、彼らがもっとも好きな歌をうたい始める。歌のうまい者は独唱を、ハーモニカの得意な者は独奏や伴奏を、とにかくみんなが全体の楽しみのために、何かをやるべきである。

それから、キャンプファイアを囲んでやるのに適している、いろいろなゲームがある。

歌をもうひとつ、さらに物語りをもう1回——そしてその晩は過ぎていく。

君の合図で皆立ち上がり、火に向かって立つ。腕を炎の上にかざし、それから君たち皆で「タップス」を静かに静かに歌いながら、手をゆっくり下げる。「よるのとばり うみにおかにそらに……」そして就寝。

設営係の二人が、残りの者が寝る準備をしてい

る間に火を消す。火消し係は、燃えている木切れを広げ、それらに水をまき、全部の残り火が消えているのを確かめる。黒く燃えつきた炭を残して立ち去りながら、彼らはテントの明りがぼーっと浮かんでいるのを見る。中にもっているランタンの光には、何かしら神秘的な感じがたよう。

## 床につく

みんな就寝準備にいそがしい。

君たちの中で、屋間着ていた制服のまま床に入るのは、新米のキャンパーだけだということを、君たちはよく知っているはずだ。全員パジャマ、その他の寝まきに着がえる。制服はきちんとたたむ。それらはまくら代りに使う。くつはテントの入口に並べる。

やがて班員たちは自分の寝袋にくるまる。彼らの中のある者は、ちゃんとした寝袋を持っているが、他の者は、自分で毛布の両端を毛布ピンでとめて、寝袋に変える術を知っている。

そのころになると、みんなのおしゃべりもいちばんにぎやかになる。ようやく皆は寝袋にもぐっ



「床につくとすぐ寝る！」ほんとうのキャンパーとはこんなものだ

で、寝ごこちのいい姿勢で横になる。ただし班長は別である。君はまだ果たさなければならない、いくつかの責任がある。君はテントからテントへと巡回する。皆がくつろいで不満はないかどうか調べる。テントの入口のとびらがきちんとしまっているかどうか注意する。

すべてはOKだ。君は空を見上げる。雨の降る気配はなさそうだ。だが万が一ということもあるから、テントロープをちょっとゆるめておくのがいい。それで君は、入口の支柱を少し土に押し込むか、あるいはその支柱の根元のわきにあらかじめ作らせた、5cmほどの深さの小さな穴に、支柱をずらしてさし込むかする。これはうまい方法だ。

そしてようやく君は床につく。

班員たちのおしゃべりはまだ終わらない。君は、君の時計が10時かきりになるまで、または消灯時間がくるまでは、何時まででも、皆といっしょになっておしゃべりする。そして君は言う、「10時だ！お休み！ぐっすり寝たまえ！」他のテントからかすかに「お休み！」が返ってくる。それから沈黙。そして2,3分後には、ぐっすり眠っている健康な班員たちの寝息が聞こえるだけである。

つまり、もし君が班をこのように訓練したらである！

## キャンプで寝る

もしこれが君の仲間たちといっしょのキャンプの最初の夜であるなら、君は彼らと君自身を、十分に休めるように導かなければならない。

不慣れな環境、夜の物音、固い寝床、昼間の興奮で、皆はなかなか寝つかない。

その時こそ、皆を本物のキャンパーに仕立てる仕事が始まるのだ。さもないければ、彼らを新米ク



「消灯の合図から朝までの静じゃく、ああつまらない！」

## 翌朝

キャンプで初めて迎える朝には、だれかが早起きすることだろう。特に新入隊員はそうである。眠れなくても、起床時間までは床についているように、きつく言っておく。いったん起きたら、もうどうしても眠れないからだ。皆に、夜が明けないうちに起きなければならないときは、できるだけ音をたてないように動き、すぐに床にもどらなければなら

ラスの生徒にしてしまって、彼らはそこから絶対に卒業できないだろう。

もし君が彼らのキャンプ第1夜に、遅くまでおしゃべりするままにさせたら、彼らは次の日も、その次にもそうするだろう。しかし君が最初から「われわれの班では、テントに入ったら寝るのだ」と、固く言いつけると、君は皆の名誉になるひとつの基準を設けることになるのである。

彼らに君の「お休みなさい！」を、晩の最後の言葉として認めさせ、翌朝の君の「お早よう！」をキャンプの1日の始まりとして認めさせる。班員たちの忠誠心に訴えること。彼らに、自分自身が眠れないときでも、眠れる人々のためを考えてやらなければならないことを理解させる。

それは最初はちょっとむずかしいように思えるかも知れない。班員たちは寝袋の中で落ちつかないで寝返りをうち、何かを言いたがり、多分ささやきたいかも知れない。「シーッ」と言ってすぐ止めさせる。もし君が決めたとおりのことを言っていることがわかれば、彼らは静かになるだろう。そして突然眠りにおちいる。

ないことを、理解させる。

君は班員たちの健康の保護者だ。十分な睡眠は健康の素であるだけでなく、翌日のキャンプ生活を楽しく過ごすための要件である。もし君の班員たちが十分な睡眠をとらなかったら、その日の夕方には、皆ふきげんな顔を並べ、おこりっぽくなることだろう。そこで、くり返して言うが、皆には床の中でじっとしているように言いつけることだ。

君の「お早よう」という威勢のいいあいさつとともに、キャンプは再び活気を呈する。

皆は動きだし、上半身はだかになって洗面し、歯をみがき、服を着る。一日は始まった。仕事は進んでいる。

炊事係は、火を燃やして朝食の準備をする。テントはとびらやウオールを広く開けて、風通しをよくする。

朝食が出され、皆食べる。炊具や食器のあとかたづけがすみ、炊事場を掃除し、火を消す。

寝具は、1時間以上風を通してから、君の班で決めたやり方にしたがって、巻くかたたんで、テ



ントの中にもどす。テントは整とんされ、キャンプはきちんと整っている。

## 午前中のプログラム

整とんが全部終わったら、真のスカウティングの午前中のプログラムにとりかかる。

この時間中は、だれもキャンプにとどまるな。付近のハイキングに出かけよう。探検に行こう。この機会を利用して、スカウトの必修課目の中のいくつかの訓練をする。その活動種目は、「班のハイキング」のところで述べたものとほとんど同じである。つまり、自然研究、追跡、信号法、オリエンテーリングである。

近くに水泳施設があれば、班員たちは泳ぎたいと思うかも知れない。そうなることはめんどうだ。君は班員たちに対して責任がある。彼らが皆泳ぎ上手であるにしても、彼らの健康状態がすぐれていることが明らかでも、どこかに思わぬ間違いがあるかも知れない。この間違いは、班員に災難をもたらすかも知れないのだ。そして、それが起こったら、責任と非難は君にかかってくるのである。

『すべての必要な安全処置をとらないかぎり、ど



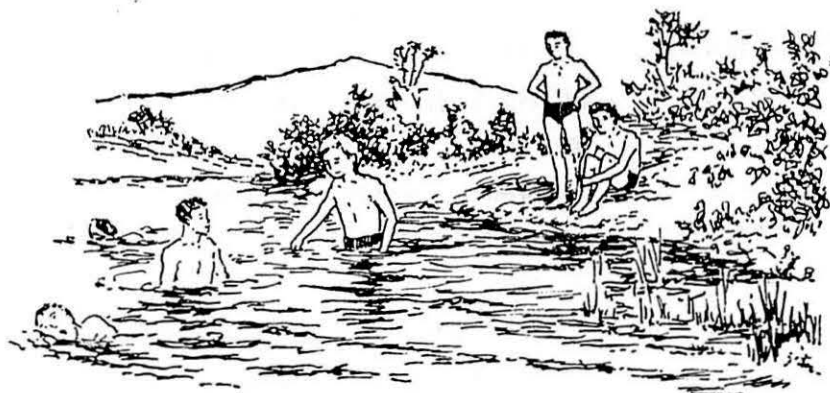
朝のうちにハイキングして、周囲の事物を研究する

んな水泳でも許してはならない。班ハイクや班キャンプでは、君の地区や県連盟が認めている成人の水泳安全法救助員の監督指導の下でないかぎり水泳は絶対にやってはいけない。救助員は、最少限の安全要件を知っており、それらを確実に君たちに守らせるだろう。

泳げるだけ泳いだあとは、ちょっとだけ日光浴をする。長時間はやらないこと。もし班員たちがそれまでに日焼けしていなかったら、半時間ほどでたくさんだ。寝そべてまっ黒に日焼けするようなことは、だれにもさせないこと。日光浴の間

は、皆を動き回らせるようにする。君は彼らを、ゆでたてのえびのようなかっこうで、あるいは、ひどい日焼けをさせて家に帰したくないはずだ。

服を着て再びハイキングを続ける。あるいは昼食を食べにキャンプにもどることを考える時間か



水泳はすばらしい——もし必要な安全対策を講ずるならばである

も知らない。ハイクするということは、なんとおなかがすくことか！

## 昼食

一泊キャンプの昼食は、手軽にできる簡単な食事であればならない。班員たちは、夕方は家で夕食をとることになっており、キャンプでの食事は、彼らが帰宅するまでへこたれないようにするためのものである。

サンドイッチ、かんづめのスープを温めたもの、デザートとして果物かクッキー——まあそんな程度でいい。(注：にぎりめしは、不衛生になりがちだからさける)

食事がすんだら、炊事係はすぐに食器のあとかたづけをする。この仕事が終わった後で、皆に短い休けい時間を与える。

時間のたつのは早いものだ。<sup>てっ</sup>撤営の時がきた。

## 撤 営

班のキャンプをたたむとき、まずやるべきことは、すべての個人装備品のしまつをすることである。

君が「さあ、始めよう」と言うと、班員たちは



自分の持ち物を集め、それぞれの品物を入れるべき袋に入れ、いつでもザックに詰められるようにする。

個人装備品のかたづけが終わったとたんに、班はいそがしくなる。

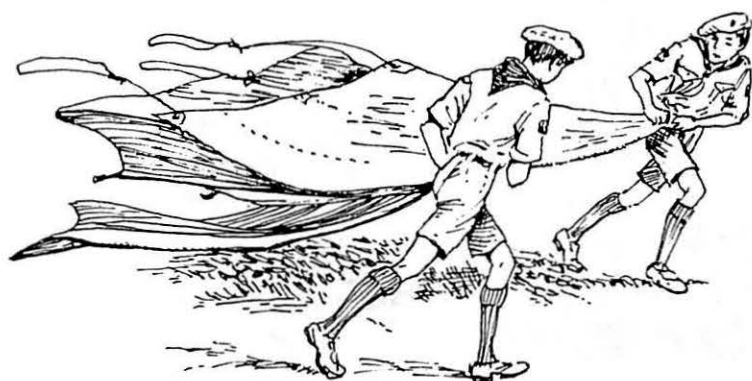
設営係の連中は、テントからグランドシートを引き出してたたみ、それを入れるザックの上に置く。それから二人ずつ組んで、テントをたたみ始める。

てっとり早い方法は、テントを立てたときの方法を逆にすることである。親綱用以外のくいをすべて引き抜き、土をよく落としてからくい袋の中に入れる。一人はテントの正面に行き、もう一人は後に行く。同時に前と後の親綱をくいからはずし、テントをべしゃんこにする。くいを引き抜いて袋に入れ、テントの支柱ははずして分解する。一人はテントの上部(むね)の前のほうをつかみ、もう一人は後のほうをつかんで、いっしょにテントを高く持ち上げて、風に向かってすばやく動かし、それからすばやくテントを地上に置く。こういうふうにする

れば、テントは下におろしたときに、しわがなくなって簡単にたたむことができ、支柱やくい袋をくるむことができる。

テントの荷づくりを終えるとすぐに、便所とごみ捨て穴に土をかぶせて埋める。

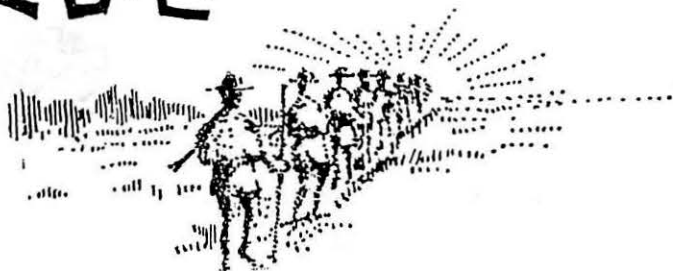
(つづく)



撤営にさいしては、テントを広げ、きちんと荷造りする

# 班長のてびき

~24~



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング

### 撤 営(つづき)

一方、炊事係は炊事場をかたづけるのにいっしょけんめいだ。二人が食器と食品袋をそれぞれ入れなければならないザックに分け、他のスカウトたちは炊事場をきれいにかたづけた。彼らは、最後のぎりぎりの時間まで消さずに残しておいた火で、ゴミを焼いたり、空かんをつぶして処理したりした。また、使い残りのまきをしまったり、林の中へ散らしたりした。

この班の仕事をすべて果たし終わるとすぐに、班員たちはそれぞれザックをつめて口をしめる。

君は合図をして、皆をキャンプサイトいっぱいの一列に並ばせる。そして列を組んだままでサイトをねり歩き、

キャンプの跡を残すようなものは一つ残らず拾い上げる。たとえ紙切れ一つでも、またどんな小さいこっぱでも残してはならない。

君の最後の仕事は、火を消すことである。火の粉が全部なくなるように——完全に確実に——その上に水をまく。次に、燃えがらの上に土をかけ



サイトの工作は全部とりこわし、火は燃え残りがないように消す

て踏み固める。最後に芝生をもとに戻す。以前かまどだった所が、今は地面がほんのちょっとより上がっているだけで、その周辺とほとんど見分けがつかなくなる。

雨の中でテントをたたまなければならぬときは、仕事はいくらか違った手順で始める。そのときはテントはいちばん最後まで残し、その他の用具やザックを雨にぬらさな



いようにそこに置く。便所やちり穴も埋め、火も消し、その他のことを全部終ったら、テントを倒して荷づくりする。

君はキャンプサイトの最終的点検をする——完全だ！——「用意はいいか？ さあ出発だ！」そして班は家路につくのである。

## 用具をしまう

町にもどると、その足で班の本拠へ行き、班の装備品をしまう。

備品係が引き継ぎ、直ちに全部そろっているかどうかを点検する。それから彼は品物全部をそれぞれの場所へしまう。テントが雨のためにぬれているときは、しまう前に乾かさなければならない。そうしないと、そのテント地はカビでだめになってしまい、テントの寿命が短くなる。同じことは布バケツや布洗面器にもいえる。

食料係は食品袋の始末をする。腐敗しやすい食物が残っているときは、班員たちの中のだれかに家に持ち帰らせて使用させることによって処分する。肉袋その他同じようなものは、しまう前に注意深く乾かさなければならない。

## 何を学んだか

1泊キャンプは終わったが、班に対するその影響

は続く——とくにキャンプをしたことによって、君が学んだ教訓を身につけた場合はそうである。

次の班集会で、その経験について話し合う。その席上で皆に次の質問をする。

1. われわれは何を学んだか
2. 何がよかったか
3. そんなによくなかったことは何か

これら三つの問題を率直に話し合うことによって、君たちの将来のキャンピングを向上させ、初回よりも好結果を生むことさえできるのだ。

たとえば、組織には改善の余地があり、装備品は適切でなく、ある食料品はあまりにも多く、あるものはとても少なすぎたことがわかるかも知れない。班全員の意見を聞いてこそ、次のキャンプでは細かい点まで改善を図ることができるのである。

もちろん君は、最初のキャンプで万事が正確に行われるとは思わないだろう。それは期待のしすぎというものだ。

しかし、君が最初のキャンピング旅行で期待することは、班員たちに、真のキャンパーになりたいという望みを呼び起こさせることである——その望みとは、皆が毎週末ごとに野外に出て、ほんとうのスカウト活動の一部として行われているような、野外生活を送りたいと思うようになること

である。その望みを班員たちに植えつけることによって、君は君の班を、ほんとうの班になるように仕向けるだけでなく、そのスカウトたちが、より強い、より健康な、そしてより幸福な少年になるように助けていることにもなる。

## ＜キャンポリー＞

さて、君のキャンプ訓練はどのくらい効果があるだろうか？ それを知るもっともよい方法は、その班を地区または県連盟のキャンポリーに参加させることである。

毎年春や夏には、国内いたるところでキャンポリーが行われており、そこで班は、効果的なキャンピングを経験する。

キャンポリーとは、二つ以上の隊のキャンピングの技能を実地に発揮してみせることであり、隊は、それぞれのキャンプを一晩以上同じキャンプ地に設けるが、それは楽しみとよい仲間づくりのためであり、そしてお互いにキャンピングについて学び合う機会を得るためである。

しかし君が県連のキャンポリーに参加できないときでも、隊のキャンプで、ゲーム化して学ぶことができるかも知れない。君はさらに、君自身で

自分の仲間だけのものを行って、別表に示してあるような採点方法を用いて、その能力をテストすることができるかも知れない。

このような採点方法を考えたのは、隊の全部の班に、隊のキャンピングの水準に到達する機会を与えるためである。この採点の最高得点は500である。400点以上をあげた班はAクラスだ。300点から400点までのものはBクラス、参加はしたが300点以下にしかならなかった班はCクラスの格付けを受ける。

## ◇君のキャンポリーの体験

それが、どんな様子か見てみよう。その日がくる。用意がととのい、全員正装で、装備品、ザック、食糧を持って集まる。そして住むばかりになった君のキャンプ地に到着する。

## 皆を点検する

設営を開始する前に、皆を点検してみよう。ザックの状態はどうか。パッキングのしかたには間違いはないか。班の装備品は適当に配分されているか。個人装備品は十分か。それから、班員たちの身なりはどうか。





班 名

OK, 続けよう。組織はどうか。テント張り、寝床の準備にいっしょけんめいになっているテント係がいるか。かまどを作り、水やまきを持ってきて、炊具を並べ、炊事をするため大活躍している炊事係がいるか。

これまではまあよかった。設営をし終るまで、君は手軽に働くことができる。

時間はどんどんたつ。テントの位置は適切で、快適なキャンプベッドがあり、毛布や寝袋はきちんと置いてあるか。炊事場に不備はないか。おのやスコップなど工具類の一定の置き場所があり、使用しないときはそこにしまっているか。ゴミ処理の設備はあるか。それから、班の便所はどこにあるのか。それはどんな場所に設けられ、どういうふうに建てられているか。

## その意気だ!!

以上のチェックを終ったら、次の点について調べる。一人一人が一定の任務を持っているか。皆が自分の責任を果たしているか。スカウトのおきてはほんとうにキャンプのおきてか。すべてが能率的、効果的に行われているか。

こんどは班の得点を調べてみよう。こっちもいい。あっちもいい。ここは悪く、あそこはあまりよくない。次回までには、君たちは全体的によくならないなければならない。

キャンポリーでは、すばらしい時間をすごす。



しかしそれだけではない。すべての班がキャンポリーで訓練を受けて、君たちの隊の夏季キャンプは、かつてない最大の成功をおさめなければならない。どうして?なぜならば、キャンポリーは、隊のキャンピングを、1回は始めから終りまでそっくり予行演習することになるからだ。

## <長期キャンプ>

長期キャンプとは、同じ場所で1週間あるいはそれ以上キャンピングすることである。それは隊全体が夏の間に行う種類のものであり、君の班が参加できるようになったとき、腕の見せどころになるかも知れないような種類のものである。

## 隊の夏季キャンプ

その名に恥じない隊ならば、どの隊でも、毎年1週間以上のキャンピングをする。

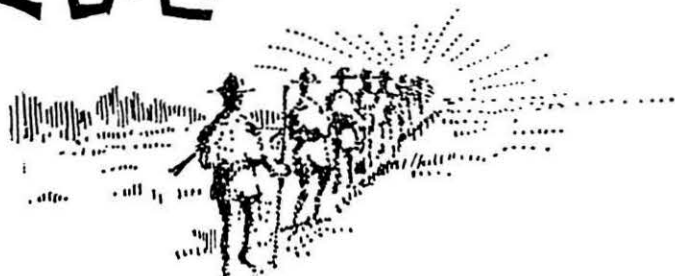
隊のキャンピングとは、隊をあけて皆がキャンプすることを意味するが、これには隊長や副長たちも加わり、いっしょに遊び、ハイキングをし、泳泳をする——しかし、各班は個々の単位として隊のキャンプサイト内で生活して、それぞれのテント、それぞれの炊事場を持ち、それぞれ自分たちだけで炊事をし、自分たちの班長の活発な指揮の下にある。

言葉をかえて言うと、「隊とは、その班全部を一つにしたものである」と同じように、「隊のキャンピングとは、班のキャンピング全部を一つにしたものである」つまり隊と同じなのだ。

隊のキャンプ計画が春に発表されたら、ただちに君は、自分の班の計画と仕事を、そっくりこの大きな行事に向けて集中したくなることだろう。その年全体のスカウト活動の総仕上げともいうべきこの計画に、100%の参加を君は期することになるだろう。(つづく)

# 班長のでびき

～26～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング

### <長期キャンプ> (つづき)

に計画する。そうすればキャンプ設営の仕事が楽になる。

#### 食 事

メニューはあらかじめ十分念を入れて作っておかなければならない。食料係は、これでてんでこまいするはずだが、気のきいた者なら班員の母親たちの中の2～3人に頼んで、献立を手伝ってもらおう。

どんな場合でも、メニューはあまり複雑にすべきではない。

キャンプの出発前に、食料を買うことにしている食料品店や農場主などに連絡するのはいい考えだ。その人たちに君の食料品リストの写しを送り、君が使おうと計画しているものを、彼らが準備しておけるようにする。

キャンプ初日の食料は、家から持ってくるよう

#### 計画作りにおける君の役割

装備品をそろえ、食料をまかなう仕事は、担任の備品係と食料係が計画する。

冒険計画を立てるのは、君の責任の一つで、こ



次長といっしょに、キャンプ生活の計画を立てる

れは次長と二人で分担してやる仕事である。

キャンプでは毎日いろいろなことをやるが、そのうちには自然に順序よく区切られているものがある。すなわち、起床、朝食準備、昼食や夕食の準備、テントの掃除、ベッドの整とん、休けい時間および消灯合図というふうに。

その間に起こることが、君たちのキャンプの性格を決めるのである。

キャンプ中は、毎時間毎時間を、始めから終りまで、やりがいのある仕事で過ごすようにしなけ

ればならない。君さえそのつもりになって、あらかじめ計画を組めば、そうなるだろう。

最初の日と最後の日、何のめんどうもない。最初の日には設営にいそがしい。同じように最後の日には、撤営と荷作りをするのにいそがしい。

キャンプ第2日目は、普通、キャンプ生活を良くするために費やされる。——君たちをより快適にするためのすべてのキャンプ道具類を作ったりするのである。残りの日々は、おもしろい活動をして過ごす必要のあるものである。何が行われる

かは、君の創意と工夫にかかっている。

原則として、長期キャンプではキャンプの中で特別訓練をして過ごすのがいちばんよく、午後はゲームや競点に興ずるとよい。

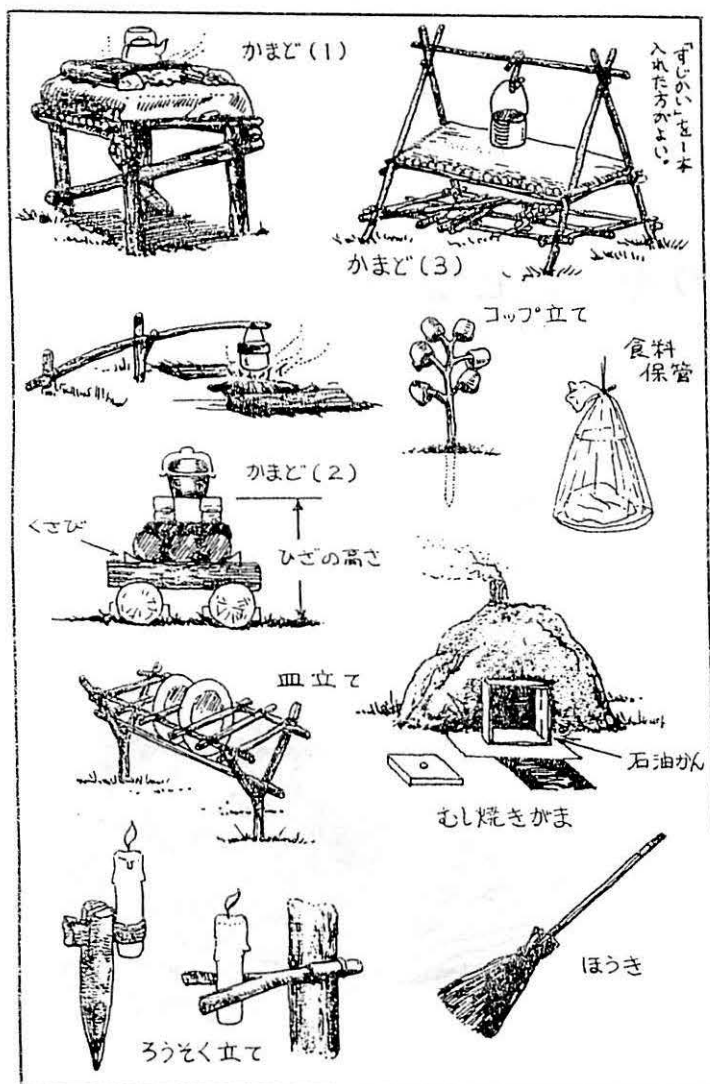
午前中の活動については、多くの模範例が第8章で示されている。

夕方の活動は、班員の好みと携帯するゲーム用資材でさまる。

次にあらましを掲げるのは、キャンプ生活一般に通じる日程表で、君が計画を立てる際に役立つだろう。

### 班キャンプ日課表

- 6:00 起床合図。起床、洗面、朝食の準備を始める。テントとキャンプサイトの清掃。毛布や寝袋を外に出して風を通す。
- 7:00 朝食。あとかたづけ。
- 8:00 国旗掲揚、朝礼。国旗をキャンプの上に高々と掲げる。輪番交代。
- 8:15 スカウト技能訓練。進級に役立つ技能の練習をする。



## 班長のてびき

10:00	できれば水泳を行う。	15:30	この時間は、もういちど水泳ということになるかもしれない。
11:30	昼食準備、昼食。あとかたづけ。	17:00	夕食準備
13:00	休けい。手紙や日記を書いたり、読書をしたりして気楽に過ごす。	18:00	国旗降納。国旗は大切に保管する。夕食
14:00	キャンプ周辺でハイキングをしたり探検したりするか、あるいは午前に練習した技能を生かして、特別な活動を行う。	19:30	夕方のゲーム、スポーツなど。
		20:30	キャンプファイア
		21:30	消灯合図。就寝。消灯。沈もく。

### キャンプでの班員の輪番交代

毎日8時には、輪番交代が行われる。炊事長がキャンプサイト清掃係になり、あとのスカウトたちもかわるがわる任務を担当する。

この表には七つの任務しかないことに注意。班長はこの表には含まれていない。班長はキャンプ全員の「班長」であり、応援を必要とするところがあれば、すぐ手伝えるようにしているのである。

炊事長は、料理のしかたに注意深く従って、時間どおりに食事を出せるようにする責任をもつ。

炊事助手は、炊事長のそばにいて命令どおりに働き、必要なことをやる。

消防係は、炊事係たちより先に炊事場に来て、炊事がすむまでそばで待機する。

水係は、炊事係たちが使う水を用意し、班の水おけを1日中満たし、そして食事ごとにテーブルに飲料水を置くようにする。

炊事場整理係は、炊事が終わるとすぐに、あとかたづけをするために湯をわかす。そして炊事場と食堂を清掃し、次の食事に用いるすべての炊事用具と食器類をきちんと整理しておく責任をもつ。

炊事場整理助手は、炊事場整理係と協力して、その命令どおりに働く。

キャンプサイト清掃係は、テントがきちんとしているか点検し、班のキャンプサイト一帯を常にきれいにしておく責任をもつ。

氏名	日	第 1 日	第 2 日	第 3 日	第 4 日	第 5 日	第 6 日	第 7 日
1		炊 事 長	キャンプサイト 清 掃 係	炊 事 場 整 理 助 手	炊 事 場 整 理 助 手	水 係	消 防 係	炊 事 助 手
2		炊 事 助 手	炊 事 長	キャンプサイト 清 掃 係	炊 事 場 整 理 助 手	炊 事 場 整 理 助 手	水 係	消 防 係
3		消 防 係	炊 事 助 手	炊 事 長	キャンプサイト 清 掃 係	炊 事 場 整 理 助 手	炊 事 場 整 理 助 手	水 係
4		水 係	消 防 係	炊 事 助 手	炊 事 長	キャンプサイト 清 掃 係	炊 事 場 整 理 助 手	炊 事 場 整 理 助 手
5		炊 事 場 整 理 助 手	水 係	消 防 係	炊 事 助 手	炊 事 長	キャンプサイト 清 掃 係	炊 事 場 整 理 助 手
6		炊 事 場 整 理 助 手	炊 事 場 整 理 助 手	水 係	消 防 係	炊 事 助 手	炊 事 長	キャンプサイト 清 掃 係
7		キャンプサイト 清 掃 係	炊 事 場 整 理 助 手	炊 事 場 整 理 助 手	水 係	消 防 係	炊 事 助 手	炊 事 長



## 長期キャンプで

いよいよ出発だ。全員集合。用具を全部荷作りする。忘れ物は何もない。

全員が列車かバスまたは自動車に元氣よく乗り、夏の冒険を求めて出発する。そしてついにキャンプ地へ着くのである。

これまで何回も行った班の1泊キャンプの場合とまったく変らない設営組織を使って、君のキャンプは今、理想の地に立つのだ！

炊事係は、キャンプの最初の食事を作るのに一生懸命である。ほかの者たちはそれぞれ自分の任務について働き、それが終わったら皆が寝心地よく泊まれるようにベッドを作る。

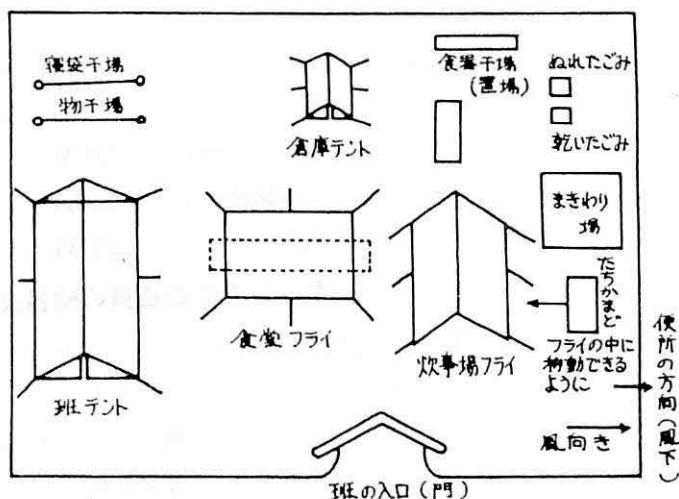
夕食をたべ、食器を洗う。ちょっと休けいして、それからキャンプで最初のキャンプファイアをする。

ここにはもう、ありふれた生活などはない。まわりはみんな、親しい友だちばかりだ！そしてこれから過ごす日々の、どんなに楽しいことだろうか。

キャンプファイアは短い。君たちは皆、1日中興ふんしていたし、それに旅行や作業で疲れている。「一日の終り」を静かに歌う。就寝「お休みなさい！ いい夢を見なさい！」

たぶん君は、すぐに寝つかれないかもしれない。たぶん君は突然自分の負っている責任——これから何日間か自分と寝起きを共にする班員たちに対する責任の重大さを、ひしひしと感ずるかもしれない。「私により強い指導力を与え、彼らのすべての望みを満たしてやる能力を与えてください」と君はひょっとしたら、心の中で祈りをささげるかもしれない。それから、君もまた眠りに

班キャンプサイトの一例



おちる。

## キャンプの手入れ

1日目はキャンプの設営に費やした。2日目にはそれに手を加えて、キャンプ生活をより快適にするすべてのものを取り入れる。朝食を終え、すべてのあとかたづけが終わったら、すぐに全員作業にかかる。

最初にすることは、昔の探検者たちが未地の土地へたどりついたときにやったのと同じことである。つまりその土地の上に国旗を掲げて自分たちのものにするのである。そこで旗ざおを取ってくるのだ。急げ。先端に小さな環か滑車をつけ、それにロープを通し、地面に穴を掘り、その中にさおを立てて埋め戻し、その周りの地面を踏み固めて、最後に石を積む。

気をつけの姿勢で、国旗がさおの先まで上がるまで注目し、次いで国歌をうたう。

君たちはキャンプ地を手中に収めたのであるから、今度はそれに手を加えてよくするため、数多くのことに着手してもかまわないわけだ。次にいくつかの例を述べてみる。

# まきおき場



まず炊事場について考えよう。

石か丸太などで、がん丈なかまどを作る。または地面を掘って作る。使い古した石油かんか油かんでも、けっこういろいろな形のキャンプ・オープンができる。上部の熱は底の火と同じように大切であることを忘れないこと。

火ばさみと火ぼうきがあれば、火を扱ったりかまどをきれいにするとき、実に便利だ。

まきを積むときは、太さや大きさなどで分類してそろえて積む。雨にぬらさないように、その上にシート類をかけておく。

まき割り台を欠かしてはならない。まき割りをしないときは、それにおのを立てたままにしておく。

なべ類用の棚を作る。それは調理台にも兼用できるような構造のものにする。コップは低い木の枝にかければよい。

炊事場用の冷蔵庫も必要である。それは「冷却穴ぐら」の要領で作ることができる。すなわち60cm×60cm×60cmの穴を掘り、側面は石を並べ、木でふたをする。小川などがキャンプの中を流れているときは、「穴ぐら」を土手に掘ってその側面に石を並べると、さらによいものが

できる。その冷たい水は、牛乳やバターの容器および防水の肉袋などを冷たく保ってくれる。

炊事場についてはこれだけにしよう。こんどは君たちの住みかの、ほかの部屋について述べよう。

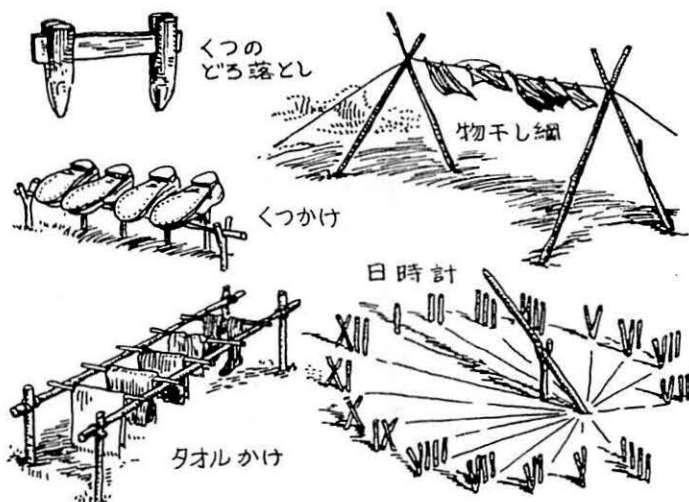
各テントの外側に、くつのどろ落としを置き、テントの入口のすぐ内側にくつかけを置く。くつを使用していないときは、すべてその上にかけてきちんとしておき、じゃまにならないようにする。

タオルかけを立てるか、あるいはテントの裏側にタオルや衣類を乾かす物干し用ロープを張る。

ベンチつきの食卓は、多くのいろいろな方法で作ることができる。ある方法では、地面に穴を掘ってそれを作り、またある方法では、棒とまっすぐな枝を組み合わせる。

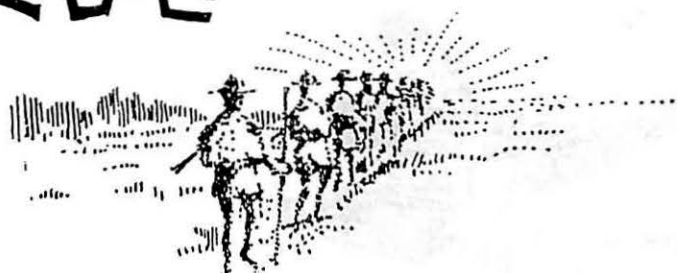
最後に、キャンプの中央部に日時計を設けたいと思うかもしれない。それはまっすぐなポールをその先が北極星を指すようにして地面に打ち込んだものである。

これらの器具を作るのには、ほとんど1日かかる。しかし、時間をさいてキャンプ地周辺の探検ハイクもして、自分たちの環境を知るようにするそれから夕食、休けい、キャンプファイア——そうして第2日目は過ぎていく。(つづく)



# 班長のてびき

～25～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング

### ＜長期キャンプ＞（つづき）

#### 班の長期キャンプ

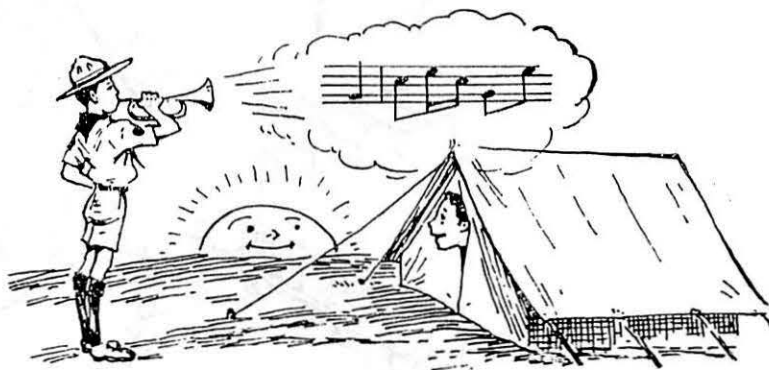
しかし、多くの班はもっと大きな望みを抱いている。隊のキャンプに参加し、そのうえ、彼らはひとり立ちしたいと思うのである。そこで彼らは夏のキャンピングを延ばして、さらに自分の班だけで1週間以上の長期キャンプを試みるわけである。

この種の班キャンプは、多くの**は**の覇気と豪胆さをもたらすことになる。君はその計画を隊長と話し合い、彼の承認を得る必要がある。君の班の後見役、つまり班員たちの父親

の一人あるいはその他の成人が、班と同行しなければならない。

#### 長期キャンプの準備

隊の夏季キャンプのために準備をするということになると、君と君の仲間は、もちろん、キャンプを成功させるために各班に要求される、あらゆる



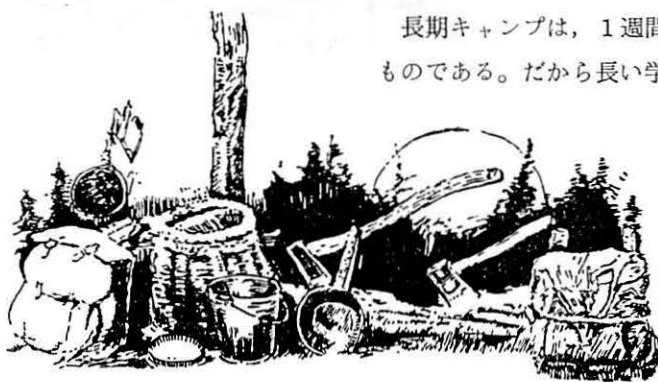
班と共に1週間以上キャンプで過ごす——それが生活だ！

る計画と準備に打ち込む。班長会議が何回も開かれるが、その時こそ、君が自分の考えを述べ、責任を引き受けるチャンスだ。

しかし、班の長期キャンプの準備となると、話はちがってくる。ここでは万事がほとんど、君と君の熱意次第ということになるのだ。もし君が精魂をこめてほん走り、班員を引きずって行けば、君たちは全員すばらしい経験をするようになるだろう。

### 君たちの経験

君は、班の長期キャンプ計画に着手する前に、君と全班員が果たして計画どおりうまくやれるだけの経験をもっているかど



うかを、確かめなければならない。

君に関する限り、君は何よりもまず班の1泊キャンプのリーダーとしての資格がなければならない。第7章のはじめの「キャンプ訓練」のところであげた条件のほかに、君は次の条件をもみさなければならないのである。

8. 君は君の隊長が満足するように、自分の班と少なくとも6回の1泊キャンプをしたことがなければならない。

9. 君は隊または地区、連盟の夏季キャンプに、少なくとも1週間参加したことがなければならない。

君の班員に対する条件は、

10. 参加するスカウトたちの少なくとも50パーセント（君自身も含めて）が、君を班長とする班の1泊キャンプに、少なくとも6回参加したことがなければならない。

○

君は、少々きつい注文だなあと思うかもしれない。そう、たしかにそうだ！ しかし君は、自分の経験からそれらがきびしすぎることはないということを知ることだろう。あらかじめこれぐらいの経験をしていないと、長期キャンプを成功させることはとうていできない。

いつ？

長期キャンプは、1週間からそれ以上にわたるものである。だから長い学校休暇を利用しない限り、できないこと

はいうまでもない。——つまり7月下旬から8月末までの間でない、おそらく無理だろう。実際の日

取りについては、班集会でどの日がいちばんいいか、十分に話し合ったうえで決める。

早めに君の計画作成に着手する。もしキャンプを7月か8月に行うとすれば、4月中旬に準備にとりかかっても早すぎるということはない。期日を決めるのが早めにできればできるほど、それだけ早くその他の細かい事項についても、準備ができるのである。

何を？

君の班が自分たちだけの長期キャンプに出発すると、君が考えなくてもその時すでに、この「何を」ということは決まったも同然だ。つまり、こんどのキャンプは、君がこれまでの1泊キャンプで何回も経験した訓練を、そのまま延長したものだからである。

しかし、その後の年には、君がやりたいと思う

ほかの形のキャンピングがあるかもしれない。

「変化は人生の薬味である」という。まあ、変化は君のキャンピング経験の薬味でもある。その薬味をいくらか入れるために、たとえばインディアンのなりをして、インディアン風のキャンピングをしてもいい。インディアンの服装、腰布やしか皮のくつを身につけ、踊り、儀式、ゲームなど、インディアンの活動のプログラムを行う。インディアン式の料理をし、そして手製のティーピーやウイガム（いずれもインディアンの小屋）あるいは木の枝で作ったシェルター（仮小屋）で寝る。

それとも、穴居人式キャンピングはどうだろうか。この場合は、テントやなべ類はしばらくの間用いない。できるだけ器具を用いないにするのだ。ただ寝るだけの「熊皮」（毛布）、スカウトナイフとおのだけにする。リーンツを建て、まきつで火を起し、ツイストパンとくし焼き肉や焼き魚、あぶり肉などを食べる。穴居人の条件のもとでは、体に気をつける。

無人島キャンピングはまたいっふう変わっている。ここでは道具を使用してもよい。ロビンソンクルーソーは、座しょうした船から品物の入った



「そのうちインディアン式のキャンピングでもやって、ティーピーの住みごちでも味わったら…」

箱を取ってきた——だが君たちは、できるだけ「陸から離れた」ところに住み、野生の食用植物やくだもの、自分で捕える魚を食事の一部として食べて生活しなければならない。このような種類のキャンピングは、ウッドクラフト（森林生活術）の心得が十分ないとできない。

パイオニア（開拓者）キャンピングでは、君の仲間は、昔の開拓者たちの仲間になり、ほろ馬車のような覆いのついた仮小屋を建て、ほんとうのパイオニアリングをする——わな狩人式の寝床、丸太のテーブル、橋、いかだ、オランダ式のかまやバーベキュー用具等を用いて生活する。

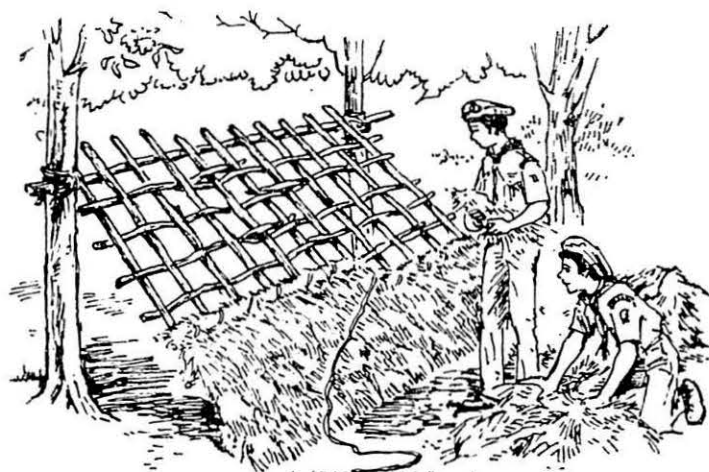
## どこで？

理想的な班キャンプの条件については、前に1泊キャンプのところで述べたとおりだが、長期キャンプにあつらえ向きのキャンプサイトということになると、さらに考慮しなければならない点が三つ四つある。

土地、しゃへい物、水やまきなどの条件は、もちろんどんな場合にもあてはまるが、ただ実際の敷地の場所となると、いく







「……さもなければ、開拓者になったつもりで、さしかけ小屋で寝起きしてもよい」

らか異なるかもしれないのである。というのは、1泊キャンプでは、君は自分の町からあまり遠くへは行こうと思わないからだ。しかし、長期キャンプの場合は、遠い町はずれでやるところに最大の魅力の一つがあるのであり、班のだれもが、一度も見たこともなく、そしてかねてから行ってみたいと望んでいたその場所に、いよいよ行けるのだというところにおもしろみがあるのだ。

その場所は山岳地方のどこか、または海岸、あるいは特に興味あふれる内陸の湖になるかもしれない、またひょっとしたら、文字どおりの無人島になるかもしれないのである。

どこに行くか決めたら、君はいくらかの手紙をやりとりする必要がある。君はその敷地の使用許可をもらわなければならない、そして小屋や水、まきなどについても、たずねておかなければならないし、そのほか次のような事がらについても、相手の返事をもらわなければならない。

1. その場所は、多くの人が出入りする所か？  
(その場所が、ある種の避暑地に近接しているかもしれないと思う場合は、これは特に大切である)

2. 1～2キロメートル以内に食料品を買えるところがあるか？
3. ほどよい距離のところに農場があって、そこから卵や野菜その他の農作物を買うことができるか？
4. 簡単に行けるとところに医者がいるか？
5. その場所には、蚊その他の病害虫はいないか？

○

最善の方法は、君のハイキング

係、できたら君自身がそのキャンプサイトに行つて、自分の目でOKかどうか調べることである。そして次善策としては、その土地のスカウト関係の人々に連絡して、調べてもらうよう頼むことである。知らせがあり次第、将来の参考のためにノートにとっておく。さらにその地方の地形図や地勢図を入手してその図を研究して、その場所付近の状況をくわしくのみ込んでおくようにする。

どのようにして？

## 装備品

長期キャンプの場合の装備品は、少数の例を除いては、大部分は班の1泊キャンプで使ったものと、ほとんど同じである。

1泊の場合には、ぎりぎりいっぱい必要なものだけ、つまり2～3日間過ごすのに間に合う分だけ、君は持って行きたいと思う。長期キャンプの場合は、もうちょっと気楽に過ごせるように、携行品を手加減したくなるかもしれない。キャンプはある人々が考えているような、苦勞しに行く所ではない。それどころか、長期キャンプとは、で

できるだけ簡単な方法で、できるだけのんびりと、楽しく過ごすようにするための場であり、このため1泊キャンプでは携行しないでもすむものまで持って行きたくなるだろう。

結論をいえば、長期キャンプ用の個人装備品の一部として、わらふとん用カバーを持っていくと役に立つ。これは簡単なモスリンか古い布地で作った50cm×150cmの袋である。これに、わら、乾草またはかれ葉をつめると、寝心地のいいベッドに早変わりする。

キャンプ地に蚊がいるかもしれないと思うときは、かやと殺虫剤を持って行く。最悪の事態に備えよ！

#### 個人装備品に追加するもの

前に掲げた装備品（本年5月号）のほかに次のものを加える。

- ・制眼の着がえ（上着、半ずぼん、ネックチーフ、ストッキング）
- ・予備の下着（1～2セット）
- ・わらふとんがわ（50cm×150cm）
- ・便せん、封筒、切手
- ・かや（できれば殺虫剤も）
- ・スポーツ用品  
釣り道具、アーチェリー用具等
- ・本（1冊か2冊）  
キャンプファイアで読むのにも適しているもの。

上記のスポーツ用品や、そのほか君が思いつくままに持って行くスポーツ用品は、いくらか場所



をとる。しかし、このスポーツ用品が、キャンプ中の暇な時間を過ごすのに、すばらしく役立ってくれることが分るだろう。

本は、君が持って行きたいなら、そうしている。1冊か2冊、役に立つ本を。安っぽい本は何かキャンプの精神にじっくりしない。

#### 班の装備品に追加するもの

前に掲げた装備品（本年5月号）のほかに次のものも携行する。

- ・国旗
- ・倉庫用テント——食料と装備品用
- ・炊事場用防水シート
- ・食堂用フライシート
- ・スカウト訓練用具  
信号旗、足跡追跡用具その他
- ・班の救急箱
- ・伐採用のおの

班の装備品から考えると、確かに国旗は班がキャンプ地まで携行し、そこで楽しく過ごしている間は毎日ずっと掲げるのが本当だろう。

倉庫用テントは、長期キャンプで欠かせないものだが、小型テントでもけっこう間に合う。小さい白布のテントなら熱を吸収しないでハネ返すのでおよい。

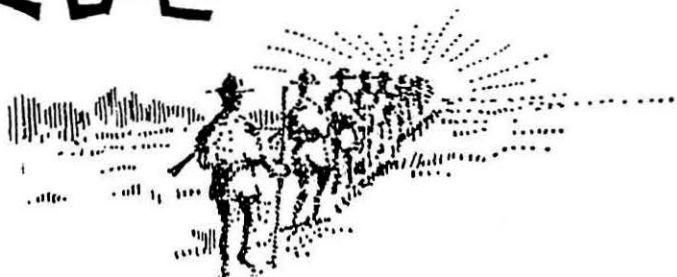
雨に備えるために、かまどを覆う炊事場用防水シートと、丸太テーブルやベンチにかぶせる食堂用フライシートを持って行くといよい。

班の救急箱には、セットになっている品物のほかに、さらにいくつかのものを加える必要がある——すなわち、かぜ薬、解熱剤、日焼けどめ、かぶれの治療薬等々。

伐採用のおのは、パイオニアリングでは手ごろな道具となる。もちろん、特別に許可のある木だけを伐採する。そしてまた、伐採用のおのは、各種のスカウト技能訓練にどうしても欠かせない、とっておきの道具でもある。（つづく）

# 班長のてびき

～27～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング

### ＜長期キャンプ＞（つづき）

#### ——キャンプ生活——

初めのいそがしい二日間が過ぎたら、君たちは計画どおり普通の日課に従って生活する。

万事が時を刻むように正確に運ばれる。食事はちょうどその時間に準備され、みんなが率先して日々の活動に万全を尽す。ひねもすキャンプには笑いと楽しみが絶えない。

#### 朝

君たちのキャンプの一日が始まるのは、定められた起床時間（6時か6時30分）きっかりである。君の「おはよう」という大きな声か、ラッパ係の吹く起床ラッパまたは角笛で始まるのである。

班員たちははね起きて行動を開始する。それから洗面をする。一人でも「後で洗いなすからいいよ」などといういい加減な洗面ですませないように。首も耳も歯も、そして同時にその他のところもすべて「清潔」にしなければならない。

洗面の後で一日の仕事が始まる。炊事係は火を起こして朝食の支度にかかり、後かたづけ係は後かたづけのために待機する。すべてが予定表のとおりである。

段どりがあれば、その日の当番の二人の班員は近くの農家に前もってたのんでおいた牛乳その他の品物を取りに行く。

彼らは朝食の時間に間に合うようにキャンプに帰ってくる。もし帰る途中に店があれば、同時にその食料品も買い、ついでに翌日の分も注文しておく。でなければ、その日の別の時間を見はから

ってその雑用を足すようにする——できれば、一日の活動が始まる前、つまり朝のうちがいい。

朝食が終り、なべや皿を洗い、テントも整頓された。全員が正装で旗ボールのところに集合して朝礼を行い、国旗を正しく掲揚する。



朝、班のキャンプ地に国旗を掲げる。

## 午 前

キャンプの午前——これこそ君の班員たちを助けてスカウト活動での進級を遂げさせる絶好のチャンスであり、かつ絶好の場である。すなわち、初級の者は2級を、2級の者は1級を、そして技能章や特修章の獲得を目指して奮起させることだ。

しかし、そのために無理をして、つまり進級のためにわざわざ2、3時間も割くというようなことはしないこと。キャンプ活動そのものが進級活動なのである。それはただ、スカウトが何をやりとげたかを調べて進級課目のチェックをするだけのことなのである。たとえば、ある者は朝食用の

火をたき付けることによって2級章課目の火を起こす技術の単位を取り、ある者は、班員の食事を献立どおりに作ってやった後で、1級章課目の料理技術の認定を受ける。

しかし、必修課目の中には、日課の範囲外で取り扱わなければならないものもある。すなわち、救急法、追跡術、自然研究、信号法など少なくない。

このスカウト技能のいくつかは——特に信号法や救急法は、——班員たちを小グループに分けて行わせることができる。互いに助け合い、互いに指導し合うのである。その他のものは班全体で行うことができる。

食べられる植物を例にとる。スカウト一人だけを食用植物探しに出さないこと——全員で探しに出て、昼食の用に十分だけ取ってこさせるようにする。

地図作りの場合。これも一人だけに班のキャンプサイトの略図を描かせないようにする——全員に発表するという。「班の日誌にのせるキャンプサイトの略図を、だれがいちばんよくかけるか勝負してみよう！」



キャンプ地からハイキングに出るときは、その地域について、できるだけ多くのことを調べる。

追跡術の場合。宝物のありかを決めて、全員に宝探しの楽しみを味わせるようにする。そういうふうに次々とやるのである。

これらはほんの小数の例である。第8章には、まだ多くのことが書いてある。

できたら、午前中の活動が終わった後で泳ぐ。ひんやりした水に飛びこむのは、だれだって歓迎するところだ。しかし、水泳の安全ルールは絶対に守ること。

## 正 午

昼食は手早くできる簡単な食事である。この食事を簡単にすることによって、君たちのすべての活動のための時間をあけることができる。しかし、もちろん、その準備にはいくらか苦労がいるし、同じ班員たちにその炊事を毎日させることは公平ではないだろう。だから、こういうことがないように、キャンプがいったん設営されたら、さっそく輪番交代にとりかからなければならないのである。1週間、順番にやることによって、各班員は班の炊事のやり方を学ぶ機会を得ることになる。11月号に輪番交代の模範例がかかげてある。

全員に、昼食の後かたづけ後は、必ず休けいするように強いう。歩き回るのはなくて、横になって休けいらしい休けいをするのである。

ある者は休けい時間に、おしゃべりをしたいかも知れない。ある者は本の1章くらいは読みたいかも知れない。またある者は日記を書いたり、家族への便りを書くのに夢中になっているかも知れない。やらなければならないつくろい——半ずばんの穴につきぎを当てたり、ボタンをつけたり、くつ下のはころびを繕ったりする仕事があるかも知れない。

ある班員は昼寝をすることに決めるかも知れない。その時はそうさせればよい。昼寝しただけ夕方にはもっと元気が出るだろうから。

休けい時間は1時間もあれば十分だ。あまり長くなると休けいが終わっても皆だらけてしまって、日課にも支障をきたすだろう。

## 午 後

休けいがすんだら、びしゃっとその気分から抜け出し、それから何か活動らしい活動始める。

午後のプログラムは、キャンプ地外で行うほうがきわめてふさわしい——周辺地域をハイイクしたり、湖の岸をたどって行ったり、小川の源をたず



太陽の下で遊び、作業する。  
健康的な日焼けをする——少しずつ。

ねたり、丘の頂に登ったりするのである。あるいは動植物を採集したり、パイオニアリングや長距離信号法で妙技をひろうし合うことになるかも知れない。

班員たちの中に写真撮影、こん虫採集、鉱物採集等々の専門的な趣味を持っている者がいれば、これは彼らを満足させてやれるちょうどよい機会である。

もちろん、全員が午後の活動に参加しなければ



ならない。けれども、時には一人か二人の班員を監視のためキャンプに残す必要が生じるかも知れない——特にそのキャンプが道路に近接していて歓迎されざる訪問客が来る可能性のある場合はそうである。

君は、よその班で起こったできごとが、自分の班で起こるのはいやだろう。たとえばこういう場合である。キャンプに戻ってきてみると、炊事場のテントがめちゃめちゃになっており、食料が一つ残らず消えている。テントのウオールには「なぜビールも置いておかないんだい？」という張り紙が張ってあった。こんなことがあるから、理想的なキャンプ生活をするには、どうしても人里離れたところに場所をとる必要があるのである。

## 夕 方

夕食と夕食の後かたづけがすんでも、暗くなるまでにはまだ1時間ほどある。その時間を利用してゲームやある種のスポーツをして過ごす。幅とびや高とびの場所、トラックのある陸上競技場を急ごしらえて、班員たちに競技をさせる。彼らがアーチェリーが好きで、道具を持ってくるときは、その夕方はすばらしい活動をすることができる。ロープがあると、なわ作り競争や投げなわをすることもできるだろう。これを班の特技の一つにしてもいい。野球ボールとバットがあれば、たくさんのだのしいことが始まる。

日没時に旗ボールの周りに集まる。国旗をおごそかに降ろす。

あたりが薄暗くなり始める。キャンプファイアの時間が近づいた。班員たちに、營火場に来るときには、セーターや毛布などで暖かな服装をしてくるようにいう。その晩は冷えるかも知れない



全員でキャンプファイアを囲んで楽しむ。

からである。

キャンプファイアは簡単な儀式で始める。たとえば君の班独自のもの、または「炎が燃え上がるとともに、われわれの精神と思想を、その炎とともに、より高いスカウティングの理想に向かって高めたまえ」という短い文句で始める。それから8月号で述べた方針どおりに、陽気に楽しく、交歓を始める。

キャンプファイアの間、君は簡単な打合せ会を開いて、翌日のプログラムについて話し合い、特別な任務の割当てを行う必要がある。

火床の囲りで消灯の合図を吹く。ラッパによるときは、弱音器をつける。火を消せ、テントへ帰れ。

9時30分。1日は終わった。「おやすみなさい。ぐっすりお休みなさい。」

## ——雨天のとき——

そうだが雨が降るかも知れない。そのときはもちろん雨天でもさしつかえないようにプログラムを変更しなければならない。

雨天なら雨天なりに、できるだけのことをすればいいのだ。雨に備えておけば、雨でキャンプが

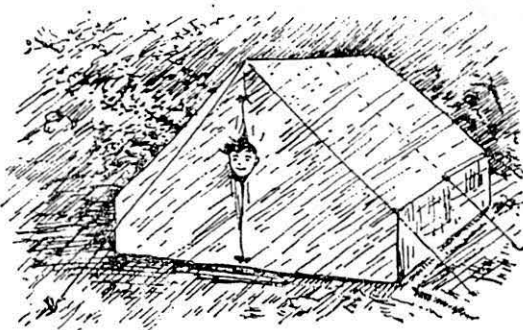
混乱することはない。

雨が降り始めたら、何よりもまず自分の装備品を考え、雨に弱いものはカバーをかぶせる。なべ類は外に置いてかまわないが、衣類やおの、なたのような物は、中

に入れなければならない。班員たちに、自分の用具を始末するだけでは十分でないということも教える。つまり、雨になったら自分のものだけでなく、同僚のものも手伝って運び入れる義務があるのだ。

それから次はテントのことだ。テントの周囲を流れる雨水だけでなく、テントに向かって丘の上から流れてくる雨水もはかすような手だてを講じなければならない。

夏に時々どしゃぶりがあるような地方で野営する場合は、テントの周囲に十分な溝をめぐらせる必要がある。まずテントの周囲に近接させて、スコップで深さ10～20cmの溝を掘り、次にその溝の10cm外側に、同じような溝をもうひとまわりめぐらし、こうして掘り起こした芝（土）をくずさないようにして溝の外側のふちに並べる。このようにしておくと、キャンプが終ったときに、芝を元に戻すことができるのである。



テントの周囲に排水溝を掘りめぐらさなければならないとすると、それは場所の判断を誤ったことになる。



あわてて張ったテント

注意深く張ったテント

非常の場合……「雨か嵐が近づいたら、テントを特に注意して張る」

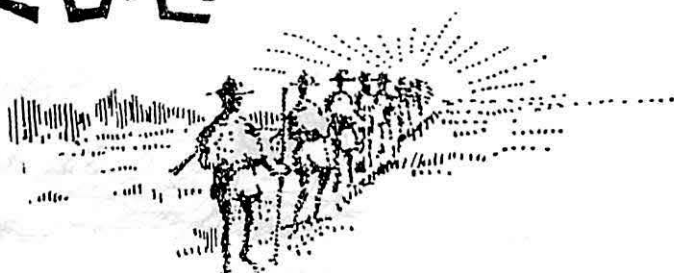
これ以外には、テントを雨水の浸入から守る方法はないと思われるとき以外は、テントの周囲に必要な以上に溝をめぐらすことは禁物だ。ただ掘って土をほうり出すというふうな、だらしないやり方でやると、結局はひどい土砂くずれになる原因を作り出すかも知れないのだ。

テントがぬれると、布地とロープはちぢむ——だから、親綱をゆるめることを忘れないこと——さもないと、テントのくいは地面から抜け出てしまう。テントが防水質のものではなく、水をはじくだけのものなら、雨は細いしぶきとなって入ってくるかも知れない。しかし、あわてることはない。テントがほんとうに丈夫であれば、布地がすっかりぬれてしまうと同時に、しぶきは自然に止まる。テントの内側にしずくが垂れるときは、なお始末が悪い。こんな場合、普通なら指をその個所に当て、しずくが布地を伝って地面に流れ落ちるようにすれば、ぬれないですむかも知れない。しずくは内側に入っていないで、ずっと布地を伝って流れ落ちるようになる。雨の最中は、布地の内側には触れないように、班員たちによく言うておくことだ。内側までぬれているかも知れないし、触れた部分から雨がもるようになるからである。また、布地にくっつけて置いてある装具類は、全部移すこと。

(つづく)

# 班長のてびき

～28～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 7 班のキャンピング

### <長期キャンプ>

(つづき)

#### 雨の日の活動

以上の防水対策がすんだら、雨天向きに計画された活動を始めよう。

テントの中でもできるようなスタントや競点をする。ロープ結びや組み織ぎの上手なやり方、簡単な救急法、音または懐中電灯を用いての信号法などの実習をするか、あるいは小刀細工のコンテストやキムスゲームをする。アコーディオンかハーモニカなどの楽器は、雨の日には、まさに千金の価値がある。班員たちに歌わすことができれば、それこそしめたものだ。

それとも、雨の中で元気に鬼ごっこでもしたら



夏の日に、豪雨をついてのゲームもまた楽しからずやだ。

どうだろう。水泳パンツをはいて、どしゃ降りの中に飛び出す。班員たちは、飛び回っている限りカゼなどひきこない。そのゲームを十二分に楽しんだら、ぬれた水着を脱ぎ、テントの中に入って、よく乾布まきつをしてから、乾いた服に着替

える。

雨の中のハイキングは、適当な雨具類さえ持っていれば、興味津々たるものだ。君たちはむせびかえるような大地のにおいがかぐことができる。樹木はよりあざやかに見え、草葉はより生き生きとしているように見える。

降っているのが温かい夏の雨であれば、炊事係たちは水着のままで働いてもかまわない。

冷たい雨のときは、もちろん雨具を着る。食卓の上に防水布をひろげれば、準備完了である。さもないければ食事はテントですが、その場合はできるだけ入口の近くにすわるようにする。

晩のキャンプファイアの時間をテントの中で過ごす——火は用いない。雨降りの晩には長いことやる必要はない。雨の降る音を聞くと、なんとなく眠気を催してくるものだし、皆だって早めに床につきたいと思うだろうからだ。カンバスにあたる雨滴の音は子守歌となって、皆はやがてスヤスヤと眠りにつくだろう。

だが、外はどしゃ降りでも、テントをきつくしめてはならない。換気は必要である。風が後部から来るときは、前のほうは開けたままでもよい。そうでない場合は、テントの入口の下のほうを閉じて、上のほうは開けておいて、垂れ布を「窓」のように広げておけばよい。

## キャンプをたたむ（撤営）

長期キャンプをたたむ方法は、1泊キャンプの場合と変わりはないが、1泊キャンプの場合よりはめんどろなので、時間を早くしてとりかからなければならない。

まず、間に合わせに作った道具の取りはずしから始め、旗ざおはいちばん最後にはずすようにする。それから個人装備品、炊事用具、そしてテントの荷づくりをする。

キャンプ地の清掃が終り、リュックサックの準備もできて、あとは肩に背負うだけになったら、旗ざおの周りに集合し、一応の儀式をして国旗を下ろす。それから旗ざおを取りはずして、その跡をきれいにする。

個人の土地にキャンプしていたときは、全員その地主の家まで行って、班のために土地を自由にに使わせてくれた好意に対し、班のイエールを高々とあげてお礼する。

キャンプは終わった。キャンプ撤収のときに忘れてはならないことは、ただ二つ、すなわち、

1. キャンプ地を、キャンプ前の状態よりきれいにして、何も残さない。
  2. 協力してくださった人々に対する感謝。
- この二つである。



キャンプサイトをたつときは、跡形もないほどきれいにする。

## ＜移動キャンプ＞

どのキャンプよりも形が複雑で、どのキャンプよりも大規模な準備とすぐれた指導力を必要とするものが、移動キャンプである。

班にとっては、長期キャンプを行うことでさえ容易ではないのに、移動キャンプはそれよりはるかに骨が折れる——より重い責任を負い、より多くの費用がかかり、移動の途中で通過する土地を知っておく必要があり、特別仕立ての装具がなければならず、食料を確保する手配もしなければならない。

移動キャンプは、断然 \*古参。のスカウトたち向きのものである。それは結束の固いスカウトたちをかかえる古い班だけで行うべきである。（日本連盟では、移動を伴うベンチャーキャンプおよび奉仕を中心とするワークキャンプ等は、シニア一隊以上に限るよう指導している＝著者注）

君の班が少なくとも3年の歴史をもち、夏の夏季キャンプや夏の長期キャンプ等のすべての訓練

を経ているときは、移動キャンプを行うことができる——それなしではだめである。その場合でさえ、成人の指導者がいっしょにいて、最終責任をとるようにしなければならない。

君の班に資格があり、その気にさえなれば、このようなキャンプの段取りをつけてみるのもよからう。でなければ、あっさり忘れることだ。

### 計画作成

移動キャンプの場合は、計画は早目に立てることだ。どこに行くか、どのようにして行くか、何を見るかを決めて、費用をはじき出す。

たぶん君たちの住んでいる地方のどこかに、風光明媚で名所旧跡に富んでいるところがあって、君をひきつけるかも知れない。あるいは君の班はさらに足をのばして、ほかの地方まで遠征してみたいと思うかも知れない。

このようなキャンプの計画は、その移動方法によって大いに異なる。徒歩旅行をしようとするときは、その移動範囲は必然的に狭くなる。自動車

を利用できる場合は、旅行の長さは自動車を利用できる日数によって決まる。

道具を持って徒歩旅行をするときは、平均1日に15～20km以上を歩こうと考えてはならない。カヌーやボートを利用した旅行は、25kmが最高限度かも知れない。自転車の場合は、50kmも60kmも走ると疲れるかも知れない。自動車旅行の場合は1日に300kmから400km以上も走ると、楽しみどころか、うんざりしてしまうだろう。



ある夏に、移動キャンプを試みるのもよい。  
自転車でも行けるぞ！



君たちはこれくらいの旅行ではつまらないと思うかも知れないが、いざ旅立ってみると、やはり長い旅行よりは短い旅行のほうがいいと思うようになるものだ。結局、大事なことは、どれだけの距離を行くかではなくて、どのような経験をするかということである。

### 隊長の役割

移動キャンプの行先や利用する輸送手段について、君の腹案がまとまったら、すぐに君の隊長に話を持ちかける。そうすれば、隊長は折を見て地区や県連盟にはかって、いっしょになってその旅

行が実行可能なものかどうかを決める。そして計画がOKなら、君たちのために成人の指導者を見つけてくれ、最終的計画を立てる手伝いをし、連盟を通して必要な許可証を手に入れてくれるだろう。(日本連盟では、スカウトや班、隊が県外でのキャンプを計画するときには、所属県連盟事務局に所定の書類を提出して「県外旅行紹介状」の交付を受けることになっている＝著者注)

もし、この種の旅行が周到な計画のもとに実行されるならば、この旅行をいつでも行う用意のある班として、忘れがたい貴重な経験を残すことになる！

## 8. 班 の 教 育

君の目標は、君の班員たちを、第1級の班に仕立てることである。そのためには、見習いスカウトばかりうようよしていても始まらない。だから班を最高のものにしようと思えば、班員一人一人が自ら最高のものになることを目指してがんばるように引き立てなければならない。すなわち、君のスカウトたちの一人一人に、1級スカウトまたはそれ以上のものになる野心を吹き込むのに最善をつくすのである！

じっとしてはスカウトらしくない。

ほんとうの班長らしい班長は、絶えず自分の班員たちを前進させるようにしているものである。だが、このことは、つまり君自身が絶えず前進しなければならないことなのだ。

そのほか、班では万事同じことが言えるのだが、もっとも肝要なことは、君が模範を示すことである。

たぶん、君はもう1級スカウトになっているか



も知れないが、そうでなかったら、いっしょけんめい努力する必要がある。君自身がよく知っていなければ、自分の班員たちにスカウトの進級課目を教えることはできないのである。

だから、進級課目とスカウト技能の方法について、ハンドブックで勉強する。君の隊長、上級班

長、その他の隊指導者たち、それに隊外の専門家からも、最大限の助力を得るようにする。

### 進級課目とはスカウティングである

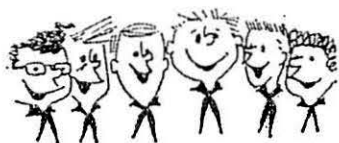
さて、いよいよ班員たちにスカウトの進級課目を手ほどきすることになるが、進級課目と通常のスカウト活動とは、別個のものではないということをお忘れするように。それどころか、進級課目こそは真のスカウティングなのである。

試みに、2級章課目を君たちが班ハイクのさいにやることと比べてみよう。それらの一つ一つが君たちのハイク活動の部分部分であることがわかるだろう。1級章課目を班の1泊キャンプと比べてみても、両方とも、有益なキャンプに共通する特徴をもっていることが分かる。

きわめて簡単なことなのである。スカウトたちに、ハイキングやキャンピングを数多くさせると進級せざるを得ないのである。すばらしい班の生活をさせれば、進級するために休得しなければならないすべての技能を、その場その場で身につけていくことだろう。

### 班の状態を知る

君が、入隊したこの何人かの少年たちの世話をしているときは、君はちょうど次のような位置にいることになるのである。すなわち、君は彼らに最初の障害——初級章課目——をとお越えさせてやらなければならないのである。彼らがこれらの課目をものにしたら、君たちは全員そろって前に



班員にその現在位置を示す。  
——皆に進級の手をさしよ。

進むことができる。しかし、君の班員は、おそらくそれぞれ異なる段階に来ているものの集まりになるだろう。

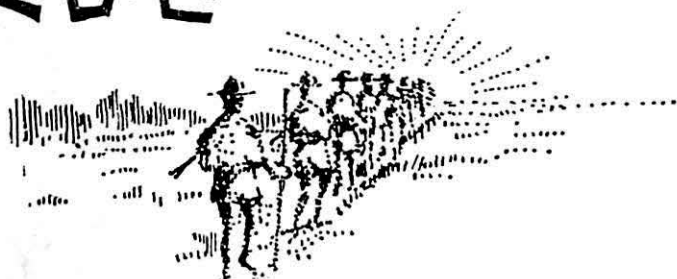
彼らについて君が最初にしなければならないことは、各員がどの段階にあるかを調べることだ。班の進歩状態を示す図表を作成する。1枚の大きな紙の端に、初級、2級、1級の進級課目を書く。左端には班員の名前を書き並べる。各班員別に、その修得した課目にしるしをつけていく。それからその点からどこを目標にして進むべきかを決めるのである。

### 無理のないように！

班員たちがまだ勉強不足であることがわかったら、進級課目の克服に役立つような研究問題を、ハンドブックの中から順序よく拾ってやらせるようにする。彼らがその問題をやり終えたら、それに含まれている進級課目を修得したものとして、しるしをつける。ただしそれは自然に行われなければならない。つまり、班員たちの普通の班生活の一部としてやるのである。(つづく)

# 班長のてびき

~29~



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 8. 班 の 教 育

### 無理のないように／(つづき)

A君の場合を例にとってみよう。彼は2級スカウトに進級するには、火の起こし方と料理のし方を修得する必要がある。君はA君を特別扱いして火を起こさせ、肉の一切れか、じゃがいもの薄切りの一つ二つを油で揚げさせることができる。あるいは彼を君の次のキャンピングの際のコック長に祭り上げ、有頂天にさせながら働かすこともできる。どちらが良いかは君次第だ。

進級については、これと同じようなことがすべての場合に当てはまる。A君を一人だけやって、食用植物を見つけさせるようなことはしないほうがよい。全員いっしょにやらせよう。「どんな食用植物があるか探しに行こう」と皆にいうのである。B君一人だけにコンパスと地図を持たせて、うろうろさせてはならない。クロスカントリーハ

イクの際に、彼に班の案内役をいいつけるのである。C君には、本から手旗信号を学ばせるかわりに、全員で信号法の実施訓練を計画し、丘の頂上から丘の頂上へ通信させるのである。それからD君だけに北極星の見つけ方を教えるのではなく、班全体に星探しをさせ、皆が星座に興味を持つようにさせるのである。

### 彼らは何かをやりたがっている

君の班員たちがスカウト活動に参加したのは、のべつ幕なしにしゃべり合うためではなくて、何かをやりたいと思ったからである。

この事実は、指導法について重要なヒントを君に与えてくれる。つまり絵で要点を示すことができるときは、言葉を用いないこと。君がその要点を実地にやって見せることができるときは、絵を用いないこと。その班員がそのことを行うことが

できるときは、実地にやって見せることもしないことである。

それは君が絶対に言葉を用いて説明してはならないという意味ではない。大切なのは行動であるという意味なのである。

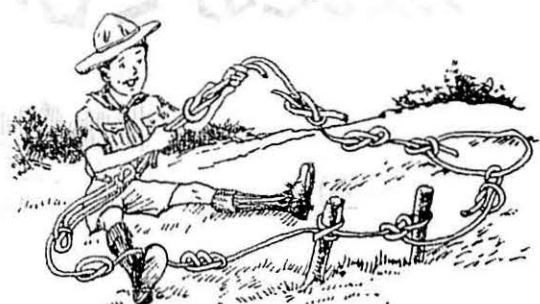
## 指導法

すべての進級課目を行動で行うようにするには君は創意工夫をこらさなければならないが、これはできないことではない。

ある種の進級課目は直接的に取り扱うといちばいいい——班員たちにそれを行わせるだけでよいのである。彼らに自分で考えさせよう。自分のことを自分でやるようにさせたほうが、もっとも彼らのためになるのである。

10種類の樹木を例にとる。(1級章課目の10) この場合は、彼らを屋外へやって10種類の木の葉や小枝を見つけてこさせる。集めてきた木の名前を調べさせる。こんどは火の起こし方(2級章課目の6)を例にとる。班員が火の起こし方をおぼえるのは、火を実際に起こすこと以外にはない。

彼らに火を起こし始めるようにいって、彼らに実際にさせながらコツを教えるのである。それか



初級章課目の結びだけでやるな。  
その他の役に立つ結び方も教えよう!

ら水泳(特修章、技能章)の場合、水の中にとび込んで「こういうふうにするんだよ」といっても班員たちに泳ぎ方を教えることはできない。彼らを実際に水の中に入れて、彼ら自身のペースで練習させることが必要なのである。

直接的方法を用いることができないときは、実演模倣法(デモンストレーション—イミテーションメソッド)を用いる。なわ結び、信号法、救急法その他多くのスカウト活動の技能は、この方法で容易に教えることができる。君はただ班員たちに実際にやって見せるだけだ。たとえば、なわ結びの場合は、彼らにロープを与え、君が結ぶのを彼らにまねさせるのである。



越えさせる

前進させる——流れの中はどて立ちどまらせてはならない。

## 習うより慣れる

ついに班員たちはその技術をおぼえるが、しかし彼らの訓練を継続させたいと思うなら、その技術を彼らが常に用いるようにしなければならない。

君はゲームを利用してなわ結びや信号法、救急法その他多くのスカウト技能や進級課目についての班員の進歩の速度や一般的能力を向上させることができる。

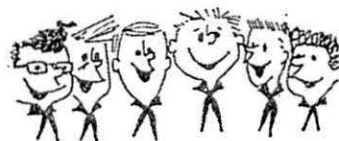
班で競点をする、課目を生きたものにする楽しさがそれだけ増える。

しかしもっともよい練習法は、数多い班のハノ

イクやキャンプに、その技能を実際に応用することである。

一般的な助言はこれで終る。

## 9. 班のハンドクラフト



忙しい班はよい班である。だから正規のスカウト技能のほかに、班集会やキャンプでの忙しくない時間に組み入れることのできる、有意義でしかも興味あるハンドクラフトをさがさなければならない。とにかく何をやるにしても、りっぱなものを作り出すことだ。君の班でやることは何でもりっぱであるという名声を、君の班の伝統にすることだ。

最初の大きな仕事は、おそらく班の本拠を作ることだろう。次に来るのが班のキャンプ用具を作る仕事だろう。このような大きな仕事をいっしょにやることによって、つまり夢と努力を分かち合うことによって、班員各自がチームワークと協力の意味と重要性を知るようになる。

班員たちが持っているかも知れない特殊な能力をうまく利用すること。もしある一人が木工具の使い方が上手であれば、班の本拠のための家具作

りをさせる。班の美術家には壁の装飾の仕事させる。木彫りや金属細工または写真に興味を持っている者には、班の本拠の装飾にそれぞれの腕を振るってもらふ。なわ結びに熱心な者には、結び方の標本板を、自然研究者には自然物の展示標本をそれぞれ作らせる。

班員全部の力を必要とするテント、その他のキャンプ用具の製作では、皆が力を合わせて仕事をやり遂げる。

### 資金作りのためのハンドクラフト

お金を作るための班のハンドクラフトを選ぶとき、忘れてならないことは、専門化することがお金になるということである。人々が何を買いたがっているかを見つけてそれを提供する。

ある班はクリスマスのテーブル装飾の仕事をした。班員は枯れたカバの木をいくらか切り倒す許可をもらった。それを長さ30cmずつに切り、その一つ一つに穴を三つあけて赤いローソクを立てた。それからクリスマス用の緑色のえのぐを溶かして吹きかけ、装飾を施した。この班は40以上の注文を受けて、班のためによい資金を作った。

別の班は鳥の巣箱作りの特技を持っていた。2種類の巣箱を設計し、その地域の愛鳥クラブや婦人会を通して注文を受け、とてもよい成績を示した。

資金作りのあらゆる活動で、大量生産方式は非常に役立つ。簡単な設計を考え出し、それからい



自家製のテントほどすばらしいものはない。  
まず紙で模型を作ってみよう。



いわゆる流れ作業方式を作り上げること。

班のあらゆることがらの場合と同様に、皆がこれに参加しなければならない。たとえばシルク印刷のグリーティングカードを作って売ることが決まったら、班の「美術家」にデザインを考えさせ、もう一人にそれを原紙に写させ、そして他の班員たちに紙切りとインクつけと印刷をさせる。このようにして仕事を早く、しかも効果的にやることができる。

### その他の参考事項

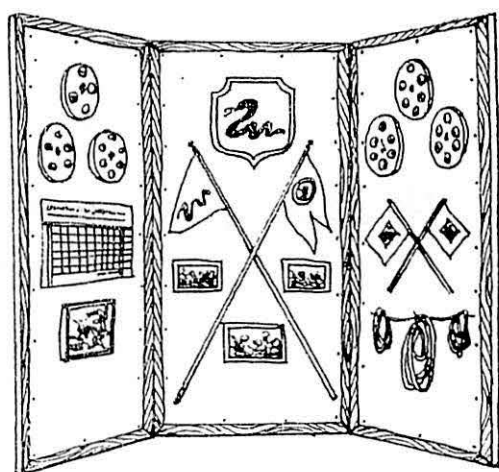
この本の限られたページで、班のハンドクラフトについて詳しく述べることは不可能である。いろいろなハンドクラフトの資料を見るとよい。各種の図は君が手技を始めるためのアイディアを提供してくれるだろう。（月刊「スカウト」誌にも参考になる資料がのっているから、ぜひ活用してほしい＝著者注）

忙しい班の忙しい班長になること。手技を班の伝統にし、それを楽しみのため、訓練のため、自己表現のため、資金作りのため、そして奉仕のために利用すること。

## 班の本拠

たぶん君たちは、隊の集会室の片すみに班の仮本拠を置いてあるだろう。その場所がほんとうに君の班をあらわすように装飾すること。もし許されるならその装飾を永久的なものにする。もしまたその部屋が他のグループにも利用され、隊集会のないときは、装飾を取りはずしてどこかにしまっておかなければならないのであれば、図で示すように折りたたみ式の班のつい立てを作る。そのつい立てをスカウト技能作品、記録表、写真その他で飾るとよい。

そして遂に班の本拠に作りかえることのできる



班のつい立ては、隊ルームではなかなか重宝なものだ。

部屋か小屋を手に入れることに成功したら、班員全部が集まって、どのようにしてそれを作りかえるかを決める。それを正規のスカウト技能室にすることもできるし、開拓者やインディアンのおふんいきを与えることもできる。この本にのせてある絵は、この点で参考になるだろう。

### スカウト技能的班の本拠

まず、大掃除から始める。それから班の好きな色で壁や天井にペンキを塗る。もしそうしたいなら壁の上方の小壁に、班生活の絵をかいてもよいし、あるいは簡単なスカウトの模様をかいてもよい。

田舎風の素朴な家具——いす、ベンチ、テーブル、つくえ、本その他展示棚などを作る。荷作り用の木わくを家具作りに利用するとよい。

それから壁に何をかけるかを考える。

一方の壁にわが国の国旗やスカウト運動のある国の旗、信号旗、吹き流しや旗布などをかけるのもよいだろう。あるいはまた、スカウトのちかいやおきてが書いてあるポスターや、バーデン・パウエル卿やその他スカウティングで著名な人々の写真を飾るのもよい。

開拓者の気風がみ  
なげる班の本拠



またもう一方の壁には、各スカウトのためにベニヤ板の額を掲げ、彼らの写真と、特修章や技能章、班での記録などを展示するのもよいだろう。

あるいはまた、班キャンプの記録写真を集めて飾ってもよい。君の町の周辺地域の大きな地図を掲げておいて、それで君の班ハイクのコースを決めるのも一案である。

また他方の壁には、ロープの結び方の標本や、注意事項や班訓練に用いる黒板を掲げるスペースもあるかもしれない。それからもちろん班の文庫のためのたなもつけなければならない。

片隅には班のキャンプ用具を入れる箱かロッカーを置き、もう一方にはいろいろな自然の展示物やキャンプファイアやテントや橋の模型を置くのもよい。

最後に、班旗のためのスタンドを作り、旗がいちばんよくその効果を発揮するように、その上に

のせる。

### 開拓者風の班の本拠

開拓者風の本拠にするには、壁を木の板でおおひ、丸太小屋の中にあるような気分を出す。家具には荒削りの木を使用し、壁には動物の皮や雪ぐつやおの、角製の火薬入れなどをかける。シャンデリアは古い荷車の車輪で作る。

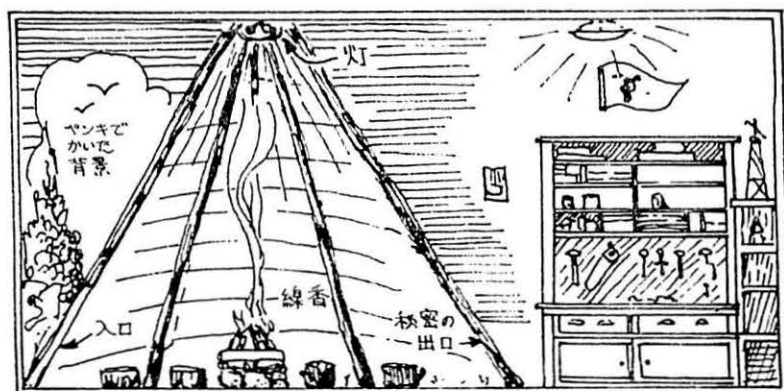
### インディアン風の班の本拠

壁にインディアンの毛布や髪飾り、たてやトートムポールなどを飾りつけて、インディアン風の本拠にすることができる。部屋の中央に人工の電気式キャンプファイアを置き、その周囲に会議用の丸太の席を作る。

部屋の大きさが十分なら、キャンバスで小さなティピー（インディアン式テント小屋）を建て、その中にもぐり込んで特別な会合をすることができる。

○

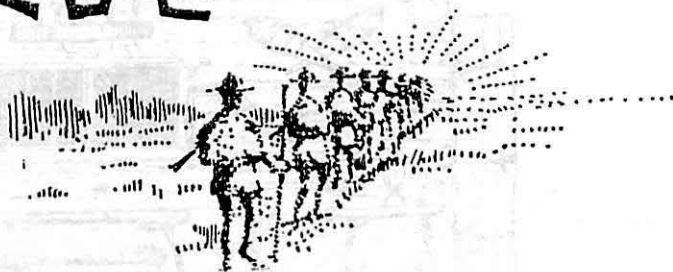
班の本拠を作る方法には限りがない。要は創意を働かせることである。しかし、その結果はほんとうに班の個性と精神をあらわすものでなければならないことはいうまでもない。 (つづく)



室内に班の本拠として建てたティピー

# 班長のてびき

～30～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 9. 班のハンドクラフト (つづき)

### <班のキャンプ用具>

#### テント

テントのデザイン、大きさ、値段は千差万別だ。しかしいちばんよいテントというのは、買ったものでなく、自分たちで作ったものである。自分で作ると、ほんとうに自分が欲しいテントを獲得できるわけである。そのうえ自分の手を下して作ったテントに寝ることには、特別な喜びがあるものだ。

テント作りを始める前に、先のことを考えなければならない。班の1, 2泊キャンプに1年中使えるだけでなく、隊といっしょにやる夏の長いキャンプにも使えるようなテントを作ること考えよう。このためには、はって出入りするような種類のテントでなく、手広く、しかも軽いテントで

なければならない。二人用のテントとしては、2.4m×2.8m、高さ2メートル程度のものがよい。スカウトで用いられるテントのデザインはいろいろあるが、指導者ともよく相談して、実用的なテントを作してほしい。(テントの作り方については、別の機会に紹介することにした＝編者注)

#### 班のキャンプ用具袋

君自身が作れる班のキャンプ用具を、いくつかあげてみよう。(図1参照)

キャンバスの水おけ(布バケツ)は、防水ズックで作れる。まず布を切り取り、長い布の横の縁を縫い合わせる。もう一方の縁を縫いつけ、内側をひっくり返し、もういちど縫い目にそって縫う。はと目を二つずつ布の上方につけて、持ち運び用のひもをそれに通す。でき上がったおけが、

縫い目のところから水がもるならば、パラフィンを塗ってアイロンを当てて溶かし込む。

キャンパスのたらい(洗面器)を作るには、布の両端を縫いつけ、それから底をつける。内側を外へひっくり返して、もういちど縫い目にそって縫う。上方

をへり縫いする。必要なら前記のおけと同じようにパラフィンを溶かし込む。

乾燥した食料を入れるちり除け食料袋は、固く織られている木綿生地などで作る。

防水肉入れ袋は、厚い生地かあるいは軽いズックで作る。生地が防水でなかったら、パラフィンの固りを十分に塗りこんで、温い(熱くてはいけない)アイロンを当てる。熱がパラフィンを溶かし、生地のせんいがパラフィンを吸い込む。

パン入れ袋を、乾燥食品袋と同じ要領で、パンの大きさに合わせて作る。

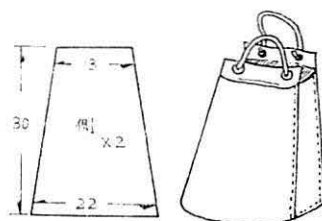
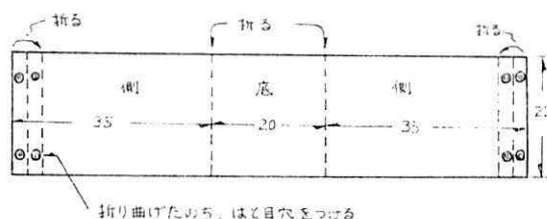
君自身の用具入れ袋を作る前に、商店などに、おあつらえ向きのプラスチック製の袋がないかどうかを調べる。

## <個人のキャンプ用品>

### かばん(バック、ザック)

テントの種類と同じように、かばんの種類はた

### ① 水おけ (布バケツ)



### ② たらい (洗面器)

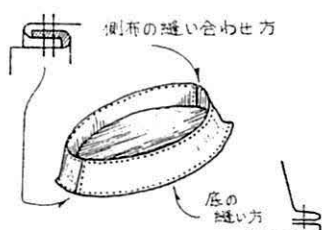
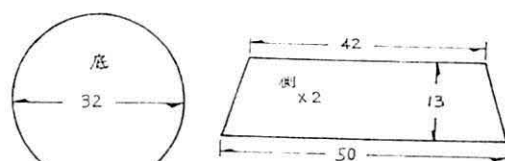


図1 (単位: センチメートル)

くさんある。買ったり自分で作ったりする前に、必ず、君の目的にかなうだけの大きさのものを入手するように気をつけること。第7章・班のキャンピングの個人装備品のところであげた、提案事項を参考にしてほしい。(77・5月号参照)

自分で作るときは(図2)、まず使用する材料を決めることから始める。おそらく防水の厚いズックかキャンパスを2メートル45センチのほかに9番銅リベット4箱、25ミリ型Dリング24個、50ミリ幅帯ひも1メートル、25ミリ幅帯ひも170センチ、締めつけ用ひも5メートルがいる。

図に示すとおり、材料の上に型をとる。もし君の材料の幅が指示した幅と違っているときは、まず紙で型をとり、それを生地の上にのせて生地を経済的に使うようにするとよい。

生地を型のとおりに切り取り、図示のようにリベットで縫ぎ合わせる。かばんの胴体は、45センチ×40センチ×15センチの大きさの木箱または段

ボール箱に、生地をかぶせて作る。リベットでとめたあと、内側を外側にひっくり返す。図のようにフラップ（垂れ布）をつけ、かばんができ上がる。

ったら、帯金にリベットを打って仕上げる。

（注：ここに示したものは、アメリカのスカウトが愛用している「グリーン・バー・ビル・バック」。

「ジャンボー・バック」の設計である。図も原書のままをのせておくことにする＝編者）

## 個人用具袋

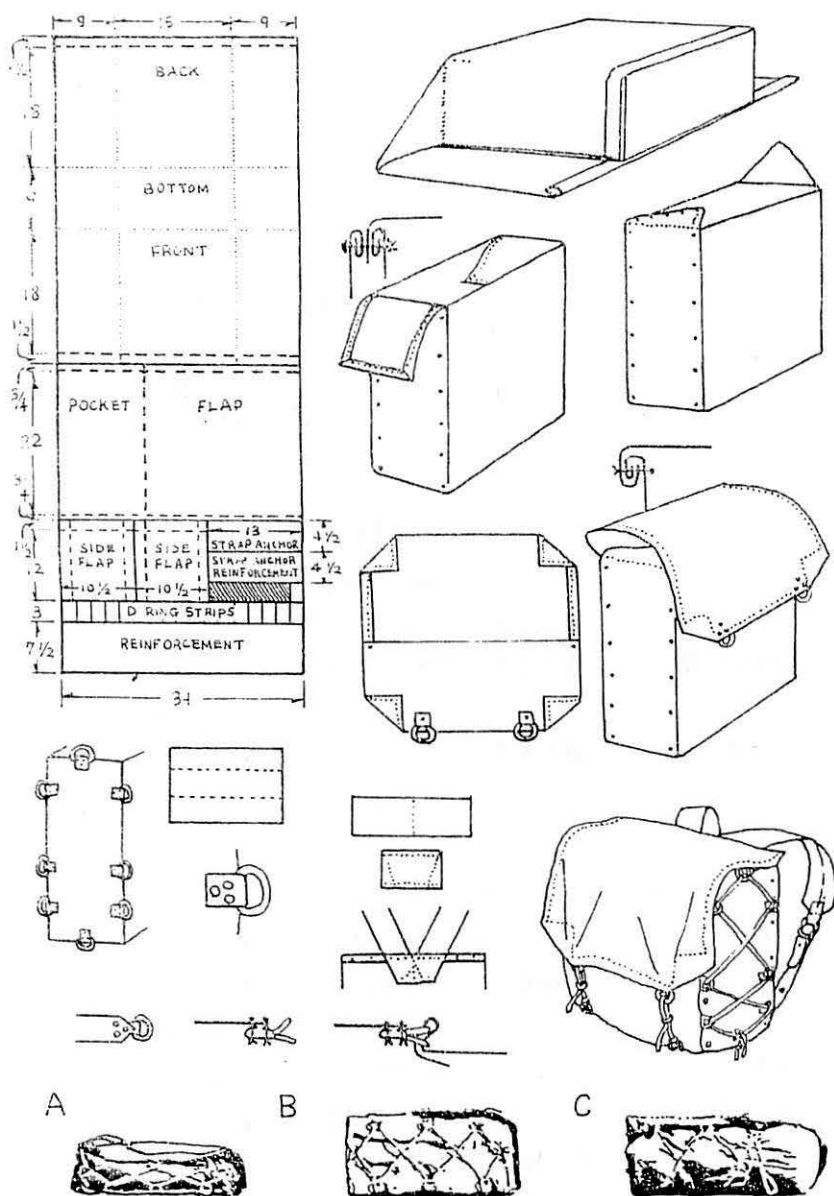
キャンプの専門家がよく用いる「袋の中に袋を入れる」方式については、リュックサックのつめ方の章（'77・5月号）でふれた。

次の袋が必要である。すなわち、衣服袋、洗面具袋、くつ袋、食器袋、補修用具袋などである。

図3はそれらの参考例である。

ほとんどどんな種類の木綿生地でも、これらの袋を作るのに使える。防水材料を使って洗面具袋を作れば、ほかの品物をぬらす心配なしに、ぬれたタオルをそれに入れることができる。

衣服袋は、生地を周囲を全部縁どりすることから始める。次に図示のとおり点線にそって折り曲げ、端にそって縫い、ポケットを二つ作る。そ



- A……両側をひもでいっしょにしめつけると、このバックはハイキングかばんになる。  
 B……1泊キャンプのときは、ひもをゆるめて品物をつめ、再びひもをしめる。  
 C……長期キャンプのときは、品物をいっぱいにつめて、外部から毛布を巻く。

図2

（単位：インチ）



れから内側を外へひっくり返す。

袋の片側は予備の衣類用、片側はパジャマ用である。

食器袋は、衣服袋と同様に縁とりから始める。それから図のように小さな布を袋の前面につけ、三つの仕切りを作って、それぞれナイフ、フォーク、スプーンをつめる。最後に側を縫い上げ、閉めるためのボタンかファスナーをつける。

## <自然物利用のハンドクラフト>

### 自然物コレクション

#### 課 業

木、岩石、こん虫、押し花、鳥の羽などの標本を作る。

#### 材 料

どの標本を選ぶかによってきまる。

#### 順 序

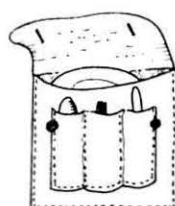
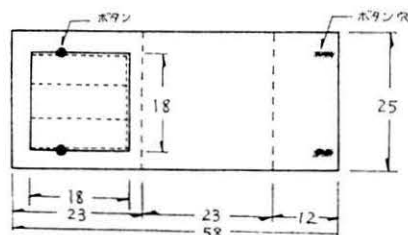
木の標本を作るには、木目がどういうふうに走っているかを示すために、木の目にそって横または斜めに切る。仕上げをするとどうなるかを示すために、切り口の半分をみがく。そして標本を板の上に並べる。

岩石の標本は、板を2枚重ねてその上に置くことができる。上の板に丸い穴をあけ、2枚をくぎづけする。穴に溶いた石こうをつめ、その中にサンプルを置き、石こうを固まらせる。

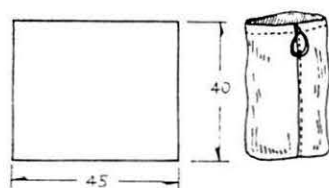
こん虫の標本は、ライカー式の箱に並べる。これは綿をつめた浅い箱で、こん虫をそれぞれの位置におき、ガラスを張って、テープでガラスを固定する。

押し花、押し葉、鳥の羽は薄いボール紙か、植物標本紙にプラスチックテープなどで固定する。

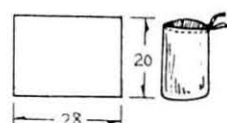
#### ●食器袋



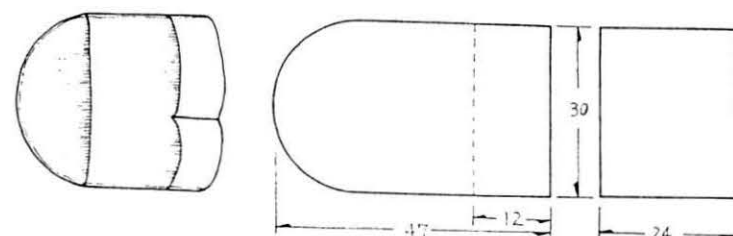
#### ●くつ袋



#### ●修理具袋



#### ●洗面具袋



#### ●衣服袋

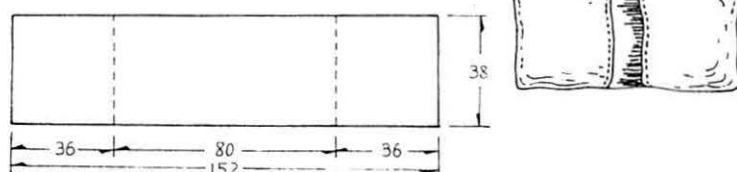


図3 個人のキャンプ用具袋各種

(単位: センチメートル)

## 木の葉の複写印刷

(リーフプリント)

### 課 業

木の葉の標本を集める。

### 材 料

プリントの方式による。

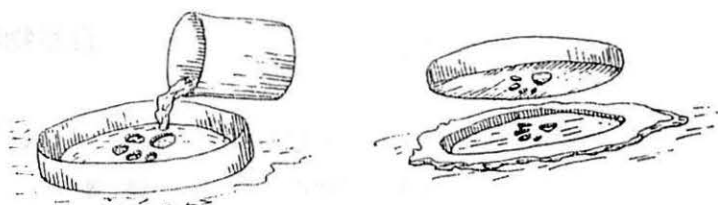
### 順 序

**油煙印刷**——1枚の紙に少量のグリスを一様に塗る。ローソクに火をつけ、その上に紙をかざしてグリスの塗ってある部分を黒くよごす。木の葉を、裏面を下にしてすすけた部分におく。新聞紙をその上におき、指で静かにこする。木の葉をきれいな紙の上にうつし、もう1枚の紙をその上におき、葉の中心部から外側に向かってもういちど静かにこする。上の紙と木の葉を取り除く。

**はねかけ印刷**——木の葉を紙の上にピンで止める。歯ブラシを墨にふたし、小さな棒かくぎで毛を手前にひっぱってから放す。こうすると紙の上に墨がきれいにはねかけられる。木の葉の周囲に墨が一樣にはねかけられるまでこれを続けてから乾かす。

**印刷用インクでの印刷**——印刷用インクか、謄写版用のチューブ入りインクを手に入れる。ガラス板の上にゴムローラーで少量のインクを一様にのばす。木の葉の裏面を上にして新聞紙の上におく。ローラーでそれにインクをつける。インクのついた面を下にして、木の葉をきれいな紙の上におき、油煙印刷のときと同じようにこする。

**青写真印刷**——やわらかな光の中で、木の葉を青写真紙(感光紙)の上におき、ガラスをのせて紙が灰色になるまで、明るい太陽の光線にあてる。2～3分間木の葉の模様がきれいな青色になるまで水道の水で洗う。紙にはさみ、押しつけて乾かす。



## 原形作り

### 課 業

木の葉、木の枝、動物や鳥の足跡の原形をとる

### 材 料

焼き石こう、細工用ねん土

### 順 序

木の葉か枝の原形をとるには、まずねん土を丸いびんで薄く引き伸ばす。木の葉を裏面を下にしてそのねん土の上におき、はっきり木の葉の形がねん土にうつるまで、びんを木の葉の上で転がす。木の葉を取り除き、型をとるために木の葉の形の周りに、ねん土で2～3センチの高さの壁を作る。

少量の水に、焼き石こうを水の中央にその石こうが島の形に積み重なるまで入れてから、十分にかきまわす。その混合液は、溶けたアイスクリームぐらいの濃度でなければならない。

その液を囲いの中に注ぎ、1時間ぐらいそのまましておく。固まったらねん土の壁を取り除き、石こう型をとり出す。ナイフで縁を削り、乾かしてから普通のえのぐを塗る。

足跡の型は、地面に残っている動物や鳥の足跡から直接作る。はっきりした足跡を選ぶ。2～3センチ幅の原紙かボール紙で作った帯を、ピンかクリップで止めて輪を作り、足跡の周りにおく。その輪の中に溶いた石こうを注ぎ、石こうが固まるまで放置する。完成した型を流水で洗って汚れを落とす。(つづく)

# 班長のてびき

～31～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 9. 班のハンドクラフト (つづき)

### 鳥の巣箱

課 業 ミソサザイ、ツグミ、キツツキ、コマドリその他の野鳥の巣箱を作る。

材 料 杉、松、ポプラなどの木、製材所の切りくず(皮のついているもの)は、安価でよい材料になる。にぶい色の塗料、たとえば茶色、緑色、灰色など。

順 序 選んだ巣箱の形によって異なる。

屋根は雨水を流すために十分な傾斜をつけ、鳥の出入口に雨が吹き込まないように、ひさしを5cmくらい長くする。巣箱の大きさと出入口の直径は、目的とする鳥の大きさに合わせて作る。シジュウカラやミソサザイには、間口と奥行が12～13cmで高さは15～20cm、出入口の直径は、3～4cmが適当であり、また、キツツキ用には高さ20～35cm、出入口の直径4～6cmの円

柱状のものでもよい。(図参照)

参考書(注:日本で出版されているものの中から推せんできるものを選んだ)

#### ●鳥と親しむために

鳥の世界 黒田長久著 あかね書房  
鳥の博物館 森岡弘之監修 集英社



<Boy's Life 75・3>より

「野鳥記」(全8巻、別巻1)

中西悟堂著

「野の鳥の四季」(写真集)

高野伸二著 小学館

「鳥類」(ライフ・ネイ

チャー・ライブラリー)

山階芳彦監修

タイムライフ社

「庭に小鳥を」

日本鳥類保護連盟編

(連盟で直売)

鳥を見分けるために

「原色日本鳥類図鑑」

小林桂助著 保育社

「鳥類の図鑑」

黒田長久・高野伸二著

小学館

「野山の鳥」

日本野鳥の会編

(野鳥の会で直売)

「野外観察用鳥類図鑑」

日本鳥類保護連盟編 (連盟で直売)

鳥を学ぶために

「野鳥の生態と観察」 羽田建三監修

「鳥類の生活」 浦本昌紀著 紀伊国屋書店

「鳥類の研究」 黒田長久著 新思潮社

「動物系統分類学(10上)」 黒田長久著

鳥について、いろいろな運動を行っている団体

日本野鳥の会 会長・中西悟堂

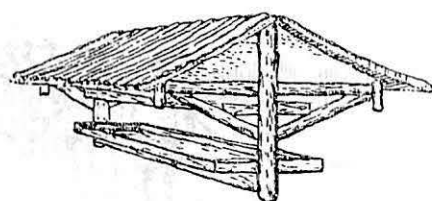
事務所 〒103 東京都中央区日本橋室町3-3-4

田中ビル4階 電話 03-242-6588

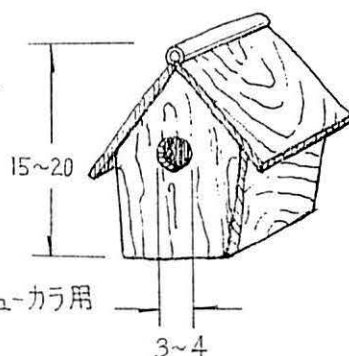
野鳥愛好者の団体として古い歴史をもつ。全国各支部単位で、探鳥会活動などを実施。月刊誌「野鳥」を発行。

図1 野鳥のえさ台と巣箱

(寸法はセンチメートル)



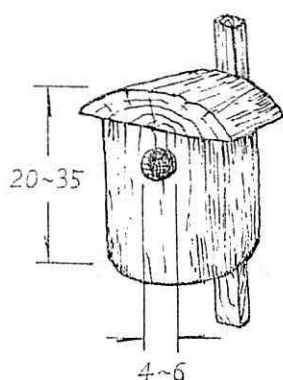
えさ台の例



ミジュー・カウ用

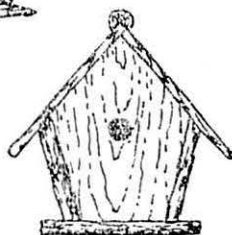
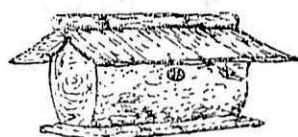
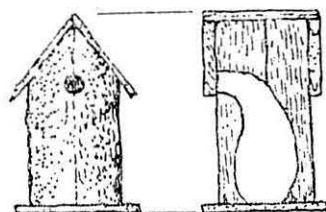
3~4

キツツキのなかま用



20~35

4~6



日本自然保護協会 会長・川北禎一

事務所 〒105 東京都港区虎ノ門2-8-1

虎ノ門電気ビル4階 電話 03-503-4896

自然保護の全国組織。各種調査活動や、関係機関への働きかけを実施。月刊誌「自然保護」を発行。

日本鳥類保護連盟 会長・山階芳彦

事務所 〒150 東京都渋谷区南平台8-20

図2 革細工のやさしいかかり方

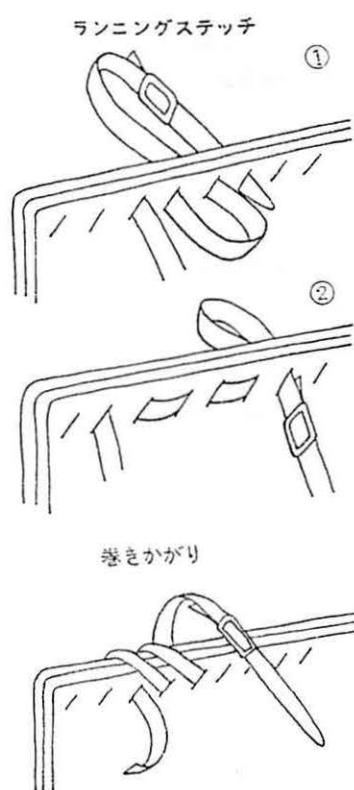
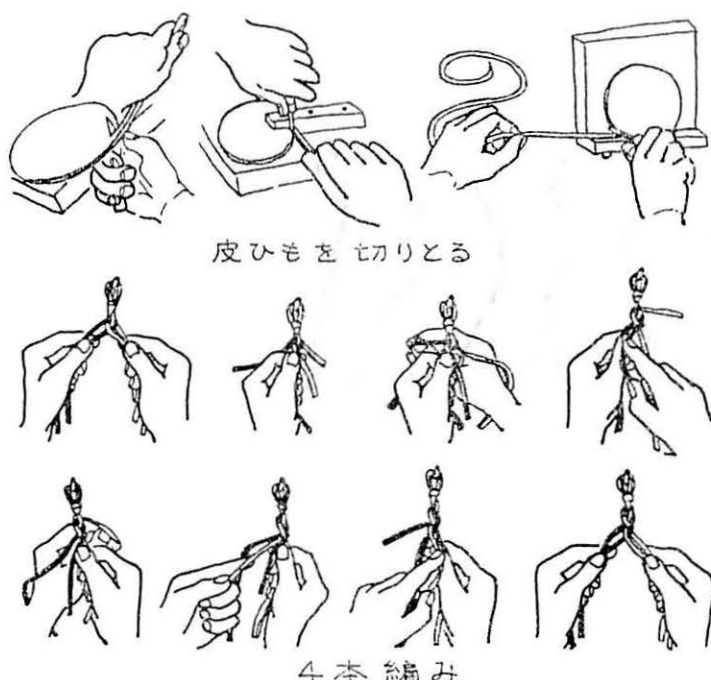


図3 皮ひも編み



あけ、ナイフ、スタンプ道具など。

順序 自分でデザインするか、あるいは参考資料の中からデザインを選ぶ。皮を切り、穴をあけ、皮ひもでしばり合わせる。品物の上いろいろな模様をつけようと思うなら、各部分を組み立てる前にそれをする。

## 皮ひも編み

課業 ネット、カチーフスライド、呼子のひも、ループタイなどを作る。

材料 円形の皮、鋭利なナイフ、切り台、あるいは本物の皮の代りに手芸用の厚い布。

順序 円形の皮材から皮ひもを切り取る。皮ひもを編むには、図に示すように二つのひもを並べる。左手で交差した2本のひもの中央をつかむ。白いひもの間から手を入れ、黒いひもの左のほうに引き出す。黒いひもを交差したひもの後ろに回し、白いひもの間を通して引き上げ、

電話 03-461-0540

鳥類保護のための出版、関係機関への働きかけなど。月刊誌「私たちの自然」を発行。

<参考> 巣箱とえさ台の作り方については、本誌1976年3月号と4月号のスカウトクラフトのページを参照するとよい。

## 《いろいろなハンドクラフト》

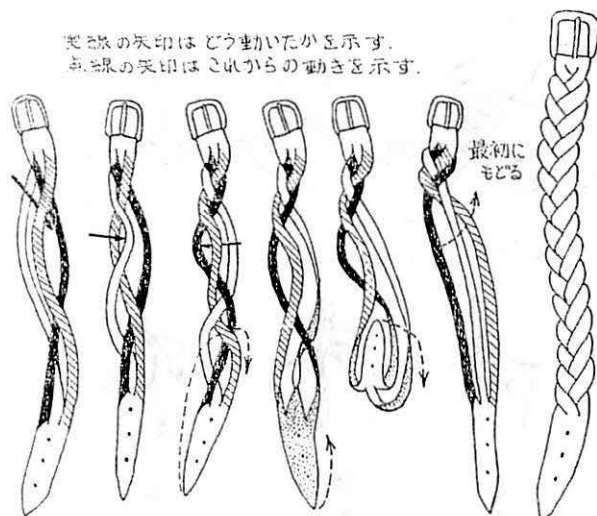
### レザークラフト

課業 おのやナイフのさや、カメラケース、救急箱、書類かばん、二つ折りさいふ、本のカバー、ベルト、かばん、小銭入れなどを作る。

材料 皮革(作る品物による) 皮ひも、皮の穴



図4 ベルトを編む



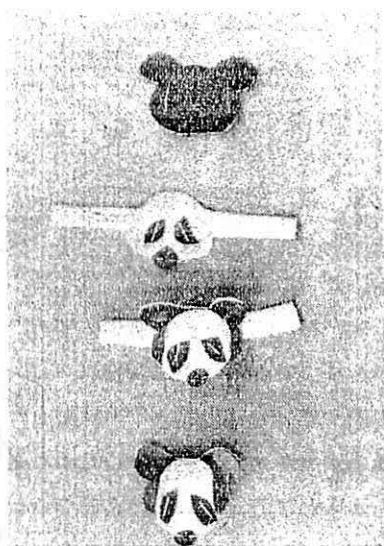
左手の上を通して下のほうの白いひもの上に持ってくる。以下同じやり方をくり返すが、図に示すように、左手を右手にかえなければならない。これで一段落ちついたわけで、これをくり返していく。

### リノリウム版印刷

**課業** あいさつ状、クリスマスカード、班のリーダーヘッドなどを作る。

**材料** 厚さ6mm程度のリノリウム版、小さいナイフ、またはステンシルナイフ、木版用彫刻刀2本(V字型とU字型)、リノリウム印刷用インク1本、ゴムローラー、ガラス板、できれば洗たく用のしぼり機1台。

**順序** 黒と白がはっきり対照的になっているデザインを選ぶ。透明な製図用紙に輪かくをとる。リノリウムの上にカーボンペーパーを置き、その上にデザイン(模様)が反対になるように表を下にして製図用紙の輪かくを置いて、デザインの背面を通して輪かくをとる。ステンシルナイフの刃を輪かくの線から少しはなして輪



ネッカチーフスライド

かくを切り取る。またはV型彫刻刀を用いる。

輪かくを切り取った後で、印刷で白く見える部分をU型彫刻刀で削り取る。ガラス片に少量の印刷インクを伸ばし、ローラーを前後左右に回して、インクが一様にひろがるようにする。ローラーでリノリウム版にインクをつける。その上に印刷紙をのせ、スプーンのうしろでこするか、用紙と版をしぼり機に通す。

### ネッカチーフスライド

**課業** ネッカチーフスライドを作る。

**材料** 木、牛の角、皮革、皮ひもまたは手芸用の細長い切れ、小羊の背骨、カバの木の皮、電線、竹、亀の甲等々。

**順序** 使用する材料によるが、創意を働かすこと。

### 金属細工(メタルワーク)

**課業** さら、わん、ランプ、ローソク立て、ラランタン、デスクセット、宝石細工など。

**材料** 銅、しんちゅう、アルミニウム、銀、し

ろめ（すずと鉛，しんちゅう，銅などの合金）

順序 作るものによって異なる。

## 模型製作

課業 橋，信号塔，キャンプファイア，道標，キャンプ備品，丸太小屋，キャンプサイト，テントなどの模型を作る。

材料 棒，石，火のための人工火花，ひも，立木の模型を作るために，棒にスポンジをつけたものや乾いた木の幹，草の模型を作るための乾燥粉末コケまたは色つけしたのこぎりくず。湖をあらわす鏡，すえつけ台を作る板など。

順序 作る品物によって異なる。

## ブリキかん細工

課業 料理なべ，ランタン，ろうそく立て，小物入れ，コップ，スコップなどを作る。

材料 いろいろな大きさのブリキかん，針金，くぎ，ブリキの切れ端。

順序 図に示したものを参考に，各自でよく考えて作ること。

## 木工

課業 木工の仕事には限りがない。小さな彫刻品から複雑な家具や小屋作りまである。

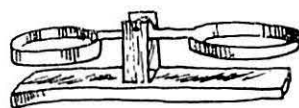
材料 何を作るかによって決まる。

順序 何を作るかによって決まる。

ハンドクラフト関係の参考書は，色とりどりのものが市販されているし，ときどきこのスカウト誌にも載ることもある。また，君の住んでいる地方の図書館にも，おそらく数多くの資料が所蔵されているだろうから，ぜひ訪ねてみるとよい。創意と工夫と班員の協力によって，素晴らしい作品ができて上がることを期待する。

（つづく）

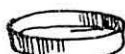
図5 ブリキかん細工



天びんばかり



コップ



さら



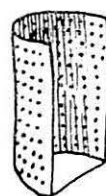
料理なべ



ランプ



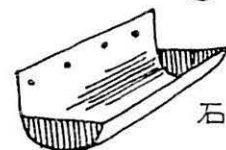
石けん台



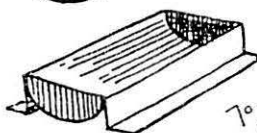
おろし金



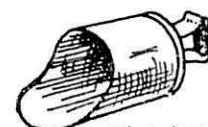
ろうそく立て



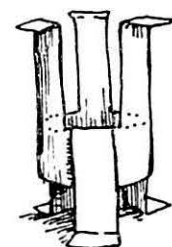
石けん台



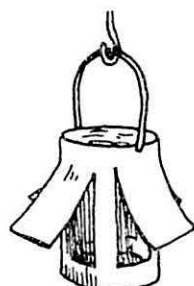
ペン皿



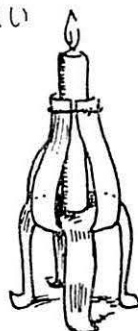
石臼とうすくい



アルコールバーナー



ランプ



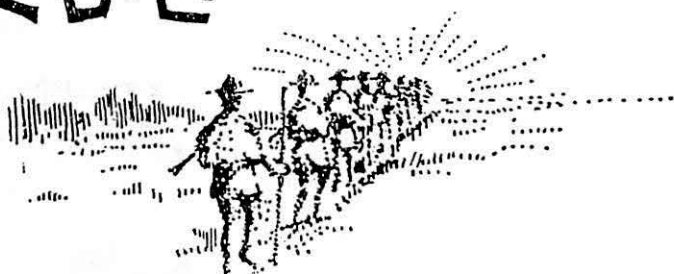
ろうそく立て



ろうそく立て

# 班長のてびき

～32～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 10. 班の出し物

隊のキャンプファイアは、もう相当進んだ。まったくすばらしいキャンプの日だった。午後のワイドゲームは大成功だった。そしていままでのところキャンプファイアの周りで、精神は非常に高揚している。

しかし、突然小休止が訪れる。プログラムが同じ調子でてきばきと進まなくなる。そのときだれかが「フォックスの諸君、スキット (小喜劇) をやろうじゃないか」と叫び、たちまち皆が「フォックスノフォックスノ立てノ立てノ立てノ」と唱和する。君は君の班を立ち上がらせなければならない。今ここでいう「フォックス」が君の班の名前でなくても、立ち上がってリードをとるべきである。

他の全部の班が君の班に、キャンプファイアのプログラムを元気づける役目を期待する理由は、

これまでの隊集会やキャンプで、君と君の班員たちは、いつもそれをやる案を持っていることを証明したからである。



## 「たのしみ」の準備 も整えておく

われわれのモットーは「そなえよつねに！」である。このことは、まじめな仕事ばかりでなく、楽しみのためにも当てはまる。必要なときに、いつでもすばらしい出し物がやれるように、いつも準備を整えておくことである。それは他の隊員たちを喜ばせるのに役立つだけでなく、

君の班員たちを緊張させておくすば

らしい方法でもある。それが30kmハイクの最後のところでの歌であれ、大会に入る前のイエールであれ、班のキャンプファイアの周りでの物語であれ、あるいは連盟のキャンボリーでの寸劇であれ、出し物が君の班だけでなく、他の人々のためにも物ごとを活気づける場合が多い。

## 《班のイエール》

班のイエールは、たぶんもっとも簡単で、しかもいちばん多く用いる出し物だろう。

イエールはとてもおもしろいものである。それは、ありあまった熱意やエネルギーのはけ口である。そして、大声をあげて浮かれさわぐことを、少年らしいスポーツだと心得ている班員たちは、これで心ゆくまできわめる口実を見つけることになるのである。しかしそれはまた、一つのグループの団結を固め、少年たちを一つのチームに仕立て上げるのにも大いに役立つ。班のイエールは、班精神と、親密な友愛関係をきずき上げるのに効果的である。

だから、必ずイエールを奨励すること——もち

いちばんいい班、いちばんいい班！  
ほくらの班は いちばん いい班！  
班の名はな—に、 班の名はな—に？  
わあ—、ほくらの班だよ。  
そら、**フォックス** だよ！



君の班の名前を入れて、お互いに背を強くたたき合って終りにする

ろんいつもやれというのではなく、イエールを叫ぶ理由があるとき、いつでもやることである。

## チアリーダー（演技係）を養成する

イエールをリードするのが上手な班員が、普通どこの班にもいるものである。その能力を試してみること。もし生れつきのチアリーダーがいなかったら、養成することだ。2～3人の班員にイエールをリードすることに興味をおぼえさせてからほんとうのチアリーダーのやり方を見学させる。たいていの場合、君の地方の高等学校の応援団長が、喜んで君の班員たちを指導してくれる。それが終わったら実際に班でやってみて、いちばん上手な者を君の班のチアマスターにする。

## イエールを作る

以下に良いイエールの例を示す。しかし、いつでも自分の班で作ったイエールが、いちばん良いものである。では、どうして作れば良いだろう？例を示そう。君の班の名前は？ビーバー？よし、では行こう。

「ラーラーラーラーラーラーノ

ビーバーはいつでもいそがしい

雨が降ろうがお日さま照ろうが、

ラーラーラーラーラーラーノ

ビーバーノビーバーノビーバーノ」

すぐわかるように、このイエールは簡単な音節で、前と後に七つのラーがついているだけである。前のラーラーは省いてもよいし、後のラーラーを省いてもよい。要するにこのようにイエールを作ることは、きわめて簡単なのである。

### 班のイエールを使用する

君が班のイエールを決める前に、下に掲げるイエールのサンプルを参考にするとよい。

班員たちが好きな班のイエールを作るか、あるいはどこからか借用したら、ほんとうの元気と熱でやれるようになるまで練習させる。

それから人や場所をたたえたいと思ったら、好



今度は何を歌おうかノ

きなイエールにその人や場所の名前を、リズムに合わせて1回か3回つけ加えて叫べばよい。

しかし、ただの叫び声は、ここでいうイエールではないということを忘れないこと。単なる音は問題ではない。君の班の生活で、イエールをほんとうに価値づけるのは、イエールの精神と意味である。

### 各国スカウトのイエール

#### 〔アメリカ〕

ブーメーリーカーノ

ボーイスカウトノ ボーイスカウトノ

U—S—Aノ

#### 〔オーストラリア〕

コバ ヤーノ コバ ヤーノ

タナ カナ カズ ザーノ

シャラブカ マラバラノ

エンゴンヤマノ エンゴンヤマノ

ブック ラーノ ブック ラーノ

ナラベナ キャサレナノ

イルトンガラノ イルトンガラノ

ウックノ ウックノ ウックノ



#### 〔イギリス〕（指導者・班長級のもの）

そなえよつねにノ そなえよつねにノ

さけべノ さけべノ さけべノ

初級の者よノ 2級の者よノ

1級の者よノ



〔イギリス〕（一般班員のもの）

リーダー：ぼくらはだれだ？

班員：ぼくらは、おとなしい少年たちだ！  
（コーラス）

フーハー！ フーハーハー！

フーハー！ フーハー！

フーハーハー！

その名は わし班！

わし班万歳！

（このほか、いろいろな班名）

〔カナダ〕

アイ、ジイー、イット タア キー！

アイ、イー、ジップ！

ボーイスカウト！ ボーイスカウト！

さけべ！ さけべ！ さけべ！

カンタ テタ バー バー！

カンタ テタ ター！

進め、ボーイスカウト！

進め、ボーイスカウト！

ラー！ ラー！ ラー！



〔デンマーク〕

チカリッカー！ チカリッカー！

チャウ、チャウ、チャウ！

ボマラッカー！ ボマラッカー！

バウ、バウ、バウ！

チカリッカー！ ボマラッカー！

シス！ ブーム！ バー！

デト ダンスク スペジャーコース！

ラー！ ラー！ ラー！

（デト ダンスク スペジャーコースは、

英語では \*ディ ダンスカイ スパイダー  
コース。と発音するが、これはデンマーク  
スカウト連盟のことである）

〔デンマーク〕（称賛の拍手を送る場合）

ブーラーボー！

ブラボー！ ブラボー！ ブラボー！

（はすみをつけて、きびきびした調子でい  
う。たとえば、ブラウ！ ブラウ！ ブラ  
ウ！ というように）



〔オランダ〕

リック！ ティック！

リック ア ティック

ア ティック！

ポプサ！ ポプサ！ ハイ！

（3回くり返す）



〔フランス〕

アディジ アディジ アーオーアー！

アディジ アディジ シム ボム バー！

アーオーアー！ シム ボム バー！

アー！ アー！ ア・ア・ア・アー！

（4行目の最後のアーは、ちょうど風船の  
空気が抜けるときの調子で）





〔アイルランド〕

オレイ イレイ イッコーリー アンノ

フィル ユア ファーザーズ

ヒッコリ ジャンノ

ワーバイ スコーリーノ

オイリッシュェ マリーノ

ヒガラムノ スティガラムノ ジャンプノ

《班で歌をうたうこと》

歌の上手な班は活気がある。歌は君たちの精神を鼓舞し、道を短くしてくれ、むずかしい仕事を容易にしてくれる。歌はキャンプファイアの周りや、道を歩きながらだけでなく、班集会でもうたう。歌をうたうのが楽しくないのなら、君の班は良い班とはいえないだろう。

君がごく普通の声を持ち、歌を指揮することを知っているなら幸運である。しかし、君自身が指揮するだけでなく、班員にも指揮する機会を与え、君のチアマスター（演技係、ソングリーダー、イエールマスターなど）を激励して、よいスカウトの歌を採させなければならない。

いつ、何を

君の班が、何かむずかしい仕事をしているとき歌をうたえば、仕事のスピードを早めてくれるのがわかるだろう。このことは、ハイキングにも当てはまる。目的地へ向かうときは、歩調

を合わせるために活気のある歌をうたい、家路をたどるときには、何かしら熱のこもった歌をうたえば、最後の2、3kmの間つかれ切った足を動かしてくれるだろう。

しかし、君たちがいちばん多く歌をうたうのは話すことや、することが全部終わってから、キャンプファイアを囲むときである。いずれにしても、君の班に適し、行事の精神にぴたりするような歌を選ぶことが大切である。

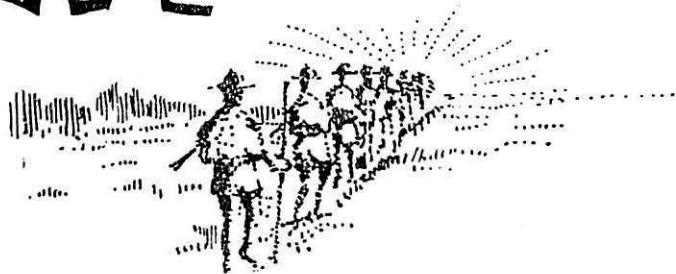
世間では、毎年たくさんの歌が発表されるが、2、3週間もすると放送から消えてしまう。そして、たいていの場合、2度と口ずさまれることはない。しかしながら、幸いなことに毎年いくつかの良い歌の収穫があって、それは生き残っていく趣味の良さを発揮して、よいスカウト活動にふさわしい歌を選ぼう。といっても、その歌がみなまじめなものでなければならないということはない。むしろ反対に、あらゆる場合に適する、いろいろな要素の混った歌が必要である。（つづく）



キャンプファイアの歌を指揮する機会を皆に与えること

# 班長のでびき

～33～



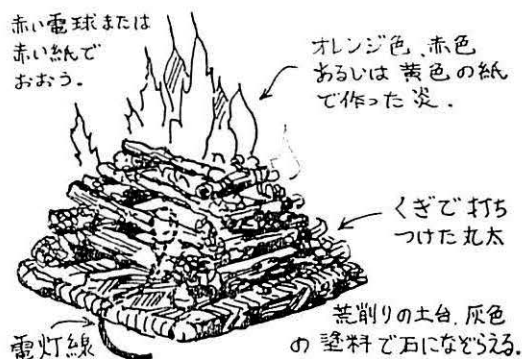
この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 10. 班の出し物

### 皆が参加すること

君の班の全員が参加するのでなければ、歌をうたって楽しむことはできない。君の班にすばらしい歌の名手はいないかもしれないが、歌がそんなに上手である必要はなく、だいじなことは、合唱するときに自分のベストを尽くして歌うことである。班員たちがほんとうにうたうように注意すること。うたうかわりに、大声でがなりたてる者が非常に多い。大声を出すことが上手なうたいかたではないのだ。

一つの歌を始める前に、指揮者——君かあるいは別の人——は、その歌の曲と歌詞を確実に知っていないければならない。そしてその中に溶け込んで行くのである。指揮者に従って歌を4、5回くり返し、班員たちが喜んでそれをおぼえれば、うたうことそのものに楽しみを感じるようになる。



班集会のとき、キャンプファイアの模型を囲んでうたう

最初は古いよく知られた歌に集中すること。あとではかのを付け加えて、班の誇りとなるような曲目をきずき上げることである。

### 歌を選ぶこと

ある行事のために歌を選ぶ場合、その行事の状

況とふんい気をはえること。キャンプファイブのはのおが燃え上がるときは、元気に満ちた爆発的な歌を選ぶ。はのおが燃え尽きるところには、当然静かな歌を選ぶ。厳しゅうな儀式の場合には、まじめな愛国的な歌がよい。そして気分をかえるためには、快活で陽気な歌に切りかえる。

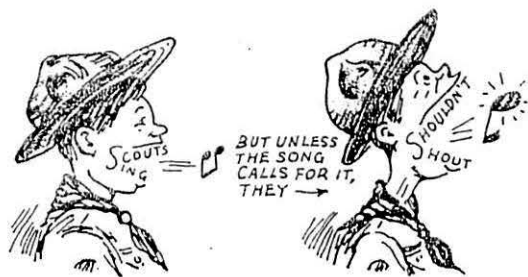
ボーイスカウト歌集やキャンプソング集などを入手して、その中から良い歌を選ぶこと、それらには、君たちが知らなければならない、すばらしい歌がどっさり入っている。古い歌もたくさん入っている。和音に適したものも多い。黒人霊歌や宗教的な歌、民謡やカウボーイの歌などいろいろある。

輪唱はたいへん人気がある。「静かな湖畔」「鐘」「キャンプの夜」「森の野営」などは、そのほんの二、三の例にすぎない。

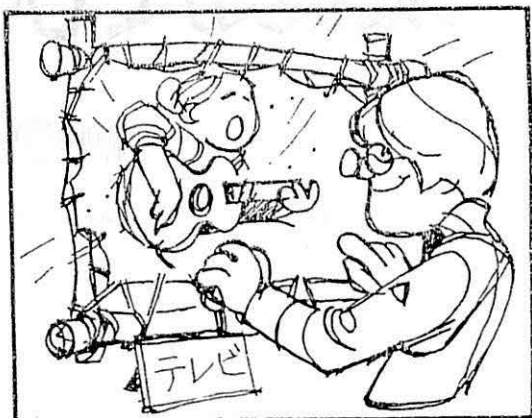
快活な曲では、「ハイキングの歌」「裾野を越えて」「たのしき野営」「ほくら元気」その他たくさんある。これらの曲は、ハイキング中の班に元気づけるのに特に効果的である。

それからまた、いろいろなおもしろい歌詞や、くり返しのついた歌がある。「10種野営料理法」「クイカイマニマニ」「ホルディリア・クック」その他がその例である。この種の歌は、いくらでもあげられる。

上手にうたいなさい。ハーモニーを奨励すること



「スカウトの歌は、元気よくうたう。しかし、その歌によっては、声をはり上げてうたってはいけないものもある」



そして最後に、厳しゅうな行事のためには、愛国的な歌すなわち「国歌」をはじめとして、「連盟歌」「そなえよつねに」「清き風」などがあり、元気を鼓舞するスカウトの歌としては「光の路」「名誉にかけて」「月火の営火」などがある。

### 歌を集めること

班がうたう歌のリストかスクラップブックでも作ること。それに班員がおぼえてくる歌や、君が隊からおぼえてくる歌をつけ加える。そうすればいつかは、君の班に完全にマッチする曲にぶつかることだろう。そのときは、その曲を班歌として採用し、歌詞をつける。班員たちの中に詩人がいないとだれがいえよう。もしいかなかったら、君たちの両親や学校の先生、あるいは町の知名人などの助けを借りるとよい。頼み方さえよければ、だれでも喜んで手を貸してくれるだろう。

歌ができたら、班員たちをうまくうたえるように訓練して、あらゆる機会にうたうこと。

このようにして君の班の伝統は築き上げられていくのである。

### 《話し方》

うまく話ができるという能力は、班長としての仕事をしていくうえに、非常にためになることが

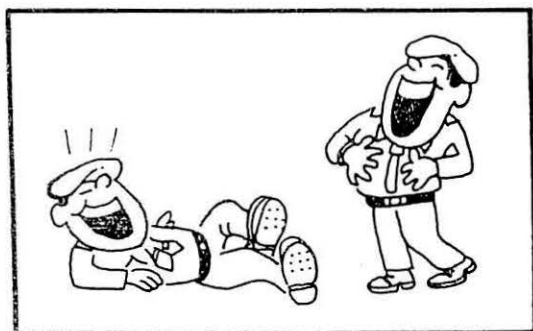
わかるだろう。話をするには、キャンプやキャンプファイアを囲んだときなど、特に効果的であるが、班集会でも同様のことがいえる。

班員たちは、話には喜んで耳を傾けるものである。ただし、話がおもしろく、しかも話し手が上手な場合に限る。話し手自身にとっては、班員たちが話の筋の進展にかたずをのんで聞き入っているのを感じると、特別な満足感を覚えるものだ。

はじめ君は「とんでもない。ぼくには話なんてできませんよ」というかもしれない。ことばをつなぎ合わせて、ある状況を説明するのに必要な想像力と能力は、自分には無いという考えにとらわれるかもしれない。そんなことで落胆してはいけない。生まれつき話し方の才能をもっている人は、ほとんどいない。やろうと思えば、ほとんど皆その能力を身につけることができるのである。

### どうしてその才能を身につけるか

いつか君は、すばらしくおもしろい物語を読んで「これを次の班集会でやったら、すばらしいだろうなあ」と思うようになる。そのとき読んである本か雑誌を投げ出して、「しかしぼくにはで



きない」といってあきらめてはならない。思い切ってやってみること。すると、思っていたよりやさしいことがわかるはずである。

物語を朗読して聴衆を引きつける人もある。しかし、読んだ話を君自身のことばで表現するとなおよい。そうするためには、その話を覚えなければならない。それもただ覚えるのではなく、物語の状況や作中人物の行動なども、はっきりと頭に刻みこまなければならない。そしてもう一度読み返す。それで都合3回読む。そうすれば話の筋は心に刻みつけられ、作中人物が君の心の中で生きようになる。

ここでしばらくすわって、作中人物のお互いの関係と、各人物が果たす役割について考える。はっきりしない点があったら再び読む。

話が君の心に定着したら、部屋の中の目覚し時計か本箱に向かって、大きな声で話してみる。最初はむしろ無味乾燥であるかもしれない。でも気にすることはない。2回3回と回を重ねるごとに、活気と色彩を加えながくり返す。君の声を作中人物の性格や、作中を流れるふんい気にマッチさせるよう努力すること。

そして最後に、班集会やキャンプファイアで、プログラムに合わせてまっすぐにその話の中に飛び込んでいく。うまくできないのではないかなどと恐れてはいけない。話そのものがおもしろければ、班員たちは耳を傾ける。そして話が進むにつ



物語の人物をいろいろと想像すると話がしやすくなる

れて君自身が話の中に溶けこんでいき、自信がついてくる。話が終わった後の拍手かっさいで、君の話が成功だったことを知る。

## 話の種類

前にいったように、成功、不成功は物語自体によることが多い。だからそれは、よい物語でなければならない。そのため、注意して選定するこ



各人が話し継いでいくのもよい

と。図書館や手持ちの本あるいは雑誌の中から、よい物語を見つけ出すことができるだろう。あるいはまた、新聞のニュースをもとにして、自分で作り出すこともできるだろう。しかし、班員たちがまだ知らない物語を選ぶように注意することが大切である。きき手が隣りの者に向かって、「なんだ、あの話なら、ぼくが小さいとき、ゆりかごで聞いてあんまりおかしいので、笑っておこしたのさ」とききやくのを聞くのは、あまり愉快なものではない。

どんな種類の話であれ、動きの多い話でなければならない。作中で物語が進展し、クライマックスに達し、上手に終わるようなものでなければならない。

話が終わったら、そこでストップすること。一つの教訓を引き出すために、もういちど話に戻ってはならない。作中に教訓が含まれているなら、班員たちは自分で十分にそれを感じとるはずである。

## 班員皆がりっぱな話し手

話し方はもっぱら勇気の問題である。思い切って飛び込んでみれば、話を重ねるごとにだんだんやさしく感じていくものである。

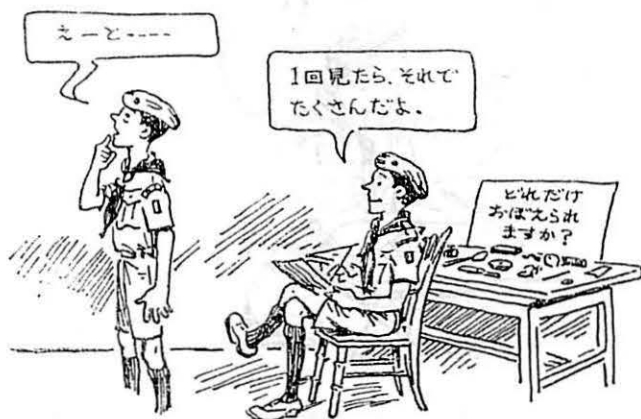
君が上手になったら、班員たちを激励してやらせてみる。君が手本を示し、手をとって教えてやれば、班全体として皆がそれに参加してくるようになるだろう。

班集会やキャンプファイアがあるたびに、話の時間ををはっきりと設けて、班員たちにやらせてみることだ。いちどはじめてみると、班員たちが話し方をほんとうに楽しむのをみて、君は驚くにちがいない。

## 《班のゲーム》

イエールや歌が、いろいろな集会やハイクやキャンプに必要であるように、ゲームもまた同様である。ゲームは、いろいろな種類の班の活動に、味と変化を与えるのに非常に役に立つ。

ゲームをいくつか手もとに用意しておき、必要ときにいつでも、すぐにやれるようにしておく



キムスゲームは、いろいろと形を変えてやることができる



こと。

スカウトゲームの多くは、野外と屋内両方でやれる利点をもっている。そしてさらに、隊集会やキャンプで、隊全体で

きるものが多い。よい参考資料として「スカウトゲーム」が、連盟需品部で発売されている。

## 《班の寸劇》

それでは最後に、班の寸劇（スキット）について述べてみよう。それは即興的な、普通はユーモラスな劇で、隊や地区のキャンプファイアや、父と子の夕食会や、隊の家族集会のときなどに上演できるものである。

この班の寸劇については、多くの班や隊は、もっともっと力を入れなければならない。この寸劇を盛んにすることは、創作する能力を刺激するものであり、班の中でその試演をすることは、このうえない楽しみである。さらにまた、寸劇で演技することは、生まれつき内気の少年が、はずかしがりやをなくすのにも役立つことだろう。それはまた自己表現するという、めったにない機会を班員たちに与える。さらに、君の班にいるかもしれないいたずら者。の精神を、きわめて建設的に利用することができる。

### 何を選ぶか

一般的にいて、厳しゅうくなものより、おもしろ味のある寸劇を選んだほうがよい。厳しゅうくな劇でちょっと失敗すると、期せずしてそれがおかしなものになり、その



追跡ゲームはまことに興味しんしん

結果、全体が失敗となる。おもしろ味のある寸劇でちょっと失敗すると、おもしろ味がますます増すだけである。

厳しゅうくな寸劇を必要とする場合もあるだろう。そんなときには、指導、練習を十分にし、正しく上演されるように十分気を配らなければならない。

厳しゅうくなものであれ、またおもしろ味のあるものであれ、寸劇は簡単なものでなければならない。こみ入っていて、多くの練習と助力が必要な劇はさけること。

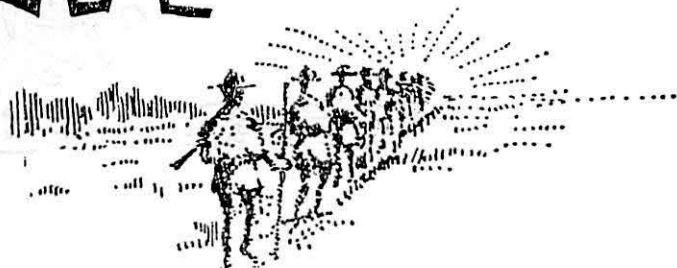
もう一つ重要なことは、できるだけ多くの班員を寸劇に参加させることである。二人でやる寸劇は二人にとっては申し分ないが、他の班員たちには劇に参加する機会が与えられない。ちょっと頭を働かせれば、役者二人の寸劇を、班全員が出演するようなものに拡大することが多く、このようにして、より大きな楽しみを味わうことができる。（つづく）



インディアンの伝説は、寸劇や儀式にいろいろと利用することができる

# 班長のでびき

～34～



この「班長のでびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 10. 班の出し物 (つづき)

寸劇をどこでさがすか

寸劇をさがせるところはいくらでもある。余興やパーティに関する本を君の地方の図書館でさがすとよい。その本にはたいいてい寸劇全文が書かれたものもあり、また提案にとどまっているものもある。

もうひとつのさがし方としては、レクリエーション協会から発行されている「スタンツ」の本を参考にすることである。

しかし、寸劇は普通自分で作ったもののほうがおもしろいものである。いろいろな少年雑誌のジョーク(じょう談)を多分君は読むと思う。そのジョークの1つを完全な寸劇として演出できる場合が非常に多い。

ラジオやテレビのむだ話やじょう談からも材料が得られるだろう。最近の班や隊のハイキングや

キャンピングのでき事を寸劇に仕立てることができ  
る場合も多い。

君の目と耳を開いて、また班全体にもいつも注意  
させて、班の寸劇をさがさせることである。

寸劇を作ること

次に寸劇の作り方の例を2, 3あげてみよう。

雑誌をあけると、1人のスカウトが街の交通の  
激しい所で、多くの見物人に囲まれ、交通をしゃ  
断しながら、摩擦で火を起している漫画が出て  
いる。彼のかたわらに立っていた男が、申し訳な  
きそうに交通巡査に向かって「私が彼に頼んだの  
はマッチだけだったのですが」という。

班の寸劇としては、まだ強さが足りないが、利  
用できるアイディアがそこにある。道をきいてい  
る人をテーマにするか、時間をきいている人をテ  
ーマにするとか、このさいのアイディアを利用し

て寸劇を考えてみよう。

まず寸劇があることを発表する。説明者は観衆に向かって、舞台はある晴れた日の交通の激しい道路の一角であることを説明する。

班員が入ってくる。ある男が班長に向かって「すみませんが、今、何時だか教えていただけませんか」ときく。「よろしいですとも、ちょっとお待ちください」と班長は答えて、周りのスカウトたちに命じて地面に棒を何本も打ち込ませ、それをひもでつなぎ合わせ、またあらゆる方向に線を張り出させる。そして最後に班長は「お待たせしました。今ちょうど9時32分です」と答える。男はいささか面くらって「どうもありがとう」と言って歩き去っていく。スカウトたちが棒やひもを取り除いている間に、男がまた戻ってきて「さっきのやり方は太陽が出ているときは、なかなかよい方法ですが、雨が降っているときはどうするんですか」ときく。班長は「その場合はまた方法がありますよ」と答える。「ほう、いったいどうするんですか」とその男。「なあに、ちょっと腕時計をのぞくだけです」と班長は答え、時計を出して「ハイ、ちょうど9時32分です」と言って幕。

ジョークを寸劇に仕立てる手順を君は知った。次はスカウティングのでき事を寸劇にすることが



できるかどうかを見てみよう。

何を材料に使おうか？ この前の隊集会でやったフォックス班の救急法を材料にしようか。題名は「重傷手当班」としたらいいかもしれない。

あるいはまた、隊キャンプでのパイ作りを材料に使おうか。これがいいようだ。パイを2つ作る準備をしている。2人のスカウトが現れる。小麦粉があたり一面にちらばっており、練り粉があちこちにねばりついている。ついに粉をねり上げてパイ皿の上に置く。1人がそれをオープンに入れるために運び去っていく。外側で大きな爆発音が起る。パイが爆発したのである。（紙袋をふくらませて打ち破って音を出す）間もなく不運なコック（あらかじめふん装をこらした別人）が全身包帯に包まれて運び込まれてくる。幕。

あるいはまた、この前の班ハイクで道に迷いかけたとき、君の上に危く起こりかけた事柄を、じょう談めかしてえがいてみるのもおもしろいだろう。

班全員がハイキングしながら舞台に入ってくる。立ち止って地図をのぞく。どの方向に行くかについて、皆無言で議論を始める。ある者は右を指さし、またある者は左を指さす。最後に全員退場。しばらくして前と同じ方向から、再び舞台に入ってくる。（大急ぎでキャンプファイアの周りを回って）こんどは先よりもゆっくり動き回る。再び地図をながめて議論を始める。もういちどそ



重傷者手当の実演は、いつも大げさなものである

れをやる。皆疲れる。それからまた議論をやる。最後に議論している間に、白いシャツとタオルでアラビア遊牧民の服装をした男が1人入ってくる。そして君は今どこにいるかを発見するために、彼と無言で話をはじめる。そして最後につぶやくような「エジプトだ。ぼくたちはエジプトにいるんだ！」という声が聞こえる。次長が班長の

ところへ歩み寄り「ぼくが言ったでしょう。われわれはメインストリートから左へ曲がるべきだったんですよ！」という。

以上はほんの2、3の例にすぎないが、君の班員や、隊の他班の班員たちの楽しみのために使うことができる寸劇を見つけ出す手がかりを、君に与えてくれることと思う。

## 11. 班 と 班 の 関 係

君の班が1つの単位としてどれほど強く感じようとも、君の班だけで立っていけるものではないという事実を、見失ってはならない。

君の班は、他の人々やグループに対して、はっきりした義務を負っている。万一君の班員が自分本位の考えに流れるようになったら、正しい進路からはずれることになる。もちろん君は、君の班をそんな方向に進ませるようなことはしないだろう。真の班精神は真のスカウト精神、つまり接触するすべての人々に対して手助けとなり、友好を深め、忠実であることに最善を尽すことである。

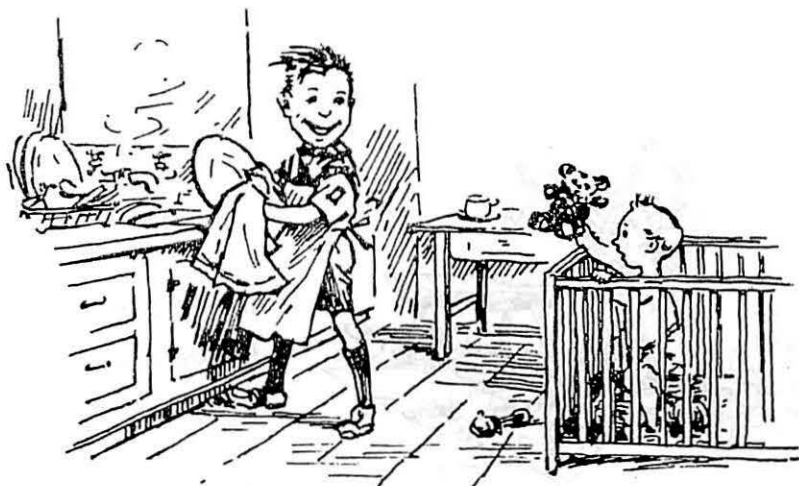
解する機会をもったわけである。自分たちの息子たちが、なぜスカウトであることに喜びを感じるのかがわかっており、班の希望や野心について、班員たちと同じように関心をもっていることだろう。

班員たちを激励して、各々の家庭でできるだけスカウトのおきてに則して生活するようにさせること、すなわち信頼に値し、手助けを惜しまず、快活であることなどである。自分たちの息子が、スカウト技能が進歩するばかりでなく、家庭生活においてますます責任あるメンバーになっていく

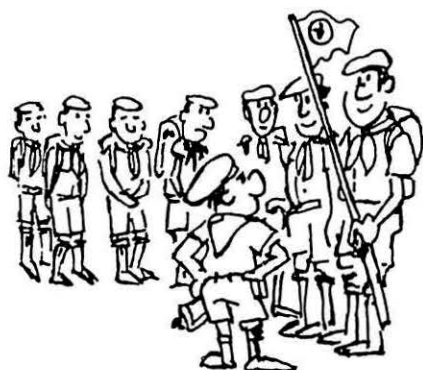
君の班と隊との関係についてはすでに述べた。これからその他の重要な関係について述べよう。

### 《班員の家庭》

班の初期の集会を班員たちの家でやったのであれば、君は班の両親たちとの協力関係の、良い土台を築いていることになる。班員たちの両親は、班の生活とはどんなものであるかを理



スカウトは手助けを惜しまない。家庭でいちばんよくそれを説明できる



(すべてスカウトのおきてに従うがために) のを見ることほど、スカウティングは価値あるものだという事を両親に確信させるものはない。

スカウティングがどういうものであるかを両親が知っている場合は、隊集会や班集会に息子たちを100%出席させるのに、何の困難も感じないだろう。しかし、スカウティングが時間を取り過ぎないように注意しなければならない。両親もまた自分たちの息子を見たいのである。スカウティングは、子供とその両親との間に強い同志関係を奨励すべきであって、決してそれを妨げてはならない。

### いつも接触を保つこと

少年がスカウトに参加する——その瞬間から、君がほんとうに関心を払っているということを、常に親たちに感じさせること。

新しく入団した少年が、参加の準備ができ次第彼の家を訪ねて行くこと。彼の部屋でスカウトになるために必要な事柄について、彼に手を貸すこと。同時にまた両親に、彼らの息子のこれからのことを説明する。できるだけ少年の家庭の状況を学ぶこと。そうすれば少年が持っているかもしれない変ったくせや、特別な問題点を理解することができるだろう。

班のだれかが病気のときは、彼の家を訪ねて見

舞ったり、電話で病状を尋ねる。班全体としても病気になる班員の心を引き立てるために、何かを考え出すこと。

### 約束を守れ

両親の支援を失わないためには、両親との約束はどんなものでも、文字どおり守ることが必要である。もし両親に対して、その子供を班集会から9時半に帰すと約束したら、彼が時間どおりに家に帰るように取り図らうこと、閉会時刻が過ぎても、だらだらと集会を長びかせてはならない。そして班員たちが必ずまっすぐに家へ帰るようにすること。

「スカウトは誠実である」もし君が君の分を守り、正確にそれに従うならば、両親もまた、その分を守り、その子供たちを各種の集会の時間に遅らせたり、また使い走りやその他の家庭の雑事のために、班ハイクの出発予定時刻までに班員たちが決められた場所に集合するのを遅らせるようなことは、決してないであろう。

### 提 案

・家庭での集会——再び家庭での集会に戻るが、それは両親に接触するまたとないよい機会である。班の本拠ができ上がった後でも、両親との交りを維持するために、ときどき班員の家で集会をするように取り図らうことは必要である。その場合、両親は君が運営する集会の模様によって、君の班を評価するということを忘れてはならない。規則正しい、よい集会をもつように注意しなければならない。







お母さんたちは、自分たちの夕食を作ってもらうのを好むものである

・スカウトの進歩に両親の興味を起こさせる——

班で何をやり何を学んでいるかを、班員たちが両親に話すように取り図らうこと。ある班員が1級章課目の料理で成功を納めたことを知れば、その母親は非常に興味を持つことだろう。彼がもし炊事場では器用であり、必要であれば家族全員のための夕食でも作れるということを、母親に実地で説明した場合はなおさらであろう。彼がまた、最初の技能章をもらうときは、彼の父親は誇りで胸がふくらむに違いない。父親が息子に手を貸した結果としての技能章であればなおさらのことだ。

しかし、班員や両親個々の問題を解決するだけで満足してはならない。両親たちの、自分たちの子供に対する関心を、班全体に対する関心、すなわち班が成し遂げる名誉や資金づくりのための諸活動や、班自体のキャンプ用具を調達する努力などに対する関心にまで、拡大することができる。

・家庭行事——「両親の夜」は、隊ばかりでなく班でも行うことができる。班が生まれて間もなくこのような行事を催すことは効果的である。きわめて友好的な行事にして、班がどのようにして発展し、またどんなことができるかを両親に示すこ

と。

「父と息子のハイキング」は、班の規模でりっぱに行うことができる。ほんとうのキャンプ夕食を料理できる場所へのハイキングにする。父親たちと息子たちがいっしょにやって楽しめるスカウトゲームをいくつか準備する。夜が来たらキャンプファイアの周りで、父親たちに昔話をしてもらおう。忙しく立ち働いている父親たちが、昔やったいろいろな冒険の話聞いて、君はびっくりするに違いない。

大事なことは、お母さんたちを忘れないことである。お母さんたちは料理をしたり皿を洗ったりする必要のない、戸外での「母親の夕食会」に招待されるのを、とても喜ぶものである。

あるいはまた「家族全員集合」のピクニックをやり、皆が楽しむのもまたよい考えではないだろうか。(つづく)



父と子のハイキングは、君の班をいっそう強化することだろう



# 班長のてびき

～35～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 11. 班 と 班 の 関 係 (つづき)

### 《教会と学校》

君の班の、教会と学校に対する責任は、家に対する責任と同様に重要である。

#### 教会に対する責任

どのような班の活動も、班員たちが教会へかやうのを妨げるものであってはならない。

班員たちを励まして彼らの宗教的義務を積極的に果たさせ、彼らの教会のために計画された奉仕活動には、必ず参加させること。ことに教会が育成会になっている団に君が属している場合はなおさらである。

また、君の班員たちに他人の信仰を尊重させ、決して他の人の感情を害するようなことをやったり、言ったりしないように訓育するのに、君が最

善を尽さなければならないことはいうまでもない

#### 学校との協力

学校教育から最大の効果を得させるのに、君は班員たちに、静かではあるが強い影響を与えることができるだろう。

班員たち個人またはグループに対して、君は時に応じて一言二言話をして、班の活動でも、また学校でも、彼らが班の信用を高めることを君が期待していることを、はっきりわからせることである。

班として君の先生たちに何か奉仕してあげられないかどうか、いつも気をつけていることが必要である。

学校のために全体として行う善行は、いつでも感謝されるものである。

## 《設立育成団体》

教会であれ、学校であれ、奉仕団体であれ、また何であれ、君の団を育成する組織や団体に対しては、君の班は特別に忠実であって、奉仕を惜しんではならないことはいふまでもな

い。育成団体は、団の継続的な運営の責任を負っているのであるから、君たちもまた最善を尽してそれに報いなければならない。

たとえばある地域団体が、通知状配達人か、会場整理係などを探しているなら、君の班としてのサービスを提供するのにちゅうちょしてはならない。他人が頼んでくるまで待たないで、自分から進んで行うのであればさらによい。心の目を見張って、何をすることが必要かを知り、それをやることである。

この同じ考えを、他のあらゆる形の設立育成団体にあてはめること。もしそれが学校であれば、



君たちの育成団体のために班善行をしよう

近くの道路の横断歩道の整理をするか、校旗の上げ下しをするか、または防災訓練の指揮をすることなどを申し出る。もしもそれがロータリークラブやライオンズクラブなどであれば、やってもらいたがっていることを見つけ、彼らが君たちや団のためにやっているすべてのことがらに対する感謝のしるしとして、それをやること。

これらのことについては、実行前に君の隊長に相談すること。育成団体のための奉仕として君の班が企てるものは、何であれ、その組織や団体に関係のある人と連絡をつける必要があるときは、必ず隊長の全面的な承認を得てやらなければならない。

いろいろのアイディアや行動にみちあふれているのはけっこうであるが、自分の権限をこえないように注意しなければならない。

もし君が、ほんとうは隊全体としてやるべきことを自分でやろうとした場合、たとえそれが君の善意からしたことであっても、ちょっとした行き違いから、やっかいなことになるものだ。

## 《班の善行》

少年たちがスカウトになったその日に誓った、





クリスマスは、班善行に最良の機会を与えてくれる

「日日の善行」という義務を、まじめにしかも忠実に班員たちに受け入れさせさせるのが、班長としての君のつとめである。君は君自身が手本を示しまたときどき班の特別善行計画をたてたりして、班員たちをこの点で助けることができる。

班員が8人集まれば、一人ではとうていできない善行をやることができる。老人や病人だけの家庭の手助け、雪かき、危険な交差点で警察官などの指導を得ながらの歩行者の安全通行、教会の会報配布、野鳥のえさ台にえさを絶やさないこと、クリスマスのプレゼントのための本やおもちゃ集め、火災予防の呼びかけなどは、皆班にとってやる価値のあることがらである。8人が分担すれば何も困難なことではなく、スカウティングがどんなものであるかを示す絶好の機会である。

特別スカウト善行は、いつも秩序正しく行われる。隊の夏季キャンプの準備として、班はキャンプ費用が払えないためにキャンプに参加できない班員のための資金づくりをするかもしれない。ま

た、班のキャンピングの途中、班員は自ら進んで農業の収穫や手入れの作業などに手を貸すことができる。

これらのことは、それ自体やりがいのあることがらであるが、また同時に、他人の助けになるために自分の最善を尽しているという満足感を、班員の全部に与える。お互いに仕事と犠牲を分け合い、忠実に仕事をやっていくことは、班精神と班の団結力を培い、強化するすばらしい手段である。

班員たちをこの点でチャレンジさせるのは、班長である君なのだ。班善行のアイデアを持って来させること。君自身でもまた考え出す。そして十分討議したうえで、やるべき善行を決定する。さらに最良の結果を得るにはどうしたらよいかを考える。各人にその分担をさせることにして、仕事にかかる。

しかしながら、君が何をやろうとも、奉仕活動はそれが大きなものであれ小さなものであれ、心から、しかもそれを行うことに対する満足以外に何の報しゅうも考えないでやらない限り、ほんとうの善行ではないということを、班員たちにしっかり悟らせることが必要である。この精神で行われさえすれば、班の善行は班員一人一人を、よりよいスカウトに育て上げるのに大いに役立つことだろう。



## 12. 班の活動

このようにして班の活動は続く。

そのうち数週間がたち、数か月が過ぎる。そして、そのうちに君は、班を、かつてないほど強くまとまった単位組織に築き上げることになるのだ。君たちスカウトは、がっちりしたきずなで結びつけられるのである。班の伝統は育まれ、班精神はますます高揚される。君たち一人一人のスカウト技能はますますみがきがかかり、君たちの行動はいっそうスカウトの理想に近づいていく。

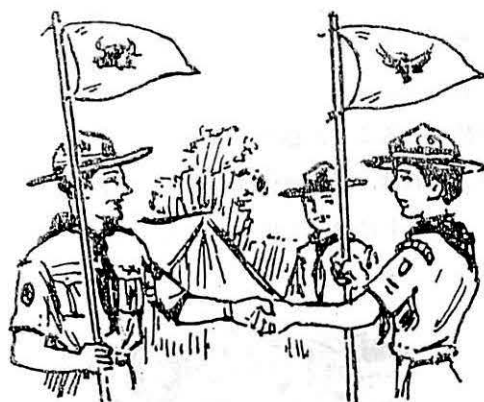
こうして、君の班はしだいに向上していく。

では、いったいどれくらい伸びているだろうか。「もちろん、世界一さ！」と君は言う。だが君はほんとうに確信があって言っているのだろうか。あるいは、ただ、そうではないかな、と思っている程度にすぎないのではないか。また君は、何を尺度として自分の班を評価しているのだろうか。たぶん、君の班は、隊の他の班にくらべればいいほうかもしれない。つまり、君の属する連盟

の役に立っているということになるだろう。しかし、国内の他の班、つまり他の隊や県連盟の班と優劣を競った場合はどうだろうか。そんな色はないと言えるだろうか。それとも、そんなにまで抜群ではない、ということになるかもしれない。

では、なぜそうなるのか、その答えを見つける方法があるはずである。試みに、全国の班にあてはまる基準を立ててみよう。それから、その基準によって君の班を評価すれば、君の班の水準が、現在どこまでできているかがほんとうにわかるだろう。そして、君の班は優秀か、可もなく不可もなしということか、あるいは全然話にならないのか、を知るのである。それだけではない。君も班員も、トップにおどり上がるにはどうすればよいかということまで知るのである。

班を全国的水準に引き上げるには  
どうすればよいか



君の班を全国の標準班に比べて、優劣を調べよう

優秀な班作りに必要な、最小限の基準条件は、別表（注：次号参照）に掲げてあるとおりである。君が、これらの条件にそって活動すれば、君は自分で設定した班の目標に向かって、順調に進んでいることになるのである。しかし、これは、君のひとり相撲ではどうにもならないことだ。班を全国的水準に引き上げるため、すなわち、国内の最優秀班と肩を並べさせるために、全班員をふるい立たせなければならないのである。そして、目指す水準に達したら、それからあとは、どうす

れば班の面目を保ち、しかも、絶えず第一線で活躍させることができるか、ということになってくるのである。

全国的水準の班づくりには、どのようなことが関係しているのだろうか。それには、二つあるのだ。一つは隊全体の一部としての、君の班に関するもの、もう一つは、君が自分の班で行うことに関係のあるものである。では、それはどんなことか、いろいろある中から、ひとつひとつ取り上げていくことにしよう。

### 隊の一部としての君の班

これが、標準班づくりの第1部である。

隊が目指す到達点に達するにさいして、それが君の隊の指導者たちの満足を得るようにするために、君は自分の所属する隊に協力する。

君の隊が目指す目標とは何だろうか。君は知っているはずだ。君は班長会議で他の班長たちと協力して、その目標を設定してきたのだ。目標の中には、隊集會に出席することや、ハイキングやキャンプに参加すること、地区や連盟主催の各種の行事、その他数多くの活動に参加することなどがあるだろう。

まず隊の目標を知ること。そしてその達成のため、班としての役割を、確信をもって果たせるようになることだ。

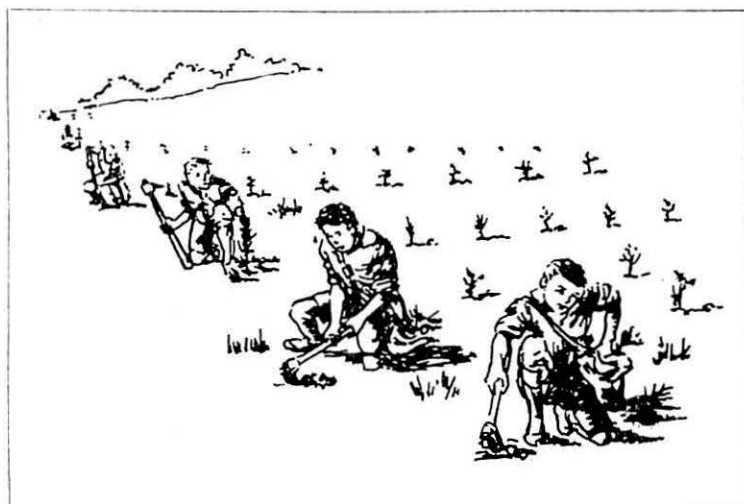
### 君たちのものとしての班

次は、標準班づくり計画の第2部である。

次の各種の班活動で、1,000点満点のうち750点以上を得点すること。

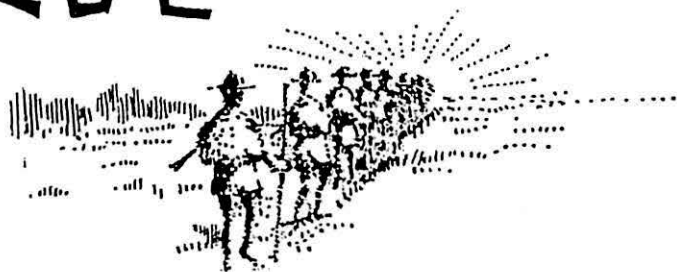
- ① 訓練された班リーダー ② プログラムの編成 ③ 班の定例集會 ④ 野外活動 ⑤ 特別行事 ⑥ 奉仕作業 ⑦ 進歩 ⑧ 最良の服装とみだしなみ ⑨ 班の特色 ⑩ 班員数

次号で示す得点表を見てみよう。「良」の成績で基準に達するには750点は必要だ。「優」になるには、君は1,000点近くの点数を得る必要があるのだ。とはいえ、君は1,000点近くの点数を得点したところで止まってしまてはいけない。基準に合った班を作るために要求されている回数以上に、多くの集會を、君は持つことができるはずだ。ハイキングやキャンプの回数が多ければ多いほど、それに応じてどんどん進級もするのだ。君の班に関する限り、設けられている基準というものは、目指しているものの絶対最小限のものであるということ、そして君自身はその基準以上に向上することができるかどうか、つまりすべての面で最上位に立てるかどうかなどということを、決めてかかることだ。(つづく)



# 班長のてびき

～36～



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞 (Universal Brotherhood) 版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 12. 班の活動 (つづき)

### <標準班のための得点の基準>

### 活 動

標準班を作るには、君の班は次のことをしなければならない。

- A. 隊のめざす到達目標に達するにさいして、それが君の隊の指導者たちの満足を得るようにするため、隊に協力すること。
- B. 次に示す班の活動で、1,000点満点のうち、最少限750点を得点すること。

### 指 導 力

#### I 訓練された班リーダーの数 (得点)

- 班リーダー訓練に4回参加した班長と次長 (100点)
- 班リーダー訓練に2回参加した班長と次長 (50点)

#### II 活動を計画する

- 3か月前に計画された普通の計画と1か月前に計画された特別の活動 (100点)

- ほんの1か月前に計画された、普通の活動 (50点)

#### III 通常の班集会

- 4か月間に、隊集会のほかに、少なくとも毎月2回班集会をもった (100点)

- 4か月間に、隊集会のほかに毎月1回班集会をもった (50点)

#### IV 野外活動

- 4か月間に、班ハイクまたはオーバーナイトハイク (1泊ハイク) を、



オーバーナイトハイクの実施



少なくとも4回実施した (100点) \_\_\_\_\_

- 4か月間に、班ハイクまたはオーバーナイトハイクを、少なくとも2回実施した (50点) \_\_\_\_\_

#### V 特別行事

- 班員のすべてが、連盟や地区や団のキャンボリーに参加した (100点) \_\_\_\_\_
- 少なくとも班員の半数が、連盟や地区や団のキャンボリーに参加した (50点) \_\_\_\_\_

#### VI 奉仕

- 4か月間に、班善行が少なくとも2回あった (100点) \_\_\_\_\_
- 4か月間に、班善行が少なくとも1回あった (50点) \_\_\_\_\_

#### VII 進級

- 4か月間に、少なくとも班員2名が1ランク上に進級した (100点) \_\_\_\_\_
- 4か月間に、少なくとも班員1名が

進級した (50点) \_\_\_\_\_

#### VIII 服装の改善

- 班員のうち、少なくとも75%が正しい服装をしている (100点) \_\_\_\_\_
- 班員のうち、少なくとも50%が正しい服装をしている (50点) \_\_\_\_\_

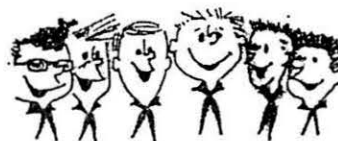
#### IX 班の特徴

- 班旗、班記号、班コールそれに現在まで4か月間の班日誌がある (100点) \_\_\_\_\_
- 班旗、班記号、班コールそれに現在まで2か月間の班日誌がある (50点) \_\_\_\_\_

#### 班員数

#### X 班員

- 班員が8人いる (100点) \_\_\_\_\_
- 班員が7人いる (75点) \_\_\_\_\_
- 班員が6人いる (50点) \_\_\_\_\_



#### 標準班としての名誉を得るための工夫

得点の方法を学ぶにつれて、それが4か月間にわたる活動に基づいて定められていることに、君は気がつくだろう。君は4か月でその基準に到達することができるのだ。そして基準に到達した後は、それ以上に向上するように努力するのだ。

訓練を受けた班リーダーが重要であることにについては、別に疑問はないはずである。かりに君が君自身の仕事を知らないとしたら、君は非常に質の悪い班を持つことになるのだ。君がすでに訓練を受けている場合には、打てばひびく式に得点



標準班になるには苦勞するが、骨折りがある

することになる。だから君がまだ訓練を受けていないのだったら、少年幹部会議で、君の隊長から必要な訓練を受けることから始めることだ。訓練を受ける方法はほかにもある。君の属する地区や連盟内で、少年幹部訓練や野外訓練行事が催されるはずである。そのときには必ず出席することだ。そして君の補佐役（次長）もいっしょに参加することだ。そうすれば君も君の補佐役も、その参加した訓練行事から利益を得ることになる。

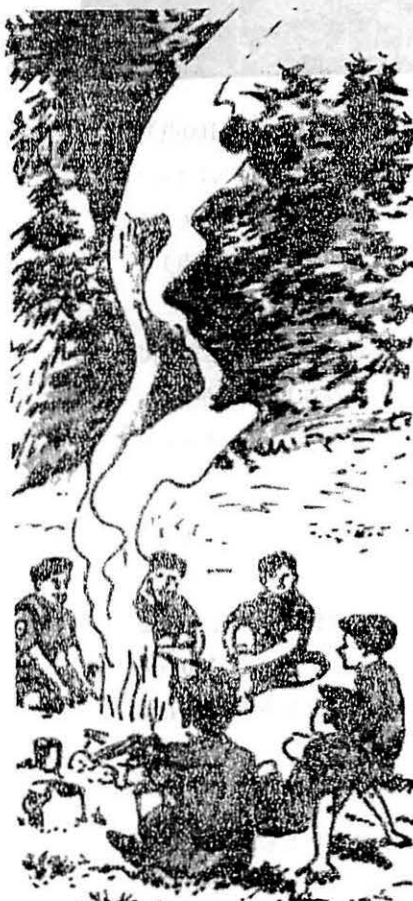
君自身が全体的な活動の計画をして、はじめて班の中にいろいろな行事が生まれるのである。班内で話し合いを持ち、活動の計画を練るのだ。それから君の補佐役といっしょになって、細かい点を列挙していくのだ。普通の方法で向こう3か月間の活動を前もって計画するのだ。それから、月単位にしての集会やハイキングの完全な計画案に手をつけるのだ。

通常の班集会は、少なくとも毎月2回開くことが必要である。ところで、毎月2回以上班集会をもつことぐらいは、君にとっては、たやすいことであるはずだ。君はもうすでに、班の集会の章で話し合った方針にそって、毎週集会を開いていることだろう。

毎月、何らかの形をもつ野外活動を実施して、

はじめて君は君自身が向上を目ざしている途上にあるといえるのだ。最初の月はハイキングに行き、次の月はキャンプングということもあるだろう。班とは、たとえて言うなら小犬のようなものなのだ。つまり定期的に野外の空気に触れてはじめて成長するのである。

キャンボリーは、君の属する地区や連盟内ではおそらく最大の年中特別行事であろう。キャンボリーに参加し、キャンボリーの名誉賞をかく得するよう最善の努力をすることだ。キャンボリーが計画されていないときには、ほかの大きな行事に参加することだ。歴史的な名所の見学とか、地区ラリーとか、そのほか同じような行事がいろいろある。



班ハイイク

心からの親切で奉仕する仕事ほど、君の班のスカウト精神を強く示すものはない。これが正真正銘の班善行なのだ！ それを示す機会は、君の身のまわりにたくさんある。まずその機会をつかみ、計画を練り、そして実行するのだ。1年のうち、いつでもよいから、クリスマスや年末たすけ



助け合い運動に協力する

合い運動のとき、貧しい家庭や恵まれない子供たちに贈る品物の入ったかごや、近所に住んでいる病弱な婦人のための庭の手入れ、あるいは養老院や子ども病院の訪問など、君の班全体としてできることを君は考え出すのだ。

4か月の間に班員2人がそれぞれ進級する。これはさほど大きな問題ではないはずだ！ 君が実際に4か月間に3人の班員を進級させることができるのなら、君は同じ期間に班員を全員残らず進級させることもできるはずである。基準に追いつくのだ。そしてそれを追い越すのだ！

服装のきちんとした班を見たまえ。すぐれた隊にはすぐれた指導者と、すばらしい活動とを備えた班があることに君は気づくだろう。これはほどはっきりしているのだ。すぐれた班にいるスカウト

たちは、世間に対して、自分たちはすぐれた班に属しているのだと言いたいのだ。質の悪い班にいる者たち——彼らは自分たちの属する班を世間に対して知らせるのをきらいのだが、このことで君は、彼らを責めることができるだろうか。服装をよりよくきちんとして。さらに進んでもっともときちんとして！

君が実際につっ込んでやって行けるものに、班の特徴という分野がある。すでに班旗を持っているなら別だが、まだ持っていないとすれば、ほんとうにすばらしい班旗を作るために、君は班員全員にスケッチさせたり、デザインさせたりして、いそがしく立ち回らせるのだ。班日誌に使う記事



班のシンボルを持つ

も、班員全体に書いてもらうのだ。班記号やコールを使う習慣を身につけさせることだ。古くさい班の士気をひきたてるには、これ以上のものはない。

さて、最後ではあるがその重要さの点では決してひけをとらないもの、それは班員の数である！ 班員数が少ないと、ゲームやキャンプやハイクるとき、いつも損をする。班に欠員がないようにすることだ。そして古い班員が上進したり離班したりするときには、新しい班員を迎えるというふうにして、常に欠員がないようにすることだ。

## 思い出となる班

「古い班員が上進したり離班する……」につれ君や君の仲間たちは「自分たちの班が永遠に続いたらなあ」とキャンプファイアの炎が、よく見なれた顔に映えたことを思い出しながら、集会やハイクやキャンプなどでいっしょになったとき覚えた感動や幸福感が、これから先何年も続くことを心の中で願うことだろう。

しかし、悲しいかな、それは現実にはできないことなのだ。日がたつにつれて、君も、また君の



先輩たちの関心を、絶えず自分の班の活動にひきつけておこう

班員も皆、大人を目ざして成長していくのである。君たちはすべて、思い出の場所から新しい生活へと知らずしらずのうちに移動していくのである。これはすべての班が直面しなければならない事実なのである。

とはいえ、班員たちが国内あるいは世界の各地に散りちりになって行ったにしても、そこには常に彼らを結びつけるものがあるのだ。それは、彼らの共通の思い出なのだ。これら数々の思い出は彼らをして古い根っこから芽生え成長して行く、新しい班を忠実に盛り上げさせるものである。

少年たちが成長するにつれて、それぞれの生活のために遠く離ればなれにはなっても、班そのものは消え去ることはないのである。なぜなら、一人の少年が班を離れると、その少年に代って新しい少年が入って来て、古い班の持つ伝統を受け継いでいく態勢がすでに整っているからだ。

このことは、君や君のもとにある班員たちが、理想として胸に抱いているのだ。つまり「僕たちの班は決して死なないのだ！僕たちの班の名と伝統は、受け継いでいかなければならないのだ！」

他のすべてのことについても同じように、班長である君の役目は、前に述べた理想を実現するために、たいへん重いのである。古い班員がお互い同志、またその班員たちが名誉をかけて働いた班との連絡を保たせるための手助けをするために、君はいろいろと力を尽さなければならないのだ。

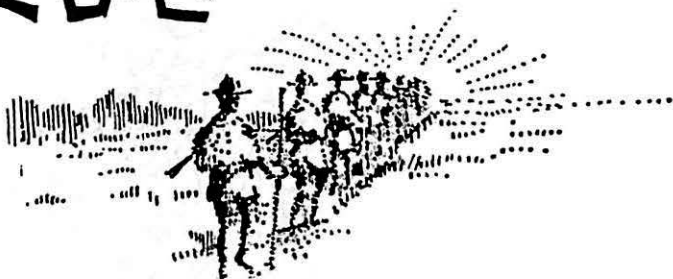
班員たちが班を離れ、遠方へ去って行く場合には、必ずその彼らとの文通によるつながりを持つことだ。また、新しく入って来る少年たちには、この文通によるつながりが、班の将来にとって重要であることを自覚させるとともに、班内のでき事を、先輩たちに知らせることに興味を持たせるようにするのだ。

君自身もやがては班を離れ、隊の指導者になったり、あるいは大学へ進み、そして就職することになるだろう。君が移動する前に、君の後任者として班長になる班員にとって、必要な訓練を本人が受けられるようにするために、君はあらゆる手を尽さなければならない。君の後任者になる班員は、おそらく班の古い伝統を理解しているだろう。だから、君が今までやってきたのと同じ方法で、君の後任者は続けて行けるのだ。君が強力な班を作り上げている場合には、君は自分の後任者に対して、成功するための最上の手段を与えることになるのだ。(つづく)

# 班長のてびき

～37～

＜最終回＞



この「班長のてびき」は、ボーイスカウトアメリカ連盟が、世界友愛のために1950年に発行した四海同胞(Universal Brotherhood)版をもとに、1963年にとくに出版された日本語版にもとづいています。いま活躍中の班長諸君の力強いよりどころとなるよう、そして次長や班員の皆さんの、よりよい資料となるように日本連盟がまとめなおして、連載しています。

## 12. 班の活動(つづき)

### 伝統を受け継いでいく

古い班員たちが、お互いに連絡を保っていくための最上の方法の一つは「伝統集」である。この本の名前をつけた班があった。その班員たちは、自分たちの伝統集に6人の幹部班員の頭文字を集めてつけた。この本は先輩たちや活躍している現在の班員たちの間で回覧された。この本が手もとにとどくたびごとに、先輩たちや現在の班員たちは、前にこの本が回覧されたときから今までに経験したことを、書き加えていったのである。その本にはどんな記事がのっていたのだろうか。またその本は班の精神をどの程度にまで生き生き

とさせ続けるのに役立ったのだろうか。

とはいうものの、ほかにも方法はあるのだ。

### 古い班と新しい班

もう一つの班は、帰省することのできる先輩たちをも集めて、年に1回集会を開く。新しい班員たちも先輩たちもいっしょになって、一夜をすご



多くの班では、あの手この手で先輩たちをハイキングに連れ出す



すのである。キャンプファイアを囲んで、先輩たちは思い出を新たにするとともに、昔にかえって思い出の班生活を送れば、一方では新しい班員たちは、先輩たちの話に耳を傾けるのである。

この班は、最初の何回かは、このような寄り合い集会を、班の創立記念日つまり9月に催した。しかし、最近になって、この一夜の

集会は、クリスマスや新年を迎えるために先輩たちの多くが帰省する、1年の最後の土曜日に変更された。大地が雪におおわれたとしても、何のさしきわりがあろうか。彼らはすべて寒さに耐えてきたし、今までも野外で快適に暮らす方法を心得ているのだ。

三つ目の班は、夏季に先輩たちを集めて2日間のキャンプ生活を送った。新しい班員たちと先輩班員たちがいっしょになって、小舟（カヌー）の旅をした年もあったし、隊の夏季キャンプで、先輩たちの班が新しい班として加わった年もあった。そして、この班はいつでも両手をひろげて先輩たちを迎え入れたのである。先輩たちは来るときはいつでも昔の偉大な考え方をもたらしたし、またその班が古い精神のもとに活動を続けていく力をつけるのを助けてくれもしたのである。

ところで先輩班員たちつまり君の先輩たちが、



中には、先輩をキャンプにさえ連れ出して、まるでスカウト当時にかえたような思いをさせる班もある

このような再会の場に戻ったとき、彼ら自身得るものがあるのだろうか。

そこには、変ることなく、むしろ彼らの心境に触れる何物かが生まれるのである。以前は決して表面に現われることのなかった感情が、彼らの内にわくのである。少年たちの中の少年たちとして生活したこと、また真の班員として、栄光感や絶望感を分かち合ってきたことに対する感謝の念がわいてくるのである。

そして、そこから彼らの心は、彼らにとって思い出となっている班の指導者——班長——つまり君に向けられることだろう。

### 君の受ける報しゅう

班での生活が尊いものであったことを、先輩班員たちが君に語ったことはおそくないだろう。彼らは、このようなことを言葉では表現しないのである。けれども、君は彼らが自分の班員たちが班内の生活で、彼らを楽しませることができかどうかは、自分自身の努力次第だと自覚したからこそ、君は根気よく働いたのである。先輩班員たちが集まってきて、班員といっしょになって楽しくすごすという、ほかならぬこの事実が君にすべてを物語っているではないか。つまり君の仕事が今もお続いているということ——班や君自身が





いただいている夢が、今もお生きているということ。

そこで、君はたとえどこに居住しようとも、君の心は真の班の真の班長になるために、君自身に与えられたチャンスと能力に対する、感謝の念でいっぱいになるのである。

—おわり—

1975年10月号から、37回にわたって毎号連載してきたこの「班長のてびき」も、ようやく終りを迎えました。この3年余りの間に、日本のスカウト運動はますます発展拡大し、君たちの「兄弟、スカウトたちや指導者の数も増加の一途をたどって、今や全国27万人をかぞえようとしていることは、たいへんうれしいことであり、社会の人々からの期待もまた、大きくなっています。

この「班長のてびき」は、毎号タイトルのところに掲げたように、ボーイスカウト・アメリカ連盟が発行した原著「HANDBOOK FOR PATROL LEADERS」をもとにして、日本のスカウティングにできるだけ合うように、一部書きかえたり、補足したりしながら続けてきました。部分的には君たちの日常のスカウト活動のうえになじまないところもあったと思います。

しかし、ボーイスカウトの「班長」としての役割や責務、あるいは楽しさや苦しさ、そして大きな夢



## 植村総裁が 亡くなりました

植村甲午郎日本連盟総裁は、去る8月1日東京・新宿の国立病院でお亡くなりになりました。84歳でした。

故総裁のご高德とボーイスカウト運動へのご功績をしのび、心から哀悼の意を表します

等々、これらは世界中のスカウト班長に共通のこととばかりであり、君たちの場合でも例外ではありません。

この連載読物のもとの著者は、アメリカ連盟のウィリアム・ヒルコートという有名なスカウターで、古くから「グリーン・バー・ビル」というニックネームで各国によく知られています。「グリーン・バー」つまり「班長」あるいは「班長章」のビルさんというわけです。彼のスカウト活動についての著作は数多く、中でも「ボーイズ・ライフ」誌への連載と、この「班長のてびき」は、世界中のスカウトや班長たちから愛読されてきました。

ボーイスカウト・アメリカ連盟が、全世界の人びとを結ぶ友愛のきずなとして、この本を出版して各国のスカウト組織に贈ったことは、最初の号でも述べましたが、まことに意義深いものがあると思います。

ここで、あらためて同連盟に感謝するとともに、君たちが、すぐれた班長として、ますます腕をふるうために、このてびきを活用してくれることを、心から願ってやみません。

(西田 徹／東京連盟渋谷第6 団団委員)

